



The essentials of imaging

# bizhub 200/250/350

---

ユーザーズガイド ファクシミリ機能編



本書に、乱丁、落丁などがありましたら、サービス実施店もしくは、最寄の販売店にご連絡ください。新しいものとお取替えいたします。

1  
ご使用  
いただ  
く前に

2  
送信する

3  
受信する

4  
トラブル  
処理

5  
仕様

6  
便利な  
送信

7  
便利な  
受信

8  
ポーリング

9  
登録/  
設定する

10  
設定  
メニュー

PageScope  
Web Connection  
を使って  
設定する

12  
レポート  
リスト

13  
付録

# はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

このユーザーズガイドは、ファクシミリ機能を使用するために必要な機械の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。ぜひご一読ください。

最適な状態でファクシミリ機能をご使用いただくために、このユーザーズガイドをお読みになつた後も、すぐに使用できる場所に保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「ユーザーズガイド コピー機能編『設置取扱い注意』」をお読みください。

## ■ 登録商標について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat ロゴ、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
- 信乃助は、コムユース株式会社の登録商標です。
- 本書に記載されている他の会社名、商品名は、該当各社の登録商標です。

Copyright

©2005 Konica Minolta Business Technologies, Inc., All Rights Reserved.

## ■ 免責

- 本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書を運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このユーザーズガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。

# もくじ

はじめに .....	1
登録商標について .....	1
免責 .....	1
もくじ .....	2
送ってみよう（ファクス） .....	10
こんな機能があります .....	12
ページの見かた .....	16
マニュアル体系について .....	17
ユーザーズガイド（コピー機能編） .....	17
ユーザーズガイド（ネットワーク／スキャナ機能編） .....	17
ユーザーズガイド（ボックス機能編） .....	17
ユーザーズガイド（SIP ファクス機能編） .....	17
ユーザーズガイド（プリンタ機能編） .....	17
クイックガイド（プリンタ機能編） .....	17
ユーザーズガイド（拡張スキャナ機能編） .....	17
ユーザーズガイド（ファクシミリ機能編）<本書> .....	18
原稿および用紙の呼び方と表示 .....	19
幅と長さ .....	19
□ と □ .....	19
<b>第1章 ご使用いただく前に .....</b>	<b>1-1</b>
1.1 ご注意 .....	1-2
回線について .....	1-2
オプションについて .....	1-2
1.2 各部の名称とはたらき .....	1-3
本体背面 (FAX キット FK-503) .....	1-3
ファックス済みスタンプユニット SP-501 .....	1-4
ハンドセット HS-501 .....	1-5
1.3 操作パネルの使いかた .....	1-6
操作パネル .....	1-6
1.4 はじめに設定してください .....	1-8
設定が必要な項目 .....	1-8
設定しておくと便利な機能 .....	1-10
1.5 ファックス機能で表示される画面 .....	1-11
ファックス画面 .....	1-11
おまかせ画面 .....	1-12
タッチパネル内で表示されるアイコンについて .....	1-13
1.6 ユーザ認証と部門管理について .....	1-14
<b>第2章 送信する .....</b>	<b>2-1</b>
2.1 操作の流れ .....	2-2
2.2 原稿をセットする .....	2-4
ADF に原稿をセットする .....	2-4
原稿ガラス上に原稿をセットする .....	2-5
2.3 原稿ガラスで原稿を送るには .....	2-7

2.4	送信条件を設定する .....	2-9
	画質 .....	2-10
	濃度 .....	2-10
	倍率 / 範囲 .....	2-11
	設定状態を確認する .....	2-12
2.5	送信先を指定する .....	2-15
	[ダイアル入力] を使う .....	2-15
	[ワンタッチ] を使う .....	2-17
	プログラムを使う .....	2-18
	[検索] を使う .....	2-20
	複数の宛先を指定する（順次同報送信） .....	2-22
	送信先を確認／削除するには .....	2-25
2.6	相手先を確認してから送信する .....	2-26
	相手機確認送信のしかた .....	2-27
2.7	通話後に送信する（手動送信） .....	2-28
2.8	ワンタッチやダイアルを組合わせる（チェーンダイアル） .....	2-29
2.9	原稿読み込み中の動作 .....	2-30
	原稿サイズが検知できないときは .....	2-30
	メモリオーバーしたときは .....	2-30
2.10	送信できないときは .....	2-31
2.11	送信を中止する .....	2-32
2.12	通信結果を確認する（ジョブリスト） .....	2-33
	ジョブについて .....	2-33
	ジョブを確認する .....	2-34
<b>第3章</b>	<b>受信する .....</b>	<b>3-1</b>
3.1	いろいろな受信モード .....	3-2
3.2	受信する .....	3-5
	受信時の記録について .....	3-5
	受信できないとき .....	3-6
	受信情報について .....	3-6
3.3	電話を受ける .....	3-7
3.4	ファクス情報サービスを利用する .....	3-8
<b>第4章</b>	<b>トラブル処置 .....</b>	<b>4-1</b>
4.1	送信時のトラブル .....	4-2
4.2	受信時のトラブル .....	4-3
4.3	エラーメッセージが表示された .....	4-4
<b>第5章</b>	<b>仕様 .....</b>	<b>5-1</b>
5.1	仕様 .....	5-2

<b>第 6 章 便利な送信 .....</b>	<b>6-1</b>
6.1 通信メニュー .....	6-2
通信メニューの画面を表示するには .....	6-2
通信メニューの機能一覧 .....	6-3
6.2 発信元情報を付けて送信する .....	6-6
6.3 送信結果をレポートで確認する（結果レポート） .....	6-9
6.4 2枚の原稿を1枚にまとめて送信する（2in1） .....	6-11
6.5 両面原稿を送信する（両面送信） .....	6-12
6.6 A4原稿を横置きで送信する（回転送信） .....	6-14
6.7 他の原稿より先に送信する（優先送信） .....	6-15
6.8 指定時刻に送信する（送信時刻） .....	6-16
6.9 済みスタンプを押す（スタンプ） .....	6-18
6.10 原稿を1枚ずつ送信する（クイック送信） .....	6-20
6.11 パスワードを付けて送信する（パスワード送信） .....	6-21
6.12 部数を指定して送信する（リモートコピー） .....	6-22
6.13 Fコードについて .....	6-24
Fコードとは .....	6-24
Fコード親展通信 .....	6-24
掲示板 .....	6-24
リモートコピー .....	6-24
Fコード設定時のご注意 .....	6-25
6.14 親展ボックスを使う（親展送信） .....	6-26
6.15 掲示板に文書を登録する .....	6-28
掲示板に文書を登録する .....	6-28
他のファクスから掲示板に文書を登録する .....	6-31
6.16 ファクシミリ通信網を使う .....	6-32
ファクシミリ通信網を利用するには .....	6-32
6.17 コンピュータからファクスする（ダイレクトファクス） .....	6-33
メールサーバを経由する場合について .....	6-34
<b>第 7 章 便利な受信 .....</b>	<b>7-1</b>
7.1 パスワードで受信する（パスワード受信） .....	7-2
7.2 掲示板の文書を取出す（リモート取出し） .....	7-3
7.3 親展ボックスを使う（親展受信） .....	7-6
<b>第 8 章 ポーリング .....</b>	<b>8-1</b>
8.1 ポーリング原稿を準備する（ポーリング送信） .....	8-2
8.2 受信側からの指示で送信させる（ポーリング受信） .....	8-4
<b>第 9 章 登録／設定する .....</b>	<b>9-1</b>
9.1 ファクス登録画面を表示する .....	9-2

1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
9.2	ワンタッチを登録する ..... 9-3 ワンタッチキーにファクス番号を登録する ..... 9-3 Fコードを登録するとき ..... 9-7 通信速度を設定するとき ..... 9-9 ワンタッチを変更する／削除する ..... 9-10 ワンタッチキーをコピーする ..... 9-11 サブ相手先を登録／削除する ..... 9-12
9.3	ワンタッチキーのインデックスを登録する ..... 9-14 インデックスを登録する ..... 9-14 インデックスを変更する／削除する ..... 9-15
9.4	プログラムキーを登録する ..... 9-17 送信プログラムを登録する ..... 9-17 ポストプログラムを登録する ..... 9-20 ポーリング受信プログラムを登録する ..... 9-23 プログラムを変更する／削除する ..... 9-25
9.5	掲示板を設定する ..... 9-26
9.6	親展ボックスを設定する ..... 9-30
第 10 章 設定メニュー ..... 10-1	
10.1	設定メニューの概要 ..... 10-2 登録・設定項目一覧表 ..... 10-2
10.2	ユーザチョイスを設定する（ユーザチョイス） ..... 10-9 BIN割当て ..... 10-10 優先画面 ..... 10-11
10.3	ファクス登録を設定する ..... 10-12
10.4	ユーザ保守を設定する（ユーザ保守） ..... 10-13 音の設定 ..... 10-14 プリント処理 ..... 10-14
10.5	管理者保守画面を表示させるには（管理者保守） ..... 10-15
10.6	設定できる項目 ..... 10-17 管理者保守 1 ..... 10-17 管理者保守 2 ..... 10-18
10.7	発信元名やレポートの言語を設定する（言語設定） ..... 10-19
10.8	電話番号を登録する（自局電話番号情報） ..... 10-20
10.9	名前を登録する（発信元名） ..... 10-24 発信元の登録 ..... 10-24
10.10	受信側で表示される ID を登録する（自局 ID） ..... 10-26
10.11	ワンタッチを変更禁止にする ..... 10-27
10.12	送信に関する設定をする（送信設定） ..... 10-28 画質／モードの設定 ..... 10-28 通信メニューの設定 ..... 10-30 リダイアルの設定 ..... 10-33
10.13	受信文書のプリント時期を設定する（受信設定） ..... 10-35

時刻指定 .....	10-35
プリント制御パスワードの設定 .....	10-36
手動でプリントをする .....	10-38
10.14 親展ボックスを削除する .....	10-40
10.15 ナンバーディスプレイを利用する .....	10-42
ナンバーディスプレイ機能 .....	10-43
ナンバーディスプレイ番号表示 .....	10-43
着信拒否登録 .....	10-43
10.16 ダイアルインを利用する .....	10-45
ダイアルイン機能を設定する .....	10-46
電話専用の電話番号を登録する .....	10-46
10.17 着信方式と呼出し回数を設定する（受信機能） .....	10-47
着信方式の設定 .....	10-48
着信回数の設定 .....	10-48
10.18 通信パスワードを登録する .....	10-49
10.19 レポート出力に関する設定をする（レポート設定） .....	10-51
結果レポートの設定 .....	10-51
通信管理レポートの設定 .....	10-52
10.20 送信文書を設定した宛先に転送する（管理者転送） .....	10-54
10.21 文書を受信したときの処理のしかたを設定する（文書管理） .....	10-56
回線ごとに受信した文書の処理を設定する .....	10-56
Fコードで受信した文書の処理を設定する .....	10-59
ダイアルインで受信した文書の処理を設定する .....	10-63
ナンバーディスプレイで受信した文書の処理を設定する .....	10-66
その他受信した文書の処理を設定する .....	10-70
10.22 自装置ドメインを設定する .....	10-73
10.23 ゲートウェイ送信を設定する .....	10-75
10.24 機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW） .....	10-77
ソフトウェア DIPSW .....	10-77
ソフトウェア DIPSW 変更の手順 .....	10-78
スタンプ、パスワード照合に関する指定をする（モード 000） .....	10-80
原稿の宛名付けに関する指定をする（モード 001） .....	10-81
メモリクリアレポートと順次同報送信時のレポート出力のしかたを指定する（モード 002） .....	10-82
転送受信に関する指定をする（モード 003） .....	10-83
不達文書の保存時間を指定する（モード 004） .....	10-84
一般加入電話回線に関する指定をする（モード 006） .....	10-85
長めの原稿を受信したときの対応を指定する（モード 007） .....	10-86
受信プリント時の記録紙選択に関する指定をする（モード 008） .....	10-88
一般加入電話回線（ポート 2）に関する指定をする（モード 011） .....	10-89
同報送信時の設定確認画面に関する指定をする（モード 014） .....	10-89
自動受信の音声応答に関する指定をする（モード 015） .....	10-90
外付け電話機および受信日時記録の有無と方法に関する指定をする（モード 016） .....	10-91
ナンバーディスプレイ表示に関する指定をする（モード 017） .....	10-92
ダイアル入力と同報送信を制限する（モード 018） .....	10-93

結果レポートの画像に関する指定をする（モード 023） .....	10-93
リモートコピーのプリント部数制限を指定する（モード 028） .....	10-94
ファクス受信の機能に関する指定をする（モード 030） .....	10-95
ファクス受信のカセット選択に関する指定をする（モード 037） .....	10-96
電話優先モードの着信音に関する指定をする（モード 070） .....	10-97
管理者転送に関する指定をする（モード 198） .....	10-98
相手機確認送信に関する指定をする（モード 200） .....	10-99
自動着信呼出回数（ポート 2）に関する指定をする（モード 249） .....	10-100
指定以外の相手先からの受信を拒否する（モード 306） .....	10-102
インターネットファクスに関する指定をする（モード 350） .....	10-102
ダイレクト FAX/IP 中継および受信文書転送時の発信元付加に関する指定をする（モード 352） .....	10-103
ダイレクト FAX/IP 中継の通信結果の記載を指定する（モード 368） .....	10-104
自動給紙部を使用したコピー終了時の設定に関する指定をする（モード 429） .....	10-105
通信モードの使用制限をする－1（モード 475） .....	10-106
通信モードの使用制限をする－2（モード 476） .....	10-107
通信モードの使用制限をする－3 / ファクス登録 / レポート出力の設定権限およびワンタッチ表示の有無を指定する（モード 477） .....	10-108
文字入力画面の [削除] キーの削除方式を指定する（モード 478） .....	10-109
ユーザ認証をスキャン機能のみに限定する（モード 479） .....	10-110
<b>第 11 章 PageScope Web Connection を使って設定する .....</b>	<b>11-1</b>
<b>11.1 PageScope Web Connection で設定できる項目 .....</b>	<b>11-2</b>
ファクス / スキャナ登録（ユーザモード） .....	11-2
システム（管理者モード） .....	11-2
ファクス / スキャナ登録（管理者モード） .....	11-3
ネットワーク（管理者モード） .....	11-3
<b>11.2 PageScope Web Connection の使い方 .....</b>	<b>11-4</b>
動作環境 .....	11-4
アクセス方法 .....	11-4
ユーザ認証を行っているときは .....	11-5
画面の構成 .....	11-6
管理者モードへのログイン方法 .....	11-7
Web ブラウザのキャッシュ機能について .....	11-9
<b>11.3 ワンタッチ登録（ユーザモード） .....</b>	<b>11-10</b>
インデックスに名前を付ける .....	11-10
ワンタッチに登録する .....	11-11
サブ相手先を登録する .....	11-14
<b>11.4 ファクスプログラム登録（ユーザモード） .....</b>	<b>11-16</b>
ファクスプログラムを登録する .....	11-16
<b>11.5 システム設定（管理者モード） .....</b>	<b>11-20</b>
<b>11.6 エクスポート／インポート（管理者モード） .....</b>	<b>11-21</b>
エクスポートする .....	11-21
インポートする .....	11-22
<b>11.7 回線の設定（管理者モード） .....</b>	<b>11-25</b>
<b>11.8 発信元登録 .....</b>	<b>11-26</b>

11.9	送信設定（管理者モード） .....	11-27
	送信設定 .....	11-27
	通信モード .....	11-29
11.10	受信設定（管理者モード） .....	11-30
11.11	ファクス設定（管理者モード） .....	11-32
	ナンバディスプレイ .....	11-32
	ダイアルイン .....	11-34
	受信機能 .....	11-35
	パスワード通信 .....	11-36
11.12	文書管理（管理者モード） .....	11-37
	Fコード .....	11-37
	ナンバディスプレイ .....	11-39
	ダイアルイン .....	11-41
	回線ごとに受信した文書の処理を設定する .....	11-43
	その他受信した文書の処理を設定する .....	11-45
11.13	レポート出力設定（管理者モード） .....	11-46
11.14	共通設定（管理者モード） .....	11-47
	TCP/IP .....	11-47
11.15	メール／インターネットファクス（管理者モード） .....	11-50
	その他 .....	11-50
<b>第 12 章 レポートとリスト .....</b>		<b>12-1</b>
12.1	送信の状況を確認する（送信管理レポート） .....	12-2
	送信管理レポートを出力する .....	12-2
	レポートの内容 .....	12-3
12.2	受信の状況を確認する（受信管理レポート） .....	12-5
	受信管理レポートを出力する .....	12-5
	レポートの内容 .....	12-6
12.3	ワンタッチの登録内容を確認する（ワンタッチリスト） .....	12-8
	ワンタッチリストを出力する .....	12-8
	リストの内容 .....	12-9
12.4	プログラム一覧を出力する（プログラム一覧） .....	12-10
	プログラム一覧を出力する .....	12-10
	リストの内容 .....	12-11
12.5	掲示板の文書を確認する（掲示板一覧） .....	12-12
12.6	親展ボックスの登録内容を確認する（親展リスト） .....	12-13
12.7	機能の設定状況を確認する（設定リスト） .....	12-14
	設定リストを出力する .....	12-14
	リストの内容 .....	12-15
<b>第 13 章 付録 .....</b>		<b>13-1</b>
13.1	文字を入力するには .....	13-2
	英数字を入力する .....	13-3
	ひらがなを入力する .....	13-3

カタカナを入力する .....	13-5
漢字を入力する .....	13-5
入力文字一覧 .....	13-7
13.2 スタンプを交換する .....	13-8
13.3 用語集 .....	13-10
13.4 使用別索引 .....	13-14
13.5 項目別索引 .....	13-17

# 送ってみよう（ファクス）

はじめてファクスを送るときの基本的な操作の手順を説明します。

## 原則

ファクス機能を利用する場合は、オプションの FAX キットが必要です。

1

操作パネルの【ファクス / スキャン】を押し、ファクスマードにします。



待機状態でおまかせ画面になっているときは、ファクスの相手先番号または【#】とワンタッチ番号を指定するだけで、ファクスを送信できます。詳しくは、「優先画面」(p. 10-11) をごらんください。

2

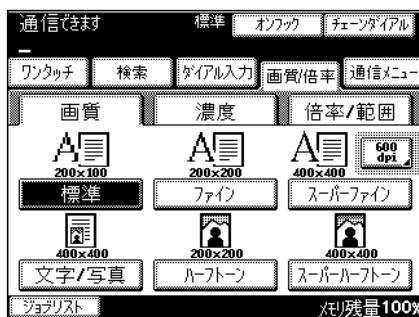
原稿をセットします。

○ 原稿のセットのしかたについては、「原稿をセットする」(p. 2-4) をごらんください。

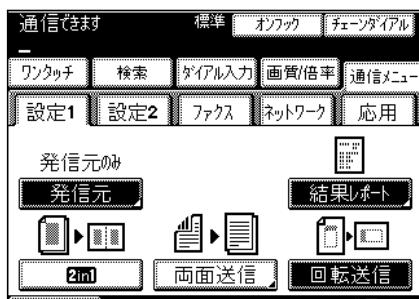
3

必要に応じて機能を設定します。

画質 / 倍率画面



通信メニュー画面



4

[ダイアル入力] を押します。

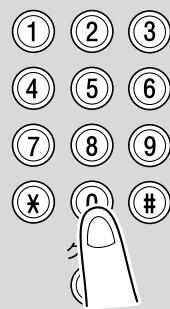


5

テンキーで相手のファクス番号を入力します。



- 誤って入力した場合は、[削除] を押して訂正します。
- 【クリア】を押すと入力した番号がすべて削除されます。



6

操作パネルの【スタート】を押します。



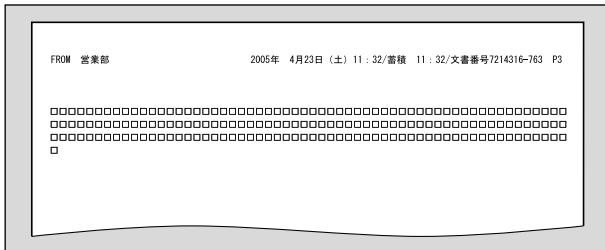
送信できない場合は「送信できないときは」(p. 2-31)をごらんください。



# こんな機能があります

## 発信情報を付けて送る

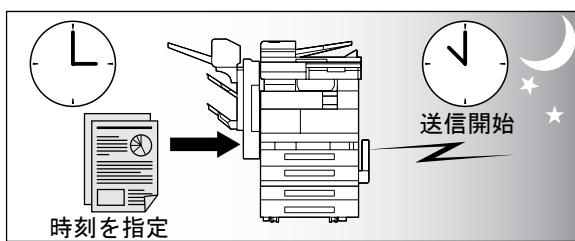
こちらの名前、送信日時、文書番号、ページ番号といつた情報を付けて送信できます。発信者の情報を通知するのに便利です。



詳しくは、p. 6-6 をごらんください。

## 時刻を指定して送る

指定した時刻に通信できます。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。



詳しくは、p. 6-16 をごらんください。

## 1ページ読み取るごとに送る（クイック送信）

原稿を1ページ読み取ると同時にファックス送信を始める方法です。



詳しくは、p. 6-20 をごらんください。

## 海外に送る

通信状態の悪いところへ送信するときに、情報を送る速度（伝送速度）をゆっくりとしたスピードに設定して確実に送信できます。



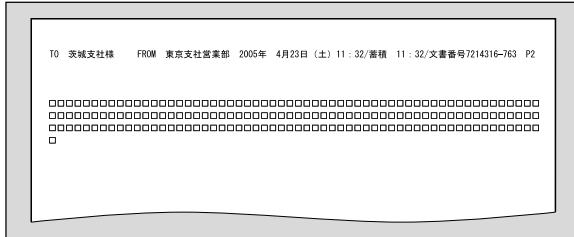
詳しくは、p. 2-15 をごらんください。

## 相手の名前を付けて送る

相手の名前を付けて送信することができます。  
受信側では、誰に宛てたファックスなのかを確認しやすくなります。



詳しくは、p. 6-6をごらんください。

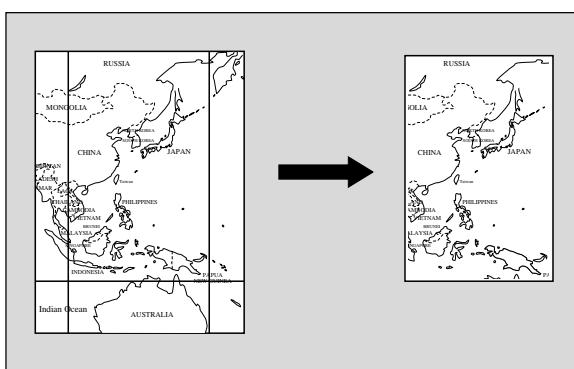


## 原稿を読み込むサイズを指定して送る

読み込むサイズを指定して送信できます。原稿の一部だけを送信したい場合に便利です。



詳しくは、p. 2-11をごらんください。

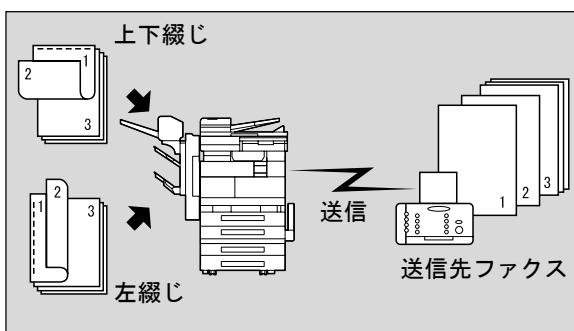


## 両面原稿の綴じ位置を指定する

原稿の綴じ位置を指定し、原稿の裏面の上下関係を補正して送信できます。



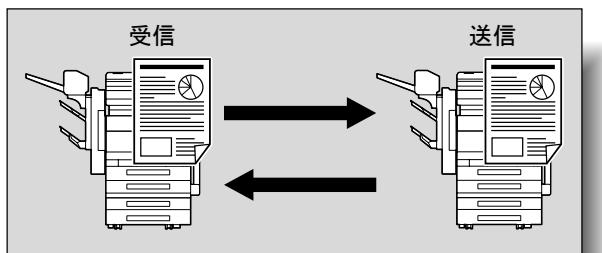
詳しくは、p. 6-12をごらんください。



## こんな機能があります

### 受信側からの指示で送信させる

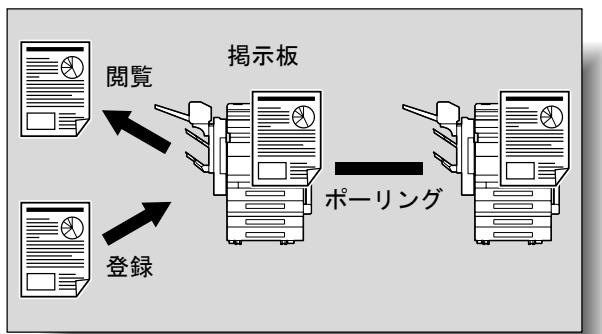
送信側にセットまたは蓄積されている原稿を、受信側からの指示で送信させる機能です。



詳しくは、p. 8-4 をごらんください。

### 文書を指定してポーリングする

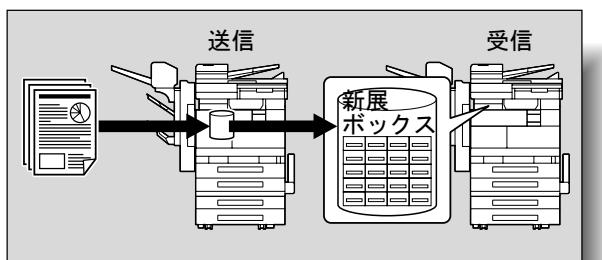
掲示板ボックスに、閲覧させたい文書を蓄積し、ポーリング送信できます。また外部の掲示板からポーリング受信できます。



詳しくは、p. 8-2 をごらんください。

### 親展ボックスを使う

特定の人との間で送受信したい原稿を、親展ボックスを使って通信できます。



詳しくは、p. 6-26 をごらんください。

## パスワードを付けて送る

相手側が閉域通信を設定している場合に、パスワードを付けて送信できます。



詳しくは、p. 6-21をごらんください。

## 拡張スキャナ機能

スキャナユニットにより、さらに以下の機能が利用できます。

- らくらくスキャナ  
拡張スキャナの機能により、ワンタッチボタンで簡単にスキャンし、スキャンしたデータを指定した IP アドレスのパソコンに送ることができます。
- IP アドレス FAX  
社内 LAN に接続されたファクスに、IP アドレスを指定することで LAN 経由で送信できます。電話回線を利用しないので、通信費が節約できます。
- Scan to PC  
ワンタッチボタンで簡単にスキャンし、スキャンしたデータを指定した IP アドレスのパソコンに送ることができます。
- IP 中継  
LAN で接続された中継器を経由してファクス送信できます。
- SIP ファクス  
SIP-FAX アダプタを使用し、読み取った原稿の画像データをインターネットを経由して SIP-FAX 端末（SIP-FAX アダプタ付き MFP 装置）へ送信できます。



詳しくは、添付 CD-ROM 内の「ユーザーズガイド 拡張スキャナ機能編」をごらんください。

### ひとこと

セキュリティ強化モードが設定されている場合は、らくらくスキャナは使用できません。

# ページの見かた

## 原則

機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。

項目タイトルの概要を説明しています。

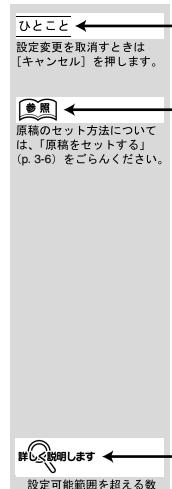
## ひとこと

作業手順や内容に関して、参考となることや補足事項などが書かれています。お読みになることをおすすめします。

### 8-10 画像を重ねてコピーする（オーバレイ）

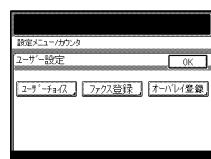
あらかじめ画像をハードディスクに登録しておき、原稿の画像に登録した画像を重ねてコピーできます。

- 原則  
オーバレイ機能はオプションのハードディスク HD-504 を装着している場合にだけ使用できる機能です。
- 1 オーバレイ登録したい原稿をセットします。
  - 2 → 【設定メニュー／カウンタ】を押し、【ユーザ設定】を押します。

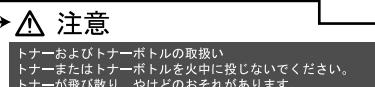


ユーザ設定画面が表示されます。

- 3 → [オーバレイ登録] を押します。



オーバレイ登録画面が表示されます。



#### 必ず守ってください

「トナーがなくなりました」(トナー交換処理メッセージ)が表示されるまではトナーボトルの交換をしないでください。

8-28 | 応用機能

【】  
操作パネル（タッチパネルを除く）のキー名称、電源スイッチなどを示します。

【】  
タッチパネル上のキー名称を示します。

操作の結果をタッチパネルで確認します。



操作上の注意事項です。  
指示内容をよく読んで、必ず行ってください。

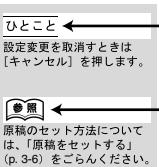
## ⚠ 警告、注意

機械を安全に使用していただくための注意事項です。警告は、表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。注意は、表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を追う可能性または物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

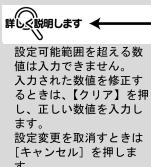
(このページは実際には存在しません。)

## ひとこと

作業手順や内容に関して、参考となることや補足事項などが書かれています。お読みになることをおすすめします。



参考  
原稿のセット方法については、「原稿をセットする」(p.3-6)をごらんください。



#### 詳しく説明します

操作手順や内容に関して、さらに詳しく説明しています。



参考先を指示します。  
必要に応じてごらんください。

# マニュアル体系について

本機には、次のユーザーズガイドが用意されています。

## ■ ユーザーズガイド（コピー機能編）

基本操作、コピー機能の操作について記載しています。

- 設置・取扱の注意事項、電源の入れ方／切り方、用紙補給のしかた、紙づまりなどのトラブル対処のしかたなど、本機の操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

## ■ ユーザーズガイド（ネットワーク／スキャナ機能編）

標準装備のネットワークの設定方法、スキャナ機能の操作について記載しています。

- ネットワーク機能、Scan to E-Mail、Scan to FTP、Scan to SMB、インターネットFAXの使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

## ■ ユーザーズガイド（ボックス機能編）

ボックス機能の操作について記載しています。

- 確認プリント、機密プリントのほか、オプションのハードディスクを利用したボックスへのドキュメント保存、ネット配信など機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

## ■ ユーザーズガイド（SIP ファクス機能編）

SIP ファクス機能の操作について記載しています。

- FAX キットを装着した場合の SIP ファクス機能の使い方を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

## ■ ユーザーズガイド（プリンタ機能編）

標準装着のプリンタコントローラで設定できるプリント機能について記載しています。

- プリンタ機能の使い方を知りたい場合は、User Software CD-ROM 内のユーザーズガイド（PDF データ）をごらんください。

## ■ クイックガイド（プリンタ機能編）

標準装着のプリンタコントローラで設定できるプリント機能について記載しています。

- プリンタ機能の基本的な使い方を知りたい場合は、このクイックガイドをごらんください。

## ■ ユーザーズガイド（拡張スキャナ機能編）

オプションのスキャナユニット装着時に使用できる機能の操作について記載しています。

- IP アドレス FAX、IP 中継、Scan to PC、らくらくスキャナの使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

## ■ ユーザーズガイド（ファクシミリ機能編）<本書>

ファクシミリ機能の操作について記載しています。

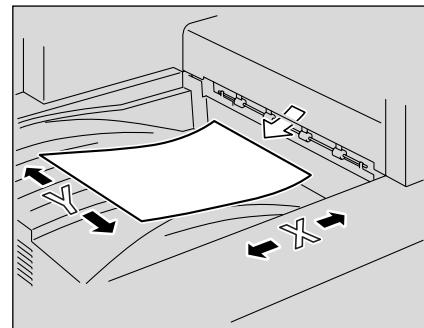
- FAX キットを接続した場合のファクシミリ機能の使い方を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

# 原稿および用紙の呼び方と表示

本文中に出てくる原稿や用紙の呼び方と、その表示について説明します。

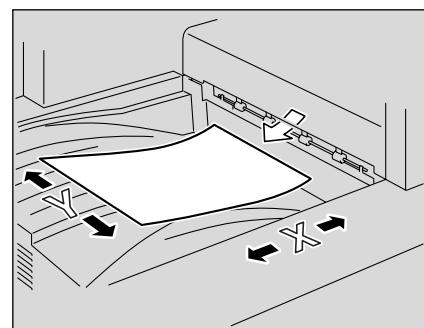
## ■ 幅と長さ

原稿／用紙の大きさを表す場合、Y辺を幅と呼び、X辺を長さと呼びます。

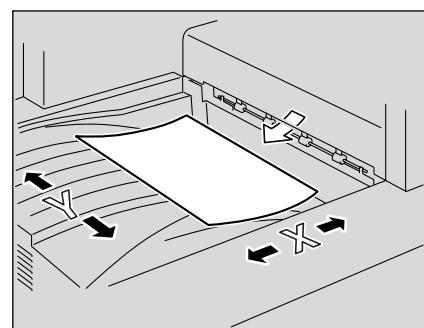


## ■ □と□

幅(Y)よりも長さ(X)のほうが大きいものを□と表示します。



幅(Y)よりも長さ(X)のほうが小さいものを□と表示します。





# 第1章 ご使用いただく前に

---

ご使用いただく前に知っておきたいことについて説明します。

1.1 ご注意 .....	1-2
1.2 各部の名称とはたらき .....	1-3
1.3 操作パネルの使いかた .....	1-6
1.4 はじめに設定してください .....	1-8
1.5 ファクス機能で表示される画面 .....	1-11
1.6 ユーザ認証と部門管理について .....	1-14

# 1.1 ご注意

## ■ 回線について

本機を接続することのできる電話回線は次のとおりです。

- 加入電話回線（ファクシミリ通信網を含む）
- PBX（構内交換機 2 線式）

使用する電話回線について次の項目をご確認ください。

- 外付け電話としてビジネスホンを接続することはできません。
- キャッチホンとの併用はできません。
- お客様のお使いの社内ネットワークなどで、デジタル専用線を多重化している場合は、ファクシミリ通信に以下の制約が生ずる可能性があります。
  - 伝送速度が制限される。
- IP 電話をご利用になっている場合、ADSL 回線等の接続状態やインターネットの接続状態などにより、通話品質の劣化、特にファクスのご利用において通信が正常にできないことがあります。  
IP 電話経由で本機をご利用になり、このような異常が頻繁に起きる場合は、一般加入電話経由でお使いください。  
一般加入電話での使いかたについては、お使いの IP 電話接続機器等の取扱説明書をご覧いただくか、ご利用の IP 電話会社にお問い合わせください。
- VoIP 技術を使用する構内回線で使用される場合には、ファクシミリを接続するために構内交換機側で設定を行う必要があります。
- 國際電話番号（001、0061、0041）の後に、続けて国番号と相手先番号を入力すると、ダイアルの途中で話中となり送信できないことがあります。このようなときは、國際電話番号を入力したあとに [ポーズ] を 2 回押して、約 6 秒の空白時間をおいてから残りの電話番号を入力してください。それでも送信できない場合は、クイック送信を行ってください。

ごくまれに工場出荷時の設定では、通信エラーが発生する場合があります。これらの制約は、多重化装置が音声使用を前提に回線の使用帯域をぎりぎりまで制限しているためです。なお、ネットワークを構成する装置によってもこれらの制約は異なります。詳しくは、お客様がお使いのネットワーク管理者にお問い合わせください。

## ■ オプションについて

本機でファクス機能を利用する場合は、オプションの FAX キット (FK-503) が必要です。  
2 回線を使用した送受信機能を利用する場合は、回線拡張キット (ML-502) が必要です。

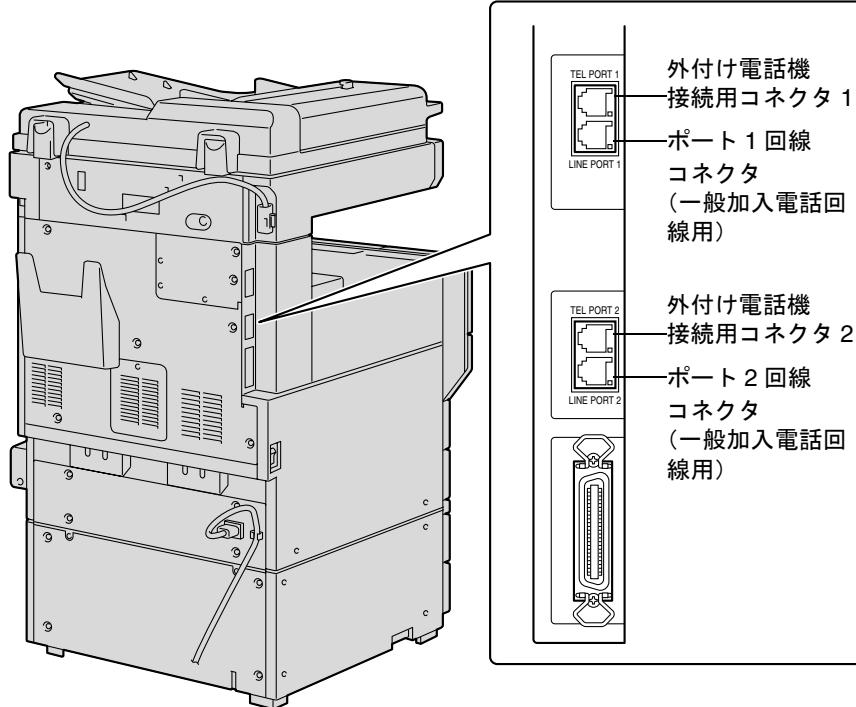
## 1.2 各部の名称とはたらき

外付け電話機は、電話回線の種類に合ったものをお使いください。外付け電話機の種類によっては、ご使用になれない場合があります。

### ■ 原則

ファクス機能を利用する場合は、オプションの FAX キットが必要です。

### ■ 本体背面 (FAX キット FK-503)



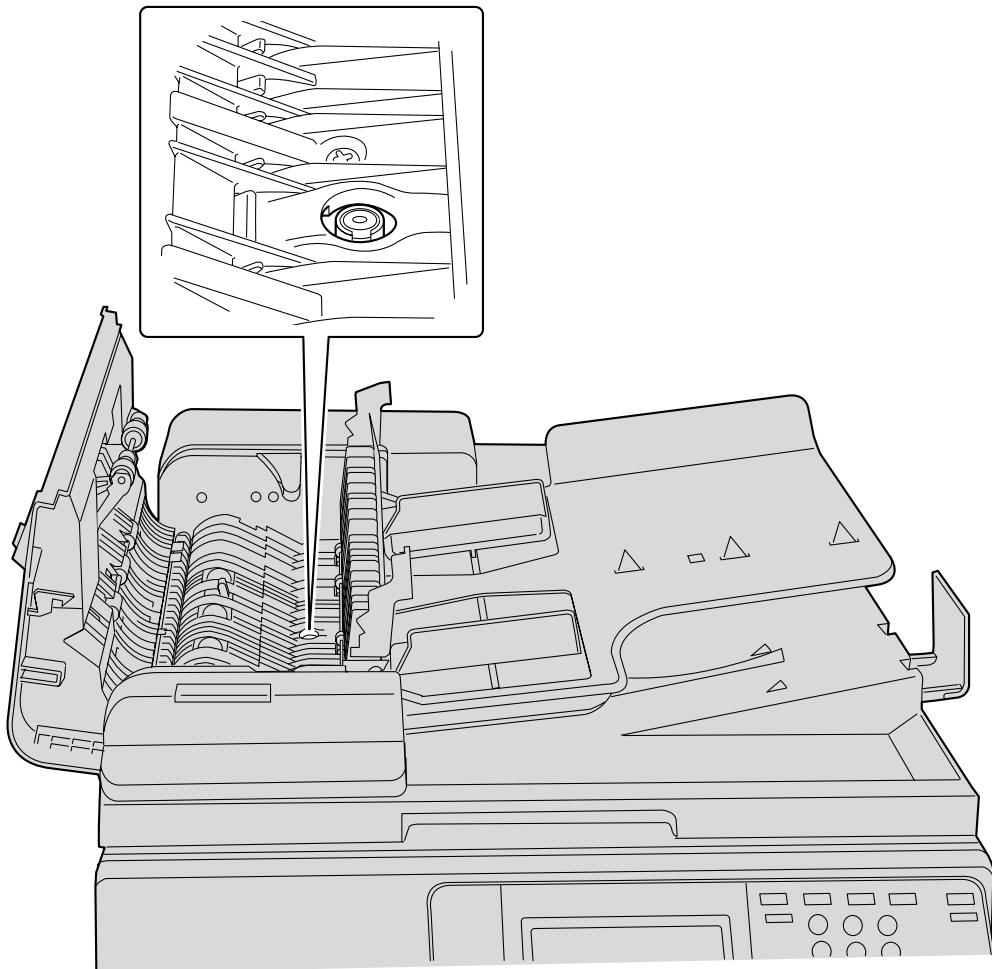
\* 本図は、オプションの回線拡張キット（コネクタ 2/ ポート 2）が装着されている状態です。

## ■ ファックス済みスタンプユニット SP-501

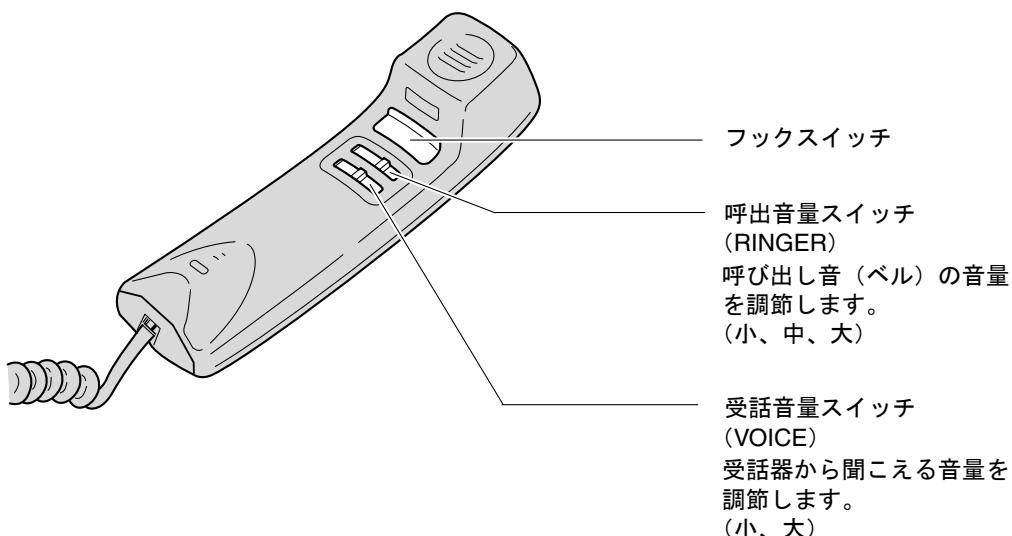
原稿が読み取られたことをスタンプで確認できます。

ADFにのみ装着することができます。

スタンプが薄くなったら、オプションの交換用スタンプと交換してください。

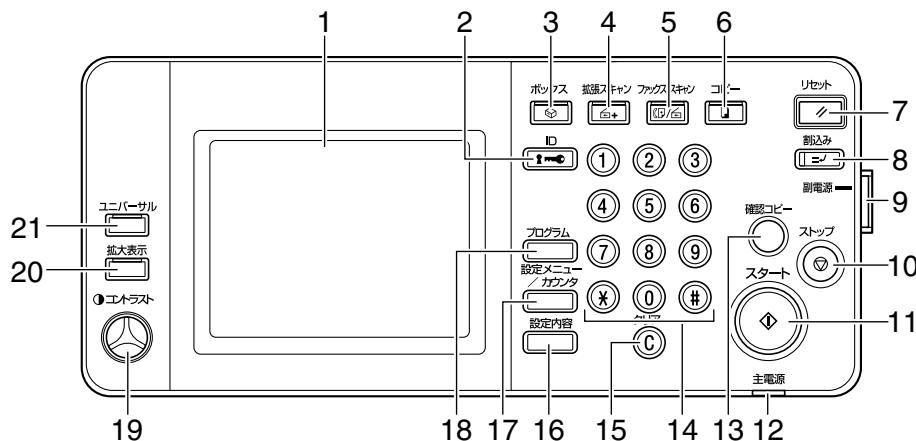


## ■ ハンドセット HS-501



# 1.3 操作パネルの使いかた

## ■ 操作パネル



No	名称	説明
1	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。 タッチパネルに直接タッチして各設定を行います。
2	IDキー	ユーザ認証および部門管理を設定している場合、ユーザー名とパスワード（ユーザ認証）、部門名とパスワード（部門管理）を入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。
3	ボックスキー	ボックス機能に切換わります。 ボックス機能中は【ボックス】が緑色に点灯します。 詳しくは「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
4	拡張スキャンキー	拡張スキャン機能に切換わります。 拡張スキャン機能中は【拡張スキャン】が緑色に点灯します。 詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」および「ユーザーズガイド 拡張スキャナ機能編」をごらんください。
5	ファクス／スキャンキー	ファクス／スキャン機能に切換わります。 ファクス／スキャン機能中は【ファクス／スキャン】が緑色に点灯します。 ファクス機能については本書を、スキャン機能については、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」、IP アドレス FAX、IP 中継、Scan to PC については、「ユーザーズガイド 拡張スキャナ機能編」を、SIP ファクスについては、「ユーザーズガイド SIP ファクス機能編」をごらんください。
6	コピーキー	コピー機能に切換わります。コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。 詳しくは「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

No	名称	説明
7	リセットキー	操作パネル、またはタッチパネルで入力したすべての設定（登録した設定は除く）がリセットされます。
8	割込みキー	割込み機能に切換わります。割込み機能中は【割込み】が緑色に点灯し、タッチパネルに「割込み中です」と表示されます。割込み機能中に【割込み】を押すと割込み機能は解除されます。
9	副電源スイッチ	操作パネルの電源をON/OFFします。OFFのときは節電状態となります。
10	ストップキー	ファクス機能が選択されているとき、ファクス通信中に【ストップ】を押すと、ファクス通信が一時停止します。
11	スタートキー	各ボックス、ファクス、スキャン、コピーの選択されているモードの動作を開始するときに押します。ファクスマードが選択されているときは、ファクス通信を開始します。本機が動作を開始できる状態のときは【スタート】が緑色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときは動作を開始できません。
12	主電源ランプ	主電源がONのときに緑色に点灯します。
13	確認コピーキー	複数部数のコピーを行うとき、先に1部だけプリントして仕上りを確認できます。ファクス機能では使用しません。
14	テンキー	数字を入力します。電話番号、データの登録時に使用できます。部数、倍率、各種の設定値を入力します。
15	クリアキー	テンキーで入力した数値（電話番号、部数、倍率、サイズなど）が取消されます。
16	設定内容キー	各設定の確認画面に切換わります。
17	設定メニュー / カウンタキー	設定メニュー画面、カウンタ画面に切換わります。
18	プログラムキー	目的のコピーの設定を登録（書込み）したり、登録したコピープログラムを呼出してコピーできます。ファクス機能では使用しません。
19	コントラスト調整ダイアル	タッチパネルのコントラストを調整します。
20	拡大表示キー	拡大表示機能に切換わります。
21	ユニバーサルキー	ユニバーサル機能の設定画面に切換わります。詳しくは「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。



タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。  
タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

## 1.4 はじめに設定してください

### ■ 設定が必要な項目

本機の設置が終了したら、ファクス機能を使うために、次の項目を設定します。これらの項目が正しく登録されていないと、ファクス通信できない場合があります。必ず登録してください。

- 日付時刻設定：日付と時刻を設定します。
- 自局電話番号情報：本機のファクス番号や回線種別を設定します。
- 発信元登録：発信元の名前を登録します。
- 着信方式：自動着信するか手動着信するかを設定します。

#### 日付時刻設定

- 日時設定

現在の日時を設定します。

- タイムゾーン

世界の地域別標準時間帯を設定します。日本国内の場合  
は+09:00が標準です。

#### 自局電話番号情報

- 自局電話番号

こちらの電話番号（自局電話番号）を登録します。自局電話番号は、相手先にこちらの電話番号を通知するときに利用されます。

- PBX接続モード（内外線選択）

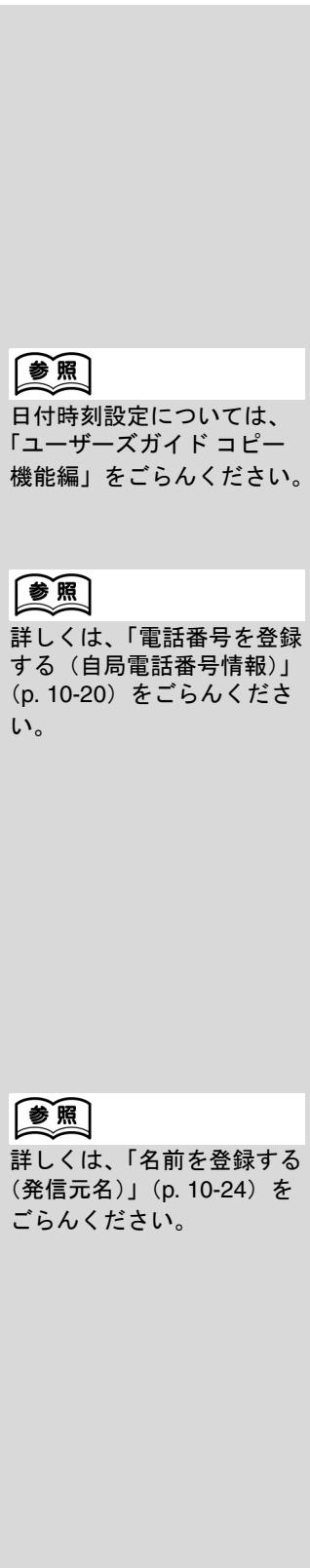
PBX（構内交換機）に接続して使用すると正しくファクス通信できないことがあります。PBX（構内交換機）を介して、一般加入電話回線でお使いになるときに設定します。

- ダイアル方式（回線種別）

お使いの電話回線に合わせ、回線種別を設定します。回線種別には、プッシュ回線（PB）とダイアル回線（DP10pps、DP20pps）があります。お使いの回線種別と本機の設定を合わせないとファクス送信できません。

#### 発信元登録

発信元名は、漢字、英数カナで表す本機の名前のことで、送信した原稿の先端に発信元記録の一部として記録されます。漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号を使い、40文字以内で最大8個まで登録できます。



日付時刻設定については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。



詳しくは、「電話番号を登録する（自局電話番号情報）」(p. 10-20)をごらんください。



詳しくは、「名前を登録する（発信元名）」(p. 10-24)をごらんください。

## 着信方式

自動受信、手動受信の種別を選択します。

自動受信する場合は自動受信に設定します。外付け電話を接続している場合などで電話がかかる機会が多い場合や、リモート受信機能を使いたい場合には、手動受信に設定します。



- 詳しくは、「着信方式と呼出し回数を設定する（受信機能）」(p. 10-47) をごらんください。
- オプションのハンドセットを使用しているときは、自動受信でFAX優先／電話優先を、手動通信で電話専用／留守電接続を選択できます。詳しくは、「いろいろな受信モード」(p. 3-2) をごらんください。

## ■ 設定しておくと便利な機能

ファクス機能をより使いやすくするために、次の項目を設定します。

- ワンタッチ：送信先のダイアルを短縮キーに登録します。
- プログラム：送信先と通信条件をプログラムキーに登録します。
- 優先画面：待機時に優先して表示する機能の画面を設定します。

### ワンタッチ

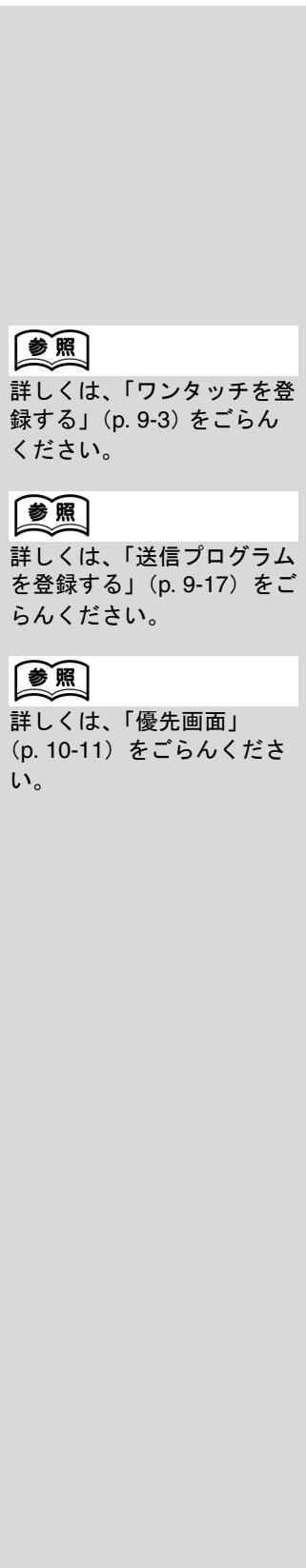
540 件までの電話番号を登録できます。キーを押すだけで送信先を指定できるので便利です。

### プログラム

30 件までの送信条件を登録できます。キーを押すだけで送信先と送信条件を指定できるので便利です。

### 優先画面

待機時に優先して表示する画面を「コピー」「ファクス」「おまかせ」で設定します。「おまかせ」に設定するとコピー、ファクスどちらでも利用できるので便利です。



詳しくは、「ワンタッチを登録する」(p. 9-3) をごらんください。



詳しくは、「送信プログラムを登録する」(p. 9-17) をごらんください。



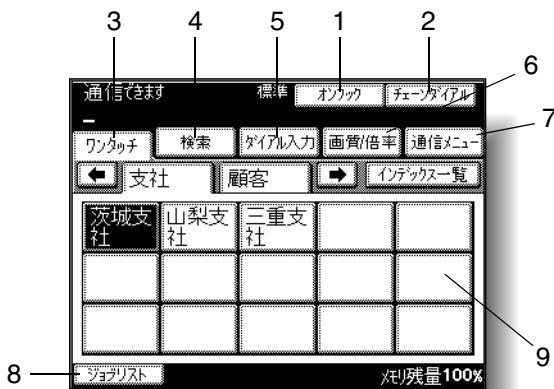
詳しくは、「優先画面」(p. 10-11) をごらんください。

## 1.5 ファクス機能で表示される画面

### ■ ファクス画面

【ファクス / スキャン】を押すと、ファクス画面が表示されます。

ファクス画面には、[ワンタッチ]、[検索]、[ダイアル入力]、[画質 / 倍率]、[通信メニュー] があり、設定別に分けられています。



待機時にファクス画面を表示しておくことができます。また、ファクス画面で最初に表示される機能も設定できます。詳しくは、「優先画面」(p. 10-11)をごらんください。

番号	名称	説明
1	オンフック	オプションのハンドセットを装着しているとき、ハンドセットを置いたままで通信します。
2	チェーンダイアル	複数のワンタッチダイアルを組み合わせて、相手先を呼び出します。
3	ワンタッチ	ワンタッチキーを指定します。 ワンタッチ画面はインデックスキーにより 36 画面に分かれています、相手先は 540 件まで登録できます（インデックスの 1 画面につき 15 件まで登録可能）。 ファクスプログラムキーは、枠付きのキーで表示されます。サブ相手先が登録されているワンタッチキーは、キーの右上に「S」マークが表示されます。
4	検索	ワンタッチキーに登録した送信先を検索します。 ワンタッチ検索画面を表示するには、ワンタッチキーの登録が必要です。ワンタッチの登録の仕方について詳しくは、「第 9 章 登録／設定する」(p. 9-1) をご覧ください。
5	ダイアル入力	送信先のファクス番号を直接入力します。
6	画質 / 倍率	ファクスを送るときの画質、濃度、倍率などを設定します。

番号	名称	説明
7	通信メニュー	各種通信機能を設定します。
8	ジョブリスト	プリント待ち文書、通信結果および掲示板や親展ボックスに保存されている文書を確認します。
9	設定画面	選択した機能に応じた設定画面が表示されます。

## ■ おまかせ画面

ファクスとコピーの使い分けを気にせずに使える待機画面です。優先画面設定で「おまかせ画面」が設定されているときに表示されます。



優先画面設定については  
「優先画面」(p. 10-11)をご  
らんください。



番号	名称	説明
1	ワンタッチキー	ワンタッチキーの1～4に登録された送信先とコピープログラムの1が表示されます。
2	ジョブリスト	プリント待ち文書、通信結果および掲示板や親展ボックスに保存されている文書を確認します。

- テンキーで 4 桁以上の数字、または「0」、「\*」、「#」で始まる数字を入れて【スタート】を押すと、電話番号と判断してファクスの送信が開始されます。「0」、「\*」、「#」以外で始まる 3 桁以下の数字を入れたときは、コピー部数と判断してコピーが開始されます。
- 【コピー】を押すと、コピー画面が表示されます。コピー機能の指定をするときは、【コピー】を押してください。
- 【ファクス / スキャン】を押すと、ファクス画面が表示されます。ファクス機能の指定をするときは、【ファクス / スキャン】を押してください。

## ■ タッチパネル内で表示されるアイコンについて

アイコン	内容
	ダイアル中であることを示します。
	リダイアル待ちであることを示します。
	ファクス原稿の読み取り中であることを示します。
	ファクス受信中であることを示します。
	ファクス送信中であることを示します。
	ポーリング待ちの文書があることを示します。
	掲示板に文書が登録されていることを示します。
	プリント中であることを示します。
	プリント中にプリントが停止したことを示します。
	プリント待ちであることを示します。
	手動受信モードになっていることを示します。
	ボックスに受信文書があります。

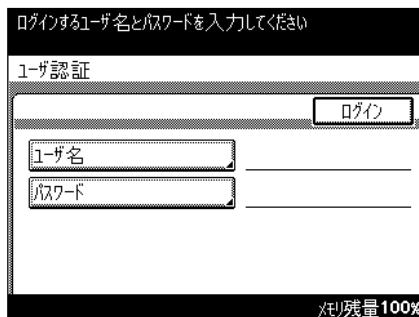
### ひとこと

- ・ソフトウェア DIPSW でダイアル入力による指定が制限されている場合、「0」「\*」「#」を押しても判断されません。【ファクス / スキャン】を押して【ワンタッチ】で送信先を指定してください。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をご覧ください。
- ・ソフトウェア DIPSW でスキャン機能のみのユーザ認証が設定されている場合、おまかせ画面は表示されません。

## 1.6 ユーザ認証と部門管理について

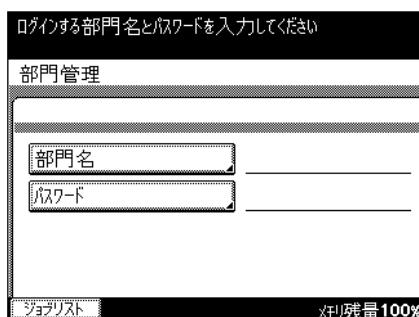
本機を使用するときに、ユーザ名、部門名、パスワードを入力するように設定されている場合があります。表示された画面で、必要な情報を入力すると、通常の画面が表示されます。部門名やユーザ名は管理者に確認してください。

ユーザ認証が設定されている場合



ユーザ認証と部門管理については、「ユーザーズガイド  
コピー機能編」をごらんください。

部門管理が設定されている場合



## 第2章 送信する

---

ファクス送信の操作について説明します。

2.1 操作の流れ	2-2
2.2 原稿をセットする	2-4
2.3 原稿ガラスで原稿を送るには	2-7
2.4 送信条件を設定する	2-9
2.5 送信先を指定する	2-15
2.7 通話後に送信する（手動送信）	2-28
2.8 ワンタッチやダイアルを組合わせる（チェーンダイアル）	2-29
2.9 原稿読み込み中の動作	2-30
2.10 送信できないときは	2-31
2.11 送信を中止する	2-32
2.12 通信結果を確認する（ジョブリスト）	2-33

## 2.1 操作の流れ

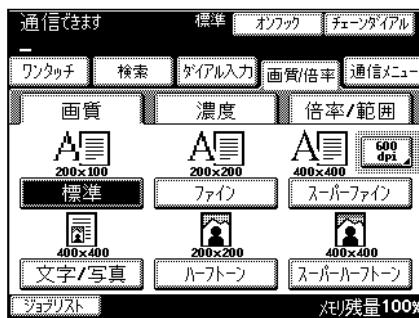
ファクスを送るときの操作の流れを説明します。ここでは、片面の原稿を ADF で読み込んで送信する基本的な操作を例に説明します。

1

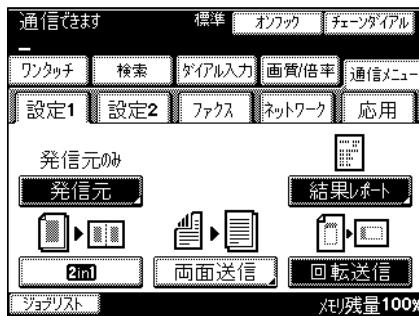
【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。

2

【画質 / 倍率】や【通信メニュー】で機能を設定します。



- 【画質 / 倍率】の設定については、「送信条件を設定する」(p. 2-9)をごらんください。
- 【通信メニュー】の設定については、「第 6 章 便利な送信」(p. 6-1)をごらんください。



3

送信先のファクス番号を指定します。

○ 送信先の指定には、次の方法があります。

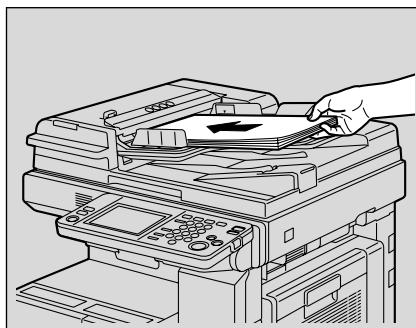
- ・ダイアル入力
- ・ワンタッチ
- ・プログラム



- 送信先の指定方法については、「送信先を指定する」(p. 2-15)をごらんください。
- 意図しない相手への誤送信を防止することができます。詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。

4

送信する面を上にして原稿をセットします。



原稿のセット方法については、「原稿をセットする」(p. 2-4)をごらんください。

5

【スタート】を押します。

原稿の読み込みが始まり、送信されます。



原稿が複数枚の場合は、メモリに蓄積しながら送信するので、原稿の読み取りが高速です。



- 送信を中止する場合は、【ストップ】を押します。詳しくは「送信を中止する」(p. 2-32)をごらんください。
- 送信できなかった場合は、通信結果レポートが出力されます。詳しくは「送信できないときは」(p. 2-31)をごらんください。

## 2.2 原稿をセットする

本機では、ADFと原稿ガラス上に原稿をセットできます。ADFに原稿をセットすると、自動的にADFから読み込まれます。

### ■ ADFに原稿をセットする

ADFを使用すると、複数枚の原稿を自動的に読み込むことができます。また、両面原稿を送信することもできます。

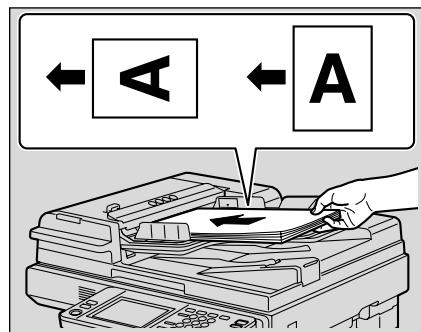
1

ADFを閉じます。

2

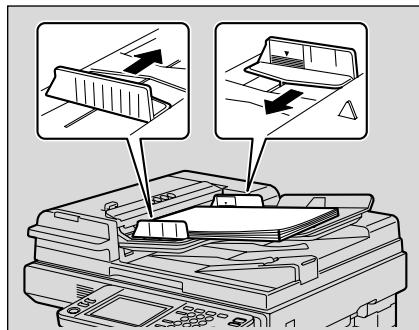
送信する面を上にして原稿をセットします。

- 原稿の天部（上側）が奥側、または右側になるようにします。
- 原稿の先が突き当たるまで、軽く差し込みます。原稿を差し込むと音が鳴ります。



3

原稿セットガイドを原稿のサイズに合わせます。



#### 必ず守ってください

- クリップやステープルなどでとじられた原稿は、絶対にセットしないでください。
- 原稿は80枚または▼マークを超えてセットしないでください。原稿詰まりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。
- 原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿詰まりや原稿破損の原因となります。

## ■ 原稿ガラス上に原稿をセットする

1

オリジナルカバーまたはADFを開きます。

### ■ 原則

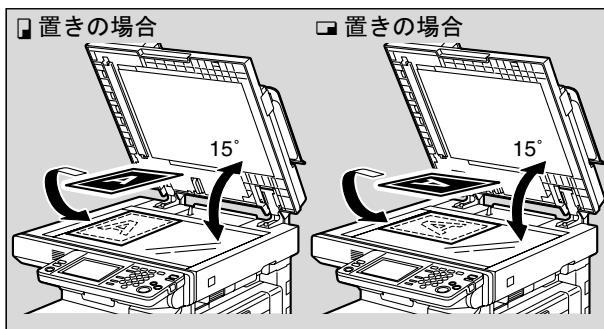
原稿をセットするときは、必ずオリジナルカバーまたはADFを15°以上開いてください。

15°以上開けずに原稿をセットすると原稿のサイズを検出できない場合があります。

2

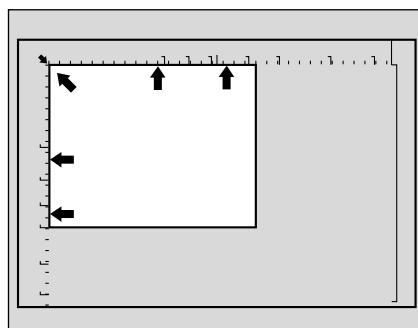
送信する面を下にして原稿を原稿ガラス上に置きます。

- 原稿の天部（上側）が奥側、または左側になるようになります。



3

原稿スケール左奥側の◆マークに合わせて原稿をセットします。



### 必ず守ってください

- 原稿ガラス上には2kgを超えるような重い原稿は載せないでください。また本の見開き原稿などをセットする場合、強い力で上から押さえつけないようしてください。故障の原因となります。
- ぶ厚い本や立体物の場合は、オリジナルカバーまたはADFを閉じずに読み込んでください。読み込むとき、光が漏れることがありますので、原稿ガラス面を直視しないようにしてください。ただし、漏れ出る光はレーザー光線ではありませんので、レーザーの危険にさらされることはできません。

## 2.2 原稿をセットする

次のような原稿では、サイズの検出が正しくできない場合があります。この場合、サイズをあらかじめ指定してお使いください。詳しくは「倍率/範囲」(p. 2-11)をごらんください。

地の色が濃い原稿

OHP、トレーシングペーパー等、裏が透けて見える原稿

異形原稿、細長い原稿、矩型でない原稿

小さい原稿 (A5 (210 mm × 148 mm) 以下)、大きい原稿 (A3 (420 mm × 297 mm) 以上)

原稿の上下左右 10 mm は、読み取りできことがあります。

A3、B4 の原稿を送信すると、相手機の受信記録紙サイズに合わせて自動的に縮小して送信されます。A3、B4 の原稿を原寸で送信したいときは、ファックス送信の倍率を縮小禁止に指定します。詳しくは「倍率/範囲」(p. 2-11)をごらんください。

4

オリジナルカバーまたは ADF を閉じます。

## 2.3 原稿ガラスで原稿を送るには

複数枚の原稿を、原稿ガラス上を使って送信することができます。

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。

2

必要に応じて機能を設定します。

3

宛先を指定します。

4

原稿ガラス上に原稿をセットします。

5

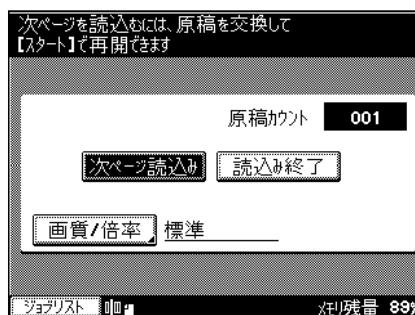
【スタート】を押します。

1枚目の原稿が読み込まれます。

6

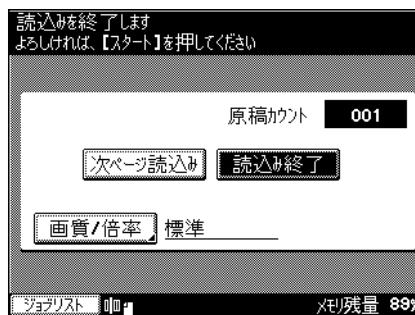
2枚目の原稿をセットし、[次ページ読み込み] が選ばれている状態で【スタート】を押します。

2枚目の原稿が読み込まれます。続けて3枚目、4枚目を読み込みます。



7

すべての原稿を読み込んだあと、[読み込み終了] を押します。



2

詳しく説明します

- 手順 6 を繰り返して、すべての原稿を読み込みます。
- 画面右下の「メモリ残量」表示で、メモリの残量が確認できます。
- 読み込んだデータを削除したいときは、【ストップ】を押して、ジョブの削除を行ってください。詳しくは、「送信を中止する」(p. 2-32)をごらんください。

8

【スタート】を押します。

送信が始まります。



- 送信を中止する場合は、  
【ストップ】を押します。  
詳しくは「送信を中止す  
る」(p. 2-32) をごらんく  
ださい。
- 送信できなかつた場合は、  
通信結果レポートが出力  
されます。詳しくは「送  
信できないときは」(p. 2-  
31) をごらんください。

## 2.4 送信条件を設定する

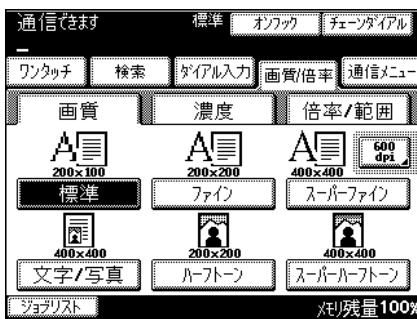
ファックス画面の【画質 / 倍率】を押すと、【画質】、【濃度】、【倍率 / 範囲】が表示され、送信する原稿に合わせて送信条件を設定できます。

1

【ファックス / スキャン】を押し、ファックス画面を表示します。

2

【画質 / 倍率】を押します。



3

設定したい機能のキー（【画質】、【濃度】、【倍率 / 範囲】）を押します。

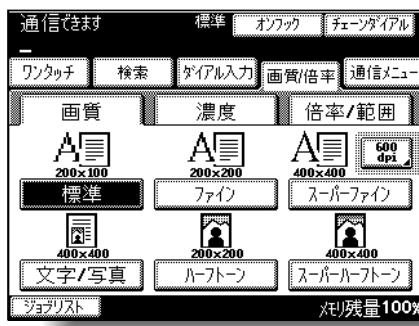


- 送信条件はページ単位で設定できません。
- 送信条件の設定は、1回通信するごとに元の状態にもどります。

## 2.4 送信条件を設定する

### ■ 画質

原稿の内容に応じて画質を設定します。

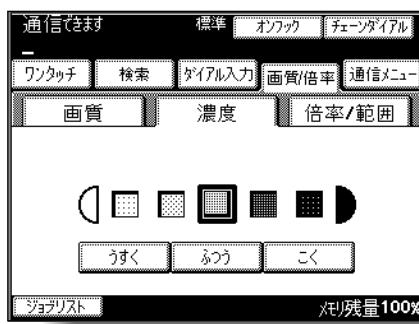


原稿画質は、次の6種類があります。原稿の内容に合わせて指定します。

原稿の内容	画質の指定
普通の文字（手書き文字など）	[標準]
小さい文字（新聞など）、精密図	[ファイン] [スーパーファイン]
濃淡のあるもの（写真など）と文字があるとき	[文字/写真]
濃淡のあるとき（写真など）	[ハーフトーン] [スーパーハーフトーン]

### ■ 濃度

原稿の内容に応じて画質を設定します。



5段階の調整ができます。

[こく]を押すごとに濃度が1段階ずつ増し、[うすく]を押すごとに濃度が1段階ずつ薄くなります。



受信側の機種によっては、スーパーファイン、スーパーハーフトーン、文字/写真の指定で送信できないことがあります。その場合は、自動的にファインまたはハーフトーンで送信します。

ハーフトーン、スーパー ハーフトーン、文字/写真を指定すると、原稿サイズが受信側の記録紙より大きい場合や受信側の能力によっては、画質が劣化することがあります。

文字/写真で送信した場合、原稿によっては、写真部分に縞模様が発生することがありますが、故障ではありません。縞模様が気になる場合は、ハーフトーンまたはスーパー ハーフトーンで送信してください。

#### ひとこと

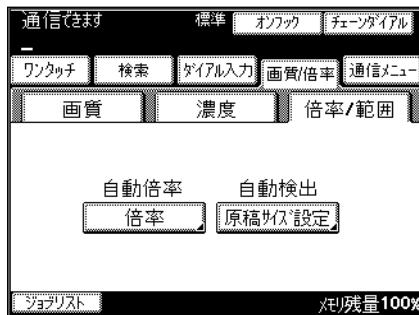
出荷時設定では、[標準]に設定されています。

#### ひとこと

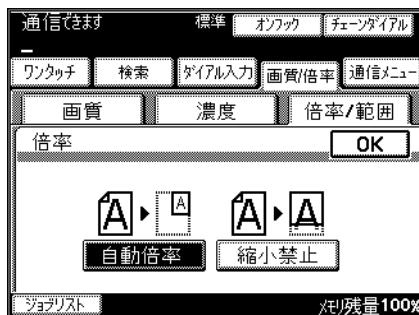
出荷時設定では、真ん中の3段目の濃度に設定されています。

## ■ 倍率 / 範囲

原稿の倍率や原稿サイズ設定を設定します。それぞれ [倍率]、[原稿サイズ設定] を押して設定します。



### 倍率



[自動倍率] を選ぶと、自動的に受信側の用紙サイズに合わせて送信します。

[縮小禁止] を選ぶと、受信側の用紙サイズに合った大きさを切り出し、原寸で送信します。

### 原稿サイズ設定



原稿を読みませたい範囲のサイズと向きに合わせ、キーを押します。

[自動検出] を押すと、原稿の大きさに合わせ、自動的に一番近いサイズが設定されます。

ただし、A4 幅より小さい原稿の場合は、A4 幅となります。

### 詳しく説明します

B4 サイズより小さい原稿を送信するときは、通常、原寸で送信します。

B4 サイズ以上の原稿は、送信先の用紙サイズによって縮小するか（自動倍率）、縮小しないか（原寸で送りたい）選んでください。

### ひとこと

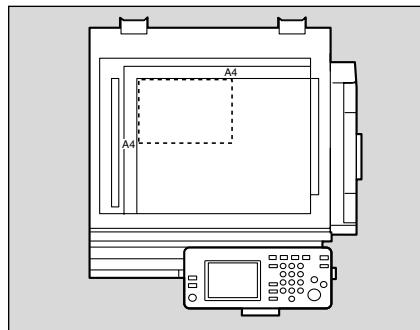
- 出荷時設定では、[自動倍率] に設定されています。
- 受信側の機種によっては、受信後に縮小してプリントされることもあります。

### ひとこと

- 出荷時設定では、[自動検出] に設定されています。
- [自動検出] の場合、A4 サイズより小さい原稿の場合は、A4 サイズとなります。

## 2.4 送信条件を設定する

読取る範囲は、原稿ガラスの周囲にあるマークで確認してください。例えばA4を選択すると下の図の点線で囲まれた範囲内の原稿が送信されます。



### ■ 設定状態を確認する

設定内容画面で、現在設定されている機能や宛先を確認できます。

- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。
- 2 送信先を指定し、[画質 / 倍率] や [通信メニュー] で機能を設定します。
- 3 【設定内容】を押します。
- 4 確認したい設定内容のキーを押し、設定内容を確認します。



- 5 [OK] を押し、確認を終了します。

### [相手先] 確認画面

指定した送信先を1画面で4件まで確認できます。4件以上は、[↓] [↑]を押して表示を切換えます。送信先の削除や追加もできます。



送信先の追加については、「送信先を指定する」(p. 2-15)をごらんください。

：ワンタッチダイアルで指定した相手先を示します。

：ダイアル入力で指定した番号を示します。

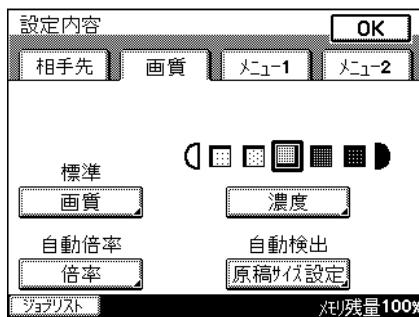
[削除]：選択している送信先を削除します。

[詳細]：選択している送信先の通信モードなどを確認します。

[次の相手先]：送信先を追加します。

### [画質] 確認画面

画質、濃度、倍率および原稿サイズ設定の状態を確認できます。機能のキーを押すと、設定内容を修正できます。

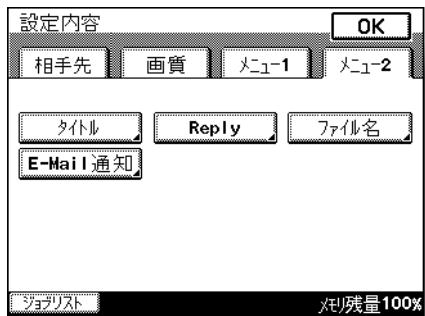
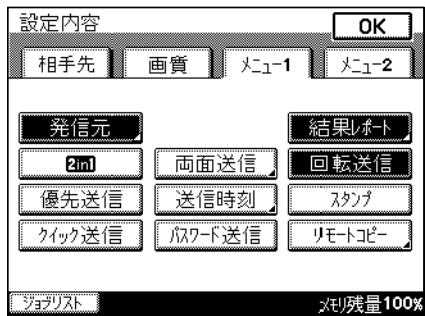


[画質 / 倍率] の設定については、「送信条件を設定する」(p. 2-9)をごらんください。

## 2.4 送信条件を設定する

### [メニュー1] [メニュー2] 確認画面

通信メニューで設定した通信機能の設定を確認できます。設定されている機能のキーが反転表示されています。機能のキーを押すと設定を解除、変更できます。



[通信メニュー] の設定については、「第6章 便利な送信」(p. 6-1)をごらんください。

## 2.5 送信先を指定する

2

送信先を指定する方法には、次の方法があります。

- ダイアル入力：直接ファックス番号を入力します。
- ワンタッチ：ワンタッチキーに登録した送信先を指定します。
- プログラム：プログラムキーに登録した送信先を指定します。
- 検索：ワンタッチキーに登録した送信先を検索します。

### ■ [ダイアル入力] を使う

1

【ファックス / スキャン】を押し、ファックス画面を表示します。

2

[ダイアル入力] を押します。



必要に応じて [画質 / 倍率] や [通信メニュー] で機能を設定します。[画質 / 倍率] の設定については、「送信条件を設定する」(p. 2-9) を、「通信メニュー」の設定については、「第 6 章 便利な送信」(p. 6-1) をごらんください。

#### ひとこと

- ソフトウェア DIPSW でダイアル入力による指定が制限されている場合、ダイアル入力して送信できません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をごらんください。
- ソフトウェア DIPSW で同報送信が禁止されている場合、複数の相手先への送信はできません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をごらんください。

## 2.5 送信先を指定する

3

テンキーで送信先のファクス番号を入力します。

必要に応じてトーン・ポーズを入力します。

- [トーン]：ダイアル（パルス）回線を使用している場合に、プッシュトーンを送出するために押します。ファクス情報サービスを利用する場合などに使用します。画面には [T] が表示されます。
- [ポーズ]：ダイアルに間をあけたいときに押します。[ポーズ] 1回で 1 秒の間隔を入力することができ、繰り返して入力することもできます。画面には [P] が表示されます。
- 【クリア】を押すと、入力した番号がすべて削除されます。
- 複数の送信先を選ぶときは [追加] で続けて指定します。
- [S]：相手機確認送信をしたいときに、[S] を押し特殊文字「S」を入力します。
- 海外へのファクス送信は、場所によっては電話回線の環境が悪く通信エラーになる場合があります。このようなときは、[海外] を押すと、送信スピードを通常より遅くなり届きやすくなります。



- 内線から外線に発信するときは、より確実にダイアルするために、「0」などの外線番号のあとに [ポーズ] を押します。
- 国際電話番号（001、0061、0041）のあとに、続けて国番号とファクス番号を入力すると、ダイアルの途中で話中となり送信できないことがあります。このようなときは、国際電話番号を入力したあとに [ポーズ] を2回押して、約 6 秒の空白時間をおいてください。



相手機確認送信について詳しくは、「相手先を確認してから送信する」(p. 2-26) をごらんください。

4

原稿をセットします。

5

【スタート】を押します。

原稿の読み込みが始まり、送信されます。



- 複数の送信先を選んだときは、ここで確認のため【設定内容－相手先】が表示されます。詳しくは「複数の宛先を指定する（順次同報送信）」(p. 2-22) をごらんください。
- 送信を中止する場合は、【ストップ】を押します。詳しくは「送信を中止する」(p. 2-32) をごらんください。

## ■ [ワンタッチ] を使う

ワンタッチが登録されている場合は、登録されているワンタッチキーを指定してダイアルできます。

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。

2

[ワンタッチ] を押します。



3

目的のワンタッチキーを押します。

指定したキーが反転表示されます。複数の送信先を選ぶときは目的のワンタッチキーをすべて指定します。

4

原稿をセットします。



- あらかじめワンタッチキーに送信先を登録しておきます。詳しくは「ワンタッチを登録する」(p. 9-3)をごらんください。

- 必要に応じて [画質 / 倍率] や [通信メニュー] で機能を設定します。[画質 / 倍率] の設定については、「送信条件を設定する」(p. 2-9) を、[通信メニュー] の設定については、「第 6 章 便利な送信」(p. 6-1) をごらんください。

### ひとこと

ソフトウェア DIPSW で同報送信が禁止されている場合、複数の相手先への送信はできません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をごらんください。



- インデックスのタブ、[←] [→] を押して、目的のワンタッチキーを探してください。
- 送信先を間違えたときは同じキーをもう一度押すと指定が取消されます。

5

【スタート】を押します。

原稿の読み込みが始まり、送信されます。



- 複数の送信先を選んだときは、ここで確認のため【設定内容－相手先】が表示されます。詳しくは「複数の宛先を指定する（順次同報送信）」(p. 2-22)をごらんください。
- 送信を中止する場合は、【ストップ】を押します。詳しくは「送信を中止する」(p. 2-32)をごらんください。

## ■ プログラムを使う

プログラムが登録されている場合は、登録されているプログラムキーを指定してダイアルできます。

送信時の（画質や2in1送信など）をプログラムキーに登録しておくと、そのキーを押すだけで、機能をその都度設定せずに送信することができます。1つのプログラムキーに複数の送信先を登録しておき一度に送信したり、送信時刻を登録しておき毎日決まった時刻に送信したりすることも簡単に行えます。

1

【ファクス／スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。

2

原稿をセットします。

3

【ワンタッチ】を押します。



- あらかじめプログラムキーに送信先と送信設定を登録しておきます。詳しくは「プログラムキーを登録する」(p. 9-17)をごらんください。
- 必要に応じて【画質／倍率】や【通信メニュー】で機能を設定します。【画質／倍率】の設定については、「送信条件を設定する」(p. 2-9)を、「通信メニュー」の設定については、「第6章 便利な送信」(p. 6-1)をごらんください。

## ひとこと

ソフトウェアDIPSWで同報送信が禁止されている場合、複数の相手先が登録されたプログラムキーでの送信はできません。ソフトウェアDIPSWについて詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェアDIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。

4

目的のプログラムキーを押します。

枠の付いたキーがプログラムキーです。



確認のため設定内容－送信画面が表示されます。



5

内容を確認して、【スタート】を押します。

原稿の読み込みが始まり、送信されます。



- インデックスのタブ、  
[←] [→] を押して、目的のプログラムキーを探してください。
- 送信先を間違えたときは同じキーをもう一度押すと指定が取消されます。
- ワンタッチやダイアル入力などで先に他の送信先を指定してある場合はプログラムキーを指定できません。プログラムを指定したあとにワンタッチやダイアル入力を指定することは可能です。



送信を中止する場合は、【ストップ】を押します。詳しくは「送信を中止する」(p. 2-32)をごらんください。



送信時刻指定を登録してあるときは、原稿をメモリに蓄積し、指定した時刻になると送信が開始されます。

## ■ [検索] を使う

検索画面で登録されているワンタッチキーを検索できます。

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。

2

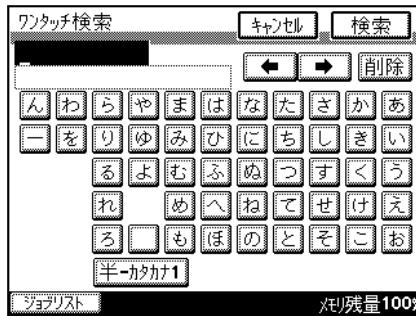
[検索] を押します。



文字入力画面が表示されます。

3

登録されている読み仮名を入力し、[検索] を押します。



該当するワンタッチキーが表示されます。



- あらかじめワンタッチキーに送信先を登録しておきます。詳しくは「ワンタッチを登録する」(p. 9-3)をごらんください。
- 必要に応じて [画質 / 倍率] や [通信メニュー] で機能を設定します。[画質 / 倍率] の設定については、「送信条件を設定する」(p. 2-9)を、[通信メニュー] の設定については、「第 6 章 便利な送信」(p. 6-1)をごらんください。

### ひとこと

[管理者保守 2] の [ネットワーク設定] - [ネットワーク設定 1] - [LDAP 設定] の [LDAP 検索] が [設定可] の場合、[検索] を押すと [ワンタッチ検索] または [LDAP 検索] を選択する画面が表示されます。[ワンタッチ検索] を押すと、文字入力画面が表示されます。

4

目的のワンタッチキーを押します。



指定したキーが反転表示されます。

5

原稿をセットします。

6

【スタート】を押します。

原稿の読み込みが始まり、送信されます。

### 詳しく説明します

- 入力した読み仮名に該当するワンタッチキーが、カナ、アルファベット、数字記号の順に表示されます。
- 枠の付いたキーはプログラムキーです。
- 送信先を間違えたときは同じキーをもう一度押すと指定が取消されます。正しいキーを押しなおしてください。
- 再度【検索】を押すと文字入力画面が表示されます。

### ひとこと

ソフトウェア DIPSW で同報送信が禁止されている場合、複数の相手先への送信はできません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をごらんください。

### 参照

- 複数の送信先を選んだときは、ここで確認のため【設定内容－相手先】が表示されます。詳しくは「複数の宛先を指定する（順次同報送信）」(p. 2-22) をごらんください。
- 送信を中止する場合は、【ストップ】を押します。詳しくは「送信を中止する」(p. 2-32) をごらんください。

## ■ 複数の宛先を指定する（順次同報送信）

一度の操作で複数の宛先に原稿を送信することができます。この機能を順次同報送信と呼びます。複数の宛先を指定するには次の方法があります。

- ダイアル入力：直接ファックス番号を入力します。
- ワンタッチ：ワンタッチキーに登録した送信先を指定します。
- プログラム：プログラムキーに登録した送信先を指定します。
- 検索：ワンタッチキーに登録した送信先を検索します。

上記の指定方法を組み合わせて指定することもできます。

**1**

通常の操作で1件目の送信先を指定します。

**2**

2件目以降の送信先を指定します。

- ワンタッチキーで指定するとき

ワンタッチ画面で、送信する相手先のキーをすべて押します。

- ダイアル入力で指定するとき

[追加] を押してから次のファクス番号を入力します。(手順1で送信先をワンタッチキーで指定した場合は、[追加] を押さないで、次のファクス番号を入力します。)

**3**

原稿をセットします。

**4**

【スタート】を押します。

複数の送信先を選んだときは、ここで確認画面が表示されます。



- ワンタッチやダイアル入力などで先に他の送信先を指定してある場合はプログラムキーを指定できません。プログラムを指定したあとにワンタッチやダイアル入力を指定することは可能です。
- 同時に送信することが多い場合は、あらかじめ複数の送信先をプログラムとして登録しておくと便利です。
- 一度に指定できる相手先は、最大300カ所までです。ただし、ダイアル入力で指定できるのは、最大12カ所までです。
- ソフトウェアDIPSWでダイアル入力による指定が制限されている場合、ダイアル入力して送信できません。ソフトウェアDIPSWについて詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェアDIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。
- ソフトウェアDIPSWで同報送信が禁止されている場合、複数の相手先への送信はできません。ソフトウェアDIPSWについて詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェアDIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。



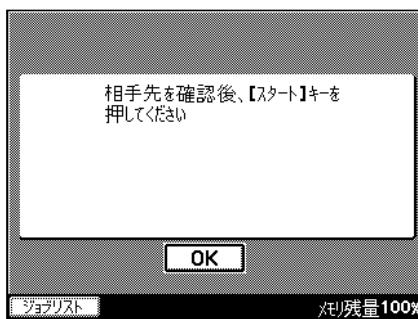
詳しくは「[ダイアル入力]を使う」(p. 2-15)、「[ワンタッチ]を使う」(p. 2-17)、「プログラムを使う」(p. 2-18)、「[検索]を使う」(p. 2-20)をごらんください。

**2**

## 2.5 送信先を指定する

5

[OK] を押します。



### ひとこと

プログラムで指定したときは、この画像は表示されません。

6

相手先を確認し、【スタート】を押します。



### 参照

- ソフトスイッチの設定により、同報送信時に設定確認画面を表示するかどうかを指定できます。詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。
- 相手先すべてに送信されたかどうかを結果レポートで確認できます。詳しくは、「レポート出力に関する設定をする（レポート設定）」(p. 10-51)をごらんください。

原稿の読み込みが始まり、送信されます。

## ■ 送信先を確認／削除するには

指定した送信先を確認したり、削除したりすることができます。

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。

2

送信先を指定し、【画質 / 倍率】や【通信メニュー】で機能を設定します。

3

【設定内容】を押します。

4

設定内容を確認します。



5

【OK】を押し、確認を終了します。

### [相手先] 確認画面

指定した送信先を1画面で4件まで確認できます。4件以上は、[↓] [↑]を押して表示を切換えます。送信先の削除や追加もできます。



送信先の追加については、「送信先を指定する」(p. 2-15)をごらんください。

: ワンタッチダイアルで指定した相手先を示します。

: ダイアル入力で指定した番号を示します。

**[削除]** : 選択している送信先を削除します。

**[詳細]** : 選択している送信先の通信モードなどを確認します。

**[次の相手先]** : 送信先を追加します。

## 2.6 相手先を確認してから送信する

ファクスの誤送信を防ぐため、送信時に相手先から受信する CSI (Called Subscriber ID) 信号で相手先を確認してから送信することができます。

- CSI 信号を確認するために、相手機側に自局電話番号の登録が必要です。
- 相手先の電話番号を指定したあと [S] キーを押して特殊文字「S」を追加することにより、相手機を確認してから原稿を送信します。
- ワンタッチキーに電話番号と特殊文字を登録して、ワンタッチダイヤルで相手機確認送信をすることもできます。
- ソフトスイッチの設定により、送信するごとに特殊文字「S」を追加しなくても相手機確認送信の指定をすることができます。

お買い上げいただいたときは、「特殊文字による指定が無い場合は、相手機確認送信をしない（モード 200 ビット 4 を「0」）」に設定されています。

「特殊文字による指定をしなくとも相手機確認送信をする（モード 200 ビット 4 を「1」）」に設定した場合は、電話番号を入力したあと [S] キーを 2 回押して特殊文字「SS」を追加することにより、相手機確認送信を解除できます。

ソフトスイッチ（モード 200 ビット 4）の設定と相手機確認送信の指定のしかたについては、下記を参照してください。

ソフトウェア DIPSW の設定 (モード 200 ビット 4)	相手機確認送信するとき	相手機確認送信しないとき
0	相手先電話番号 + 特殊文字「S」をダイアル	相手先電話番号をダイアル（特殊文字を追加しない）
1	相手先電話番号をダイアル（特殊文字を追加しない）	相手先電話番号 + 特殊文字「SS」をダイアル

- 原稿を送信する前に、相手機から受信する CSI 信号の内容と相手先電話番号を比較し、CSI 信号と相手機の電話番号が一致した場合のみ原稿を送信します。  
CSI 信号：被呼端末識別信号 (Called Subscriber ID)：  
“+”（キャラクタ）、電話用国コード、地域コード、加入者番号を含む国際電話番号＝自局電話番号情報
- CSI 信号と相手先電話番号が一致しない場合や CSI 信号を受信できない場合には、通信異常となります。



- ワンタッチを使用した送信の仕方について詳しくは、「[ワンタッチ] を使う」(p. 2-17) をごらんください。
- ワンタッチの登録の仕方について詳しくは、「第 9 章 登録／設定する」(p. 9-1) をごらんください。
- ソフトウェア DIPSW の相手機確認送信、比較桁数について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をごらんください。

- 特殊文字のあとに任意の照合番号を付加してダイアルすることにより、照合番号と CSI 信号が一致した場合のみ原稿を送信することもできます。

ダイアル方式	相手機の確認方法
相手先電話番号 + 特殊文字「S」	CSI 信号と相手先電話番号を比較
相手先電話番号 + 特殊文字「S」 + 照合番号	CSI 信号と照合番号を比較

- ソフトスイッチの設定により、CSI 信号と相手先電話番号を比較する桁数を設定できます。お買い上げいただいたときは「4 桁」に設定されています。

## ■ 相手機確認送信のしかた

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。

2

原稿をセットします。

3

[ダイアル入力] を押します。



4

テンキーで相手先のファクス番号を入力し、[S] を押します。

- ソフトウェア DIPSW の設定で自動的に相手機確認送信する（モード 200 ビット 4 を「1」）に設定していて、相手機確認送信を一時的に解除したいときは、[S] キーを 2 回押して、電話番号の後ろに「SS」と入力してください。

5

【スタート】を押します。

送信が開始されます。

## 2.7 通話後に送信する（手動送信）

外付け電話を接続している場合、相手と電話で話をしたあとに、そのまま原稿を送信することができます。相手に原稿を送信することを伝えたいときなどに利用します。

### 原則

- 手動送信をするには、外付け電話機またはオプションのハンドセットが必要です。
- 通話後に送信するときは、ADF を使用してください。

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示

2

原稿を ADF にセットします。

3

ハンドセット（受話器）を上げます。

発信音（ツー）が聞こえます。

4

[ワンタッチ] や [ダイアル入力] で相手先を指定します。

相手先にダイアルされ、通話できます。

5

話をしたのち、相手に【スタート】（通信ボタン）を押してもらいます。

準備ができると「ピー」という音がします。

6

【スタート】を押します。

送信が開始されます。

7

ハンドセットを置きます。

### ひとこと

【オンフック】を押しても操作できます。この場合は、相手が応答したらハンドセットを取ります。

### ひとこと

- 相手が自動受信できる状態（自動着信）になっているときは、相手が出ず「ピー」という音がします。そのときは話をすることができません。
- ソフトウェア DIPSW でダイアル入力による指定が制限されている場合、ダイアル入力して送信できません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をご覧ください。

## 2.8 ワンタッチやダイアルを組み合わせる（チェーンダイアル）

複数のワンタッチやダイアルを組み合わせて番号を指定できます。この機能をチェーンダイアルといいます。例えば、ファクシミリ通信網や契約している電話会社の接続番号をワンタッチキーに登録しておき、相手先のワンタッチキーと組み合わせて送信したり、相手先の代表番号と内線番号を個別のワンタッチキーに登録しておき、それらを組み合わせて送信したりすることができます。

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。

2

【チェーンダイアル】を押します。



【チェーンダイアル】が反転表示されます。

3

【ワンタッチ】や【ダイアル入力】で1つ目の番号を指定します。

4

続けて【ワンタッチ】や【ダイアル入力】で2つ目の番号を指定します。

5

原稿をセットします。

6

【スタート】を押します。

原稿の読み込みが始まり、送信されます。

### ひとこと

ソフトウェア DIPSW でダイアル入力による指定が制限されている場合、チェーンダイアルは使用できません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。

### ひとこと

- ダイアル入力で2番号を連続指定するときは、番号と番号の間にポーズを入れて指定できます。
- 国際電話番号（001、0061、0041）のあとに、続けて国番号とファクス番号を入力すると、ダイアルの途中で話中となり送信できないことがあります。このようなときは、国際電話番号を入力したあとに【ポーズ】を2回押して、約6秒の空白時間をおいてから残りの電話番号を入力してください。

## 2.9 原稿読み込み中の動作

### ■ 原稿サイズが検知できないときは

原稿サイズが検知できない場合は、読み取りできません。

この場合は、[倍率 / 範囲] で [原稿サイズ設定] を指定してください。



[画質 / 倍率] の設定については、「送信条件を設定する」(p. 2-9) をごらんください。

### ■ メモリオーバーしたときは

メモリ内にたくさんの原稿が蓄積されているとき（メモリ残量が 0% に近いとき）は、送信できない場合があります。また原稿のページ数が多い場合や、原稿の画質が細密なために情報量が多い場合もメモリオーバーになります。

この場合は、メモリが空くのを待つか、クイック送信をご利用ください。



「クイック送信」については、「原稿を 1 枚ずつ送信する（クイック送信）」(p. 6-20) をごらんください。

#### ひとこと

送信できなかったときは、もう一度送信できるように文書がメモリ内に残ります。これを消去してメモリを空けることもできます。

## 2.10 送信できないときは

受信側が通信中などのために送信できない場合は、呼び出しを行います（オートリダイアル）。

他の通信予約文書がある場合は、予約されている文書を送信してから、オートリダイアルを行います。

オートリダイアル後も送信できなかった場合は、通信結果レポートが出力されます。このレポートには送信できなかった原稿の1ページ目的一部分がコピーされます（クイック送信のときなどはコピーされません）。

送信できなかった文書は、以下の操作で送信しなおすことができます。

1

[ジョブリスト] を押してから [通信] を押し、送信できなかった文書を検索します。

[再送信] または [相手先変更] が表示されているときは、原稿をセットしなおさなくても再度送信できます。

2

[再送信] を押すと、同じ相手先に送信できます。

[相手先変更] を押すと、相手先を変更して送信できます。

どちらも表示されていない場合は、原稿をセットして送信しなおします。

2



- 出荷時設定では、1分間隔で5回までオートリダイアルを行います。呼出し回数や間隔は変更できます。詳しくは「着信方式と呼出し回数を設定する（受信機能）」(p. 10-47)をごらんください。
- ソフトウェア DIPSW で、結果レポートに原稿の1ページ目の画像をつけるかどうかの設定ができます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。
- 通信結果レポートを出力する必要がない場合は、設定を変更します。詳しくは「レポート出力に関する設定をする（レポート設定）」(p. 10-51)をごらんください。

## 2.11 送信を中止する

蓄積されている送信指示やプリント待ちのデータを予約ジョブと呼びます。操作を中止するときは、蓄積されているジョブを削除します。

ジョブを中止するときは【ストップ】を押してから、中断する動作を選択します。

1

【ストップ】を押します。

送信の動作を中断し、動作中のジョブが表示されます。

2

中止したいジョブのキーを押します。



ジョブが削除されます。

3

[OK] を押します。

## 2.12 通信結果を確認する（ジョブリスト）

2

### ■ ジョブについて

送信の準備をし、【スタート】を押すと、1件のファクス送信が本機に登録されます。登録された動作をジョブと呼びます。同様に、コピー動作やスキャナ、PC プリント指示もジョブとして登録されます。

実行中のジョブや待機中のジョブは [ジョブリスト] で表示されるジョブリスト画面で確認できます。



- ジョブ：動作中の機能を表示します。
- プリント順：コピー、ファクス受信、レポート出力、PC プリントなどのプリント中およびプリント待ちの文書の順番を 8 件まで表示します。
- プリント：コピーおよび PC プリント文書に関するプリント動作の状態を表示します。
- 通信：ファクス送信文書およびファクス受信文書の状態を表示します。
  - 送信中および送信待ちの文書（最大 200 件）
  - 送信済文書（最大 96 件）
  - 送信文書の通信結果（最大 296 件）
  - 受信中および受信プリント待ちの文書（最大 200 件）
  - 受信済文書（最大 256 件）
  - 受信文書の通信結果（最大 456 件）
- 文書：本機に保存されている文書を表示します。
  - 掲示板：掲示板に登録されている文書を表示します。
  - 親展：親展ボックスに保存されている文書を表示します。
  - 一般：受信文書管理で保存されている一般文書を表示します。

## ■ ジョブを確認する

1

[ジョブリスト] を押します。

ジョブリスト画面が表示されます。

2

[ジョブ] を押して実行中のジョブを確認します。

[↑] [↓] を押すと次の画面に切換わります。



送信中のジョブや送信待ちなどで待機中になっているジョブを削除したい場合は、[ストップ] を押します。詳しくは、「送信を中止する」(p. 2-32)をごらんください。

3

[通信] を押してファクスの送信ジョブを確認します。

[↑] [↓] を押すと次の画面に切換わります。



詳しく説明します

- ・[途中結果レポート] が表示されているときは、送信中に [途中結果レポート] を押すと、送信の途中結果レポートが出力されます。
- ・[消去] が表示されているときは、[消去] を押すと、送信待ちの文書が削除されます。
- ・送信時刻指定をしているときは、受付日時の右側に時計アイコンが表示されます。

4

送信ジョブ画面で【受信文書】を押してファクスの受信ジョブを確認します。

[↑] [↓] を押すと次の画面に切換わります。

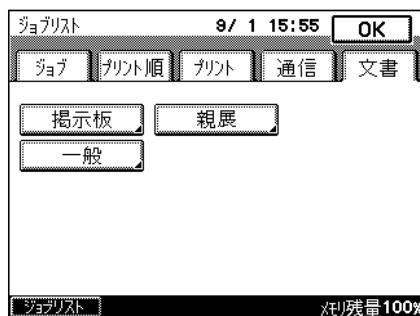


- ・[消去] が表示されているときは、[消去] を押すと、プリント待ちの文書が消去されます。
- ・ポーリング受信待ちの文書を削除したいときは [消去] を押してください。

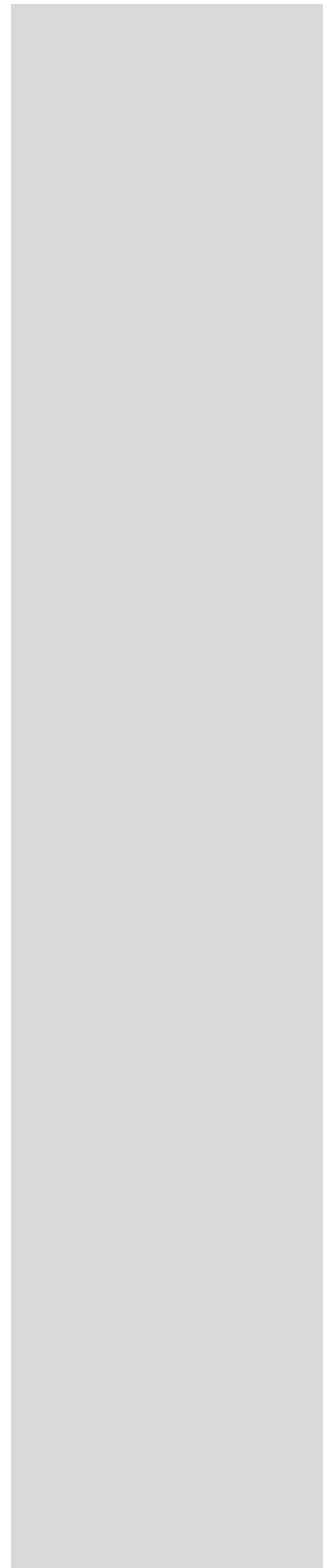
5

【文書】を押して保存されているジョブを確認します。

各機能キーを押すとそれぞれのジョブを確認できます。



## 2.12 通信結果を確認する（ジョブリスト）



# 第3章 受信する

---

ファクス受信の操作について説明します。

3.1 いろいろな受信モード .....	3-2
3.2 受信する .....	3-5
3.3 電話を受ける .....	3-7
3.4 ファクス情報サービスを利用する .....	3-8

### 3.1 いろいろな受信モード

本機には、「FAX 優先」、「電話優先」、「電話専用」、「留守電接続」の受信モードが用意されています。お使いの状況に合わせて設定してください。

#### ■ 原則

電話を受けたり、留守番電話を接続して使用するには、オプションのハンドセットが必要です。

#### 自動受信（ファクス優先）

あらかじめ設定した回数の着信音が鳴ると、自動的にファクスを受信します。ファクス専用の電話番号で利用している場合をご利用ください。

#### 自動受信（電話優先）

あらかじめ設定した回数の着信音が鳴ると、自動的に接続します。ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは呼出音が鳴ります。

また、ソフトスイッチの設定により、回線に接続したときに、音声メッセージを流すことができます。

#### 手動受信（電話専用）

ファクスの場合でも一度電話をとってからファクスを受信したい場合など、普通の電話機と同じようにご利用いただけます。電話がかかってくる機会が多いときは、この設定にしておくと便利です。

#### 留守番電話が接続しているとき

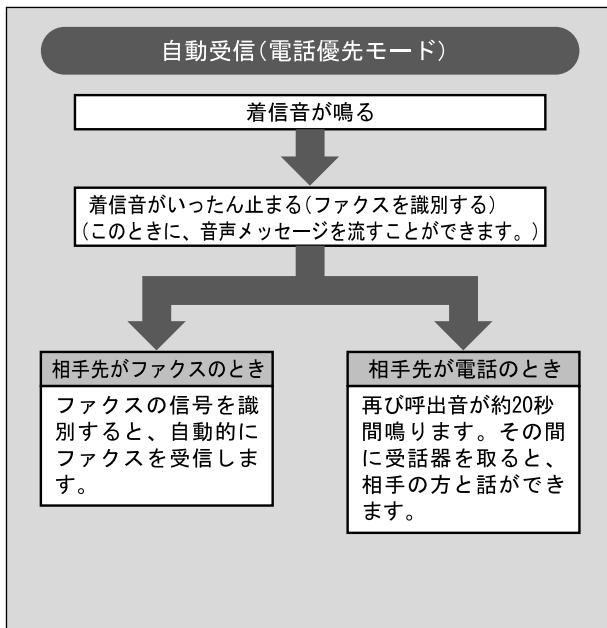
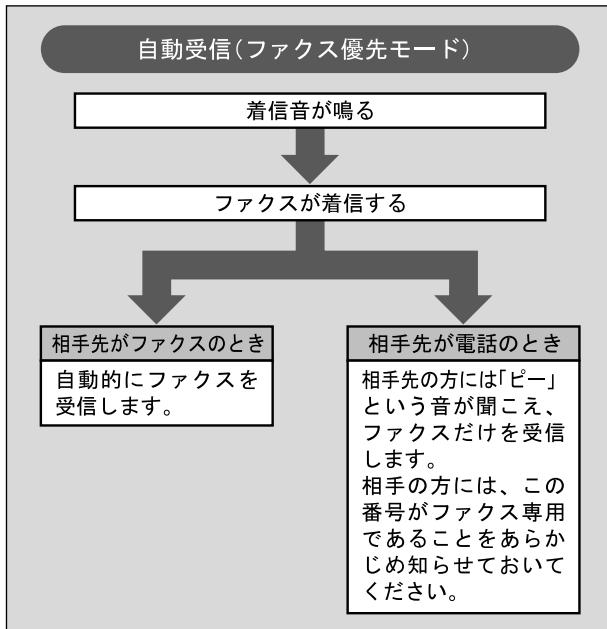
留守番電話機を接続してご利用いただけます。留守中に電話があったときは用件を録音します。相手がファクスのときは自動的にファクスを受信します。

#### ひとこと

いずれの設定であっても、着信音が鳴っている間にハンドセット（受話器）をとると通話することができます。

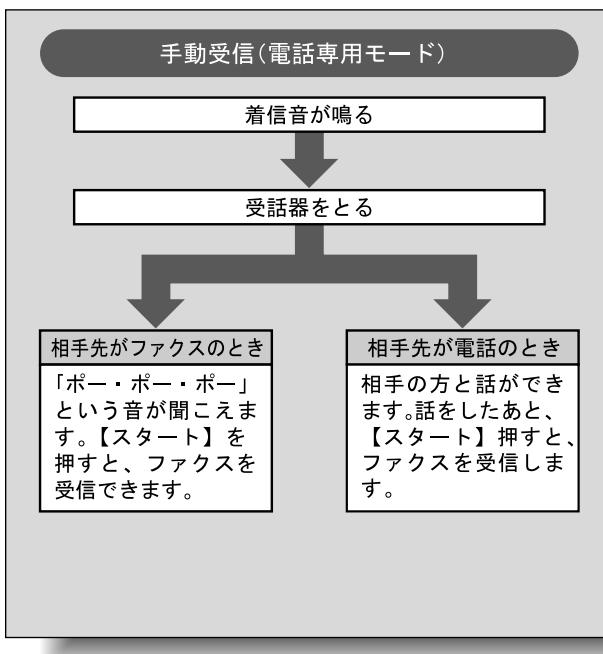
#### 参照

設定方法については「着信方式と呼出し回数を設定する（受信機能）」(p. 10-47)をごらんください。



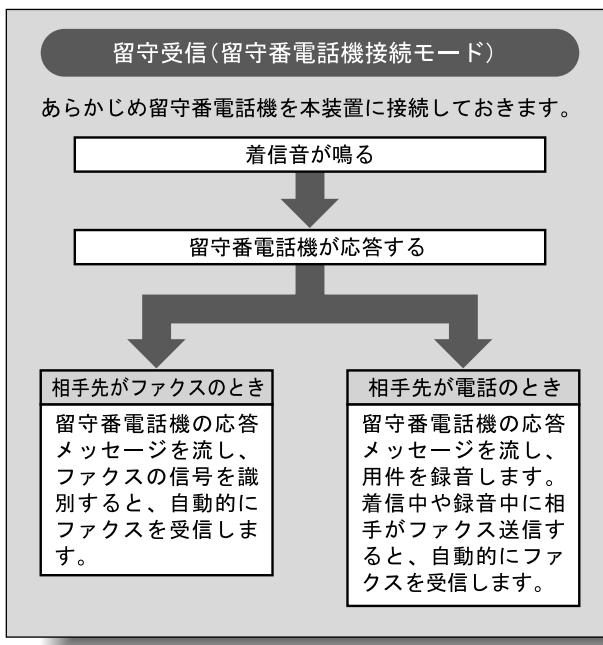
### 詳しく説明します

- ファクス優先モードで自動着信呼出回数を1~20回に設定しておくと、ファクスを着信する前に着信音を鳴らすことができます。ただし、自動着信呼出回数を10回以上に設定すると、相手先により自動的にファクスを受信できないことがあります。
- 電話優先モードでは、設定した回数分着信音が鳴ったあと、ファクスの信号を識別するためにいったん回線を接続してから、さらに約20秒間着信音を鳴らします。このため、再び着信音が鳴る間は、電話に出なくても相手先に通話料金がかかります。回線接続後に何回着信音を鳴らすかはソフトスイッチの設定で変更できます。また、ソフトスイッチでは、回線をつないだときに音声メッセージを流すかどうかを指定できます。
- ナンバーディスプレイ契約回線でご使用になる場合は、本装置の機能を有效地に活用するために、ファクス優先または電話優先モードをご使用ください。ナンバーディスプレイ契約回線を使用して、留守番電話機接続モードに設定するときは、接続する電話機も「ナンバーディスプレイあり」に設定してください。留守番電話機によっては、対応していない場合があります。



#### ひとこと

外付け電話を接続している場合、転送受信番号を押して本機でファクス受信します。詳しくは、「電話を受ける」(p. 3-7)をご覧ください。



## 3.2 受信する

原稿を自動的に受信するようにしておくと（自動着信）、受信のための特別な操作は不要です。

通話をした場合は、【スタート】を押すと受信します。

受信が終わると「ピー」という音が鳴り回線が切断され、受信した文書がプリントされます。

### ■ 受信時の記録について

受信文書を記録する場合は、受信した文書の用紙サイズと、用紙トレイにセットされている用紙サイズを比較し、受信した原稿と同じサイズの用紙がセットされているときは同じサイズでプリントされます。

同じサイズの用紙がないときは、次のように処理します。

- 原稿が大きいとき：用紙におさまるように縮小するか一回り大きいサイズの用紙にプリントされます。
- 原稿と用紙の向きが違うとき：自動的に90°回転させてプリントされます（回転記録）。
- 原稿が長いとき：用紙におさまるように縮小してプリントされます。65%まで縮小しても1枚に収まりきらない場合は、分割してプリントします。

3

#### ひとこと

A3原稿を受信できるのは、送信側がA3サイズを原寸で送信できるITU-T（旧CCITT）勧告に準拠したファクスのときに限られます。



受信の方法は、管理者設定やソフトスイッチの設定で変更できます。詳しくは「文書を受信したときの処理のしかたを設定する（文書管理）」(p. 10-56) や「機能の状態を設定する（ソフトウェアDIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。

## ■ 受信できないとき

受信できない、プリントされないときは、エラーメッセージが表示されています。

「エラーメッセージが表示された」(p. 4-4) を参照して処置をしてください。

### ひとこと

「用紙なし」や「用紙つまり」などで受信した文書をプリントできない場合は、プリントできる状態になるまで受信文書がメモリに蓄積されます（メモリ代行受信）。エラーメッセージを確認し、用紙つまりなどのトラブル処置をしてください。エラーが解消されると、蓄積されていた受信文書のプリントが開始されます。メモリが一杯でメモリ代行受信できない場合があります。用紙トレイに用紙がセットされていることを確認してください。



外付け電話の着信音が鳴り続ける場合は、[着信方式]が「手動」に設定されている場合があります。自動的に受信するためには「自動」に設定しておく必要があります。詳しくは、「着信方式と呼出し回数を設定する（受信機能）」(p. 10-47)をごらんください。

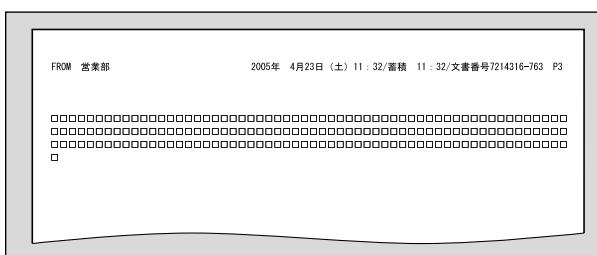


このほか、受信管理レポートでは、文書番号、受信開始日時、所要時間、相手先、モード、記録済み枚数、通信結果などを確認できます。詳しくは、「通信管理レポートの設定」(p. 10-52)をごらんください。

## ■ 受信情報について

受信した原稿に文書情報が付いている場合は、受信文書に受信情報（日付、時刻、ページ番号など）が記録されます。

記録される内容は送信側の設定により異なります。



### 3.3 電話を受ける

外付け電話を接続している場合の、電話の受けかたを説明します。

1

電話の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げて通話します。

2

通話が終了したら、受話器をもどします。

○ 通話が終了し、ファクス受信をする場合、【3】【\*】を押します。本機がファクス受信に切換わったら、受話器をもどします。

3

#### ひとこと

- ・「ピーッ」という音がするか、無音の場合は、相手がファクスです。【スタート】を押すと、原稿を受信できます。外付け電話機の場合、【3】【\*】を押すと、本機はファクス受信に切換わります。
- ・転送受信番号【3】は、別の番号に変更できます。詳しくは「機能の状態を設定する（ソフトウェアDIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。

#### 必ず守ってください

- ・転送受信の機能を使う場合、外部電話機にはプッシュ信号を送出できる電話機をご使用ください。
- ・転送受信番号入力時は、【3】の後に必ず【\*】を押してください。

#### 参照

転送受信について詳しくは、「機能の状態を設定する「機能の状態を設定する（ソフトウェアDIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。

## 3.4 ファクス情報サービスを利用する

ファクス情報サービスを利用するときの基本的な操作を説明します。



- 契約内容や詳しい操作方法については、ご利用になるファクス情報サービスの提供元にお問い合わせください。
- 必要に応じ、回線モニター音レベルを調整しておきます。回線モニター音レベルは、0～5の範囲で調整できます（工場出荷時は3に設定されています）。ファクス情報サービスの音声ガイダンスを聞き取りやすくするため、大きめに設定しておくことをおすすめします。



ダイアル（パルス）回線をお使いの場合は、パルスをトーンに切り替える必要があります。サービスコードを入力する前に、[トーン]を押し、トーンを送出できる状態にしてください。

1

待機画面の【オンフック】を押し、ファクス情報サービスの電話番号を指定します。

サービスに接続するとアナウンスが聞こえます。

2

サービスの案内にしたがって、必要なサービスコードを指定します。

3

サービスの案内にしたがって【スタート】を押します。

受信が開始されます。

# 第4章 トラブル処置

---

トラブルが発生した場合の処置について説明します。

4.1 送信時のトラブル .....	4-2
4.2 受信時のトラブル .....	4-3
4.3 エラーメッセージが表示された .....	4-4

## 4.1 送信時のトラブル

うまく送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

トラブルの内容	原因	処置のしかた
原稿が読み込まれない	原稿が厚すぎませんか？	原稿ガラスを使って送信してください。
	原稿が薄すぎる／小さすぎませんか？	原稿ガラスを使って送信してください。
原稿が斜めに読み込まれる	原稿セットガイドが原稿の幅に合っていますか？	原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。
相手先で受信した画像が不鮮明なとき	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。
	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを清掃してください。
	原稿の文字が薄くないですか？	濃度を設定してください。
	回線状態か、受信側に問題はありませんか？	本機でコピーをとって本機の問題でないことを確認し、コピーの画像が鮮明なときは、もう一度送信しなおしてください。
相手先で受信した画像が白紙になる	送る面を下にしてセットしていませんか？（ADF 使用時）	送る面を上にして原稿をセットしなおしてください。
送信できない	送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認して、もう一度送信してください。
	番号が間違っていますか？	番号を確認してください。
	ワンタッチやプログラムは、正しく登録されていますか？	正しく登録されているかを確認してください。
	電話回線の設定は正しいですか？	[ダイアル方式] を確認してください。
	電話線の接続は正しいですか？	電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	受信側に原因がありませんか？（用紙切れや電源）	相手先に確認してください。



- エラーメッセージについては「エラーメッセージが表示された」(p. 4-4)をごらんください。
- 原稿がつまつた、用紙がつまつた、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

## 4.2 受信時のトラブル

うまく受信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に受信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

トラブルの内容	原因	処置のしかた
受信した記録紙が白紙になる	回線状態か、相手先ファクスに問題がありませんか？	本機でコピーをとって確認してください。コピーの画像が鮮明なときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。
	相手先が原稿を裏表逆にセットしていませんか？	相手先に確認してください。
受信してもプリントされない	メモリ受信が設定されていませんか？	文書を指定してプリントしてください。
	受信文書の処理がプリント指定されていますか？	受信文書の処理をプリントに指定してください。
	その他の原因	[ジョブリスト] の [通信] メニューで通信異常の内容を確認し、エラーコードを参照してください。
自動着信されない	手動受信に設定されていませんか？	自動着信に設定してください。
	メモリがいっぱいになっていますか？	用紙がなくなっているときは用紙をセットして、メモリに蓄積されている文書をプリントしてください。
	電話線の接続は正しいですか？	電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	アラーム表示が出ていませんか？	表示にしたがい、アラームを解除してください。
	送信側から F コードで正しくない SUB が送信されていますか？	親展ボックスが設定されている場合、正しくない SUB を受信すると、通信エラーが発生し、受信できなくなる場合があります。送信側に SUB の設定を確認してください。
受信した記録紙に黒いすじが入る	回線状態か、相手先ファクスに問題がありませんか？	本機でコピーをとって本機の問題でないことを確認してください。コピーに黒いすじが入らないときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。



- エラーメッセージについては「エラーメッセージが表示された」(p. 4-4)をごらんください。
- 原稿がつまつた、用紙がつまつた、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「ユーザーズガイドコピー機能編」をごらんください。

## 4.3 エラーメッセージが表示された

本機にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、次のエラーメッセージが表示されます。次の表を参照して処置をしてください。

処置をしても正常に通信できない場合は、サービス管理店にお問い合わせください。

エラーメッセージ	原因	処置のしかた
原稿サイズが検出できません	原稿サイズが検出できませんでした。	原稿サイズを選択してください。
○○○とは同時設定できません	同時に設定できない機能を選択しています。	どちらか一方の機能を指定してください。
メモリ残量不足のため、読み込みジョブを消去しました	メモリがいっぱいです。	プリント待ちなどの文書がある場合は、メモリ内の文書をプリントしてください。
トラブルですサービスにトラブルコードを連絡してください	本機に何らかのトラブルが発生しました。	画面に表示されているトラブルコードをサービス実施店に連絡してください。



原稿がつまつた、用紙がつまつた、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

上記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがい処理を行ってください。



# 第 5 章

## 仕様

5

---

ファクス機能の仕様について説明します。

5.1 仕様 ..... 5-2

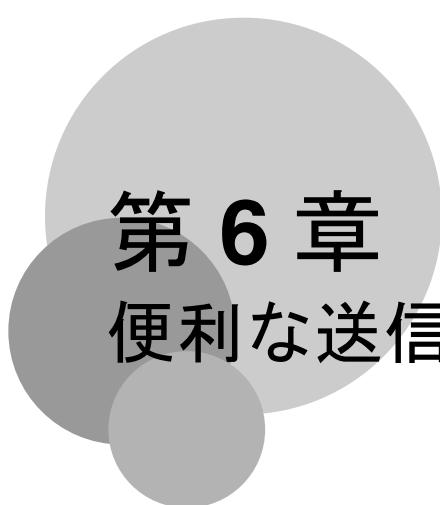
## 5.1 仕様

ファクスに関する主な製品仕様は次のとおりです。製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

項目	仕様
画像メモリ容量	64 MB
蓄積枚数	約 3,800 枚 (A4 □、B/W 5% 以下) 画質 : 標準 約 3,800 枚 (A4 □、B/W 5% 以下) 画質 : ファイン 約 1,900 枚 (A4 □、B/W 5% 以下) 画質 : スーパーファイン
適応回線	加入電話回線 (ファクシミリ通信網を含みます) PBX 回線
通信規格	G3
伝送速度	2400 / 4800 / 7200 / 9600 / 12000 / 14400 / 16800 / 19200 / 21600 / 24000 / 26400 / 28800 / 31200 / 33600 bps
伝送時間	約 2 秒 A4 判 700 文字程度の当社標準原稿を、画質 [標準] で送信した場合の時間です。これは画像だけの伝送時間で、通信の制御にかかる時間はふくみません。実際の通信時間は、原稿の内容や相手側の機種、電話回線の状態などにより異なります。
符号化方式	MH / MR / MMR / JBIG
最大読み取りサイズ	420 × 297 mm (A3 サイズ) 幅 : 297 mm 長さ : 最大 1000 mm
最大記録サイズ	420 × 297 mm (A3 サイズ) セットされている用紙サイズより長い原稿を受信した場合は、ページ分割設定にしたがって印字されます。



その他の項目については「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。



# 第6章 便利な送信

6

---

通信設定のメニューを使った、便利なファクス送信について説明します。

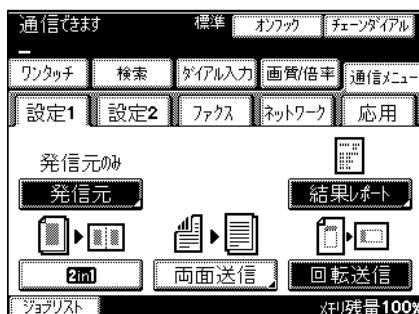
6.1 通信メニュー .....	6-2
6.2 発信元情報を付けて送信する .....	6-6
6.3 送信結果をレポートで確認する（結果レポート） .....	6-9
6.4 2枚の原稿を1枚にまとめて送信する（2in1） .....	6-11
6.5 両面原稿を送信する（両面送信） .....	6-12
6.6 A4原稿を横置きで送信する（回転送信） .....	6-14
6.7 他の原稿より先に送信する（優先送信） .....	6-15
6.8 指定時刻に送信する（送信時刻） .....	6-16
6.9 済みスタンプを押す（スタンプ） .....	6-18
6.10 原稿を1枚ずつ送信する（クイック送信） .....	6-20
6.11 パスワードを付けて送信する（パスワード送信） .....	6-21
6.12 部数を指定して送信する（リモートコピー） .....	6-22
6.13 Fコードについて .....	6-24
6.14 親展ボックスを使う（親展送信） .....	6-26
6.15 掲示板に文書を登録する .....	6-28
6.16 ファクシミリ通信網を使う .....	6-32
6.17 コンピュータからファクスする（ダイレクトファクス） .....	6-33

## 6.1 通信メニュー

便利な機能を使ってファクス送信をするときは、通信メニュー画面を表示し、使いたい機能を設定します。

### ■ 通信メニューの画面を表示するには

- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。
- 2 [通信メニュー] を押します。
- 3 設定の分類タブを押します。
- 4 使いたい機能のキーを押します。



- 5 さらに機能を設定する画面が表示された場合は、機能を設定し、[OK] を押します。

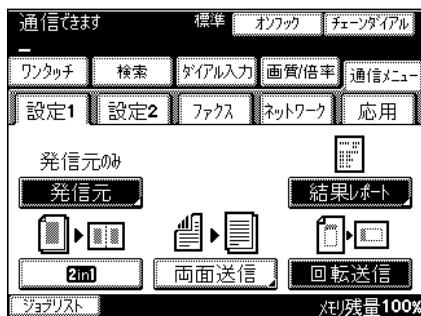


- 設定したい機能のキーを押すと、それぞれの機能専用の画面が表示されます。
- 複数の機能を組み合わせて設定することができますが、併用できない機能キーは、選択できません。

## ■ 通信メニューの機能一覧

読み込み設定や通信設定の画面には、次の機能が表示されます。

### [設定 1] 画面



### [設定 2] 画面



### [ファクス] 画面



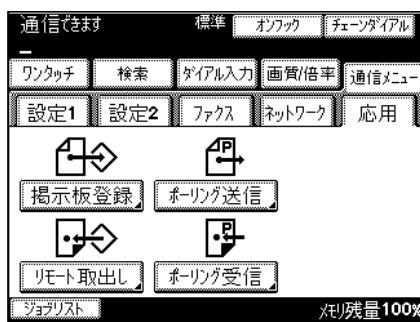
## 6.1 通信メニュー

### [ネットワーク] 画面



[ネットワーク] の項目については「ユーザーズガイド  
ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

### [応用] 画面



	キー	説明
設定1	発信元	相手先の記録紙の先端にこちらの名前、宛名、送信日時、文書番号、ページ番号といった情報がプリントされます。
	結果レポート	送信の結果レポートにして出力することができます。
	2in1	2枚の原稿を読み取って1枚の原稿として送信することができます。A4サイズの原稿を2枚ずつ組み合わせて、1枚にして送信したいときなどに利用します。
	両面送信	両面原稿を読み込んで送信することができます。
	回転送信	A4サイズの原稿であれば原稿のセット方向に関わらず、A4サイズの原稿として送信することができます。
設定2	優先送信	送信待ちの原稿があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信することができます。
	送信時刻	原稿をメモリに読み込んでおき、指定した時刻に送信することができます。深夜の安い料金で送信したいときなどに利用します。
	スタンプ	原稿に読み取り済みを示すスタンプを押すことができます。
ファクス	クイック送信	原稿を1枚ずつ読み取りながら送信します。
	パスワード送信	こちらと相手先で登録してある通信パスワードが一致したときだけ送信します。
	リモートコピー	指定した部数を相手先でプリント出力されます。
応用	掲示板登録	装置の中に設置した掲示板に文書を登録します。
	ポーリング送信	あらかじめメモリに読み込ませておいた原稿を、相手先の操作で送信します。
	リモート取出し	他のファクスの掲示板に登録されている文書を取出します。
	ポーリング受信	ポーリング送信やファクシミリ情報サービスで準備してある原稿をこちらの操作で受信します。

**ひとこと**

設定1の機能（発信元、結果レポート、両面送信、回転送信の指定）は、1回通信するごとに元の状態にもどります。

## 6.2 発信元情報を付けて送信する

発信元の指定をすると、受信側の記録紙の先端にこちらの名前、相手先の名前、送信日時、文書番号、ページ番号といった情報がプリントされます。

8件までの発信元を登録しておけるので、社内に送信する場合は部門名で送信し、社外へ送信する場合は会社名で送信するといった使いかたができます。

また、受信側で、誰に宛てた文書なのかを確認しやすくするため、受信側の記録紙に宛名をプリントすることもできます。宛名は、ワンタッチキーに登録されている相手先名がプリントされます。

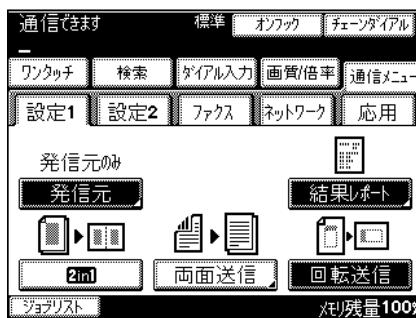
### ひとこと

順次同報送信では、宛先ごとの名称を付けて送信します。

1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。

2 [通信メニュー] を押します。

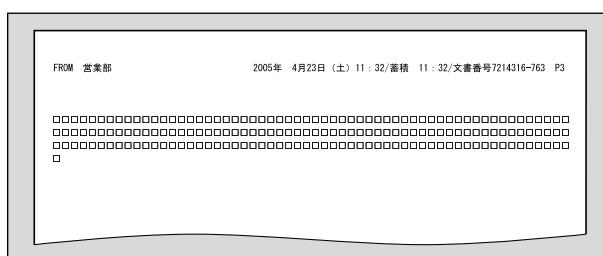
3 [設定1] 画面の [発信元] を押します。



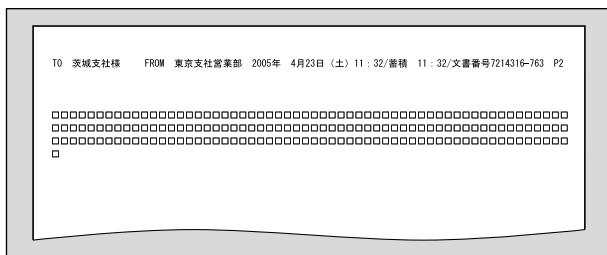
4 発信元のプリントの種類を選択し、[発信元選択] を押します。

発信元のプリントの種類は、設定により、次のようにプリントされます。

- [発信元のみ] の設定のとき  
こちらの名前や送信日時、文書番号などを原稿に付けて送信します。



- [宛名 / 発信元] の設定のとき  
こちらの名前に加え、相手先の名前を原稿に付けて送信します。



- [つけない] の設定のとき  
こちらの名前などを付けずに原稿を送信します。

5

発信元名を選び、[OK] を2回押します。



6

送信先を指定し、原稿をセットします。

### ひとこと

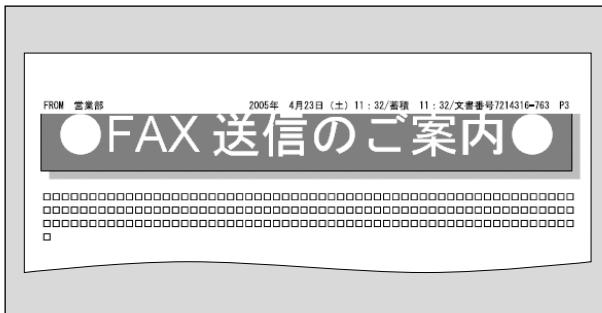
- 宛名は、ワンタッチキーに登録されている相手先名を原稿に付けて送信します。そのため、あらかじめワンタッチキーに相手先を登録しておく必要があります。詳しくは、「ワンタッチを登録する」(p. 9-3)をごらんください。
- [宛名 / 発信元] は、フルダイヤル、チェーンダイヤルの相手先では指定できません。この場合、発信元名は20文字まで付加されます。

7

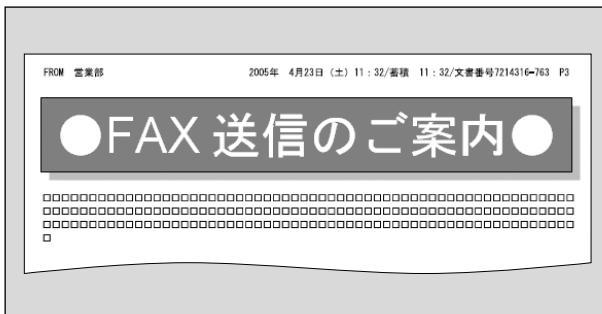
【スタート】を押します。

発信元情報は、設定により、次のようにプリントされます。

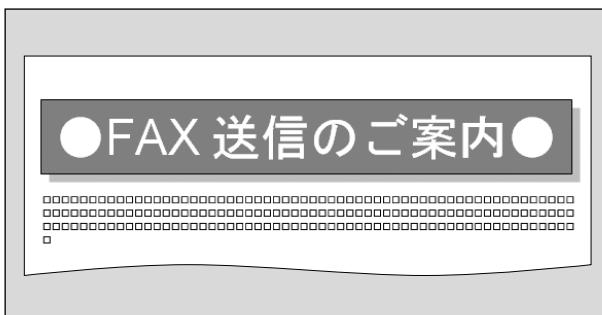
- 発信元情報が [原稿内] に設定されているとき



- 発信元情報が [原稿外] に設定されているとき



- 発信元情報が [付けない] に設定されているとき



- 発信元情報はあらかじめ登録しておく必要があります。詳しくは、「名前を登録する（発信元名）」(p. 10-24) をごらんください。
- 発信元情報の付けかたは、管理者メニューの送信設定で設定します。詳しくは、「送信に関する設定をする（送信設定）」(p. 10-28) をごらんください。
- 発信元情報の付けかたの設定は、1回通信するごとにもとの状態に戻ります。

## 6.3 送信結果をレポートで確認する（結果レポート）

送信の結果をレポートにして出力することができます。結果レポートの設定は、装置設定、出力する、出力しない、不達のときだけ出力する、の中から選べます。

1

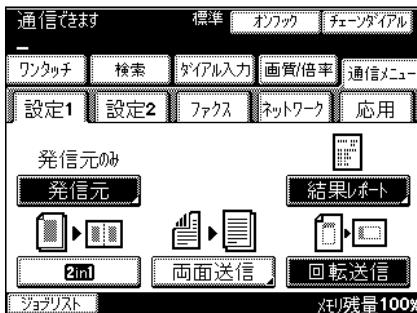
【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。

2

[通信メニュー] を押します。

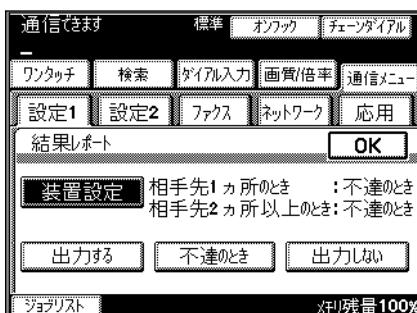
3

[設定 1] 画面の [結果レポート] を押します。



4

結果レポートの出力のしかたを選び、[OK] を押します。



【装置設定】については、「レポート出力に関する設定をする（レポート設定）」(p. 10-51)をごらんください。

- [装置設定]：あらかじめ設定した方法で結果レポートを出力します。
- [出力する]：送信するごとに結果レポートを出力します。
- [不達のとき]：送信できなかったときにだけ、結果レポートを出力します。
- [出力しない]：送信結果にかかわらず、結果レポートを出力しません。

5

送信先を指定し、原稿をセットします。

6

## 6.3 送信結果をレポートで確認する（結果レポート）

6

【スタート】を押します。

### 結果レポート

発信元 レポート出力日時	
通信結果レポート	P. 1 2005年 3月11日（金）18時14分 海外営業
ユーザ/部門 : 12345 相手先 : A社営業部 電話番号 : 2	文書番号 : 7400000-035 受付日時 : 3月11日18時14分 送信開始日時 : 3月11日18時14分 所要時間 : 10秒 通信モード : ECM
Fコード :  送信済み枚数 : 1枚 通信結果 : 良好	送信時の内容

表示 通信結果の内容

良好	・正常に送信されたとき
相手先話し中	・相手先が話し中 ・回線が混み合っている
相手先無応答	・相手先が受信できない状態になっている ・相手先が電話に出ない
中断	・中断されたとき
メモリオーバー	・メモリオーバーになったとき
不適	・全相手先不達

## 6.4 2枚の原稿を1枚にまとめて送信する (2in1)

2枚の原稿を読み取って1枚の原稿として送信できます。A4サイズの原稿を2枚ずつ組み合わせて、A4サイズ1枚に縮小して送信したいときなどに利用します。

1

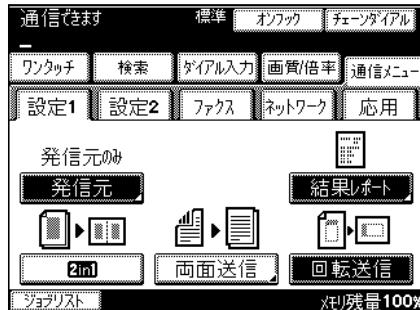
【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。

2

[通信メニュー] を押します。

3

[設定1] 画面の [2in1] を押します。



[2in1] が反転表示されます。

4

送信先を指定し、原稿をセットします。

5

【スタート】を押します。

詳しく説明します

もう一度押すと、設定を解除します。

ひとこと

- 2in1送信を指定したときは、ADFを使用してください。原稿ガラスを使っての送信はできません。
- 2in1送信で送信できる原稿サイズは、A5、B5、A4に限ります。
- 2in1送信と両面送信、クイック送信は、同時に指定できません。

6

## 6.5 両面原稿を送信する（両面送信）

両面原稿を読み込んで送信できます。

1

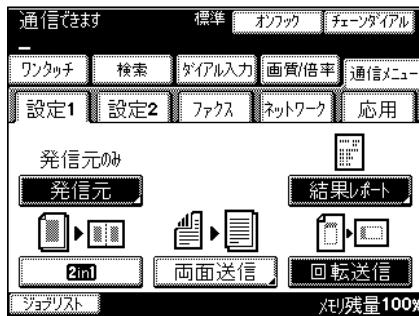
【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。

2

[通信メニュー] を押します。

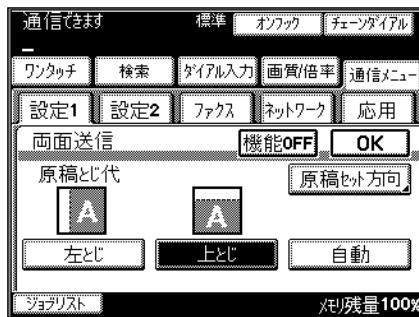
3

[設定 1] 画面の [両面送信] を押します。



4

原稿のとじ代を選びます。



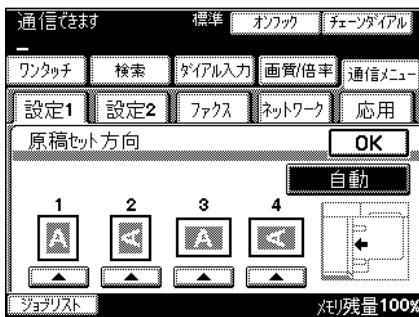
- [左とじ]：左とじ原稿として読み込みます。
- [上とじ]：上とじ原稿として読み込みます。
- [自動]：原稿の読み取り方向により、とじ代を自動的に設定します。
- [機能 OFF]：設定を解除します。

5

[原稿セット方向] を押します。

6

原稿の置きかたを選び、[OK] を押します。



- [自動]：原稿の長辺をとじ代として自動的に設定します。

7

送信先を指定し、原稿をセットします。

8

【スタート】を押します。

6

### ひとこと

- 両面送信した原稿は、相手先では片面で受信（プリント）されます。
- 両面送信と 2in1、スタンプ、クイック送信は、同時に指定できません。

## 6.6 A4 原稿を横置きで送信する（回転送信）

通常、原稿をセットする際は、本機に向って横長方向にセットします。

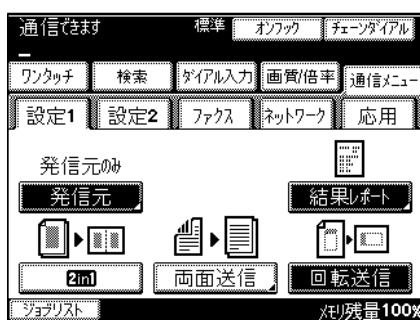
A4 サイズの原稿を本機に向って縦長方向にセットすると A3 サイズの原稿として扱われるため、相手先のファクシミリの記録紙が A4 サイズの場合、縮小して送信されてしまいます。

このような場合でも、回転送信を指定すると A4 サイズの原稿であれば原稿のセット方向に関わらず、A4 サイズの原稿として送信することができます。

1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。

2 [通信メニュー] を押します。

3 [設定 1] 画面の [回転送信] を押します。



もう一度押すと、設定を解除します。

[回転送信] が反転表示されます。

4 送信先を指定し、原稿をセットします。

5 【スタート】を押します。

### ひとこと

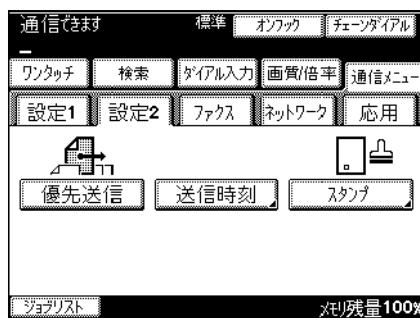
回転送信で送信できる原稿サイズは、A4 に限ります。

## 6.7 他の原稿より先に送信する（優先送信）

送信待ちの原稿があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信できます。

順次同報などで複数の相手先に送信中に、優先送信に設定して原稿を読み込めば、次の相手先の送信に移る前に、優先送信の文書を送信することができます。

- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。
- 2 [通信メニュー] を押します。
- 3 [設定 2] を押し、[優先送信] を押します。



[優先送信] が反転表示されます。

- 4 送信先を指定し、原稿をセットします。
- 5 【スタート】を押します。



もう一度押すと、設定を解除します。

6

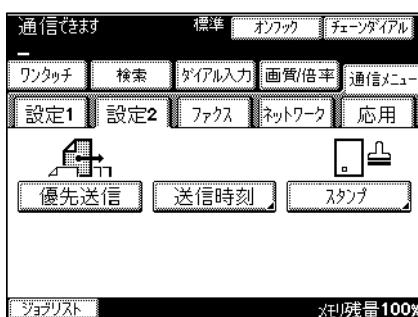
### ひとこと

- 優先送信では、複数の相手先を指定することができません。
- 優先送信と時刻指定送信、クイック送信は、同時に指定することができません。

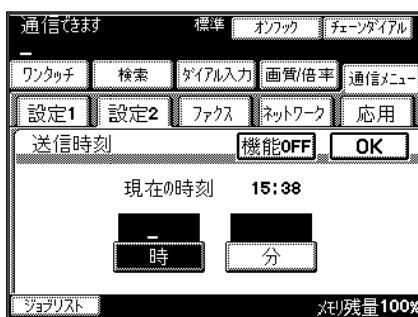
## 6.8 指定時刻に送信する（送信時刻）

原稿をメモリに読み込んでおき、指定した時刻に送信することができます。大量の原稿を深夜の安い料金で送信したいときなどに利用します。

- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。
- 2 [通信メニュー] を押します。
- 3 [設定2] を押し、[送信時刻] を押します。



- 4 送信したい時刻を入力し、[OK] を押します。  
[時] または [分] を押し、テンキーで数字を入力します。



- 5 送信先を指定し、原稿をセットします。

### ひとこと

[機能 OFF] を押すと、設定を解除します。

**6**

【スタート】を押します。

原稿がメモリに蓄積され、指定された時刻になると送信されます。

### ひとこと

- ・時刻は 24 時間制で指定します。午前 0 時は「00 時 00 分」と入力してください。
- ・現在時刻が正確に登録されていないと、指定した時刻に送信することができません。
- ・送信時刻指定は、最大 200 文書までです。
- ・送信時刻指定は、クイック送信、優先送信と同時に指定できません。

**6**

## 6.9 済みスタンプを押す（スタンプ）

原稿に済みスタンプを押す指定をしておくと、原稿が1枚ずつ確実に読み取られたかどうかを知ることができます。スタンプが押されていない原稿があるときは、その原稿を再度送信してください。

### 原則

スタンプを使うには、オプションのファクス済みスタンプユニットが必要です。

1

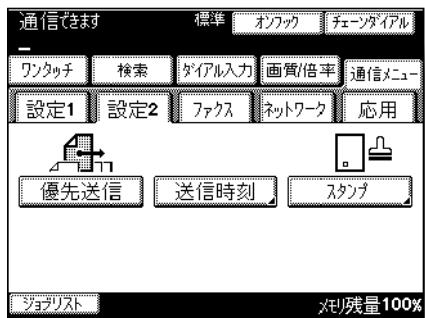
【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。

2

【通信メニュー】を押します。

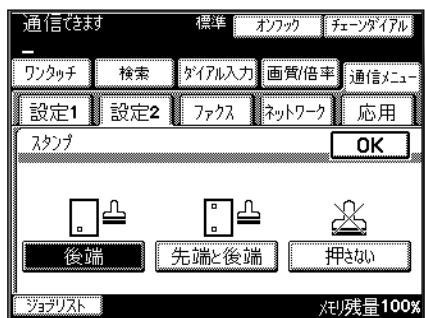
3

【設定2】を押し、【スタンプ】を押します。



4

スタンプの押しかたを指定し、[OK] を押します。



5

送信先を指定し、原稿をセットします。

**6**

【スタート】を押します。

原稿がメモリに蓄積され、指定された時刻になると送信されます。

### ひとこと

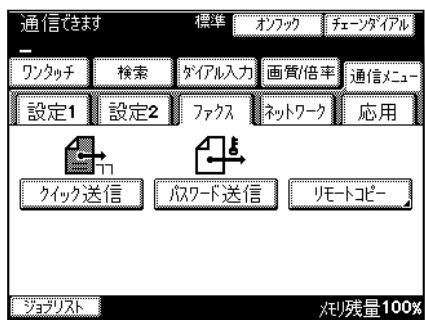
- スタンプを指定したときは、ADF を使用してください。原稿ガラスを使用しているときは、スタンプは押されません。
- スタンプと両面送信は、同時に指定できません。
- コピーのときは、スタンプを指定できません。
- 済みスタンプの設定は、1回通信するごとにもとの状態に戻ります。
- 済みスタンプの押しかたは、ソフトウェア DIPSW でも指定できます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。

**6**

## 6.10 原稿を1枚ずつ送信する（クイック送信）

クイック送信を指定すると、送信状況に合わせて原稿を1枚ずつ読み取ることができます。大量の原稿を送信する場合でも確実に送信することができます。

- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。
- 2 【通信メニュー】を押します。
- 3 [ファクス] を押し、[クイック送信] を押します。



[クイック送信] が反転表示されます。

- 4 送信先を指定し、原稿をセットします。
- 5 【スタート】を押します。



もう一度押すと、設定を解除します。

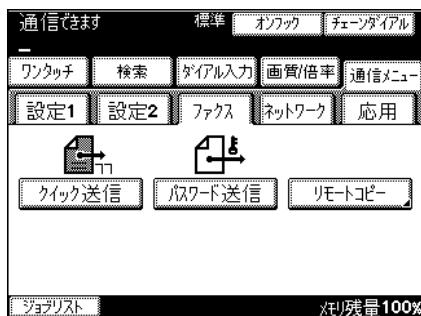
### ひとこと

- クイック送信を指定したときは、ADFを使用してください。原稿ガラスを使っての送信はできません。
- クイック送信は、送信中や受信中に使用できません。
- クイック送信では、複数の相手先を指定できません。
- クイック送信と2in1、両面送信、送信時刻指定、優先送信は、同時に指定できません。

## 6.11 パスワードを付けて送信する（パスワード送信）

こちらと相手先で登録してある通信パスワードが一致したときだけ送信することができます。重要な書類が間違った相手先に届かないようにしたいときなどに、パスワード送信を利用します。

- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。
- 2 [通信メニュー] を押します。
- 3 [ファクス] を押し、[パスワード送信] を押します。



[パスワード送信] が反転表示されます。

- 4 送信先を指定し、原稿をセットします。
- 5 【スタート】を押します。



もう一度押すと、設定を解除します。

6

### ひとこと

受信側のファクス機によってはパスワード送信を受け付けないことがあります。



- あらかじめ送信側と受信側で通信パスワードを登録しておく必要があります。詳しくは、「通信パスワードを登録する」(p. 10-49)をごらんください。
- パスワード受信については、「パスワードで受信する（パスワード受信）」(p. 7-2)をごらんください。

## 6.12 部数を指定して送信する（リモートコピー）

同じ原稿を2部以上送りたいときは、リモートコピー機能を利用します。こちらで指定した部数が受信側のファックス機でプリントされます。

- 【ファックス / スキャン】を押し、ファックス画面を表示します。

- 【通信メニュー】を押します。

- 【ファックス】を押し、【リモートコピー】を押します。



- プリント部数を入力し、[OK] を押します。

テンキーで数字を入力します。2～99部まで指定できます。

### ひとこと

[機能 OFF] を押すと、設定を解除します。



- 送信先を指定し、原稿をセットします。

**6**

【スタート】を押します。

### ひとこと

- リモートコピーの部数は、最大で 99 部まで指定できます。
- 相手機に F コードによるリモートコピー機能がない場合は、リモートコピーを指定しての送信はできません（不達になります）。

**6**

# 6.13 F コードについて

本機は、通信機械工業会が定めた F コード通信に対応しています。ここでは、F コードを用いたさまざまな通信機能について説明します。

## ■ F コードとは

ITU-T（国際電気通信連合）の G3 規格で制定された「SUB（サブアドレス）」「SEP（セレクティブポーリング）」「PWD（パスワード）」などを使用したファクシミリ通信の機能です。F コード対応機同士で親展通信や掲示板通信が可能です。F コードは、テンキーの 0～9、\*、# で、利用状況に合わせて次のように指定します。

- SUB : F コードを用いて送信するときに指定します。
- SEP : 相手先に用意されている原稿を、こちらから電話をかけて受信するとき（ポーリング受信）に指定します。
- SID/PWD : 通信相手をパスワードで制限するときに指定します。



- ダイアル入力で F コードを指定した場合は、1 回の送信につき 1 件だけ F コードを指定した送信ができます。複数の相手先に一度に送信する（順次同報送信）ときなどに、各相手先にそれぞれ F コードを指定することはできませんので、ご注意ください。
- ワンタッチダイアルにあらかじめ F コードを登録している場合は、各相手先に F コード通信をすることができます。



F コード親展文書を受信するには、あらかじめ親展ボックスを登録しておく必要があります。「親展ボックスを設定する」(p. 9-30) をご覧ください。

## ■ F コード親展通信

F コードを登録することにより、装置内に個別の親展ボックスが作成されます。個別の親展ボックスに受信した文書を取り出すには、パスワードが必要なため、他の人に見られたくない文書でも安全にファクスでやり取りすることができます。

## ■ 掲示板

F コードを用いた掲示板を開設し、不特定多数の人に文書を公開することができます。

相手先からは、掲示板ごとに登録された F コードを指定することにより、掲示板内の文書を自由に取出すことができます。



- 掲示板の開設については、「掲示板を設定する」(p. 9-26) をご覧ください。
- 掲示板への登録については、「掲示板に文書を登録する」(p. 6-28) をご覧ください。
- 掲示板に登録されている文書の取出しについては、「掲示板の文書を取出す（リモート取出し）」(p. 7-3) をご覧ください。

## ■ リモートコピー

送信側で受信側でのプリント枚数を指定して送信することができます。

リモートコピーのしかた

F コード（SUB）を次のように指定します。

\* 02 \* 05

受信側でのプリント枚数を指定します。

機能コード：リモートコピーは「02」と指定します。

## ■ F コード設定時のご注意

本機は F コードを受信すると、まず掲示板（1～10）の F コードを検索し、該当する F コードがない場合は、続けて親展ボックス（1～10）の検索を行います。

F コードを設定する際は、親展ボックスや掲示板などの機能別に分類するなどの番号管理を行うことをおすすめします。

## 6.14 親展ボックスを使う（親展送信）

親展通信とは、特定の人との間で送受信したい原稿を、親展ボックスを使って通信する機能です。相手機の親展ボックス宛に原稿を送ることを親展送信、自局の親展ボックスに原稿を受信することを親展受信と呼びます。

Fコード親展送信は、送信先を指定するときに「Fコード(SUB)」を指定します。

1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します

2

[ダイアル入力] で [Fコード] を押します。



3

[Fコード (SUB)] を押します。



### ひとこと

ソフトウェア DIPSW でダイアル入力による指定が制限されている場合、ダイアル入力して送信できません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をご覧ください。

4

送信先の「F コード (SUB)」を入力し、[OK] を押します。

テンキーで数字を入力します。



5

[OK] を押します。

#### F コード親展文書の取出しかた

[ジョブリスト] を押して、[文書] 確認画面で [親展] を押し、文書を取出します。



- ダイアル入力で F コードを指定したときは、1 回の送信につき 1 件だけ F コードを指定した送信ができます。複数の相手先に一度に送信する（順次 同報送信）ときなどに、各相手先にそれぞれ F コードを指定することはできません。
- ワンタッチキーにあらかじめ F コードを登録している場合は、各相手先に F コード通信をすることができます。
- F コードパスワードが必要なときは、F コードパスワード (SID/PWD) を指定します。
- 親展送信をするためには、相手機に親展ボックスやパスワードが設定されている必要があります。
- 親展送信 / 親展受信は、相手機が F コード機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。

6



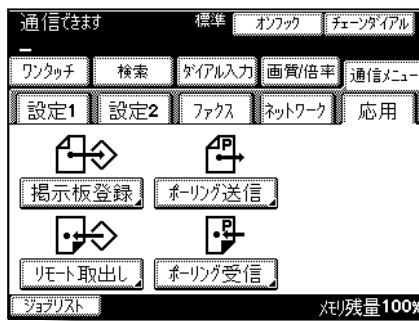
- F コード親展文書を受信するには、あらかじめ親展ボックスを登録しておく必要があります。「親展ボックスを設定する」(p. 9-30) をごらんください。設定した内容は、親展送信する相手に知らせてください。
- 親展受信については、「親展ボックスを使う（親展送信）」(p. 6-26) をごらんください。

## 6.15 掲示板に文書を登録する

本機の中にテーマを決めた仮想の箱を設置し、不特定多数の人々に文書を公開することができます。パスワードを知っている人であれば、他のファクスから本機の掲示板に文書を登録することもできます。

### ■ 掲示板に文書を登録する

- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。
- 2 [通信メニュー] を押します。
- 3 [応用] を押し、[掲示板登録] を押します。

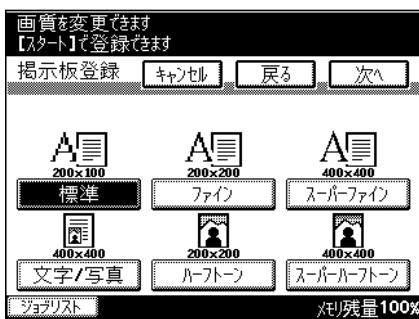


- 4 文書を登録する掲示板の番号を押します。



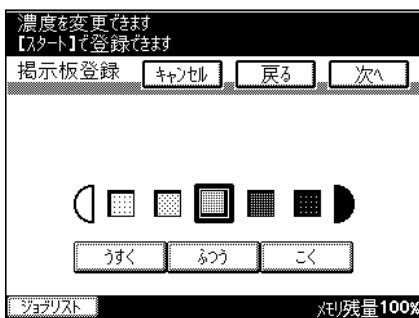
5

画質を指定し、[次へ] を押します。



6

濃度を指定し、[次へ] を押します。



6

7

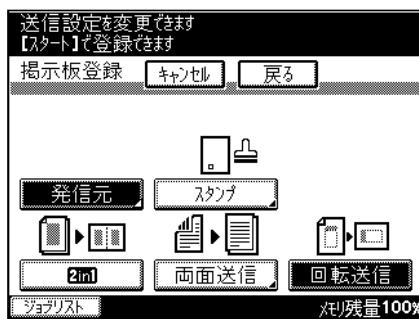
倍率と原稿サイズを指定し、[次へ] を押します。



## 6.15 掲示板に文書を登録する

8

送信機能を指定します。



9

【スタート】を押します。

原稿が読み込まれ、確認画面が表示されます。

詳しく説明します

- 掲示板は最大 10 個まで開設できます。
- 1 個の掲示板につき 1 文書が登録できます。すでに文書が登録されている掲示板に文書を登録すると、古い文書が削除され新しく登録された文書に置き換えられます。

参照

- 掲示板に文書を登録するには、あらかじめ掲示板を開設し、F コードと F コードパスワードを登録しておく必要があります。詳しくは、「掲示板を設定する」(p. 9-26) をごらんください。
- 掲示板の文書の取出しかたは、「掲示板の文書を取出す (リモート取出し)」(p. 7-3) をごらんください。
- 登録した文書を削除する場合は、「通信結果を確認する (ジョブリスト)」(p. 2-33) をごらんください。

## ■ 他のファクスから掲示板に文書を登録する

1

原稿をセットします。

2

画質、濃度などの送信機能を設定します。

3

文書を登録する掲示板のFコードを「SUB」として入力します。

4

文書を登録する掲示板のパスワード(Fコードパスワード)を「SID/PWD」として入力します。

5

電話番号をダイアルします。

6

通信ボタン(スタートボタン)を押します。

掲示板に文書が登録されます。

6



詳しく説明します

- 指定した掲示板に、すでに登録された文書がある場合は、送信した文書に置換わります。
- Fコード機能が使えないファクスからは、文書を登録できません。ファクスの操作方法については、お使いになるファクスの取扱説明書をごらんください。
- 他のファクスから掲示板に文書を登録する際は、掲示板番号ごとに登録されているFコードとFコードパスワードを指定します。FコードとFコードパスワードが一致しないと、掲示板に文書を登録できません。

## 6.16 ファクシミリ通信網を使う

ファクシミリ通信網は、NTT コミュニケーションズが提供するファクシミリ専用の通信サービスです。ファクシミリ通信網に加入すると、通信をより経済的かつ効率的にするさまざまなサービスをご利用になれます。

ファクシミリ通信網サービスの詳細については、NTT コミュニケーションズにお問い合わせください。

### ■ ファクシミリ通信網を利用するには

以下の手順で手続きをしてください。

1

NTT コミュニケーションズに利用申し込みをします。

2

サービス種別を「G3 サービス」と指定し、利用するサービスなどを指定します。

[例]

- 受信方式：鳴動受信（ベルが鳴って受信）  
無鳴動受信（ベルが鳴らずに受信）
  - 短縮ダイアル宛先数：40ヶ所／100ヶ所（有料）
  - 閉域接続について：実施する／実施しない（無料）
  - ファクシミリボックス：利用する／しない（有料）
- など。

3

電話局より開通日の連絡があります。

4

契約料・工事費用の請求があります。（電話代請求に含まれます。）

5

利用を開始します。

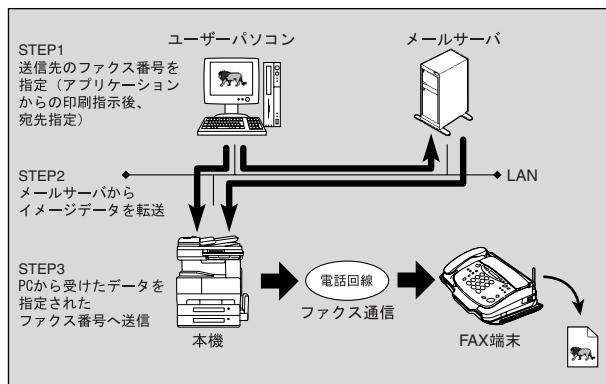


F ネットを利用するには、NTT コミュニケーションズとの契約とソフトスイッチの設定が必要です。ソフトスイッチの操作については、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をご覧ください。

## 6.17 コンピュータからファクスする（ダイレクトファクス）

パソコンで作成した文書をプリントすることなく、パソコンから電話（ファクス）番号を指定するだけで、相手先のファクスに送信することができます。また、ファクス送信の結果をコンピュータで確認することができます。

ダイレクトファクス送信は、添付のユーティリティ「信乃助 Fax 通信（EX Lite 版）」を使用します。



ダイレクトファクス送信を利用するには、以下の準備が必要です。

- ネットワークの設定を行い、パソコンと本機を接続する必要があります。
- ネットワーク設定の「自装置ドメイン」を設定しておく必要があります。
- スキヤナ送受信設定の「ゲートウェイ送信」を「許可」に設定しておく必要があります。

### ダイレクトファクス時に必要な設定項目

DHCP	△	DHCP サーバから自動的に IP アドレスを取得する場合に設定。
IP アドレス	◎	本機のネットワーク設定。
サブネットマスク	◎	
ゲートウェイ	◎	
自装置ドメイン	○	本機のドメイン名を設定。メールサーバを経由して、ダイレクトファクス送信を行う場合に設可能。
ネットワークボード設定	△	ネットワークボード（LAN ボード）の通信速度を設定
ゲートウェイ送信	◎	ダイレクトファクス送信機能を使用する場合は「許可」、使用しない場合は「禁止」を設定。

◎：必須項目 ○：有効となる項目

△：環境によって設定が必要な項目



- ・パソコンと本機のネットワーク接続については、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキヤナ機能編」をごらんください。
- ・「自装置ドメイン」については、「自装置ドメインを設定する」(p. 10-73) をごらんください。
- ・「ゲートウェイ送信」については、「ゲートウェイ送信を設定する」(p. 10-75) をごらんください。

## ■ メールサーバを経由する場合について

メールサーバを経由してダイレクトファクス送信をする場合は、本機を電子メールサーバとして DNS サーバに設定する必要があります。

### 設定例

電子メールのドメイン名	xyz.co.jp
本機の IP アドレス	192.168.100.200
本機の自装置ドメイン名	name.xyz.co.jp
「xyz.co.jp」の DNS サーバの設定	name.xyz.co.jp MX 192.168.100.200

例のように設定すると「name.xyz.co.jp」をドメインとする電子メールが本機へ配達されます。

### ユーティリティ（信乃助）について

- あらかじめコンピュータに、「信乃助 EX Lite 版」をインストールしてください。
- 信乃助 Fax 通信の「初期設定」－「送信設定」で表示される項目には、装置本体の次の項目と同じものを設定してください。

信乃助の初期設定アドレス設定の項目	装置本体のネットワーク設定の項目
FAX 機のドメイン	自装置ドメイン名
FAX 機の IP アドレス	IP アドレス

- 相手先は、電話（ファクス）番号または電子メールアドレスで指定します。

### ひとこと

メールサーバを経由せず、ダイレクトファクス送信の場合は、本機の IP アドレスのみ設定してごらんください。



「信乃助 Fax 通信（EX Lite 版）」の操作方法については、「信乃助 Ex Lite 版 ユーザーズマニュアル」をごらんください。



# 第7章 便利な受信

---

通信設定のメニューを使った、便利なファクス受信について説明します。

7.1 パスワードで受信する（パスワード受信）.....	7-2
7.2 掲示板の文書を取出す（リモート取出し）.....	7-3
7.3 親展ボックスを使う（親展受信）.....	7-6

## 7.1 パスワードで受信する（パスワード受信）

こちらと相手先で登録してある通信パスワードが一致したときだけ受信することができます。ダイレクトメールの受信禁止などに使えます。

### ひとこと

送信側は、こちらと同じ通信パスワードを登録した機種に限られます。送信側の機種によっては、通信できない場合があります。



- あらかじめ送信側と受信側で通信パスワードを登録しておく必要があります。詳しくは、「通信パスワードを登録する」(p. 10-49)をごらんください。
- パスワード送信については、「パスワードを付けて送信する（パスワード送信）」(p. 6-21)をごらんください。
- パスワード受信をする・しないの設定は、ソフトスイッチで指定します。詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェアDIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。

## 7.2 掲示板の文書を取出す（リモート取出し）

他のファクスの掲示板に登録されている文書を取出すことができます。

1

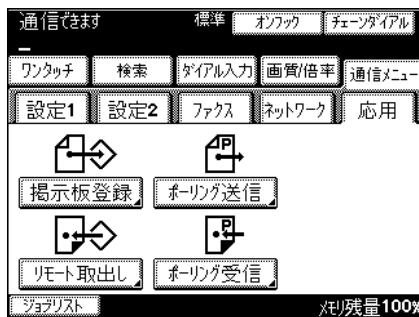
[ファクス / スキャン] を押し、ファクス画面を表示します。

2

[通信メニュー] を押します。

3

[応用] を押し、[リモート取出し] を押します。



4

相手先の指定方法を選びます。



5

送信先の番号を指定します。

- ワンタッチの場合は、送信先のワンタッチキーを押します。手順 11 に進みます。
- ダイアル入力の場合は、送信先の番号を入力します。手順 6 に進みます。



- 掲示板の指定は、F コードで行います。あらかじめ掲示板番号ごとに登録されている F コードを、相手先に確認してください。
- 相手先が掲示板の閲覧をパスワードで制限しているときは、F コードパスワードも確認しておく必要があります。

### ひとこと

- ワンタッチダイアルで指定するときはあらかじめ F コードを登録しておいてください。
- ソフトウェア DIPSW でダイアル入力による指定が制限されている場合、ダイアル入力して送信できません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。

## 7.2 掲示板の文書を取出す（リモート取出し）

6

[ダイアル入力] で [F コード] を押します。



7

[F コード (SEP)] を押します。



8

送信先の「F コード (SEP)」を入力し、[OK] を押します。

○ テンキーで数字を入力します。



### ひとこと

F コードパスワードを入力するときは、同様に [F コードパスワード (SID/PWD)] を押し、F コードパスワードを入力してください。

9

[OK] を押します。

10

テンキーで、送信先の電話番号を入力します。

11

[次へ] を押します。

12

受信したい時刻を入力します。

[時] または [分] を押し、テンキーで数字を入力します。



13

【スタート】を押します。

確認画面が表示され指定時刻に受信が開始されます。

7



- 掲示板への文書登録のしかたは、「掲示板に文書を登録する」(p. 6-28) をごらんください。
- 本機の掲示板に登録されている文書を取り出すときは、操作方法が異なります。詳しくは、「通信結果を確認する（ジョブリスト）」(p. 2-33) をごらんください。

## 7.3 親展ボックスを使う（親展受信）

親展ボックスに保存されている文書を取出します。

1

[ジョブリスト] を押します。

ジョブリスト画面が表示されます。

2

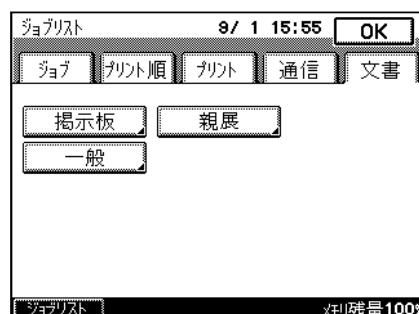
[文書] を押します。



親展文書を受信するには、あらかじめ親展ボックスを登録しておく必要があります。「親展ボックスを設定する」(p. 9-30)をごらんください。設定した内容は、親展送信する相手に知らせてください。

3

[親展] を押します。

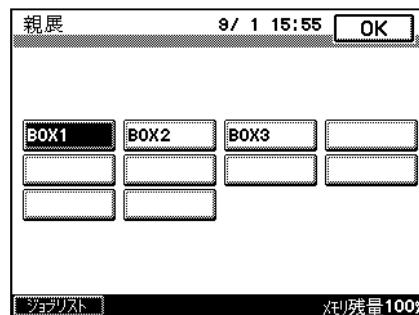


### ひとこと

親展ボックスにパスワードが設定されている場合は、親展ボックスのキーを押すと、パスワード入力画面が表示されます。

4

目的の親展ボックスのキーを押します。



5

[プリント] を押します。



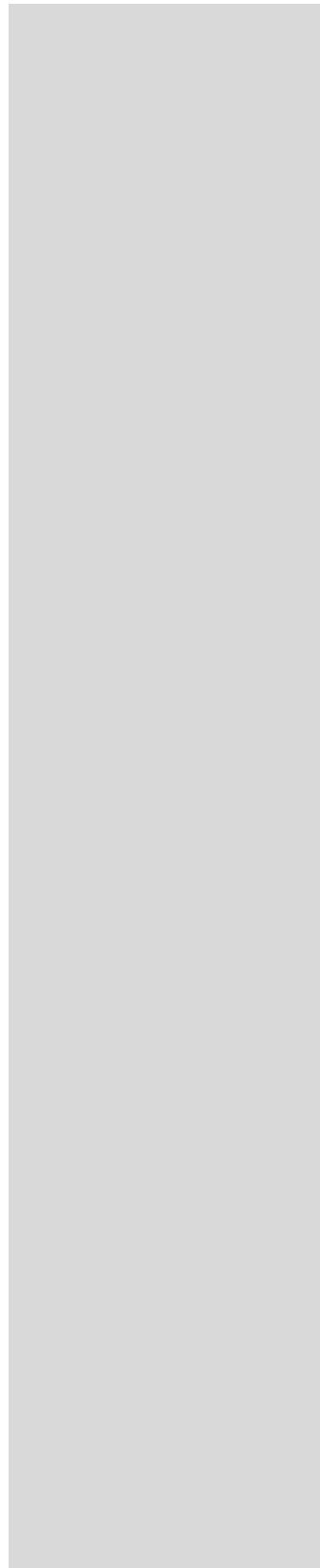
### ひとこと

[消去] を押すと、文書をプリントせずに削除します。

文書がプリントされます。

7

### 7.3 親展ボックスを使う（親展受信）





# 第8章 ポーリング

---

ポーリング送信、ポーリング受信について説明します。

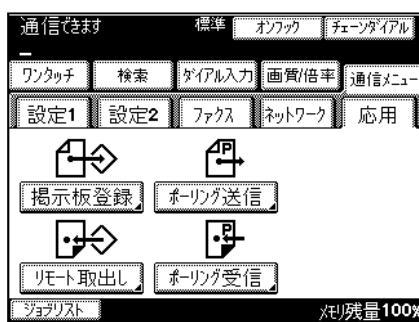
8.1 ポーリング原稿を準備する（ポーリング送信）.....	8-2
8.2 受信側からの指示で送信させる（ポーリング受信）.....	8-4

## 8.1 ポーリング原稿を準備する（ポーリング送信）

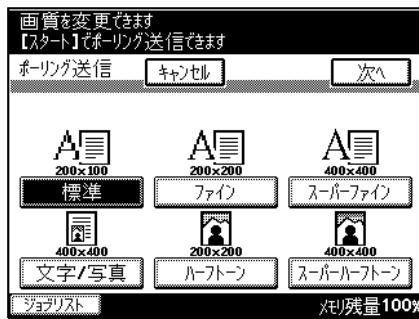
ポーリング送信とは、受信側からのポーリング指示で原稿を送信するために、あらかじめ本機のメモリに原稿を蓄積しておく機能です。

ポーリング送信を指示した原稿は、ポーリング送信ボックスに蓄えられ、受信側からのポーリング指示で送信が開始されます。

- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。
- 2 [通信メニュー] を押します。
- 3 [応用] を押し、[ポーリング送信] を押します。

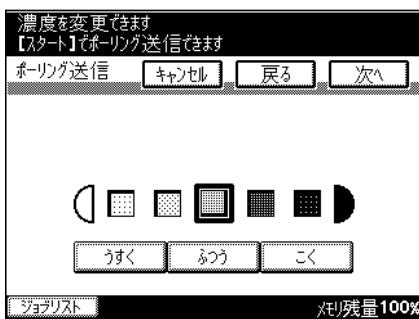


- 4 画質を指定し、[次へ] を押します。



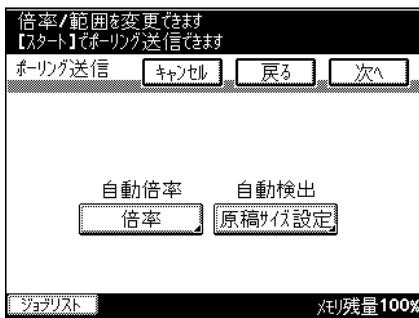
5

濃度を指定し、[次へ] を押します。



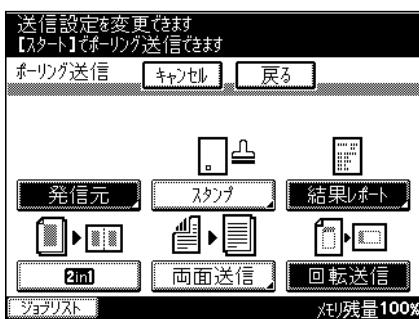
6

倍率と原稿サイズを指定し、[次へ] を押します。



7

送信機能を指定します。



8

【スタート】を押します。

原稿が読み込まれ、確認画面が表示されます。

### 詳しく説明します

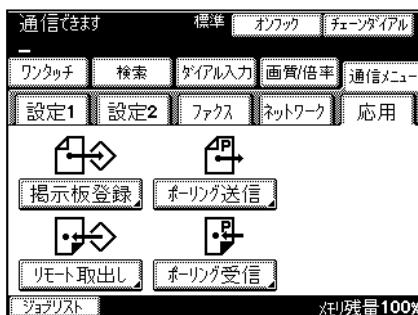
- メモリに入っている原稿は、送信後に削除されます。
- メモリがいっぱいのときは、ポーリング送信できません。
- ポーリング送信では、通信料金が相手先の負担となります。
- ポーリング送信は、1文書のみ指定できます。すでにポーリング送信が指定された文書があるときは、指定できません。
- ポーリング送信の指定は、1回送信するごとに解除されます。

## 8.2 受信側からの指示で送信させる（ポーリング受信）

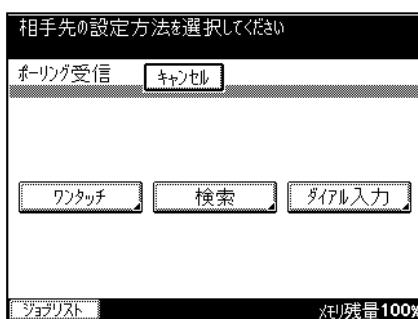
ポーリング受信とは、送信側にセットされている原稿や、ポーリング送信予約された原稿を受信側からの指示で送信させる機能です。

ファクシミリ情報サービスで準備してある原稿をこちらの操作で受信することができます。ポーリング受信では、受信する時刻を指定できます。大量の原稿をポーリング受信するときや、遠くの地域からポーリング受信するときなどに、低料金の深夜の時間帯を指定すると料金を節約できます。

- 1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス画面を表示します。
- 2 [通信メニュー] を押します。
- 3 [応用] を押し、[ポーリング受信] を押します。



- 4 相手先の指定方法を選びます。



- 5 送信先の番号を指定します。
  - ワンタッチの場合は、送信先のワンタッチキーを押します。
  - ダイアル入力の場合は、送信先の番号を入力します。

### ひとこと

ソフトウェア DIPSW でダイアル入力による指定が制限されている場合、ダイアル入力して送信できません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をご覧ください。

6

【次へ】を押します。

7

受信したい時刻を入力します。

【時】または【分】を押し、テンキーで数字を入力します。



8

【スタート】を押します。

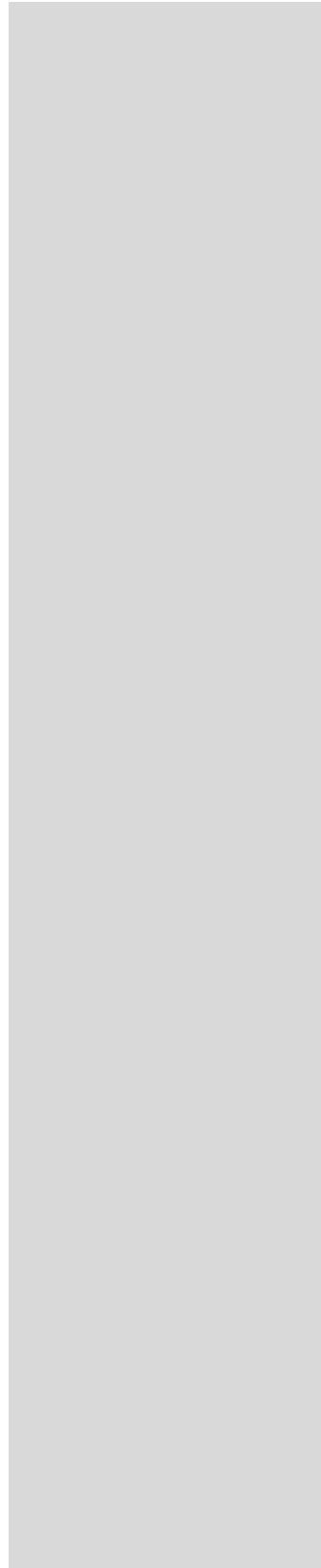
確認画面が表示され指定時刻に受信が開始されます。

### ひとこと

通信料金は受信側の負担となります。

8

## 8.2 受信側からの指示で送信させる（ポーリング受信）



# 第9章 登録／設定する

---

ワンタッチやプログラムなどの登録方法を説明しています。

9.1 ファクス登録画面を表示する .....	9-2
9.2 ワンタッチを登録する .....	9-3
9.3 ワンタッチキーのインデックスを登録する .....	9-14
9.4 プログラムキーを登録する .....	9-17
9.5 揭示板を設定する .....	9-26
9.6 親展ボックスを設定する .....	9-30

## 9.1 ファクス登録画面を表示する

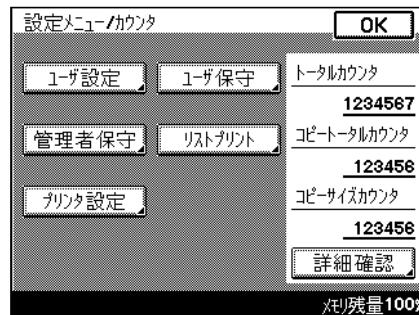
ファクス登録の画面を表示する場合は、次の手順で操作します。

1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2

【ユーザ設定】を押します。



【設定メニュー / カウンタ】を押して登録、設定を行った場合は、待機画面（最初の画面）に戻ったあとに必ず操作パネルの【リセット】を押してください。

3

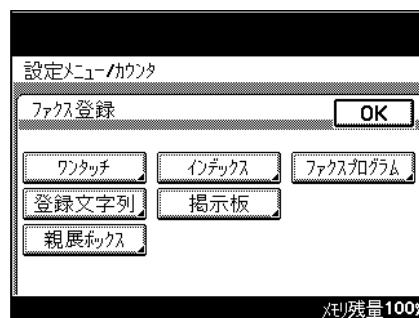
【ファクス登録】を押します。



### ひとこと

ソフトウェア DIPSW で「ファクス登録」が管理者開放に設定されている場合は、【ファクス登録】はユーザー設定画面に表示されません。この場合、管理者保守でのみ登録・変更・削除ができます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。

ファクス登録画面が表示されます。



## 9.2 ワンタッチを登録する

ワンタッチキーに送信先を登録しておくと、ファックス番号を入力する手間が省け、便利です。

### ■ ワンタッチキーにファックス番号を登録する

1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2

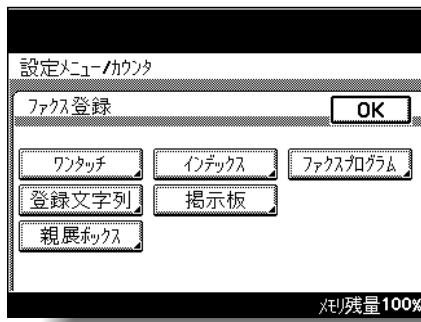
【ユーザ設定】を押します。

3

【ファックス登録】を押します。

4

【ワンタッチ】を押します。



【設定メニュー / カウンタ】を押して登録、設定を行った場合は、待機画面（最初の画面）に戻ったあとに必ず操作パネルの【リセット】を押してください。

#### ひとこと

ソフトウェア DIPSW で「ファックス登録」が管理者開放に設定されている場合は、【ファックス登録】はユーザー設定画面に表示されません。この場合、管理者保守でのみ登録・変更・削除ができます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。



- ワンタッチ画面は 36 画面あり、送信先は 540 件まで登録できます（1 画面に 15 件が 36 画面）。
- 送信先を登録する際に、インデックスで送信先を分類しておくと検索するときに便利です。詳しくは、「ワンタッチキーのインデックスを登録する」(p. 9-14) をごらんください。
- 登録内容を変更したり、削除したり、ワンタッチキーのコピーをすることもできます。

9

## 9.2 ワンタッチを登録する

5

登録したいワンタッチキーを押します。



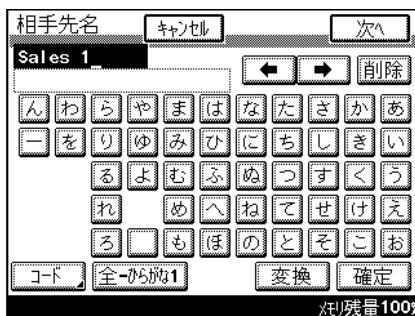
### ひとこと

インデックスの第1画面が、自動的に表示されます。インデックスのタブ、[←] [→] または [インデックス一覧] を押して、目的のワンタッチキーを探してください。

6

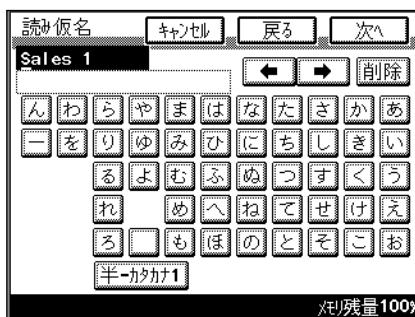
ワンタッチキーに表示する送信先名を入力して [次へ] を押します。

全角6文字（半角12文字）まで入力できます。



7

送信先の読み仮名を入力して [次へ] を押します。



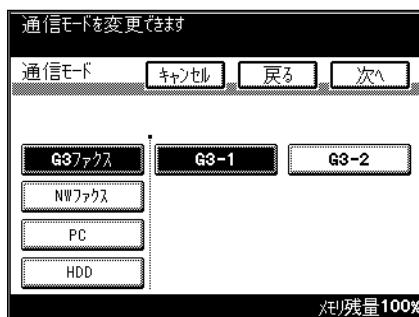
### ひとこと

読み仮名は、自動的に入力されます。必要に応じ、修正してください。

8

通信モードを選び、[次へ] を押します。

- [G3-1] : ポート 1 を利用して送信するときに押します。
- [G3-2] : ポート 2 を利用して送信するときに押します。



### 詳しく説明します

この画面は、オプションの回線拡張キットが装着されているときに表示されます。表示されない場合は次の手順へ進んでください。

9

9

テンキーで、送信先の電話番号を入力し、[次へ] を押します。

電話番号は 64 行まで入力できます。

- [ポーズ] を押すと、約 3 秒間の空き時間を入力できます。画面には [P] と表示されます。
- [トーン] を押すと、以降の発信をプッシュトーンにします。画面には [T] と表示されます。
- [S] : 相手機確認送信をしたいときに、[S] を押し特殊文字「S」を入力します。
- [海外] を押すと、海外向けの送信にします。  
海外へのファクス送信は、場所によっては電話回線の環境が悪く通信エラーになる場合があります。このようなときは、[海外] を押すと、送信スピードを通常より遅くなり届きやすくなります。



### 詳しく説明します

- [トーン] は、ダイアル(パルス)回線を使用している場合に、プッシュトーンを送出するために押します。
- 内線から外線に発信するときは、より確実にダイアルするために、「0」などの外線番号のあとに [ポーズ] を押します。
- 國際電話番号（001、0061、0041）のあとに、続けて国番号とファクス番号を入力すると、ダイアルの途中で話中となり送信できないことがあります。このようなときは、國際電話番号を入力したあとに [ポーズ] を 2 回押して、約 6 秒の空白時間をおいてから残りの電話番号を入力してください。それでも送信できない場合は、クリック送信を行ってください。

### 参照

- F コードを登録するときは [F コード] を押します。詳しくは、「F コードを登録するとき」(p. 9-7)をごらんください。
- 通信速度を設定するときは、[速度] を押します。詳しくは、「通信速度を設定するとき」(p. 9-9)をごらんください。
- 相手機確認送信について詳しくは、「相手先を確認してから送信する」(p. 2-26)をごらんください。

10

登録内容を確認し、[OK] を押します。

修正するときは修正する項目を選び、登録しなおしてください。

**ひとこと**

画面上に表示される#で始まる3桁の数字はワンタッチ番号です。ワンタッチキーには、それぞれワンタッチ番号が設定されています。ワンタッチキーを押す代わりに、[#]とワンタッチ番号(000～539)を入力して送信先を指定することもできます。



[ワンタッチ]メニューを選び、[サブ相手先登録]を押すと、相手先自動切換の送信先を登録できます。詳しくは、「サブ相手先を登録／削除する」(p. 9-12)をごらんください。

11

待機画面（最初の画面）にもどるまで [OK] を押します。

**■ Fコードを登録するとき**

1

登録操作の手順1～8と同様に番号入力画面まで進みます。

2

テンキーで、送信先の電話番号を入力し、[Fコード]を押します。



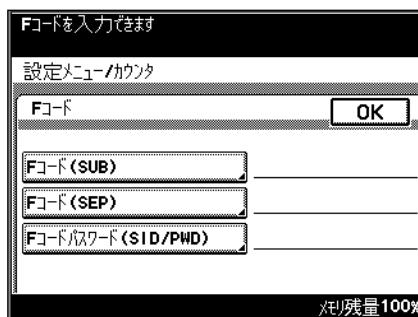
詳しくは、「ワンタッチキーにファクス番号を登録する」(p. 9-3)をごらんください。

9

## 9.2 ワンタッチを登録する

3

[F コード (SUB)] [F コード (SEP)] [F コードパスワード (SID/PWD)] の中から登録する項目のキーを押します。



詳しくは、「F コードについて」(p. 6-24) をごらんください。

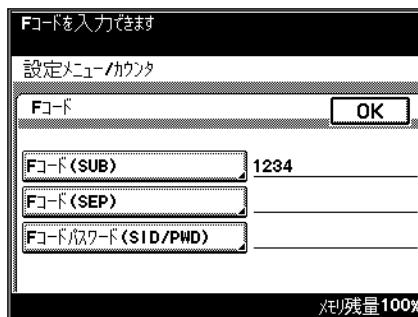
4

テンキーで F コードを入力して、[OK] を押します。



5

[OK] を押します。



6

[次へ] を押します。

7

登録内容を確認し、[OK] を押します。

修正するときは修正する項目を選び、登録しなおします。

8

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

## ■ 通信速度を設定するとき

1

登録操作の手順1～8と同様に番号入力画面まで進みます。

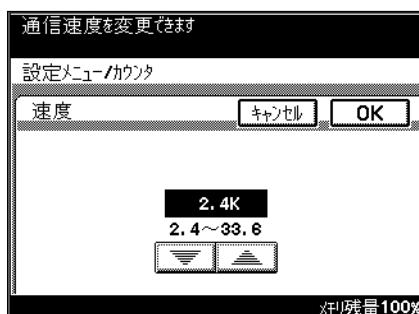
2

テンキーで、送信先の電話番号を入力し、[速度] を押します。



3

[▼] [▲] を押して、通信速度を選び、[OK] を押します。



4

[次へ] を押す。

5

登録内容を確認し、[OK] を押します。

修正するときは修正する項目を選び、登録しなおします。

6

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。



詳しくは、「ワンタッチキーにファックス番号を登録する」(p. 9-3)をごらんください。

9

## ■ ワンタッチを変更する／削除する

1

登録操作の手順1～4と同様にワンタッチ選択画面まで進みます。

2

変更したいワンタッチキーを押します。



詳しくは、「ワンタッチキーにファクス番号を登録する」(p. 9-3)をごらんください。

3

変更する項目のキーを押し、登録内容を変更します。

ワンタッチを削除するときは「削除」を押します。



4

待機画面（最初の画面）に戻るまで「OK」を押します。

## ■ ワンタッチキーをコピーする

1

登録操作の手順1～4と同様にワンタッチ選択画面まで進みます。

2

コピー元のワンタッチキーを押します。



詳しくは、「ワンタッチキーにファックス番号を登録する」(p. 9-3)をごらんください。

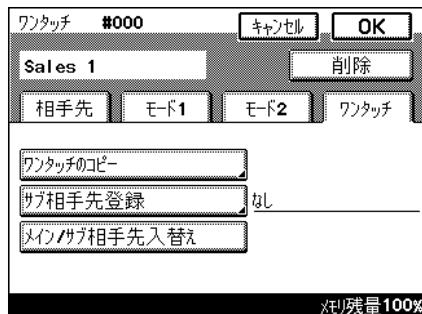
3

[ワンタッチ] を押します。



4

[ワンタッチのコピー] を押します。



9

## 9.2 ワンタッチを登録する

5

コピー先のワンタッチキーを押します。



ワンタッチの登録内容がコピーされます。

6

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

### ■ サブ相手先を登録／削除する

ワンタッチにはメインの相手先のほか、メインの相手先が不通のときに送信するサブ相手先を登録できます。

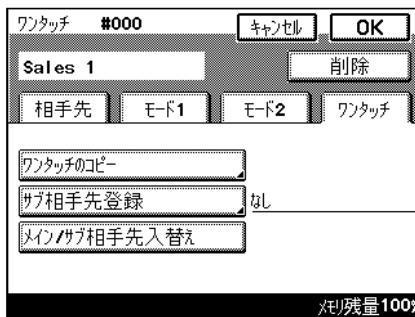
1

登録操作の手順1～4と同様にワンタッチ選択画面まで進みます。

サブ相手先を登録するワンタッチを押します。

2

[ワンタッチ] を押し、[サブ相手先登録] を押します。

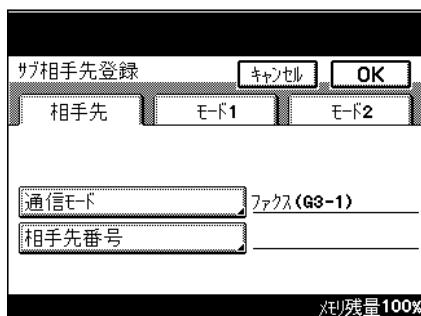


#### ひとこと

すでに登録したサブ相手先がある場合は、「メイン/サブ相手先入替え」でメインの相手先と入替えることができます。

4

サブ相手先の情報を入力し、[OK] を押します。



- すでにサブ相手先が設定されている場合は、表示された内容を確認し、[設定変更] または [削除] を押します。
- 削除する場合は、削除確認のメッセージが表示されます。[はい] を押します。

5

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

9

## 9.3 ワンタッチキーのインデックスを登録する

インデックスキーを使って「支社」、「顧客」や「関東」、「東北」、というようにワンタッチキーを分類しておくと、目的のワンタッチキーが探しやすくなります。

### ■ インデックスを登録する

1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2

【ユーザ設定】を押します。

3

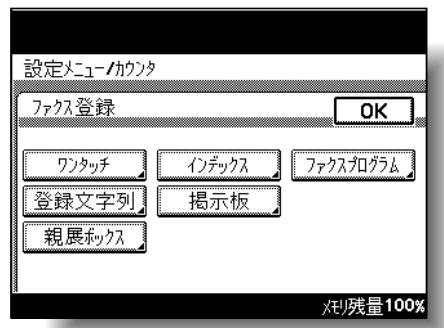
【ファクス登録】を押します。

4

【インデックス】を押します。

5

登録したいインデックスキーを押します。



インデックスキーは36個あり、1つのインデックスキーにワンタッチを15件まで登録できます。



【設定メニュー / カウンタ】を押して登録、設定を行った場合は、待機画面（最初の画面）に戻ったあとに必ず操作パネルの【リセット】を押してください。

#### ひとこと

ソフトウェアDIPSWで「ファクス登録」が管理者開放に設定されている場合は、[ファクス登録]はユーザー設定画面に表示されません。この場合、管理者保守でのみ登録・変更・削除ができます。ソフトウェアDIPSWについて詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェアDIPSW）」(p.10-77)をごらんください。

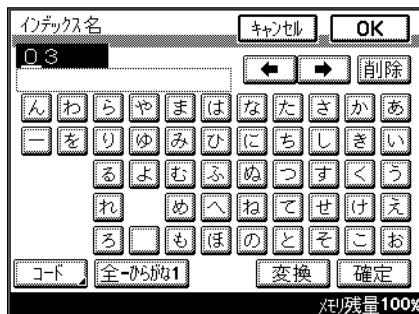


表示名を入力する画面が表示されます。

6

インデックスに表示する名称を入力して [OK] を押します。

全角4文字（半角8文字）まで入力できます。



7

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

### ■ インデックスを変更する／削除する

1

登録操作の手順1～4と同様にインデックス選択画面まで進みます。

2

変更したいインデックスキーを押します。



表示名を入力する画面が表示されます。



詳しくは、「インデックスを登録する」(p. 9-14)をごらんください。

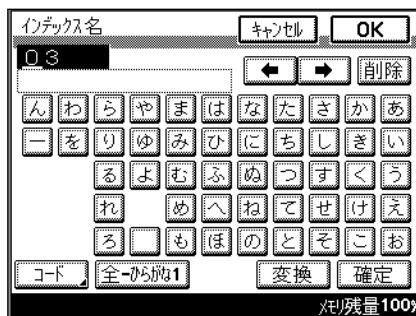
9

### 9.3 ワンタッチキーのインデックスを登録する

3

登録名を変更します。

インデックスを削除するときは名称を空白にします。



4

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

## 9.4 プログラムキーを登録する

送信先情報とともに、通信時に使える機能を登録（プログラム）しておくと、そのキーを押すだけで同じ通信条件で送信や受信をすることができます。毎日決まった時刻に決まった送受信をすることが多い場合などにお使いください。

プログラムキーには、以下の3つの分類があります。

- 送信プログラム：ワンタッチの送信先、画質、濃度、倍率、原稿サイズ設定、クイック送信、優先送信、送信時刻、発信元、宛名差込、結果レポート、リモートコピー、パスワード送信、2in1送信、両面送信、回転送信、スタンプなどをプログラムして登録できます。
- ポストプログラム：複数の原稿を指定した時刻にまとめて送信するプログラムを登録できます。
- ポーリング受信プログラム：ポーリング受信する時刻を登録できます。

### ■ 送信プログラムを登録する

1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2

【ユーザ設定】を押します。

3

【ファックス登録】を押します。

4

【ファックスプログラム】を押します。



#### 詳しく説明します

- ・ファックスプログラムキーは、最大30個まで登録できます。ただし、ファックスプログラムキーとワンタッチキーの合計が540個を超えることはできません。
- ・送信先はワンタッチキーで指定します。あらかじめワンタッチに登録してください。

#### 必ずやってください

【設定メニュー / カウンタ】を押して登録、設定を行った場合は、待機画面（最初の画面）に戻ったあとに必ず操作パネルの【リセット】を押してください。

#### ひとこと

ソフトウェアDIPSWで「ファックス登録」が管理者開放に設定されている場合は、「ファックス登録」はユーザー設定画面に表示されません。この場合、管理者保守でのみ登録・変更・削除ができます。ソフトウェアDIPSWについて詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェアDIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。

9

## 9.4 プログラムキーを登録する

5

登録したいワンタッチキーを押します。

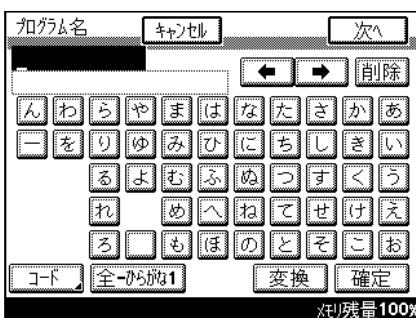


表示名を入力する画面が表示されます。

6

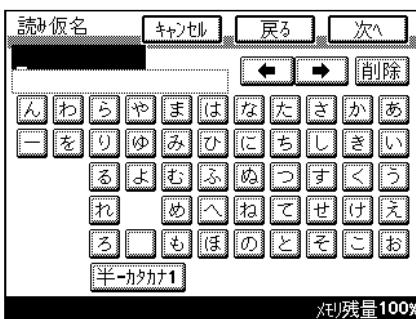
プログラムキーに表示する名称を入力して [次へ] を押します。

全角 6 文字（半角 12 文字）まで入力できます。



7

読み仮名を入力して [次へ] を押します。

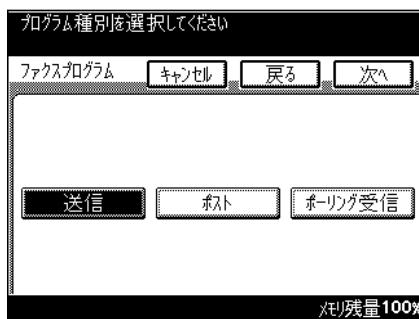


### ひとこと

読み仮名は、自動的に入力されます。必要に応じ、修正してください。

8

[送信] を選び [次へ] を押します。



9

送信先を指定します。

[ワンタッチ] または [検索] で目的のワンタッチキーを探し、送信先を指定してから [OK] を押します。

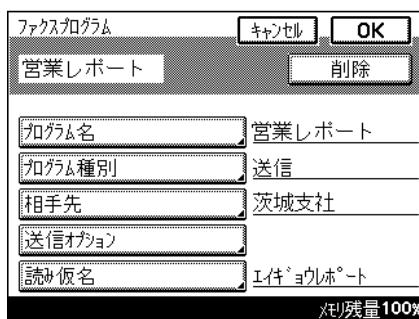


10

[次へ] を押します。

11

[送信オプション] を押します。



### ひとこと

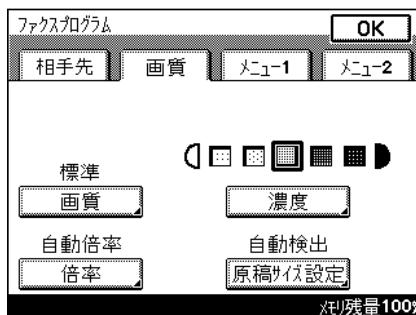
- 順次同報送信を登録するときは、送信先をすべて指定してください。送信先は、300 件まで登録できます。
- 送信先を登録しないときは、[相手先なし] を押してください。

9

## 9.4 プログラムキーを登録する

12

登録する機能を指定する。すべての機能を指定したら、[OK] を押します。

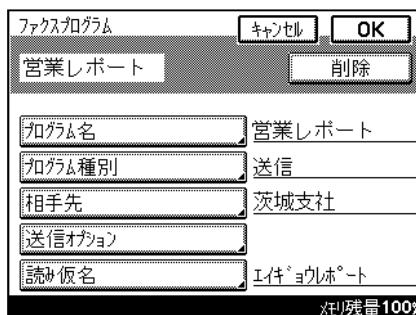


必要に応じて [画質] や [メニュー1]、[メニュー2] で機能を設定します。[画質] の設定については、「送信条件を設定する」(p. 2-9) を、[メニュー1]、[メニュー2] の設定については、「第6章 便利な送信」(p. 6-1) をごらんください。

13

登録内容を確認し、[OK] を押します。

修正するときは修正する項目を選び、登録しなおします。



詳しくは、「送信プログラムを登録する」(p. 9-17) をごらんください。

14

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

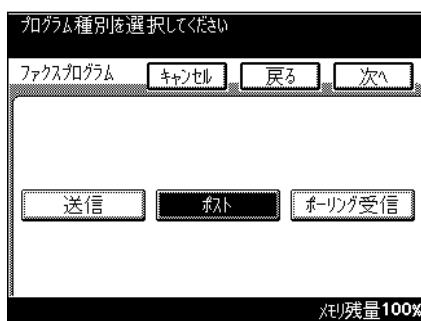
### ■ ポストプログラムを登録する

1

送信プログラム登録操作の手順1～7と同様にプログラム選択画面まで進みます。

2

[ポスト] を選び [次へ] を押します。



3

送信先を指定します。

[ワンタッチ] または [検索] で目的のワンタッチキーを探し、送信先を指定してから [OK] を押します。



9

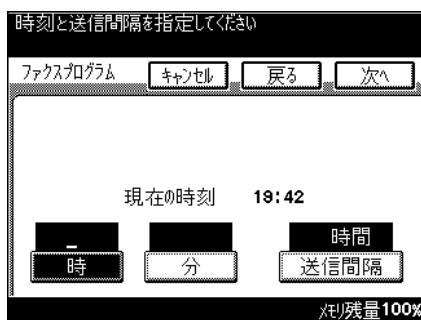
4

[次へ] を押します。

5

送信時間と間隔を設定します。

入力項目のキーを押し、テンキーで数字を入力します。



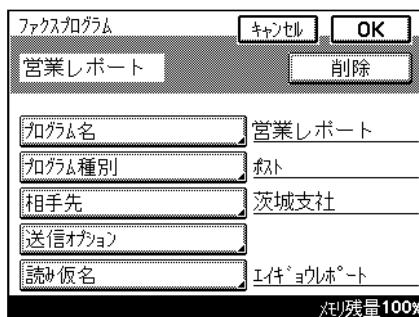
6

[次へ] を押します。

## 9.4 プログラムキーを登録する

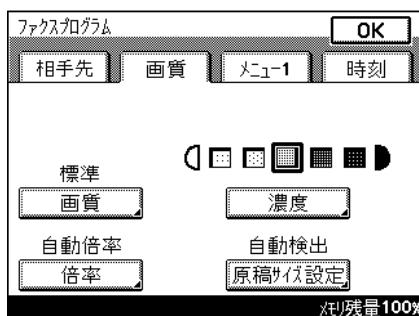
7

[送信オプション] を押します。



8

登録する機能を指定する。すべての機能を指定したら、[OK] を押します。

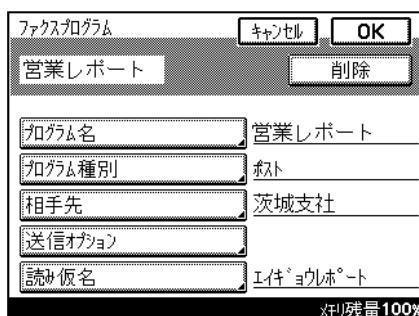


必要に応じて [画質] や [メニュー 1] で機能を設定します。[画質] の設定については、「送信条件を設定する」(p. 2-9) を、[メニュー 1] の設定については、「第 6 章 便利な送信」(p. 6-1) をごらんください。

9

登録内容を確認し、[OK] を押します。

修正するときは修正する項目を選び、登録しなおします。



10

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

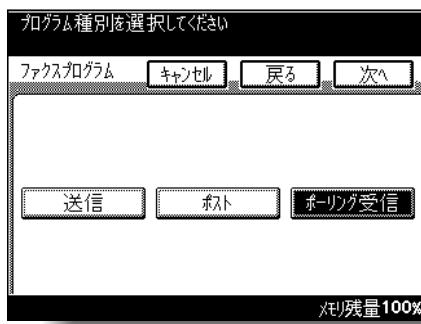
## ■ ポーリング受信プログラムを登録する

1

送信プログラム登録操作の手順1～7と同様にプログラム選択画面まで進みます。

2

[ポーリング受信] を選び [次へ] を押します。



3

送信先を指定します。

[ワンタッチ] または [検索] で目的のワンタッチキーを探し、送信先を指定してから [OK] を押します。



4

[次へ] を押します。



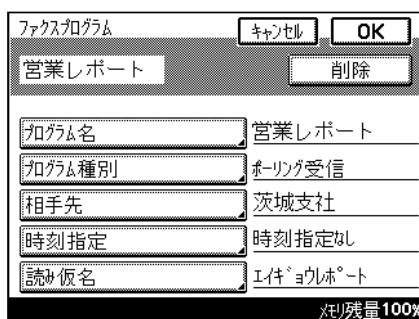
詳しくは、「送信プログラムを登録する」(p. 9-17)をごらんください。

9

## 9.4 プログラムキーを登録する

5

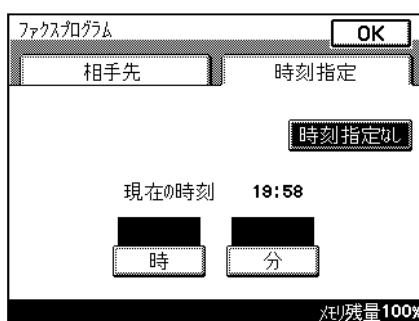
[時刻指定] を押します。



6

送信時間と間隔を設定します。

入力項目のキーを押し、テンキーで数字を入力します。



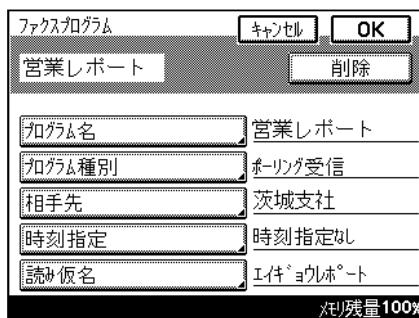
7

[OK] を押します。

8

登録内容を確認し、[OK] を押します。

修正するときは修正する項目を選び、登録しなおします。



9

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

## ■ プログラムを変更する／削除する

1

送信プログラム登録操作の手順1～4と同様にワンタッチキー選択画面まで進みます。

2

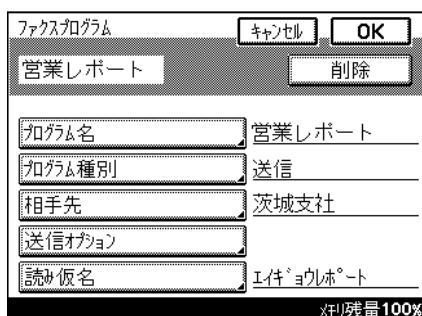
変更したいワンタッチキーを押します。



詳しくは、「送信プログラムを登録する」(p. 9-17)をごらんください。

3

変更する項目のキーを押し、登録内容を変更します。  
○ ワンタッチを削除するときは [削除] を押します。



プログラム種別を変更すると、登録内容が全てクリアされます。

9

4

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

## 9.5 掲示板を設定する

掲示板に文書を登録するには、あらかじめ掲示板を設定しておく必要があります。ここでは、掲示板の開設のしかたを説明します。

1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2

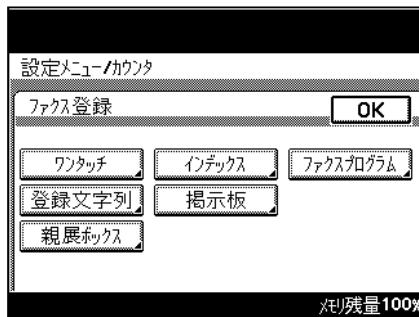
【ユーザ設定】を押します。

3

【ファクス登録】を押します。

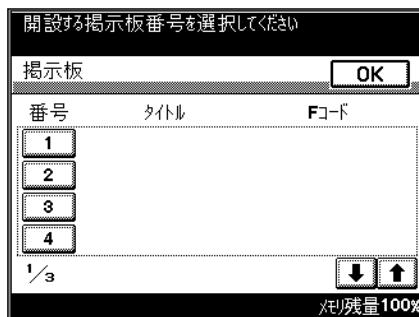
4

【掲示板】を押します。



5

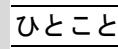
登録したい掲示板の番号を押します。



【設定メニュー / カウンタ】を押して登録、設定を行った場合は、待機画面（最初の画面）に戻ったあとに必ず操作パネルの【リセット】を押してください。



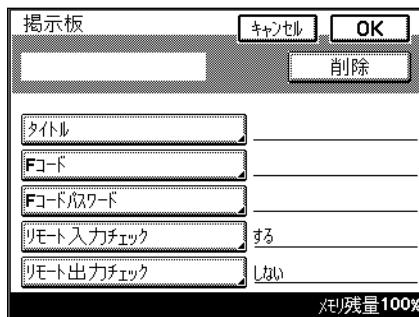
掲示板にはそれぞれ F コードを設定します。掲示板にパスワードを設定するときは、F コードパスワードも設定します。詳しくは、「F コードについて」(p. 6-24)をごらんください。



ソフトウェア DIPSW で「ファクス登録」が管理者開放に設定されている場合は、【ファクス登録】はユーザー設定画面に表示されません。この場合、管理者保守でのみ登録・変更・削除ができます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。

6

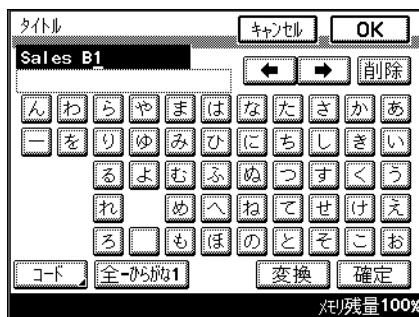
[タイトル] を押します。



7

タイトルを入力して [OK] を押します。

全角 8 文字（半角 16 文字）まで入力できます。



8

[F コード] を押します。



9

F コードを入力し、[OK] を押します。

○ 掲示板機能を使うための F コードを登録します。

9

## 9.5 掲示板を設定する

- 使用できる文字は 0 ~ 9、#、\* で、最大 20 桁まで登録できます。



ほかの掲示板や親機ボックの F コードが重複しないように設定してください。

10

- 必要に応じて [F コードパスワード] を押してパスワードを入力します。



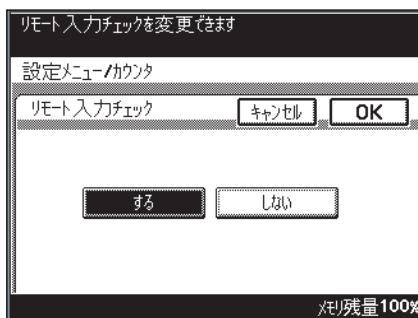
- パスワードは、掲示板の閲覧を制限するときに入力します。閲覧の制限は、[リモート入力チェック] [リモート出力チェック] で設定します。
- パスワードは、掲示板の番号ごとに登録します。
- 使用できる文字は 0 ~ 9、#、\* で、最大 20 桁まで登録できます。入力したパスワードは「\*」(アスタリスク) で表示されます。

11

- [リモート入力チェック] を押します。

12

- リモート入力チェックを [する] または [しない] を選び、[OK] を押します。



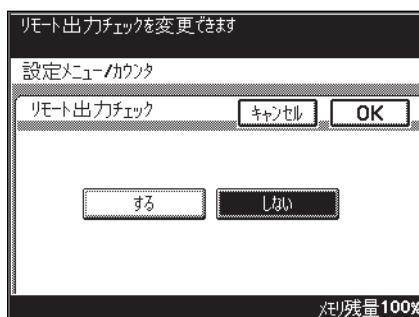
- 他のファックス機からの操作で本機の掲示板に文書を登録するときに、パスワードによる規制をするかしないかを設定します。
- 「する」に設定した場合は F コードパスワードを入力してください。

13

- [リモート出力チェック] を押します。

14

リモート出力チェックを [する] または [しない] を選び、[OK] を押します。



- 他のファクス機からの操作で掲示板の文書を取出すときに、パスワードによる規制をするかしないかを設定します。
- 「する」に設定した場合は F コードパスワードを入力してください。

15

登録内容を確認し、[OK] を押します。

修正するときは修正する項目を選び、登録しなおします。



9

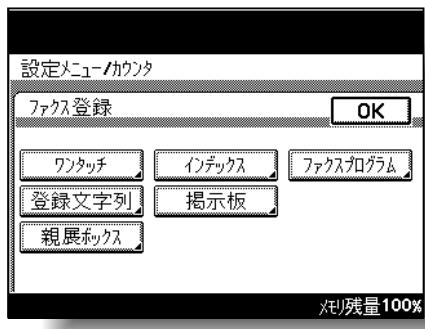
16

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

## 9.6 親展ボックスを設定する

親展ボックスに文書を保存するには、あらかじめ親展ボックスを登録しておく必要があります。

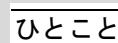
- 1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。
- 2 [ユーザ設定] を押します。
- 3 [ファクス登録] を押します。
- 4 [親展ボックス] を押します。



【設定メニュー / カウンタ】を押して登録、設定を行った場合は、待機画面（最初の画面）に戻ったあとに必ず操作パネルの【リセット】を押してください。



親展ボックスにはそれぞれFコードを設定します。親展ボックスにパスワードを設定するときは、Fコードパスワードも設定します。詳しくは、「Fコードについて」(p. 6-24)をごらんください。



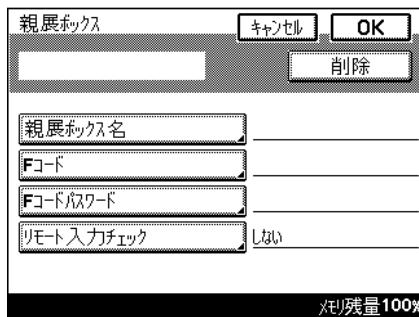
ソフトウェアDIPSWで「ファクス登録」が管理者開放に設定されている場合は、[ファクス登録]はユーザー設定画面に表示されません。この場合、管理者保守でのみ登録・変更・削除ができます。ソフトウェアDIPSWについて詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェアDIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。

- 5 登録したい親展ボックスキーを押します。



6

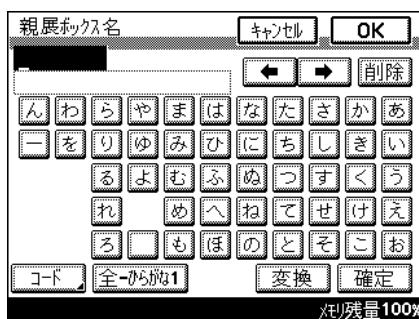
[親展ボックス名] を押します。



7

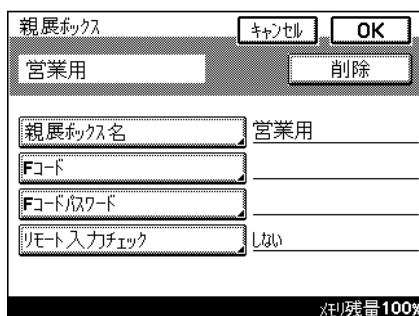
親展ボックス名を入力して [OK] を押します。

全角 4 文字（半角 8 文字）まで入力できます。



8

[F コード] を押します。



9

## 9.6 親展ボックスを設定する

9

Fコードを入力し、[OK] を押します。

- 親展ボックス機能を使うためのFコードを登録します。
- 使用できる文字は0～9、#、\*で、最大20桁まで登録できます。



ほかの親展ボックスや掲示板、メールボックス、文書管理のFコードが重複しないように設定してください。

10

必要に応じて [Fコードパスワード] を押してパスワードを入力します。



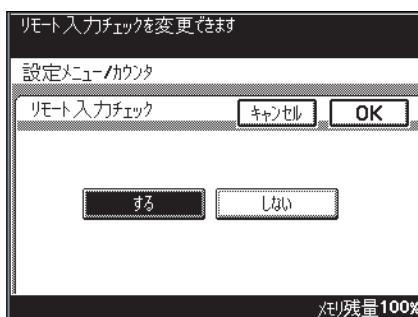
- パスワードは、親展ボックスの閲覧を制限するときに入力します。閲覧の制限は、[リモート入力チェック] で設定します。
- パスワードは、親展ボックスごとに登録します。
- 使用できる文字は0～9、#、\*で、最大20桁まで登録できます。入力したパスワードは「\*」(アスタリスク)で表示されます。

11

[リモート入力チェック] を押します。

12

リモート入力チェックを [する] または [しない] を選び、[OK] を押します。



- 他のファクス機からの操作で本機の親展ボックスに文書を登録するときに、パスワードによる規制をするかしないかを設定します。
- 「する」に設定した場合はFコードパスワードを入力してください。

13

登録内容を確認し、[OK] を押します。

修正するときは修正する項目を選び、登録しなおします。

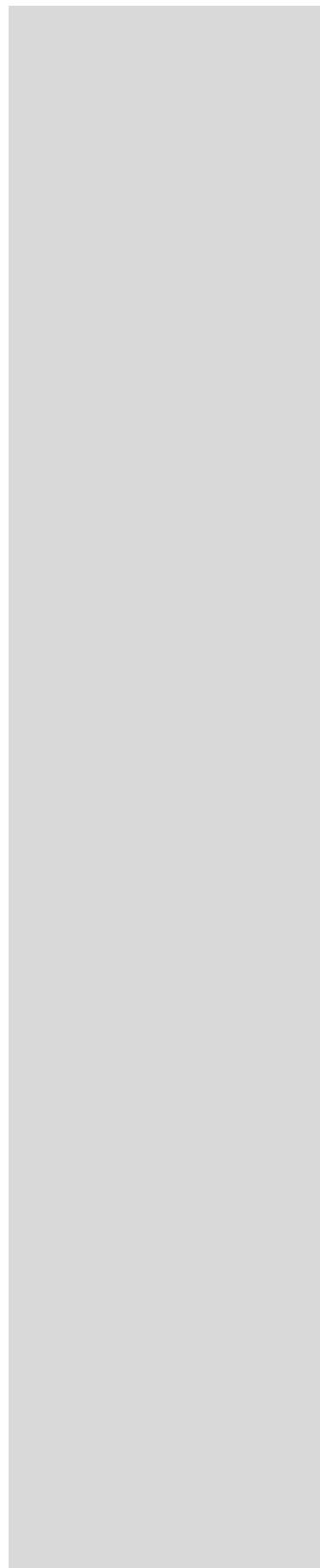


14

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

9

## 9.6 親展ボックスを設定する



# 第10章 設定メニュー

日頃の使い方に合わせて、本機の設定を変更、管理する方法について説明します。

10.1 設定メニューの概要	10-2
10.2 ユーザチョイスを設定する（ユーザチョイス）	10-9
10.3 ファクス登録を設定する	10-12
10.4 ユーザ保守を設定する（ユーザ保守）	10-13
10.5 管理者保守画面を表示させるには（管理者保守）	10-15
10.6 設定できる項目	10-17
10.7 発信元名やレポートの言語を設定する（言語設定）	10-19
10.8 電話番号を登録する（自局電話番号情報）	10-20
10.9 名前を登録する（発信元名）	10-24
10.10 受信側で表示される ID を登録する（自局 ID）	10-26
10.11 ワンタッチを変更禁止にする	10-27
10.12 送信に関する設定をする（送信設定）	10-28
10.13 受信文書のプリント時期を設定する（受信設定）	10-35
10.14 親展ボックスを削除する	10-40
10.15 ナンバーディスプレイを利用する	10-42
10.16 ダイアルインを利用する	10-45
10.17 着信方式と呼出し回数を設定する（受信機能）	10-47
10.18 通信パスワードを登録する	10-49
10.19 レポート出力に関する設定をする（レポート設定）	10-51
10.20 送信文書を設定した宛先に転送する（管理者転送）	10-54
10.21 文書を受信したときの処理のしかたを設定する（文書管理）	10-56
10.22 自装置ドメインを設定する	10-73
10.23 ゲートウェイ送信を設定する	10-75
10.24 機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）	10-77

# 10.1 設定メニューの概要

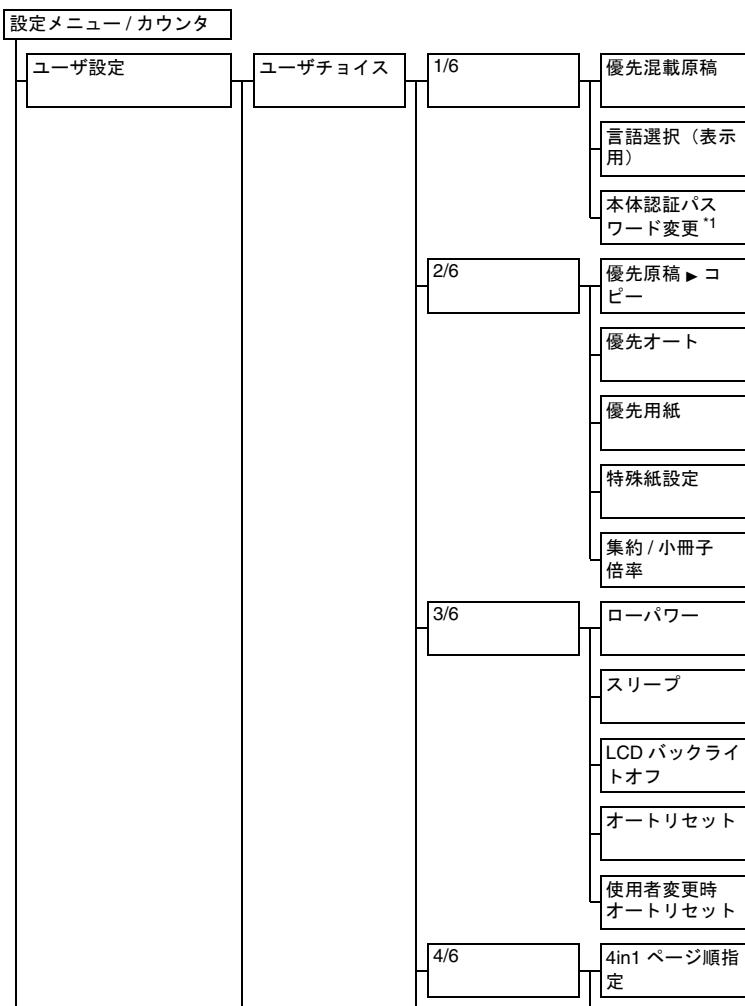
## ■ 登録・設定項目一覧表

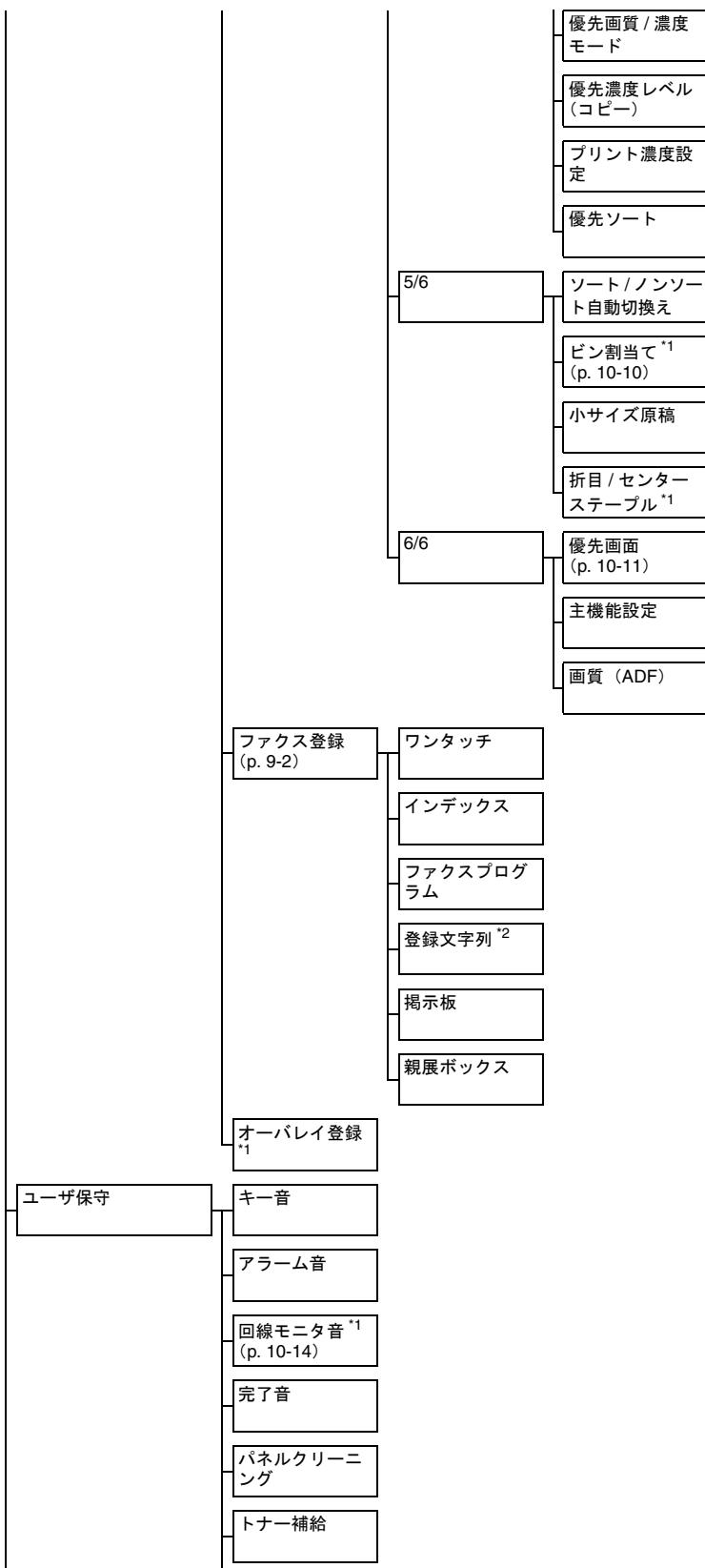
【設定メニュー / カウンタ】を押したときに表示されるキーを説明します。

ここでは、本書の記載内容に関連する機能を中心に説明し、機能名のあとに参照ページを記載しています。

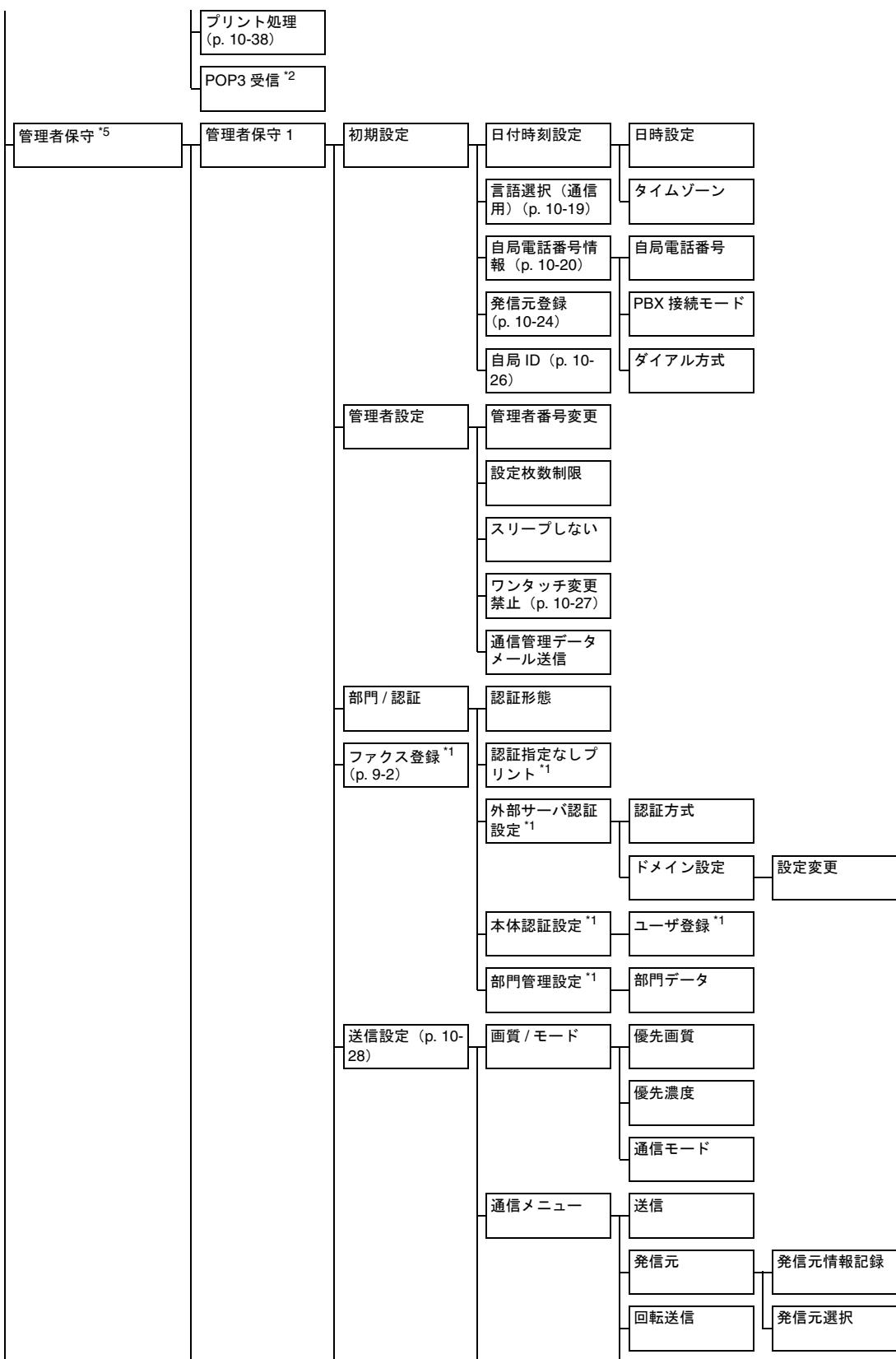
### ひとこと

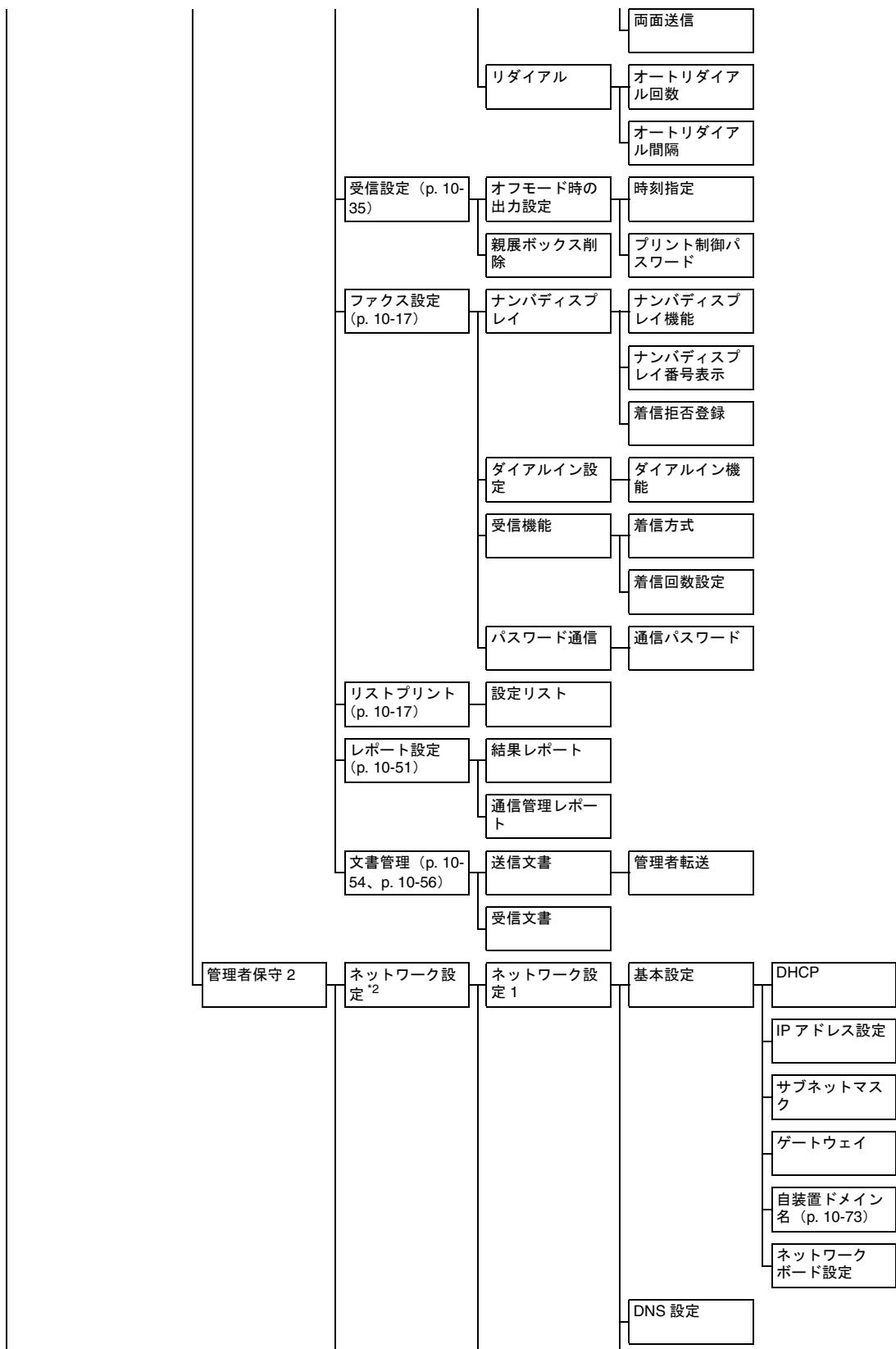
- 各画面に表示されるキーは設定により異なります。
- \*<sup>1</sup>マークがついているキーは、オプションを装着している場合や、設定によって表示されることがあります。
- \*<sup>2</sup>マークがついているキーについては、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
- \*<sup>3</sup>マークがついているキーについては、「ユーザーズガイド プリンタ機能編」をごらんください。
- \*<sup>4</sup>マークがついているキーについては、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
- ユーザ認証を設定しているときにユーザ認証を行わずに【設定メニュー / カウンタ】を押した場合は、\*<sup>5</sup>マークがついているキーだけが表示されます。
- マークおよび参照ページのない機能については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。



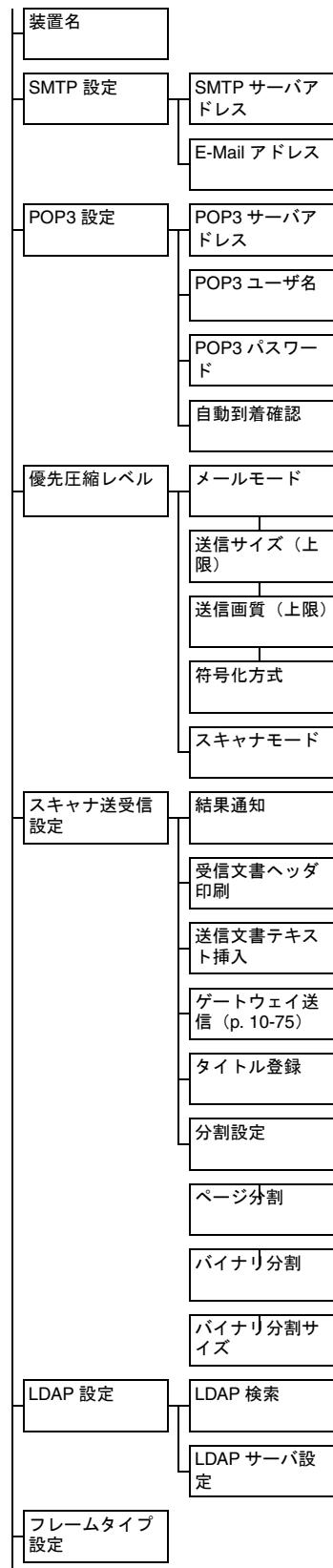


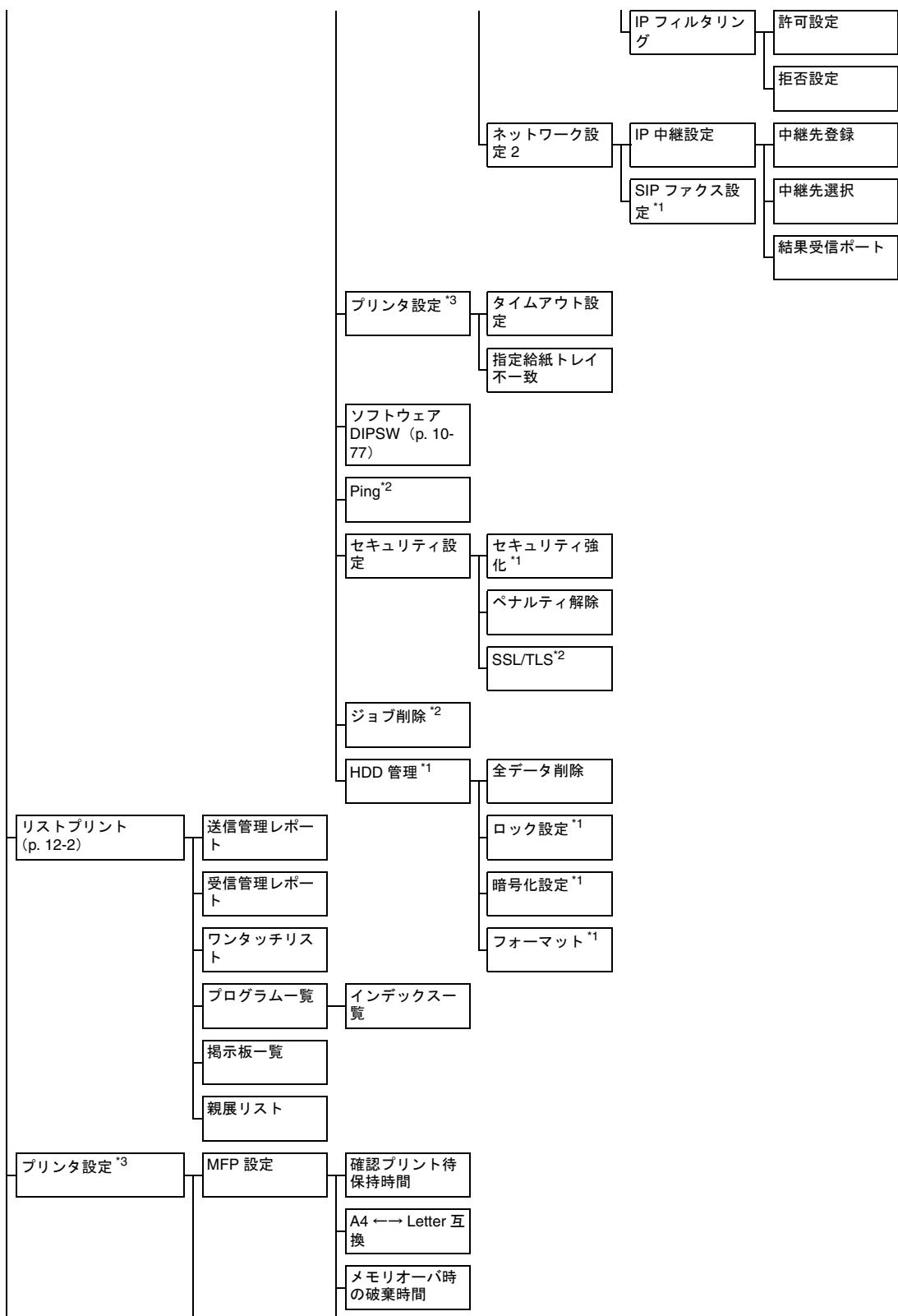
## 10.1 設定メニューの概要



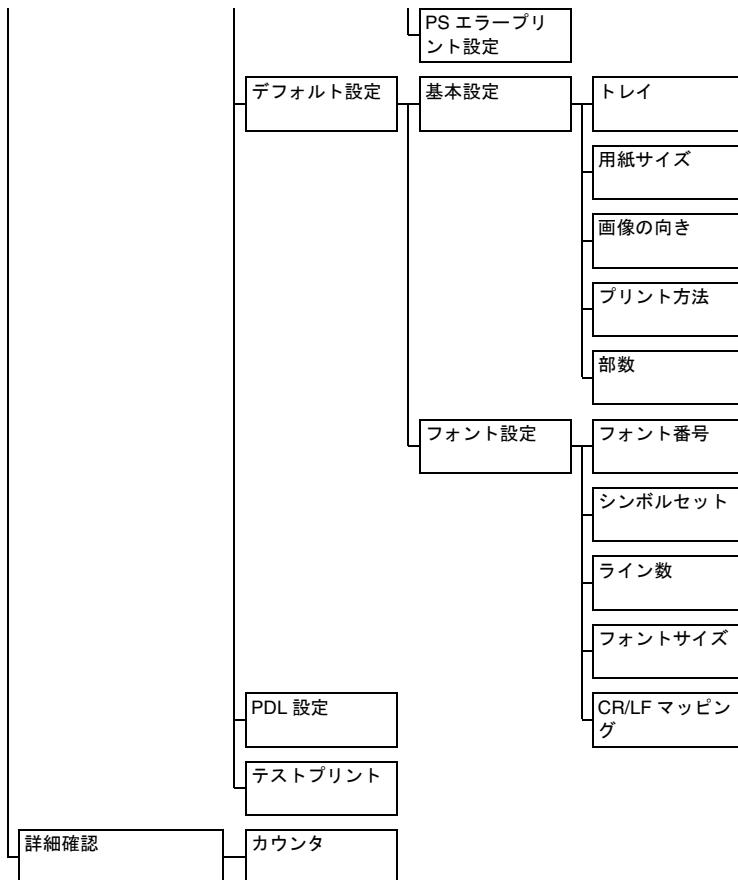


## 10.1 設定メニューの概要





## 10.1 設定メニューの概要



## 10.2 ユーザチョイスを設定する（ユーザチョイス）

ユーザチョイス画面では電源を ON にしたときやリセットしたときの初期値を設定できます。

ここではユーザチョイス画面の表示手順と、設定項目を説明します。

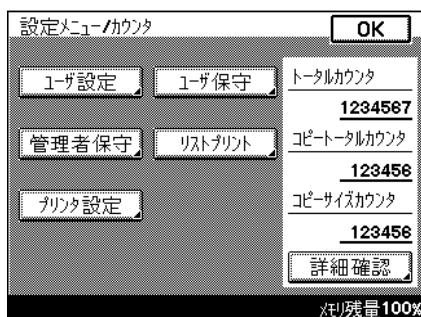
1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

設定メニュー / カウンタ画面が表示されます。

2

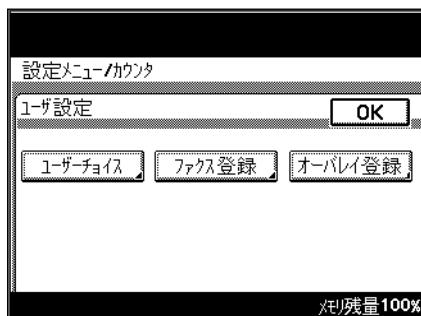
【ユーザ設定】を押します。



【設定メニュー / カウンタ】を押して登録、設定を行った場合は、待機画面（最初の画面）に戻ったあとに必ず操作パネルの【リセット】を押してください。

3

【ユーザチョイス】を押します。

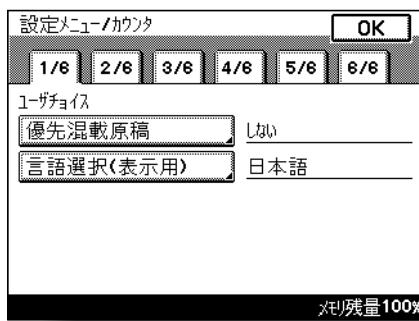


ユーザチョイス画面が表示されます。

10

4

タブを選択し、設定項目を選択します。



5

各項目の設定を変更し、[OK] を押します。

「ピン割当て」は 5/6 タブ、「優先画面」は 6/6 タブにあります。

## ■ ピン割当て

タブ	設定項目		機能説明	出荷時設定
5/6 ピン割当て	受信プリント	ポート 1	ファクスポートで受信したデータの出力先トレイを設定できます。	1 (上段排紙トレイ)
		ポート 2	マルチポート時の受信ポート 2 で受信したデータの出力先トレイを設定できます。	1 (上段排紙トレイ)
		ネットワーク	ネットワークで受信したデータの出力先トレイを設定できます。	1 (上段排紙トレイ)
	コピー/プリント	PC プリント	PC プリントの出力先トレイを設定できます。	1 (上段排紙トレイ)
		コピー	コピーの出力先トレイを設定できます。	2 (下段排紙トレイ) 1 (上段排紙トレイ)

### 原則

ピン割当て機能はオプションのフィニッシャーまたはセパレータを装着している場合にだけ表示されます。



設定変更を取消すときは  
[キャンセル] を押します。

### ひとこと

ユーザチョイス画面を終了するときは、待機画面になるまで [OK] を押します。



ポート 2 を使用するには、オプションの回線拡張キットが必要です。  
1 (上段排紙トレイ) はフィニッシャー装着時、2 (下段排紙トレイ) はセパレータ装着時に表示されます。

## ■ 優先画面

タブ	設定項目		機能説明	出荷時設定
6/6	優先画面	優先初期画面	優先する機能画面を以下の 中から設定できます。 コピー、ファクス、おまかせ、スキヤナ	コピー
		優先ファクス画面	優先ファクス画面を以下の 中から設定できます。 ワンタッチ、検索、ダイアル入力、インデックス	ワンタッチ

## 10.3 ファクス登録を設定する

ファクス登録画面ではファクスを利用するときに便利なワンタッチやプログラムの登録を行えます。

ここではファクス登録画面の設定項目を説明します。操作については、項目ごと9章にて説明しています。各機能の参照ページをごらんください。

項目	説明	参照ページ
ワンタッチ	送信先をワンタッチキーに登録します。ワンタッチキーは1画面に15件、合計540件まで登録できます。	p. 9-3
インデックス	ワンタッチの一覧画面にインデックス名を登録します。ワンタッチキーをインデックスで分類すると便利です。インデックスは36件登録でき、1つのインデックスキーにワンタッチを15件まで登録できます。	p. 9-14
ファクスプログラム	送信先情報とともに、通信時に使える機能をプログラムとして登録できます。そのキーを押すだけで同じ通信条件で送信や受信を繰り返すことができます。プログラムはワンタッチキーに登録し、最大30個まで登録できます。	p. 9-17
登録文字列	よく入力する文字列を登録します。メール機能使用時など、宛先のアドレス入力をすばやく行うことができます。	ユーザーズガイドネットワーク／スキャナ機能編
掲示板	メンバーで共有して文書の登録、取出しを行える掲示板を登録します。	p. 9-26
親展ボックス	装置内に個別の親展ボックスを作成します。取出しにパスワードが必要なので機密文書などに有効です。	p. 9-30

### ひとこと

ソフトウェアDIPSWで「ファクス登録」が管理者開放に設定されている場合は、「[ファクス登録]」はユーザー設定画面に表示されません。この場合、管理者保守でのみ登録・変更・削除ができます。ソフトウェアDIPSWについて詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェアDIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。

## 10.4 ユーザ保守を設定する（ユーザ保守）

ユーザ保守画面では音の設定など本機を快適に使用するための機能を設定できます。

ここではユーザ保守画面の表示手順と、設定項目を説明します。

1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

設定メニュー / カウンタ画面が表示されます。

2

【ユーザ保守】を押します。



【設定メニュー / カウンタ】を押して登録、設定を行った場合は、待機画面（最初の画面）に戻ったあとに必ず操作パネルの【リセット】を押してください。

3

設定項目を選択します。



4

各項目の設定を変更し、[OK] を押します。



設定変更を取消すときは  
[キャンセル] を押します。

ひとこと

ユーザ保守画面を終了する  
ときは、待機画面になるま  
で [OK] を押します。

10

## ■ 音の設定

ユーザ保守画面で【回線モニタ音】、【完了音】の音量を設定できます。

設定項目	機能説明	出荷時設定
回線モニタ音	回線モニタ音量を0～5の間に設定できます。	3
完了音	完了音の音量を0～5の間に設定できます。	3

## ■ プリント処理

設定項目	機能説明
プリント処理	オフモード（ファクス受信してもすぐにプリントしない設定）になっているときでも、一時的にプリントする機能です。プリントするには、プリント制御パスワードが必要です。

## 10.5 管理者保守画面を表示させるには（管理者保守）

管理者用の設定を変更するには、管理者保守画面を表示させます。

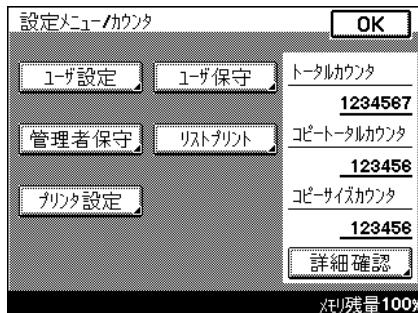
1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

設定メニュー / カウンタ画面が表示されます。

2

[管理者保守] を押します。



【設定メニュー / カウンタ】を押して登録、設定を行った場合は、待機画面（最初の画面）に戻ったあとに必ず操作パネルの【リセット】を押してください。

3

テンキーで 8 桁の管理者番号を入力し、[OK] を押します。



管理者保守画面が表示されます。



- 入力された数値を修正するときは、【クリア】を押し、正しい数値を入力します。
- 操作を中止するときは【キャンセル】を押します。

### ひとこと

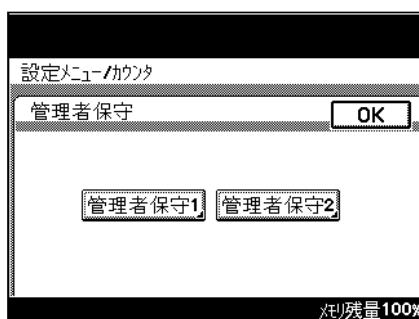
セキュリティ強化モードまたはソフトウェア DIPSW でアクセスロックが設定されている場合は、パスワード入力を 3 回失敗すると、本機がロックされ、操作できなくなります。操作できなくなった場合は、本機管理者に連絡してください。セキュリティ強化モードまたはソフトウェア DIPSW のアクセスロック設定について詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

10

## 10.5 管理者保守画面を表示させるには（管理者保守）

4

[管理者保守 1] または [管理者保守 2] を選択します。



### ひとこと

管理者保守画面を終了するときは、待機画面になるまで [OK] を押します。

管理者保守 1 画面または管理者保守 2 画面が表示されます。

管理者保守 1



管理者保守 2



## 10.6 設定できる項目

本書の記載内容に関連する管理者保守の項目は以下のとおりです。

### ■ 管理者保守 1

項目	説明	
初期設定	言語選択（通信用）	送信したファクスの先端にプリントされる発信元名称やファクス番号の表示言語を選択します。
	自局電話番号情報 1/2	こちらの電話番号、構内交換機の有無、回線種別など、ファクス通信に必要な情報を登録します。
	発信元登録	送信したファクスの先端にプリントされるこちらの名前を登録します。最大8件まで登録できるので、送信先で使い分けられます。
	自局 ID	相手先ファクスの管理レポートやパネルに表示される文字を入力します。受信側でどこから送信されたファクスであるか確認しやすくなります。
管理者設定	ワンタッチ変更禁止	ユーザ設定でのワンタッチの登録・変更を禁止します。ワンタッチの登録は、同じ管理者設定にある「ワンタッチ」で行います。
	通信管理データメール送信	コンピュータのメールアドレスを設定します。CSVファイル形式の通信管理レポートが設定されたメールアドレスに送信されます。
ファクス登録	ユーザ設定でのワンタッチの登録・変更を禁止している場合に、ワンタッチを登録します。	
送信設定	送信時の各種初期値を設定します。	
受信設定	ファクスを受信したとき、プリントを行う時刻や曜日などを指定します。	
ファクス設定	使用するファクス回線の設定をします。ナンバーディスプレイやダイアルイン、ファクス着信の条件などを設定します。	
リストプリント	装置の設定状態の一覧をプリントします	
レポート設定	結果レポートや通信管理レポートの出力条件を設定します。	
文書管理	送受信した文書の処理や転送について設定します。	

## ■ 管理者保守 2

項目	説明
ネットワーク設定	基本設定 – 自装置ドメイン名 本機のドメイン名を設定します。
	スキャナ送受信設定 – ゲートウェイ送信 ダイレクトファクスの許可／禁止を設定します。
ソフトウェア DIPSW	機能の状態をソフトスイッチで設定します。

## 10.7 発信元名やレポートの言語を設定する（言語設定）

発信元名やレポートに使用する言語（日本語または英語）を設定することができます。

1

管理者モードにログインし、[管理者保守1] を押します。

2

[初期設定] を押します。



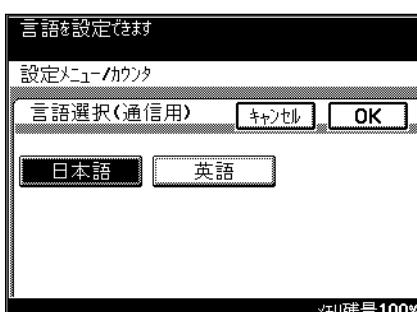
3

[言語選択（通信用）] を押します。



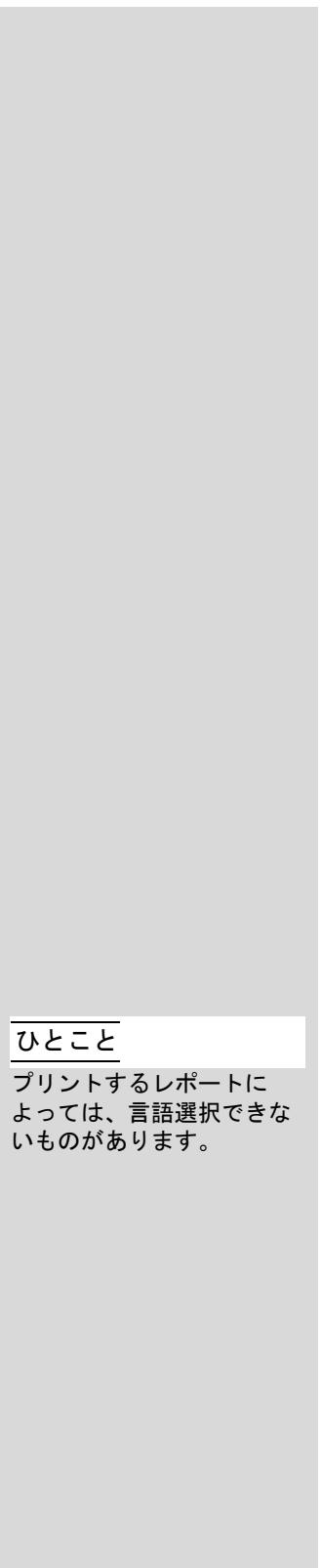
4

[日本語] または [英語] を選び、[OK] を押します。



5

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。



10

### ひとこと

プリントするレポートによっては、言語選択できないものがあります。

## 10.8 電話番号を登録する（自局電話番号情報）

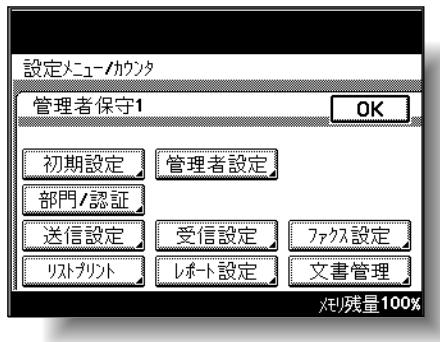
こちらの電話番号、構内交換機の有無、回線種別など、ファクス通信に必要な情報を登録します。

1

管理者モードにログインし、[管理者保守1] を押します。

2

[初期設定] を押します。



### ひとこと

自局電話番号は、相手先のレポートなどに表示されることがあります。相手先で確認しやすいように、市外局番から登録することをおすすめします。

3

[自局電話番号情報] を押します。

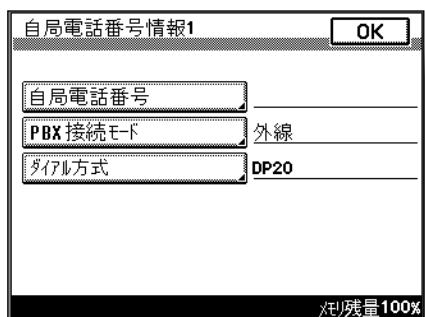


### 詳しく説明します

オプションの回線拡張キットをお使いのときは、一般加入電話回線を2回線ご利用できます。[自局電話番号情報1] または [自局電話番号情報2] を押して、それぞれに自局電話番号情報を設定してください。

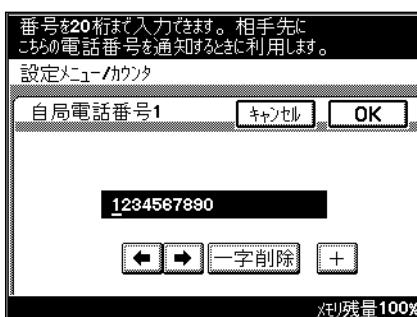
4

[自局電話番号] を押します。



5

テンキーで自局電話番号を入力し、[OK] を押します。

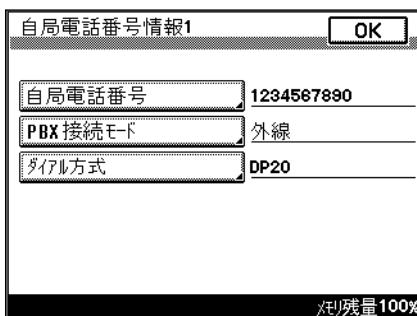


### ひとこと

- 自局電話番号は、20 桁まで登録できます。
- 国際コードを登録するときは [+] を押し、日本国コード「81」を入力してください。

6

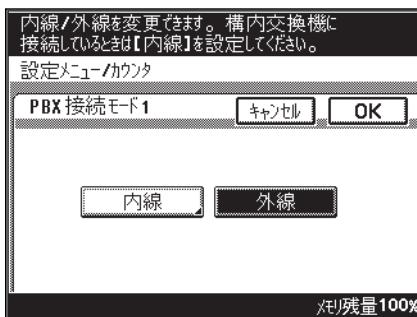
[PBX 接続モード] を押します。



7

[内線] または [外線] を選びます。

- [外線]：一般加入電話回線に直接接続する場合に押します。
- [内線]：PBX（構内交換機）を介して一般加入電話回線に接続する場合に押します。



10

8

[内線] を選択した場合は、外線アクセスコード（一般加入電話回線に接続するため外線発信番号）を入力し、[OK] を押します。



9

[OK] を押します。

10

[ダイアル方式] を押します。

11

お使いの回線種別のキーを押し、[OK] を押します。

- [DP20] : お使いのダイアル回線のダイアルスピードが、20pps のときに押します。
- [DP10] : お使いのダイアル回線のダイアルスピードが、10pps のときに押します。
- [PB] : プッシュ回線をお使いのときに押します。



**12**

登録内容を確認し、[OK] を押します。

修正するときは修正する項目を選び、登録しなおします。

**13**

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

#### ひとこと

登録した自局電話番号は、登録と同じ手順で変更できます。

**10**

# 10.9 名前を登録する（発信元名）

発信元として入力した文字を用紙の先端にプリントできます。  
この発信元の名称を登録します。

- 発信元名は最大 8 個まで登録できます。複数の発信元を登録できるので、相手先や部門ごとに名称を使い分けることができます。
- 発信元名は半角 40 文字まで登録できます。



発信元名を使い分けて送信する方法について詳しくは、「発信元情報を付けて送信する」(p. 6-6) をごらんください。

## ■ 発信元の登録

1

管理者モードにログインし、[管理者保守 1] を押します。

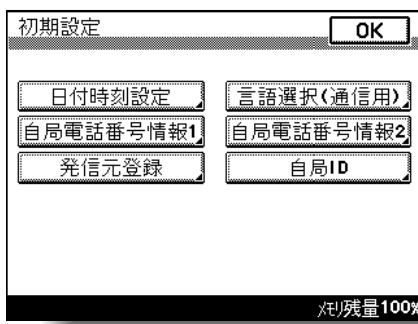
2

[初期設定] を押します。



3

[発信元登録] を押します。



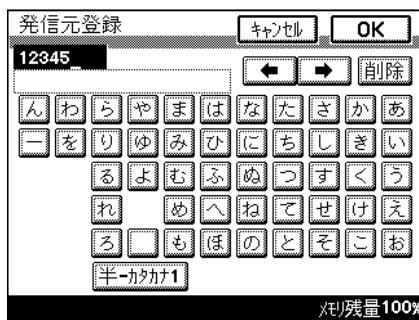
4

発信元を登録する番号を選択します。



5

発信元名を入力し、[OK] を押します。



6

登録内容を確認し、[OK] を押します。

7

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

10

## 10.10 受信側で表示される ID を登録する（自局 ID）

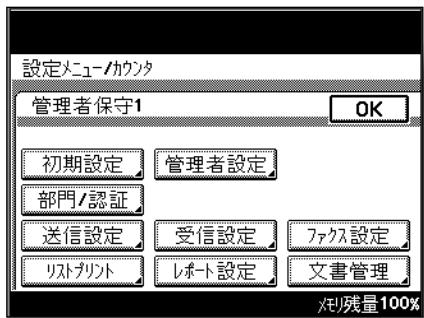
こちらの名前や電話番号を ID として登録しておくと、受信側ファックスの管理レポートや表示パネルなどにその ID が表示され、どこから送信された原稿なのかを確認しやすくなります。

1

管理者モードで [管理者保守 1] を押します。

2

[初期設定] を押します。



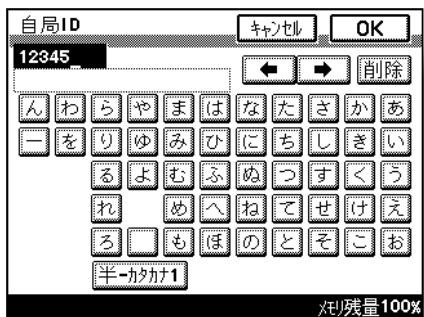
3

[自局 ID] を押します。



4

自局 ID を入力し、[OK] を押します。



5

待機画面に戻るまで [OK] を押します。

### ひとこと

受信側のファックス機によっては、自局 ID を表示できないことがあります。その場合は、自局電話番号として登録した電話番号が表示されます。

### ひとこと

自局 ID は、アルファベット、数字、カタカナ、記号で半角 12 文字まで登録できます。

### ひとこと

登録した自局 ID は、登録と同じ手順で変更できます。

## 10.11ワンタッチを変更禁止にする

ユーザがワンタッチを登録、変更できないように制限します。

1

管理者モードで【管理者保守1】を押します。

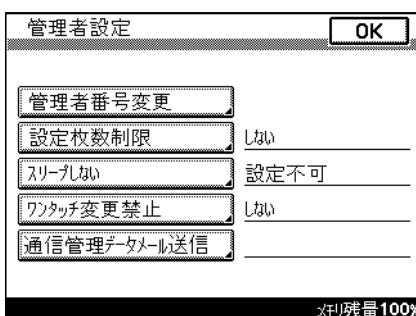
2

【管理者設定】を押します。



3

【ワンタッチ変更禁止】を押します。

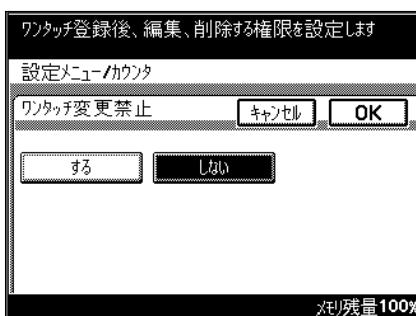


### ひとこと

セキュリティ強化モードでは、表示されません。

4

【する】を選択し、[OK]を押します。



5

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

10

### ひとこと

【ワンタッチ変更禁止】は、ユーザ設定で変更を禁止します。【管理者保守1】の【fax登録】からはワンタッチを登録、変更できます。

## 10.12送信に関する設定をする（送信設定）

送信に関する初期値を設定します。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
画質 / モード	
優先画質	操作終了後に戻る画質の初期値を設定します。
優先濃度	操作終了後に戻る濃度の初期値を設定します。
通信モード	操作終了後に戻る通信モードの初期値を設定します。
通信メニュー	
送信	送信方法を選択します。 メモリ送信：原稿をすべて読み込んでから送信します。 クイック送信：原稿を1枚ずつ送信します。
発信元	発信元名の付けかたを選択します。 付けない：発信元名を付けません。 原稿内：原稿内に発信元名をプリントします。 原稿外：原稿外に発信元名をプリントします。
回転送信	操作終了後に回転送信をする / しないのどちらに戻すかを設定します。
両面送信	操作終了後に両面送信をする / しないのどちらに戻すかを設定します。
リダイアル	
オートリダイアル回数	相手先が話し中のとき、何回リダイアルするかを入力します。
オートリダイアル間隔	相手先が話し中のとき、何分おきにリダイアルするかを入力します。

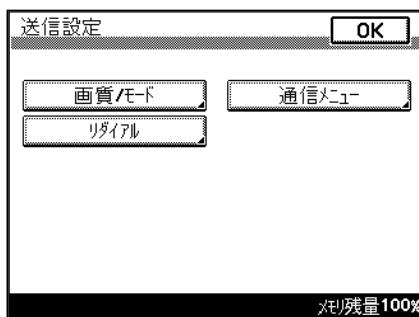
### ■ 画質／モードの設定

- 1 管理者モードにログインし、[管理者保守1] を押します。
- 2 [送信設定] を押します。



3

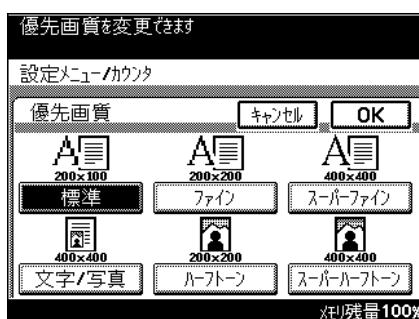
[画質 / モード] を押します。



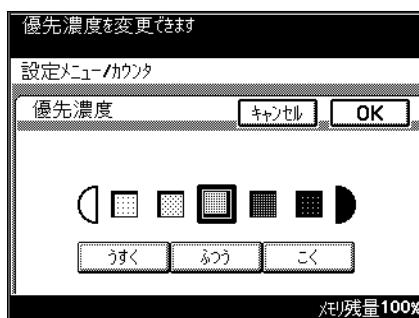
4

項目を選択し、[OK] を押します。

- [優先画質] では、優先する画質を選択します。



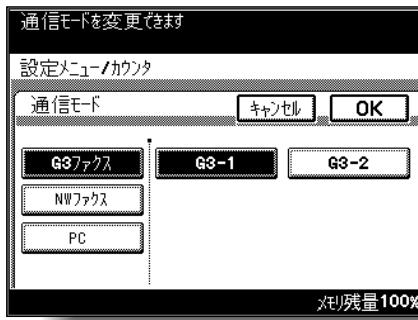
- [優先濃度] では、優先する濃度を「うすく」【こく】を押して選択します。



10

## 10.12 送信に関する設定をする（送信設定）

- [通信モード] では、優先する通信モードを選択します。



### ひとこと

本機の設定により、特定の通信モードが選択できない場合があります。詳しくは本機管理者に確認してください。

5

- [OK] を押します。



6

- 待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

## ■ 通信メニューの設定

1

- 管理者モードにログインし、[管理者保守 1] を押します。

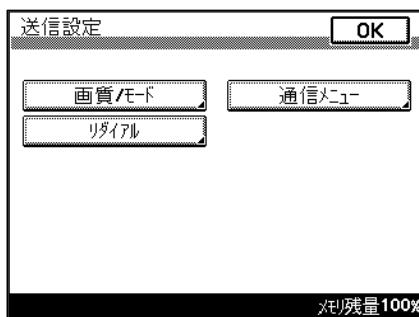
2

- [送信設定] を押します。



3

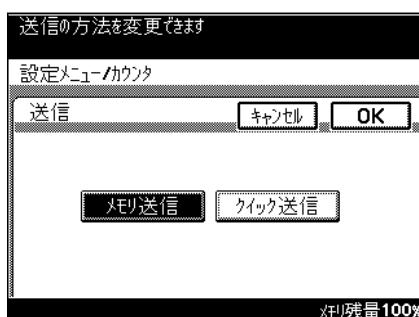
[通信メニュー] を押します。



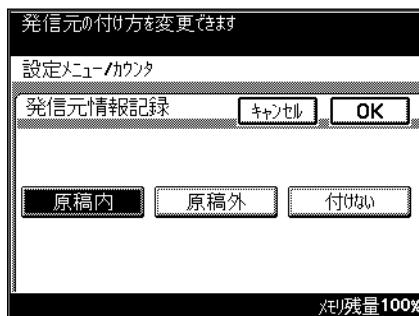
4

項目を選択し、[OK] を押します。

- [送信] では、原稿を蓄積してから送信する「メモリ送信」か、1枚ずつ送信する「クリック送信」かを選択します。



- [発信元] の [発信元情報記録] では、発信元のプリント位置を選択します。



10

## 10.12 送信に関する設定をする（送信設定）

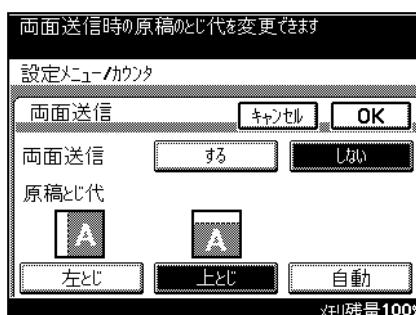
- [発信元] の [発信元選択] では、プリントする発信元名称を選択します。



- [回転送信] では、回転送信のする／しないを選択します。

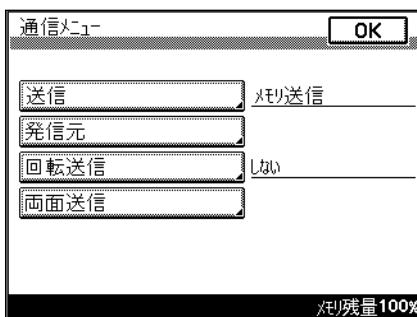


- [両面送信] では、両面送信のする／しないを選択します。「する」を選択した場合は、とじ代の位置を選択します。



5

[OK] を押します。



6

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

## ■ リダイアルの設定

1

管理者モードにログインし、[管理者保守 1] を押します。

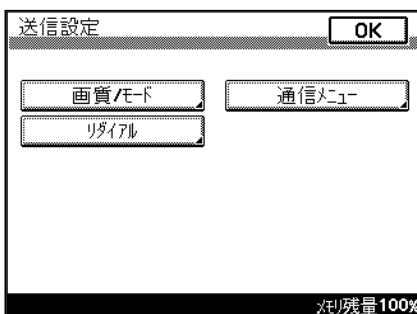
2

[送信設定] を押します。



3

[リダイアル] を押します。

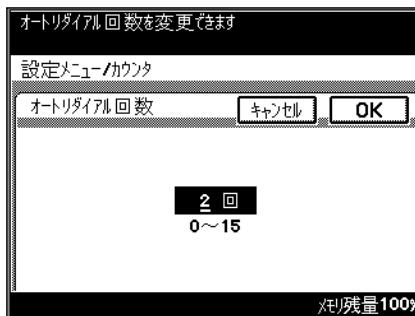


10

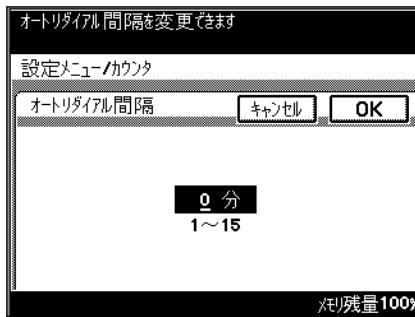
4

数値を入力し、[OK] を押します。

- [オートリダイアル回数] では、リダイアルの回数をテンキーで入力します。

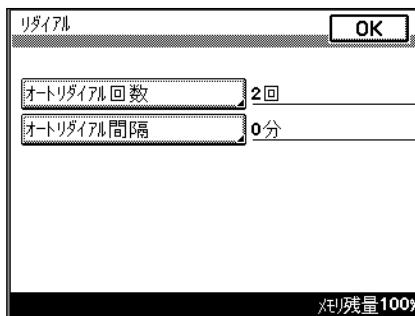


- [オートリダイアル間隔] では、リダイアルの間隔をテンキーで入力します。



5

[OK] を押します。



6

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

## 10.13 受信文書のプリント時期を設定する（受信設定）

ファックスを受信するとき、オフモード（受信してもすぐにプリントしない設定）にして、プリントを行う時刻や曜日などを個別に指定します。

プリントを行う時刻を規制することで、深夜に受信したファックスなどを安全に受け取ることができます。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
時刻指定	受信したファックスをすぐにプリントせず、時刻を指定してプリントするときに設定します。指定した曜日や時間帯に受信したファックスをまとめてプリントします。曜日、開始時刻、終了時刻を設定してください。
プリント制御パスワード	指定した時刻以外に受信したファックスをプリントするときに使用するパスワードを4桁の数字で設定します。

### ■ 時刻指定

1

管理者モードにログインし、[管理者保守1] を押します。

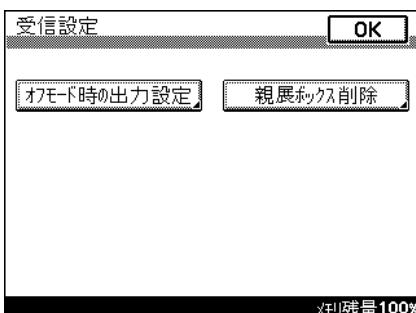
2

[受信設定] を押します。



3

[オフモード時の出力設定] を押します。



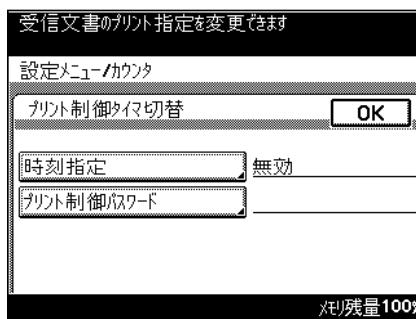
### ひとこと

パスワードを入力してファックスをプリントする方法について、詳しくは「手動でプリントをする」(p. 10-38)をごらんください。

10

4

[時刻指定] を押します。



5

項目を設定し、[OK] を押します。

○ 設定を行わない場合は [機能 OFF] を押します。



6

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

## ■ プリント制御パスワードの設定

1

管理者モードにログインし、[管理者保守 1] を押します。

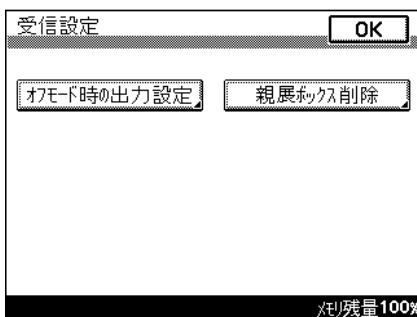
2

[受信設定] を押します。



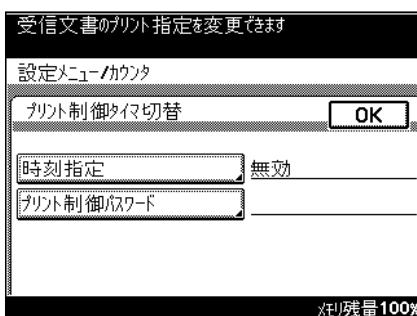
3

[オフモード時の出力設定] を押します。



4

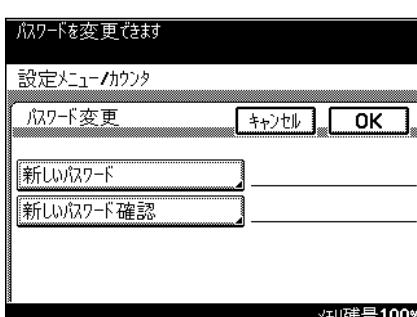
[プリント制御パスワード] を押します。



5

[新しいパスワード] を押し、パスワードを入力して [OK] を押します。

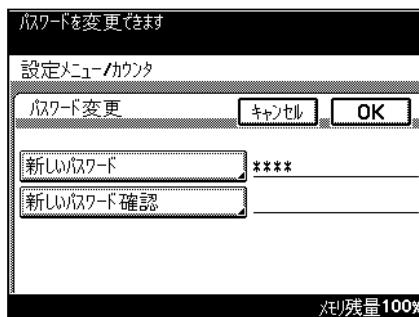
○ パスワードは 4 衔の数字をテンキーで入力します。



10

6

【新しいパスワード確認】を押し、パスワードを再入力して【OK】を押します。



7

待機画面（最初の画面）に戻るまで【OK】を押します。

### ■ 手動でプリントをする

指定した時刻以外にプリントを行うときは、以下の手順で操作します。

1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2

【ユーザ保守】を押します。

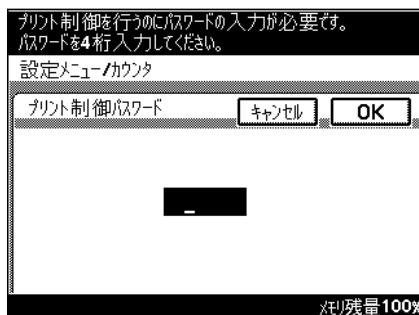
3

【プリント処理】を押します。



4

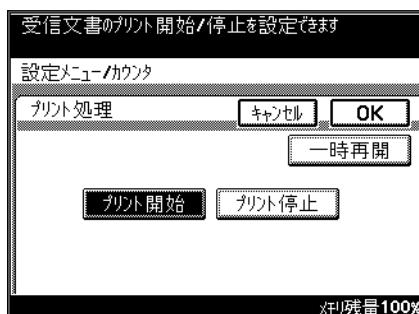
プリント制御パスワードを設定した場合は、テンキーで入力し [OK] を押します。



5

[プリント開始] を選択し、[OK] を押します。

- プリントを途中でやめるときは、[プリント停止] を押し、[OK] を押します。
- 停止したプリントを再開するときは、[一時再開] を押します。



6

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

10

# 10.14親展ボックスを削除する

登録済の親展ボックスを削除します。

1

管理者モードにログインし、[管理者保守 1] を押します。

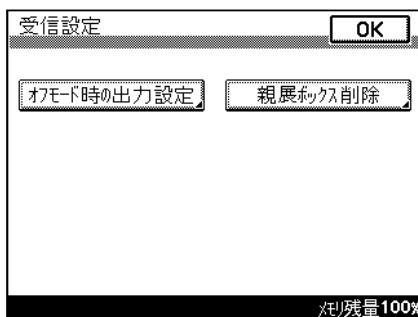
2

[受信設定] を押します。



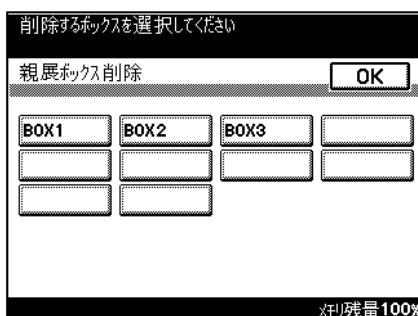
3

[親展ボックス削除] を押します。



4

削除する親展ボックスを選びます。



• 親展ボックスの登録は、ユーザ設定メニューの  
ファックス登録で行います。詳しくは、「親展ボックス  
を設定する」(p. 9-30)をごらんください。

• 親展ボックスを削除すると、親展ボックス内の文  
書も削除されます。親展ボックスを削除せずに、  
親展ボックス内の文書のみを削除する場合は、  
ジョブリストの文書メ  
ニューで削除します。詳しくは、「通信結果を確認  
する (ジョブリスト)」  
(p. 2-33)をごらんください。

**5**

[はい] を押します。

**6**

手順 3 と同じ画面に戻ったら、親展ボックスが削除されたことを確認し、[OK] を押します。

**7**

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

**10**

# 10.15ナンバーディスプレイを利用する

ナンバーディスプレイは NTT 東日本・NTT 西日本が提供するサービスで、発信時に電話番号を相手先に通知する機能です。このサービスを利用し、相手先電話番号ごとに着信を拒否したりすることができます。

1

管理者モードにログインし、[管理者保守 1] を押します。

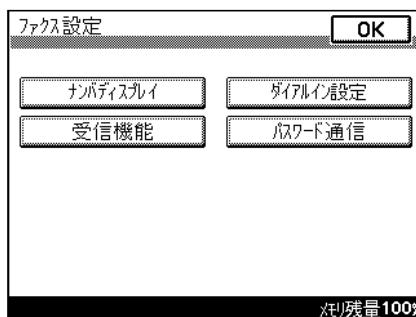
2

[ファクス設定] を押します。



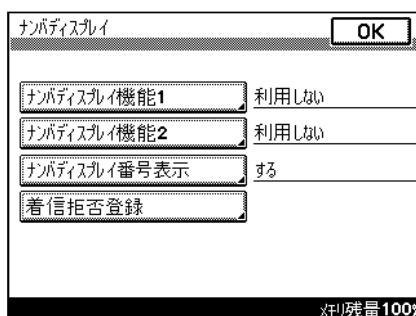
3

[ナンバーディスプレイ] を押します。



4

各項目を設定します。



• ナンバーディスプレイ機能を利用し、電話番号ごとにファクス文書の受信のしかたを設定することができます。設定方法については「文書を受信したときの処理のしかたを設定する（文書管理）」(p. 10-56)をごらんください。

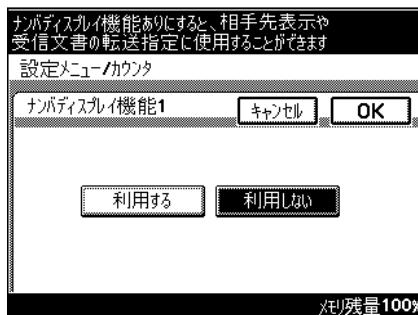
• 外付け電話機としてナンバーディスプレイ機能搭載の電話機を設置する場合は、本機のナンバーディスプレイ機能を「利用しない」に設定してください。「利用する」に設定すると、外付け電話機のナンバーディスプレイ機能が正常に動作しないことがあります。



ナンバーディスプレイを利用するには、NTT 東日本・NTT 西日本との「ナンバーディスプレイ」の契約が必要です。

## ■ ナンバーディスプレイ機能

ナンバーディスプレイ機能を [利用する] または [利用しない] で設定します。

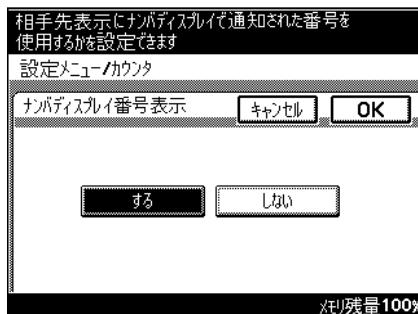


### ひとこと

オプションの回線拡張キットをご利用のときは、一般加入電話回線 (PSTN) を2回線ご利用できます。[ナンバーディスプレイ機能1] (ポート1)、[ナンバーディスプレイ機能2] (ポート2) のポートごとに設定してください。

## ■ ナンバーディスプレイ番号表示

ナンバーディスプレイで通知された着信番号を、表示 [する] または [しない] で設定します。



### ひとこと

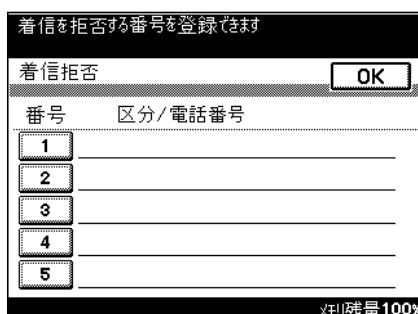
- ・ナンバーディスプレイ番号表示は、ナンバーディスプレイ機能を [利用する] にした場合のみ設定できます。
- ・相手先から通知された電話番号をワンタッチキーに登録することができます。
- ・ナンバーディスプレイ利用時の番号表示方法は、ソフトスイッチで変更することもできます。

## ■ 着信拒否登録

ナンバーディスプレイ機能を利用し、特定の電話番号から着信や公衆電話からの着信などを拒否することができます。着信拒否する相手先は最大5箇所まで登録できます。

1

着信拒否を登録する番号を選び、[OK] を押します。

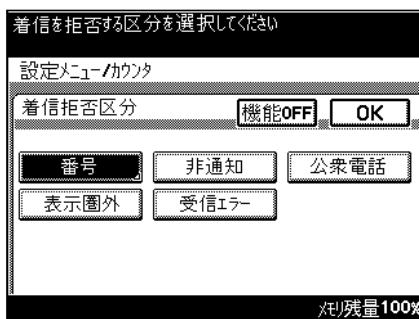


### ひとこと

着信拒否登録は、ナンバーディスプレイ機能を [利用する] にした場合のみ登録できます。

2

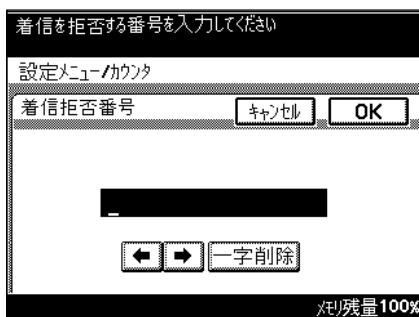
着信拒否の区分を選びます。



- [番号]：ナンバーディスプレイで通知される番号を利用し、特定の相手先からの着信を拒否するときに選択します。
- [非通知]：電話番号非表示の相手先からの着信を拒否するときに選択します。
- [公衆電話]：公衆電話からの着信を拒否するときに選択します。
- [表示圏外]：ナンバーディスプレイの番号通知圏外からの着信を拒否するときに選択します。
- [受信エラー]：ナンバーディスプレイの番号通知を正常に受信できないときは着信を拒否する場合に選択します。
- [機能 OFF]：設定を解除します。

3

手順2で [番号] を選択した場合は、着信拒否する番号を入力し、[OK] を押します。



### ひとこと

この画面は [番号] を選択した場合のみ表示されます。

## 10.16ダイアルインを利用する

ダイアルインは NTT 東日本・NTT 西日本が提供するサービスで、一つの回線で複数の電話番号を使用することができます。

1

管理者モードにログインし、[管理者保守 1] を押します。

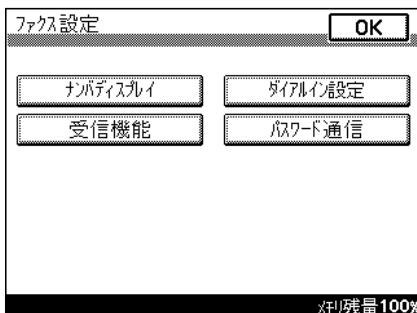
2

[ファクス設定] を押します。



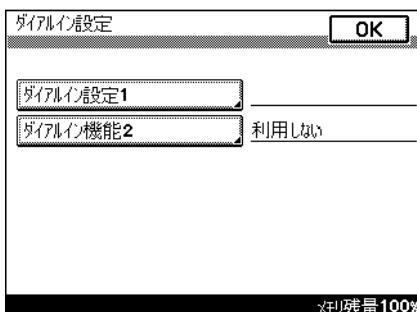
3

[ダイアルイン設定] を押します。



4

各項目を設定します。



ダイアルイン機能を利用し、電話番号ごとにファクス文書の受信のしかたを設定することができます。設定方法については「文書を受信したときの処理のしかたを設定する（文書管理）」(p. 10-56)をごらんください。

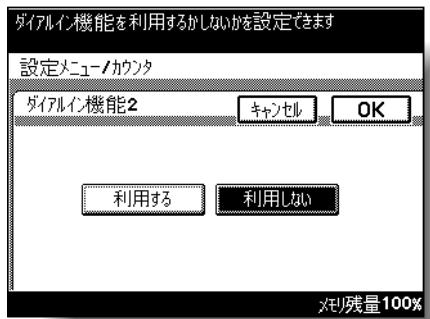


ダイアルインを利用するには、NTT 東日本・NTT 西日本との「ダイアルインサービス」の契約が必要です。

10

## ■ ダイアルイン機能を設定する

ダイアルイン機能を【利用する】または【利用しない】で選びます。



### ひとこと

オプションの回線拡張キットをご利用のときは、一般加入電話回線（PSTN）を2回線ご利用できます。【ダイアルイン機能1】（ポート1）、【ダイアルイン機能2】（ポート2）のポートごとに設定してください。

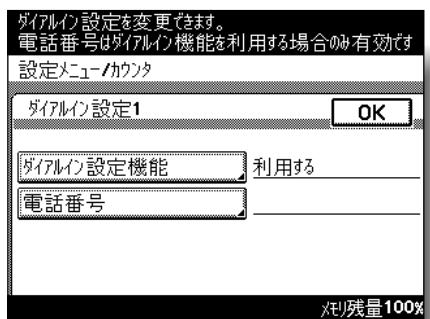
## ■ 電話専用の電話番号を登録する

ダイアルイン機能を利用し、電話専用の電話番号を登録することができます。

### 原則

- 電話専用の電話番号を利用するには、オプションのハンドセットが必要です。
- 電話専用の電話番号を利用する場合は、ダイアルイン機能を【利用する】に設定してください。

【電話番号】を押し、電話専用の電話番号を入力します。



### ひとこと

- 電話専用の電話番号に着信した場合は、ファクスの自動着信ができません。この場合は、【スタート】を押す、転送受信の操作を行ってください。
- 電話専用の電話番号を登録すると、電話専用の電話番号以外での着信では着信方式の設定が無効となり、すべてファクス受信になります。
- 電話専用の電話番号は、ナンバーディスプレイ機能の着信拒否番号および文書管理のダイアルイン番号、ナンバーディスプレイ番号と重複して登録できません。
- 電話専用の電話番号は、文書管理のダイアルイン番号と重複して登録できません。
- 電話専用の電話番号に着信したときは、ナンバーディスプレイ機能付きの電話機を外付け電話機に利用している場合でも、番号表示できません。
- 回線拡張キットをお使いの場合は、【ダイアルイン設定1】（ポート1）でのみ、電話専用の電話番号を利用できます。

## 10.17 着信方式と呼出し回数を設定する（受信機能）

ファクスの着信のしかたと自動着信するまでの呼出音の回数を設定します。

1

管理者モードにログインし、[管理者保守1] を押します。

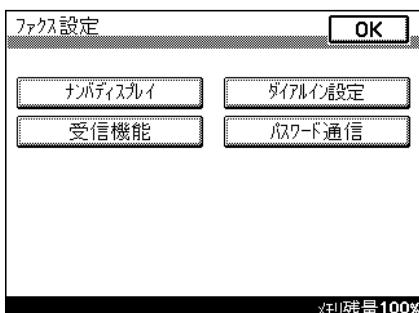
2

[ファクス設定] を押します。



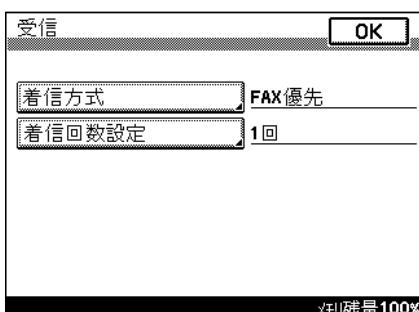
3

[受信機能] を押します。



4

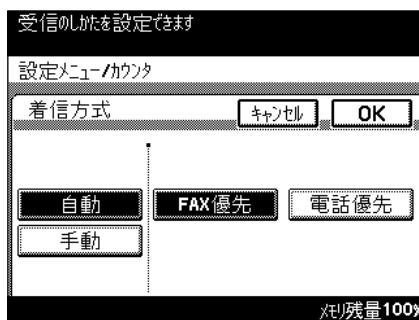
各項目を設定します。



10

## ■ 着信方式の設定

設定する着信方式を【自動】または【手動】で選びます。



### ひとこと

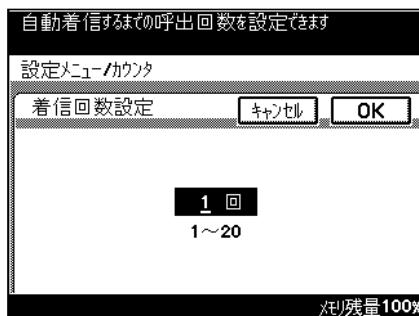
オプションのハンドセットをご利用の場合は、「自動 - FAX 優先」、「自動 - 電話優先」、「手動 - 電話専用」、「手動 - 留守電接続」が選択できます。

【自動】：自動着信に設定するときに押します。

【手動】：手動受信に設定するときに押します。

## ■ 着信回数の設定

自動着信するまでの呼出回数を入力します。



### ひとこと

着信回数を 10 回以上に設定すると、送信側の装置によっては、着信できなくなることがあります。

着信呼出回数は、1～20 回の範囲で設定できます。オプションのハンドセットをご利用の場合は、0～20 回の範囲で設定できます。

## 10.18通信パスワードを登録する

送信側と受信側であらかじめ登録しておいたパスワードが一致したときだけ、ファクスの送信や受信を行う機能をパスワード通信（パスワード送信とパスワード受信）といいます。ここでは、パスワード通信をするために必要となる、通信パスワードの設定のしかたを説明します。

1

管理者モードにログインし、[管理者保守1] を押します。

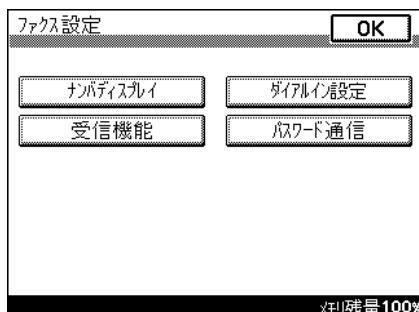
2

[ファクス設定] を押します。



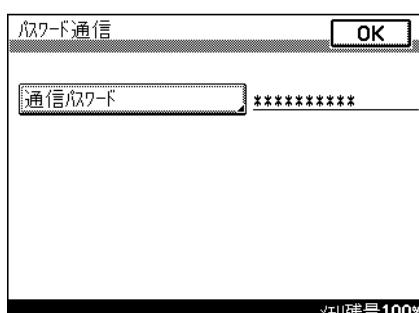
3

[パスワード通信] を押します。



4

[通信パスワード] を押します。

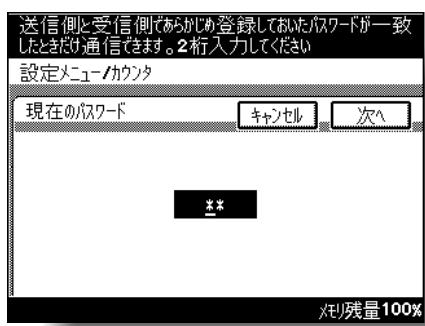


通信パスワードは、パスワード送信するときやパスワード受信するときに使います。詳しくは「パスワードを付けて送信する（パスワード送信）」(p. 6-21)、「パスワードで受信する（パスワード受信）」(p. 7-2)をごらんください。

10

5

テンキーで、現在の通信パスワード（2桁）を入力し、  
[次へ] を押します。



### ひとこと

パスワードは「\*」（アスタリスク）で表示されます。

6

[新しいパスワード] を押し、パスワードを入力して  
[OK] を押します。

7

[新しいパスワード確認] を押し、パスワードを再入力  
して [OK] を押します。

8

登録内容を確認し、[OK] を押します。

9

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押しま  
す。

# 10.19 レポート出力に関する設定をする（レポート設定）

送信結果レポートおよび通信管理レポートの出力条件を設定します。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
結果レポート	1箇所および2箇所以上の相手先に送付した結果レポートの出力について選択します。 出力する：結果に関係なく出力します。 不達のとき：送信できなかったときだけ出力します。 出力しない：結果に関係なく出力しません。
通信管理レポート	通信管理レポートを50通信ごとに自動的に出力する／しないを選択します。



- 通信管理レポートを「出力する」に設定している場合、通信管理レポート出力時にレポートの内容をCSV形式で出力し、管理者にメール送信できます。通信管理レポートの内容をデータで管理したい場合は管理者のメールアドレスを設定してください。
- 管理者のメールアドレスの設定について詳しくは、「管理者保守1」(p. 10-17)をごらんください。

## ■ 結果レポートの設定

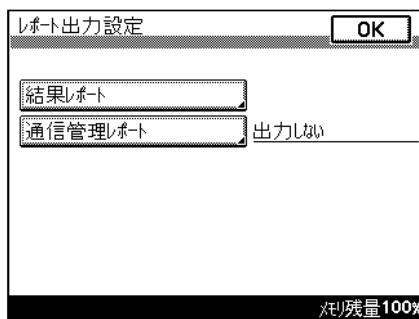
- 管理者モードにログインし、[管理者保守1]を押します。
- [レポート設定]を押します。



10

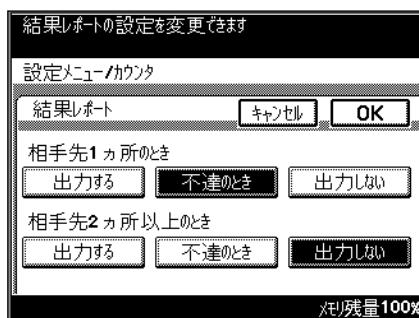
3

[結果レポート] を押します。



4

項目を設定し、[OK] を押します。



5

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

## ■ 通信管理レポートの設定

1

管理者モードにログインし、[管理者保守 1] を押します。

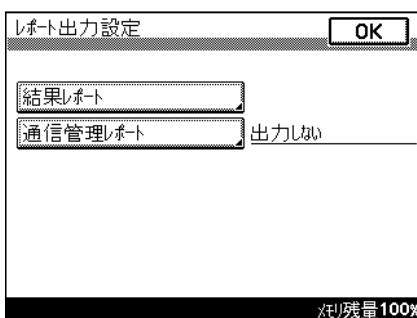
2

[レポート設定] を押します。



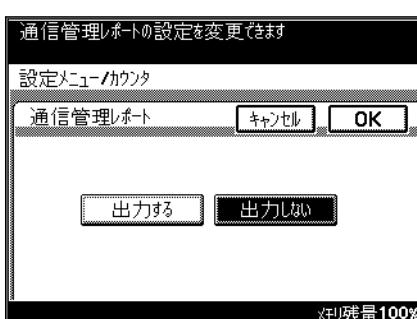
3

[通信管理レポート] を押します。



4

項目を設定し、[OK] を押します。



5

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

10

## 10.20送信文書を設定した宛先に転送する（管理者転送）

本機から送信する文書を管理するために、送信した文書を管理者が設定した宛先に転送するよう設定します。

- 転送先はワンタッチから選択します。あらかじめワンタッチに転送先を登録しておいてください。
- 送信された文書が転送された文書の場合は、さらに管理者へ転送することはできません。

1

管理者モードにログインし、[管理者保守 1] を押します。

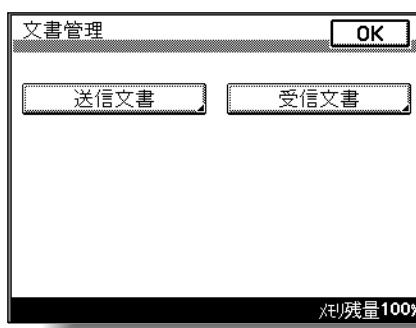
2

[文書管理] を押します。



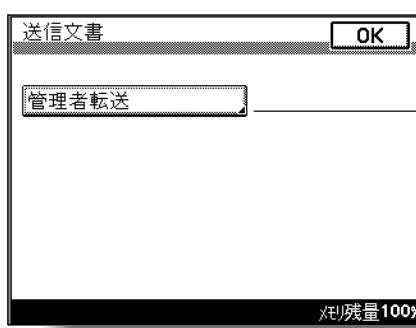
3

[送信文書] を押します。



4

[管理者転送] を押します。



**5**

転送先を指定し、[OK] を押します。

- ワンタッチで指定するときは、[ワンタッチ] を押して宛先を指定し、[OK] を押します。
- ワンタッチを検索するときは [検索] を押して宛先を指定し、[OK] を押します。

**6**

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

**10**

# 10.21文書を受信したときの処理のしかたを設定する（文書管理）

文書を受信したときの処理の方法を設定します。受信した文書は「Fコード」、「受信ポート」、「ダイアルイン」、「ナンバーディスプレイ」、「一般文書」に分類され、それぞれの文書ごとに受信のしかたを設定できます。

## ■ 回線ごとに受信した文書の処理を設定する

本機では、文書を受信したときの回線ごとに、受信した文書のプリントや転送などの処理を設定することができます。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
振り分けによる文書管理	選択した回線の文書の処理を行うかどうかを選択します。 使わない：受信した文書の処理を行いません。 使う：受信した文書の保存先や転送先を設定します。
受信文書の扱い	文書管理で「使う」を選択した場合、受信文書をどのように処理するかを選択します。 プリント：プリントします。 転送：指定した宛先にデータを転送します。転送先は、300件まで指定できます。 プリントと転送：プリントを行い、同時に指定した宛先にデータを転送します。転送先は、300件まで指定できます。
転送先	受信文書の扱いで「転送」を選択した場合に設定します。



- ・ソフトウェア DIPSW の設定により、「ナンバーディスプレイ」または「Fコード」で指定された相手からのファクスのみ受信し、それ以外のファクスは受信を拒否することができます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をご覧ください。
- ・ソフトウェア DIPSW の設定により、受信文書転送時に発信元情報を付けることができます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をご覧ください。

1

管理者モードにログインし、[管理者保守 1] を押します。

2

[文書管理] を押します。



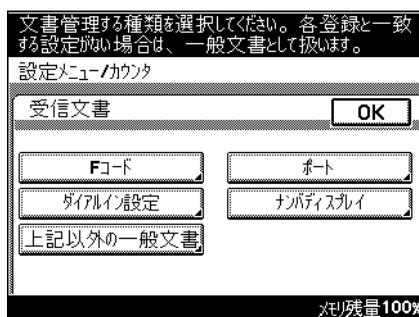
3

[受信文書] を押します。



4

[ポート] を押します。



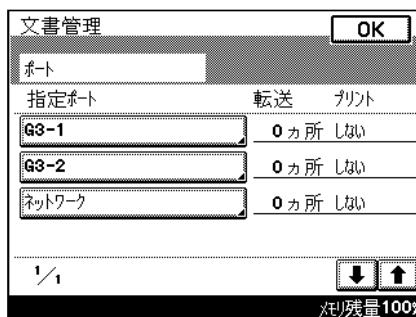
### ひとこと

ソフトウェア DIPSW で指定以外の相手先からの受信を拒否している場合、[Fコード]、[ナンバディスプレイ]、[ポート] のみ設定が可能です。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をご覧ください。

10

5

[G3] を押します。



## ひとこと

- オプションの回線拡張キットをご利用のときは、一般加入電話回線を2回線ご利用できます。[G3-1]（ポート1）、[G3-2]（ポート2）のポートごとに設定してください。
- ネットワーク経由（インターネットファクスなど）で受信した文書について設定する場合は、「ネットワーク」を選択してください。
- ソフトウェア DIPSW で指定以外の相手先からの受信を拒否している場合、[ネットワーク] のみ設定が可能です。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をご覧ください。

6

文書管理を行うかどうかを設定します。

- 文書管理を「使う」にした場合は、受信文書の扱いについて設定します。



7

受信文書の扱いを設定します。

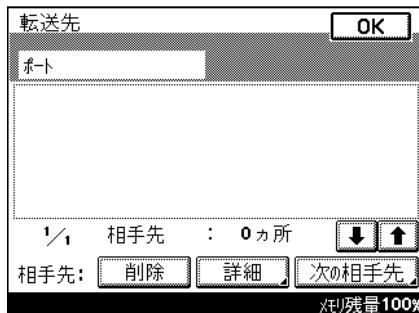
- [受信文書の扱い] を押し、どのように処理するかを選択し、[OK] を押します。



8

受信文書の扱いで「転送」を選択した場合は、転送先を設定します。

- 新しく転送先を追加するとき [次の相手先] を押します。
- 転送先の詳細を見るときは、転送先を押して、[詳細] を押します。
- 転送先を削除するときは、転送先を押して、[削除] を押します。



9

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

## ■ F コードで受信した文書の処理を設定する

F コードごとに文書を受信するように設定できます。

設定できる内容は以下のとおりです。

### ひとこと

F コードは、10 個まで指定できます。

10

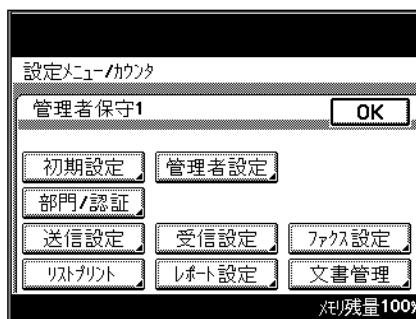
項目	説明
F コード	文書の処理を行う F コードを指定します。
受信文書の扱い	指定した F コードの受信文書をどのように処理するかを選択します。 プリント：プリントします。 転送：指定した宛先にデータを転送します。転送先は、300 件まで指定できます。 プリントと転送：プリントを行い、同時に指定した宛先にデータを転送します。転送先は、300 件まで指定できます。
転送先	受信文書の扱いで「転送」を選択した場合に設定します。

1

管理者モードにログインし、[管理者保守 1] を押します。

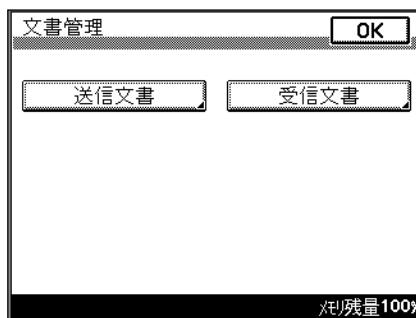
2

[文書管理] を押します。



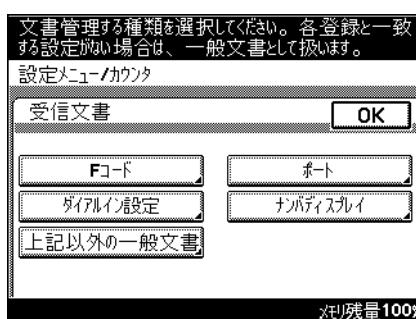
3

[受信文書] を押します。



4

[F コード] を押します。



5

登録するボタンを押します。



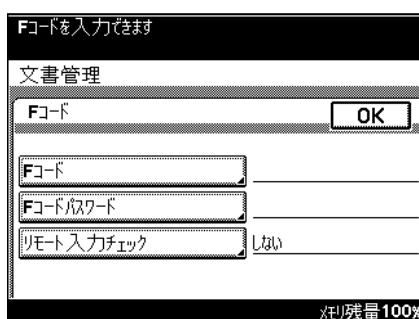
6

[F コード] を押します。



7

[F コード]、[F コードパスワード]、[リモート入力チェック] を設定します。

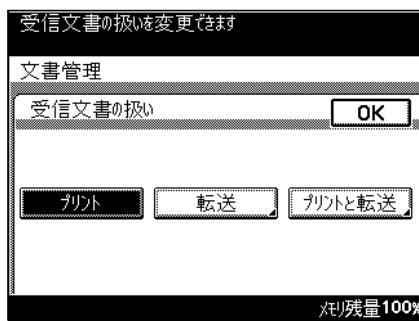


10

8

受信文書の扱いを設定します。

- [受信文書の扱い] を押し、どのように処理するかを選択し、[OK] を押します。



9

受信文書の扱いで「転送」を選択した場合は、転送先を設定します。

- 新しく転送先を追加するとき [次の相手先] を押します。
- 転送先の詳細を見るときは、転送先を押して、[詳細] を押します。
- 転送先を削除するときは、転送先を押して、[削除] を押します。



10

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

## ■ ダイアルインで受信した文書の処理を設定する

ダイアルインを設定している場合、ダイアルイン番号ごとに文書を受信するように設定できます。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
ダイアルイン番号	文書の処理を行うダイアルイン番号を入力します。
受信文書の扱い	指定したダイアルイン番号の受信文書をどのように処理するかを選択します。 プリント：プリントします。 転送：指定した宛先にデータを転送します。転送先は、300 件まで指定できます。 プリントと転送：プリントを行い、同時に指定した宛先にデータを転送します。転送先は、300 件まで指定できます。
転送先	受信文書の扱いで「転送」を選択した場合に設定します。

1

管理者モードにログインし、[管理者保守 1] を押します。

2

[文書管理] を押します。



### ひとこと

ダイアルイン番号は、100 件まで指定できます。

10

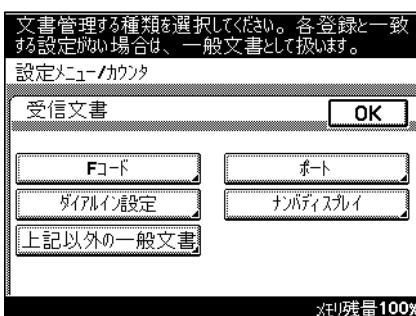
3

[受信文書] を押します。



4

[ダイアルイン設定] を押します。



5

登録するボタンを押します。



6

[ダイアルイン番号] を押します。



7

ダイアルイン番号を入力し、[OK] を押します。



8

受信文書の扱いを設定します。

- [受信文書の扱い] を押し、どのように処理するかを選択し、[OK] を押します。



10

9

受信文書の扱いで「転送」を選択した場合は、転送先を設定します。

- 新しく転送先を追加するとき [次の相手先] を押します。
- 転送先の詳細を見るときは、転送先を押して、[詳細] を押します。
- 転送先を削除するときは、転送先を押して、[削除] を押します。



10

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

## ■ ナンバディスプレイで受信した文書の処理を設定する

ナンバディスプレイを設定している場合、相手先の番号ごとに文書を受信するように設定できます。

設定できる内容は以下のとおりです。

### ひとこと

ナンバディスプレイ番号は、100件まで指定できます。

項目	説明
ナンバディスプレイ番号	文書の処理を行う相手先番号を入力します。
受信文書の扱い	指定した相手先番号の受信文書をどのように処理するかを選択します。 プリント：プリントします。 転送：指定した宛先にデータを転送します。転送先は、300件まで指定できます。 プリントと転送：プリントを行い、同時に指定した宛先にデータを転送します。転送先は、300件まで指定できます。
転送先	受信文書の扱いで「転送」を選択した場合に設定します。

1

管理者モードにログインし、[管理者保守 1] を押します。

2

[文書管理] を押します。



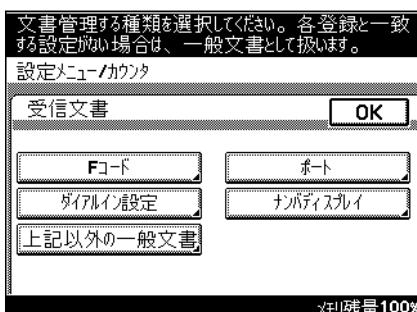
3

[受信文書] を押します。



4

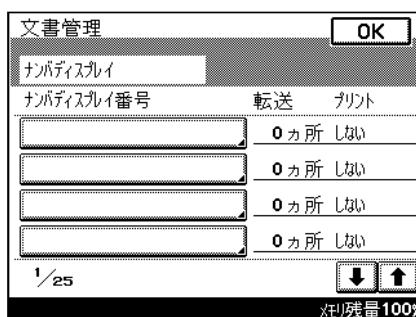
[ナンバディスプレイ] を押します。



10

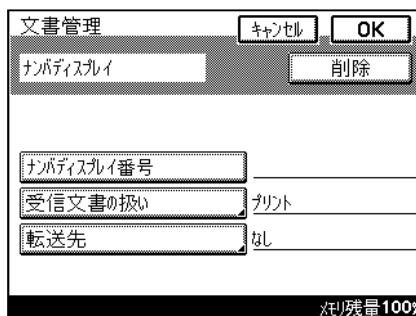
5

登録するボタンを押します。



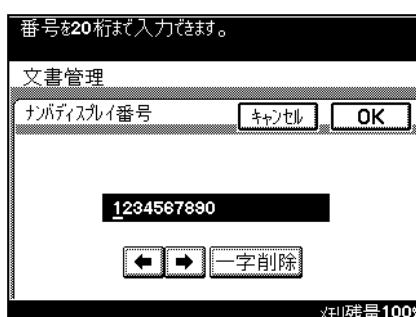
6

[ナンバディスプレイ番号] を押します。



7

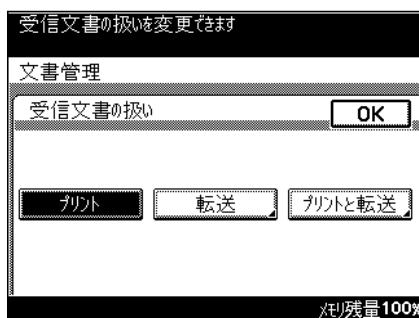
相手先の番号を入力し、[OK] を押します。



8

受信文書の扱いを設定します。

- [受信文書の扱い] を押し、どのように処理するかを選択し、[OK] を押します。



9

受信文書の扱いで「転送」を選択した場合は、転送先を設定します。

- 新しく転送先を追加するときは [次の相手先] を押します。
- 転送先の詳細を見るときは、転送先を押して、[詳細] を押します。
- 転送先を削除するときは、転送先を押して、[削除] を押します。



10

10

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

## ■ その他受信した文書の処理を設定する

ポート以外の回線から受信した文書の処理方法を設定します。  
設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
受信文書の扱い	振り分け条件で「指定する」を選択した場合、受信文書をどのように処理するかを選択します。 プリント：プリントします。 転送：指定した宛先にデータを転送します。転送先は、300件まで指定できます。 プリントと転送：プリントを行い、同時に指定した宛先にデータを転送します。転送先は、300件まで指定できます。 強制メモリ受信：強制的にメモリ受信します。
転送先	受信文書の扱いで「転送」を選択した場合に設定します。

1 管理者モードにログインし、[管理者保守1] を押します。

2 [文書管理] を押します。

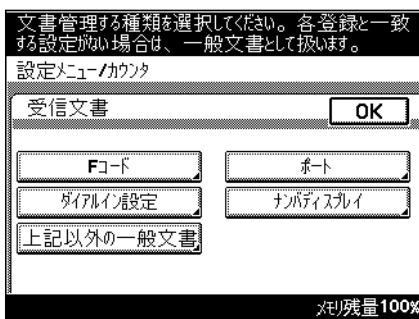


3 [受信文書] を押します。



4

[上記以外の一般文書] を押します。



5

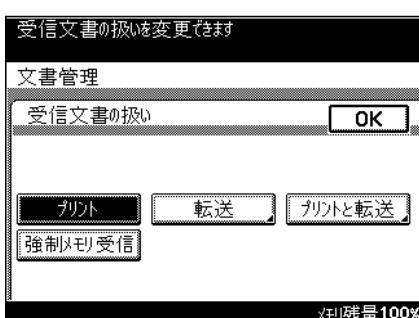
[受信文書の扱い] を押します。



6

受信文書の扱いを設定します。

- どのように処理する、を選択して [OK] を押します。



10

7

受信文書の扱いで「転送」を選択した場合は、転送先を設定します。

- 新しく転送先を追加するとき [次の相手先] を押します。
- 転送先の詳細を見るときは、転送先を押して、[詳細] を押します。
- 転送先を削除するときは、転送先を押して、[削除] を押します。



8

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

# 10.22自装置ドメインを設定する

本機のドメイン名を設定します。メールサーバ経由でダイレクトアクセス送信を行う場合、必要に応じて設定します。

## ■ 原則

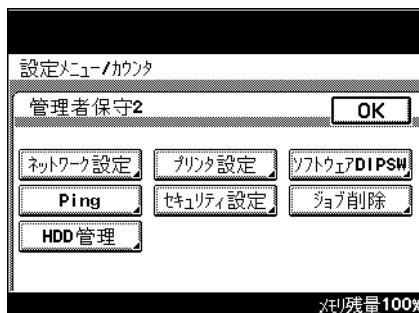
自装置ドメインを設定するときは、DNS の設定も行ってください。  
DNS の設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

1

管理者モードにログインし、[管理者保守 2] を押します。

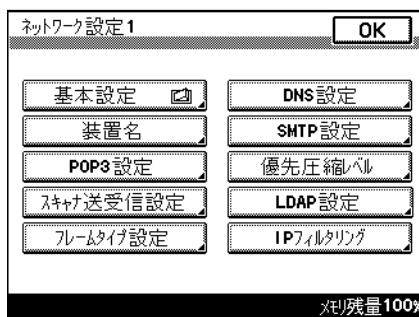
2

[ネットワーク設定] – [ネットワーク設定 1] を押します。



3

[基本設定] を押します。



10

4

[自装置ドメイン名] を押します。



5

本機のドメイン名を入力し、[OK] を押します。



# 10.23 ゲートウェイ送信を設定する

ゲートウェイ送信の許可／禁止を設定します。

ダイレクトファクスまたはIP中継で本機を中継機として使用するときに、ゲートウェイ送信を許可にします。

1

管理者モードにログインし、[管理者保守2]を押します。

2

[ネットワーク設定] - [ネットワーク設定1]を押します。

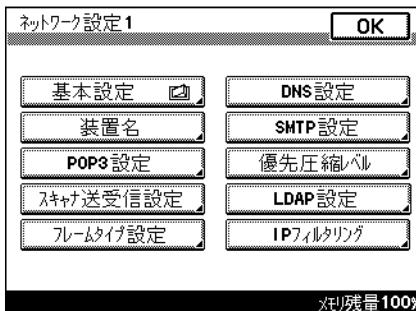


ダイレクトファクスについては、「コンピュータからファクスする（ダイレクトファクス）」(p. 6-33)をごらんください。

IP中継については、「ユーザーズガイド 拡張スキャナ機能編」をごらんください。

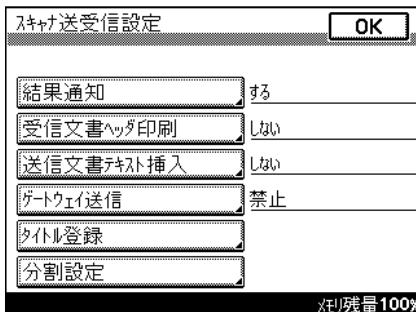
3

[スキャナ送受信設定]を押します。



4

[ゲートウェイ送信]を押します。

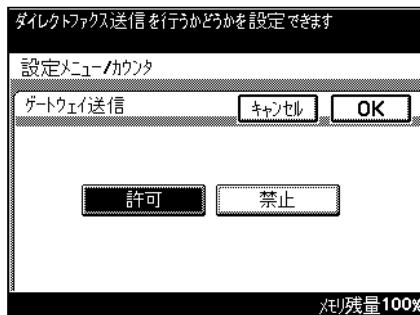


10

5

ゲートウェイ送信（ダイレクトファクス）の「許可」または「禁止」を選び、[OK] を押します。

- [許可]：ダイレクトファクス送信、またはIP中継で本機を中継機として使用するときに押します。
- [禁止]：ダイレクトファクス送信、またはIP中継で本機を中継機として使用しないときに押します。



### ひとこと

オプションの回線拡張キットが装着されている状態で[許可]を選択した場合は、ゲートウェイ送信時の通信モードを選択する画面になります。ダイレクトファクス送信のときに使用する通信モードを指定してください。

# 10.24機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）

本機のご利用状況に合わせてソフトウェア DIPSW の数値（モード、ビット、HEX）を指定することで、各機能の状態を変更できます。

## ■ ソフトウェア DIPSW

モード	設定する項目を 3 衔の数字で表現します。テンキーで入力します。
ビット	モードの状態を構成する 8 衔の数字です。7 ~ 0 までのそれぞれの桁にビットを 2 進数（1 または 0）で指定することで、機能の状態を設定します。
HEX	各機能の状態を 16 進数（0 ~ 9、A ~ F）の組み合わせで表しています。ビット指定が「00110000」の場合、HEX 指定は「30」と表現できます。 モードの状態はビット指定または HEX 指定で行います。

ビット指定（2 進数）と HEX 指定（16 進数）の表示例は以下のとおりです。

10 進数	ビット指定（2 進数）	HEX 指定（16 進数）
0	0000 0000	00
1	0000 0001	01
2	0000 0010	02
3	0000 0011	03
4	0000 0100	04
5	0000 0101	05
6	0000 0110	06
7	0000 0111	07
8	0000 1000	08
9	0000 1001	09
10	0000 1010	0A
11	0000 1011	0B
12	0000 1100	0C
13	0000 1101	0D
14	0000 1110	0E
15	0000 1111	0F
16	0001 0000	10
17	0001 0001	11
18	0001 0010	12
19	0001 0011	13
20	0001 0100	14



本書に記載されている以外のモードおよびビットは、変更しないでください。

### ひとこと

セキュリティ強化モードが設定されている場合は、ソフトウェア DIPSW は変更できません。

.	.	.
.	.	.
252	1111 1100	FC
253	1111 1101	FD
254	1111 1110	FE
255	1111 1111	FF

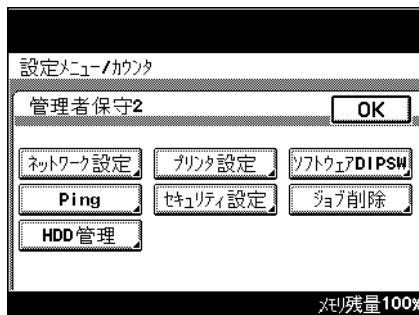
## ■ ソフトウェア DIPSW 変更の手順

1

管理者モードにログインし、[管理者保守 2] を押します。

2

[ソフトウェア DIPSW] を押します。



3

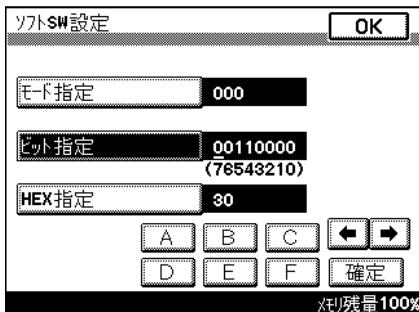
[モード指定] を押し、テンキーでモード番号を入力します。



**4**

ビット指定またはHEX指定で機能の状態を設定します。

- ビット指定の場合は、[ビット指定] を押し、[←] [→] で変更するビットにカーソルを合わせてテンキーでビットを指定し、[確定] を押します。



- HEX 指定の場合は、[HEX 指定] を押し、テンキーと [A] ~ [F] で指定し、[確定] を押します。

**5**

続けて他のモードを変更するときは、手順 3～4 を繰り返します。

**6**

待機画面（最初の画面）に戻るまで [OK] を押します。

**7**

主電源を OFF/ON します。

**10**

主電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON してください。すぐに ON になると正常に機能しないことがあります。

## ■ スタンプ、パスワード照合に関する指定をする（モード 000）

蓄積（送信）済スタンプ、通信パスワード照合を指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 1 1 0 0 0 0 (HEX : 30)

### 指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	操作終了後、蓄積（送信）済みスタンプを押す・押さないの指定をどちらに戻すかの指定	0	押さない	p. 6-18
		1	押す	
6	蓄積（送信）済みスタンプを押す位置の指定	0	原稿の先端と後端の2箇所に押す	p. 6-18
		1	原稿の後端のみ1箇所に押す	
5, 4	-----	11	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----
3	操作終了後、通信時に通信パスワードを照合する・しないの指定をどちらに戻すかの指定	0	照合しない	p. 6-21
		1	照合する	
2	受信時に通信パスワードを照合する・しないの指定	0	照合しない	p. 7-2
		1	照合する	
1, 0	-----	00	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

## ■ 原稿の宛名付けに関する指定をする（モード 001）

原稿に宛名を付けるかどうか指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 1 0 1 0 0 (HEX : 14)

### 指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6, 5, 4, 3, 2, 1	-----	000101 0	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----
0	送信原稿に宛名を付ける・付けないの指定	0	付けない	p. 6-6
		1	付ける	

## ■ メモリクリアレポートと順次同報送信時のレポート出力のしかたを指定する（モード 002）

メモリクリア、順次同報送信時のレポート出力のしかたを指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	1 0 1 0 1 0 0 0 (HEX : A8)

### ひとこと

メモリクリアレポートは、停電などで、メモリに蓄積されているデータが消失したときに出力されるレポートです。

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6, 5, 4	-----	1010	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----
3	メモリクリアレポートを出力する・しないの指定	0	出力しない	-----
		1	出力する	
2	順次同報送信の結果を送信管理レポートにまとめて印字するか・個別に印字するかの指定	0	送信結果をまとめて印字する	p. 12-2
		1	送信結果を個別に印字する	
1, 0	-----	00	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

## ■ 転送受信に関する指定をする（モード 003）

転送受信の指定、外付け電話機からの転送受信を受け付ける PB ダイアル番号の指定をします。

外付け電話からの転送受信を受け付ける PB ダイアル番号は、デフォルトでは【3】【\*】です。【3】を別の番号に変更できます。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 1 1 1 0 0 1 1 (HEX : 73)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7,6,5	-----	011	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----
4	転送受信の指定（*）	0	転送受信なし	p. 3-5
		1	転送受信あり	
3, 2, 1, 0	外付け電話からの転送受信（*）を受け付ける PB ダイアル番号の指定（「転送受信」（ビット 4）が「転送受信あり」設定の場合のみ有効）	0000	0	p. 3-5
		0001	1	
		0010	2	
		0011	3	
		0100	1	
		0101	5	
		0110	6	
		0111	7	
		1000	8	
		1001	9	
		他	※本機能の設定では、上記以外の状態には指定しないでください。	

(\*) オプションのハンドセット装着時に有効です。転送受信はポート 1 に受信します。

## ■ 不達文書の保存時間を指定する（モード 004）

不達送信文書の保存時間を指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 1 0 1 1 0 (HEX : 16)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6, 5, 4	-----	0001	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----
3, 2, 1, 0	送信できなかつた文書をメモリに残しておく時間を指定	0000	この指定では再送信しない	p. 2-34
		0001	10 分	
		0010	20 分	
		0011	30 分	
		0100	10 分	
		0101	50 分	
		0110	60 分（1 時間）	
		0111	2 時間	
		1000	4 時間	
		1001	8 時間	
		1010	12 時間	
		1011	24 時間	
		1100	72 時間	
		他	※本機能の設定では、上記以外の状態には指定しないでください。	

## ■ 一般加入電話回線に関する指定をする（モード 006）

一般加入電話回線の F ネット無鳴動受信の設定（ポート 1）、発呼方法を指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 1 0 1 0 0 1 0 (HEX : 52)

### 指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6, 5, 4, 3	-----	01010	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----
2	F ネット無鳴動受信の指定（ポート 1）	0	禁止	p. 6-32
		1	許可	
1	一般加入電話回線の発呼方法を指定（*）	0	操作や登録の内容に基づき、ポート 1、2 の指定された回線から発呼を行う	p. 10-30
		1	操作や登録の内容に関係なく、ポート 1、2 の空いている回線から発呼を行う	
0	-----	0	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。	-----

（\*）オプションの回線拡張キット使用時に有効です。

## ■ 長めの原稿を受信したときの対応を指定する (モード 007)

記録紙より長めの原稿を受信したときの対応を指定します。自動的に縮小したり、はみ出す範囲が少しなら切り捨てるこもできます。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	1 0 1 1 0 1 0 1 (HEX : B5)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6, 5	記録紙に印字できる範囲より長い原稿を受信したときに、はみ出した部分が、ここで指定した長さより短ければ、その部分を切り捨てます（長いときは、縮小または分割します）。<縮小するケース> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビット1が0で、ビット4,3,2で指定している縮小率の範囲に収まるときは、縮小します。</li> </ul> <分割するケース> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビット1が0で、ビット4,3,2で指定している縮小率の範囲に収まらないときは、はみ出した部分を分割します。</li> <li>ビット1が1のときは、はみ出した部分を分割します。</li> </ul>	000 001 010 011 100 101 110 111	0 mm 8 mm 12 mm 14 mm 18 mm 20 mm 24 mm ※本機能の設定では、この状態には指定しないでください。	p. 5-2

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
4, 3, 2	ビット 7,6,5 で指定した長さより長くはみ出した部分を、記録紙に入るよう縮小します。その縮小率の上限を指定します（受信プリント時でビット 1 が 0 のときのみ有効）。例えば「90%」を指定した場合 100% ~ 90% の範囲で縮小します。 • ここで指定した縮小率の上限で、記録紙に印字できる範囲に収まらないときは、はみ出した部分を分割します。	000 001 010 011 100 101 110 111	100% 95% 90% 85% 80% 65% 60% ※本機能の設定では、この状態には指定しないでください。	p. 5-2
1	記録紙に印字できる範囲より長い原稿を受信したときに、縮小するか切り捨てるかの指定（受信プリント時のみ有効） • この指定により、ビット 7,6,5 およびビット 4,3,2 の指定が有効になります。	0 1	縮小 切り捨て	p. 5-2
0	-----	1	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。	-----

※例 1 ビット 7,6,5,4,3,2,1=0,0,0,1,0,1,0（切り捨て長上限 = 0 mm、縮小率上限 = 65%、後端処理 = 縮小）に指定したとき 記録紙が受信画の 70% の大きさのときは、後端の切り捨てをせずに 70% 縮小し、1 枚に入るようにプリントします。

※例 2 ビット 7,6,5,4,3,2,1=0,0,0, - , - , - ,1（切り捨て長上限 = 0 mm、後端処理 = 切り捨て）に指定したとき 受信画が記録紙より長いときは、後端の切り捨てや縮小せずに、2 枚に分割してプリントします。

## ■ 受信プリント時の記録紙選択に関する指定をする（モード 008）

受信プリント時の記録紙選択に関する指定をします。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0 (HEX : 00)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	記録紙有無の判定のしかたの指定（受信プリント時のみ有効）	0	記録紙優先方式（記録紙の有無により判定する）	p. 3-5
		1	カセット優先方式（記録紙の有無に関係なくカセットサイズもしくは直前の記録紙情報で判定する）	
6, 5, 4, 3	受信画に対する記録紙のサイズの指定（受信プリント時のみ有効）	0000	送信原稿の長さと幅を考慮して適切な記録紙を自動選択する	p. 3-5
		0100	送信原稿の幅より大きい幅の記録紙を選択しない	
		1000	送信原稿の幅と一致した幅の記録紙のみ選択する	
		他	※本機能の設定では、上記以外の状態には指定しないでください。	
2, 1, 0	-----	000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

## ■ 一般加入電話回線（ポート2）に関する指定をする（モード011）

一般加入電話回線（ポート2）のFネット無鳴動受信の設定を指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 1 0 1 0 0 0 1 (HEX: 51)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6, 5, 4, 3	-----	01010	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----
2	Fネット無鳴動受信の指定（ポート2）（*）	0	禁止	p. 6-32
		1	許可	
1, 0	-----	01	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

（\*）G3マルチポート対応機で有効です。

## ■ 同報送信時の設定確認画面に関する指定をする（モード014）

同報送信時に設定確認画面を表示するかどうかを指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 1 (HEX: 01)

**指定のしかた**

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6, 5, 4, 3, 2	-----	000000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----
1, 0	同報送信時に設定確認画面を表示する・しないの指定	00	設定確認画面を表示しない	p. 2-25
		01	同報送信時に設定確認画面を表示する	
		10	同報送信時に限らず、常に設定確認画面を表示する	
		11	※本機能の設定では、この状態に指定しないでください。	

**■ 自動受信の音声応答に関する指定をする****(モード 015)**

受信モード設定の電話優先モード設定時に、ファクス受信に切り替える前に音声応答をするかどうかを指定します。

**購入時の状態**

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	1 0 0 1 0 0 0 0 (HEX : 90)

**指定のしかた**

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6, 5, 4	-----	1001	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
3	電話優先のときに、ファクス受信に切り替える前に音声応答をする・しないの指定（*）	0	しない	p. 3-2
		1	する	
2, 1, 0	-----	000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

(\*) オプションのハンドセット装着時に有効です。

## ■ 外付け電話機および受信日時記録の有無と方法に関する指定をする（モード 016）

外付け電話機の指定および受信日時記録の有無と方法を指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 1 0 0 0 0 0 0 (HEX : 40)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	-----	0	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。	-----
6	外付け電話機を使用する・しないの指定	0	使用しない	p. 2-28
		1	使用する	
5, 4, 3, 2	-----	0000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----
1	受信日時記録を付ける・付けないの指定	0	付けない	-----
		1	付ける	

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
0	受信日時記録を 画像の外と内ど ちらに付けるか の指定	0	画像の内に付け る	-----
		1	画像の外に付け る	

### ■ ナンバーディスプレイ表示に関する指定をする（モード 017）

ナンバーディスプレイ表示に関する指定をします。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	1 1 0 0 0 0 0 0 (HEX : C0)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6	-----	11	※本機能の設定 では、これらの ビットは変更し ないでください。	-----
5	ナンバーディス プレイ表示をす る・しないの指 定	0	相手先電話番号 表示をする	p. 11-32
		1	拡張 ID (TSI) を表示する	
4	ナンバーディス プレイ対応の非 通知時のID表 示をする・しな いの指定	0	ID 表示をする	p. 11-32
		1	「非通知」とす る	
3, 2, 1, 0	-----	0000	※本機能の設定 では、これらの ビットは変更し ないでください。	-----

## ■ ダイアル入力と同報送信を制限する（モード 018）

ダイアル入力での送信先指定と同報送信を制限するかしないかを指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0 (HEX : 00)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6, 5, 4	-----	0000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----
3	ダイアル入力での送信先指定を禁止する・しないの指定（*）	0	許可する	-----
		1	禁止する	
2	同報送信を禁止する・しないの指定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
1, 0	-----	00	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

(\*) モード 477 ビット 6 を「管理者モードでのみ設定可能」のとき、連動して「禁止する」に設定されます。

## ■ 結果レポートの画像に関する指定をする（モード 023）

結果レポートに送信画像を付けるかどうかの指定をします。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	1 1 1 1 1 0 0 0 (HEX : F8)

**指定のしかた**

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6, 5, 4	-----	1111	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----
3	結果レポートに送信画像を付ける・付けないの指定	0	付けない	p. 6-9
		1	付ける	
2, 1, 0	-----	000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

### ■ リモートコピーのプリント部数制限を指定する（モード 028）

リモートコピーが指定された文書を受信したときに、受信側でプリントを許可する最大部数を指定できます。

**購入時の状態**

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 1 1 0 0 0 1 1 (HEX : 63)

**指定のしかた**

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	-----	0	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。	-----

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
6, 5, 4,3,2, 1, 0	受信側でリモートコピーを行える最大部数の指定	0000001	1枚	p. 6-22
		0000010	2枚	
		:		
		1100011	99枚	
		その他	※本機能の設定では、上記の範囲以外の状態には変更しないでください。	

## ■ ファクス受信の機能に関する指定をする (モード 030)

ファクス受信で、回転記録と 2in1 記録の指定をします。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	1 0 1 1 0 0 0 0 (HEX : B0)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	-----	1	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。	-----
6, 5	ファクス受信時、回転記録をする・しないの指定 (*)	00	回転記録しない	p. 3-5
		01	回転記録する (リモートコピー受信時に交互ソートしない)	
		10	回転記録する (リモートコピー受信時に交互ソートする)	
		11	※本機能の設定では、この状態には指定しないでください。	

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
4	ファクス受信時、2in1 記録をする・しないの指定	0	2in1 受信しない	p. 3-5
		1	2in1 受信する	
3, 2, 1, 0	-----	0000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

(\*) 回転記録をするに指定した場合は、リモートコピー受信時に交互ソートする・しないを指定できます。

### ■ ファクス受信のカセット選択に関する指定をする（モード 037）

ファクス受信時に、カセットと手差しトレイ選択の指定をします。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	1 1 1 1 1 0 0 0 (HEX : F8)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	1段目のカセットをファクス受信時の選択を許可する・しないの指定	0	選択を禁止する(* 2)	p. 3-5
		1	選択を許可する	
6	2段目のカセットをファクス受信時の選択を許可する・しないの指定	0	選択を禁止する(* 2)	p. 3-5
		1	選択を許可する	
5	3段目のカセットをファクス受信時の選択を許可する・しないの指定 (* 1)	0	選択を禁止する(* 2)	p. 3-5
		1	選択を許可する	
4	4段目のカセットをファクス受信時の選択を許可する・しないの指定 (* 1)	0	選択を禁止する(* 2)	p. 3-5
		1	選択を許可する	

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
3	-----	1	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。	-----
2	手差しトレイをファクス受信時の選択を許可する・しないの指定	0	選択を禁止する(*2)	p. 3-5
		1	選択を許可する	
1, 0	-----	00	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

(\* 1) オプションの増設カセットを装着時に有効です。

(\* 2) ビット 7, 6, 5, 4, 2 を全て 0 に指定しないでください。

## ■ 電話優先モードの着信音に関する指定をする (モード 070)

電話優先モードで、回線をつないだ後に何秒間着信音を鳴らすかを指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 1 0 1 0 0 (HEX : 14)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 0	電話優先モードで、ファクスの信号を識別するために回線をつないだ後に何秒間着信音を鳴らすかを指定	000010 10	10 秒	p. 3-2
		000101 00	20 秒	
		001111 00	60 秒	
		他	※本機能の設定では、上記以外の状態には指定しないでください。	

(\* ) オプションのハンドセット装着時に有効です。

## ■ 管理者転送に関する指定をする（モード 198）

送信文書を管理者が指定した相手先に転送するかどうかを指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	1 1 0 1 0 0 0 0 (HEX : D0)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	送信文書を管理者が指定した相手先に転送する・しないの指定	0	転送しない	p. 10-54
		1	転送する	
6	スキヤナ送信時に、管理者転送する・しないの指定（※）	0	転送しない	-----
		1	転送する	
5, 4	管理者転送時の結果レポート出力条件の指定（※）	00	出力しない	p. 10-54
		01	不達のとき	
		10	常に出力する	
		11	※本機能の設定では、この状態には指定しないでください。	
3,2,1,0	-----	0000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

（※）モード 198 ビット 7 を「1（送信する）」に設定したときのみ有効です。

## ■ 相手機確認送信に関する指定をする（モード200）

ファクス送信時に、相手機から受信する CSI (Called Subscriber ID) 信号により相手先を確認してから送信するかどうか（相手機確認送信）を指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 1 0 0 (HEX : 04)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7,6,5	-----	000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----
4	発呼番号内に相手機確認送信用の特殊文字列がない場合に、装置として、相手機確認送信を行うかどうかの指定	0	相手機確認送信しない	p. 2-26
		1	相手機確認送信する	
3,2,1,0	相手機確認送信をするときに、CSI 信号を比較する桁数の設定。 (発呼した番号が本設定で指定した桁数に満たない場合は、発呼した番号の全桁で比較する。特殊文字列を使用した照合番号による比較の場合は、本設定によらず、照合番号の全桁で比較する。)	0000	設定禁止	p. 2-26
		0001	1 桁	
		0010	2 桁	
		0011	3 桁	
		0100	4 桁	
		0101	5 桁	
		0110	6 桁	
		0111	7 桁	
		1000	8 桁	
		1001	9 桁	
		1010	10 桁	
		1011-1111	※本機能の設定では、この状態には指定しないでください。	

(\*) 照合対象と CSI 比較桁数の設定について

(例：CSI 信号比較桁数を 6 桁に設定し、10 桁の CSI 信号を受信した場合)

照合対象	照合対象の関係	動作
相手先電話番号	相手先電話番号が CSI 信号の比較桁数より多い場合	CSI 信号比較桁数の設定値に従い、照合を行う。 (発呼番号が 10 桁の場合、末尾から 6 桁を比較する。)
	相手先電話番号が CSI 信号の比較桁数より少ない場合	発呼番号の桁数分だけ照合を行う。 (発呼番号が 4 桁の場合、末尾から 4 桁を比較する。)
照合番号	照合番号の桁数が CSI 信号の桁数より少ない場合	照合番号の桁数分だけ照合を行う。 (照合番号が 10 桁の場合、末尾から 10 桁を比較する。)
	照合番号の桁数が CSI 信号の桁数より多い場合	照合番号の桁数分だけ照合を行う。 (照合番号 11 桁以上の場合、末尾から 11 桁を比較対象とするが、CSI 信号は 10 桁しかないため、不一致となり、通信異常となる。)

## ■ 自動着信呼出回数（ポート 2）に関する指定をする（モード 249）

ポート 2 の自動着信呼出回数を指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 1 0 0 0 (HEX : 08)

**指定のしかた**

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6, 5, 4, 3	自動着信呼出回数（ポート2）	00000 00001 00010 00011 00100 00101 00110 00111 01000 01001 01010 01011 01100 01101 01110 01111 10000 10001 10010 10011 10100	なし（0回） 1回 2回 3回 4回 5回 6回 7回 8回 9回 10回 11回 12回 13回 14回 15回 16回 17回 18回 19回 20回	p. 10-48
	他	000	※本機能の設定では、上記以外の状態には指定しないでください。	
2, 1, 0	-----	000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

(\*) オプションの回線拡張キット使用時に有効です。

## ■ 指定以外の相手先からの受信を拒否する (モード 306)

「ナンバディスプレイ」、「F コード（掲示板 / 親展 / 転送）」で指定された相手先からのファクス（G3）受信のみを受け付け、それ以外のファクス（G3）受信を拒否するかしないかを指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0 (HEX : 00)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	指定以外の相手先からの受信を拒否する・しないの指定	0	拒否しない	p. 10-56
		1	拒否する	
6, 5, 4, 3, 2, 1, 0	-----	0000000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

## ■ インターネットファクスに関する指定をする (モード 350)

インターネットファクスを利用するときの、POP3 の指定をします。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	1 0 1 0 1 0 0 0 (HEX : A8)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	-----	1	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。	-----

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
6	SMTP の前に着信確認 (POP3) する・しないの指定	0	着信確認しない	-----
		1	着信確認する	
5, 4, 3, 2, 1, 0	-----	101000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

## ■ ダイレクト FAX/IP 中継および受信文書転送時の発信元付加に関する指定をする（モード 352）

ダイレクト FAX、IP 中継および受信文書転送時の発信元の付けかたに関する指定をします。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	1 1 0 1 0 0 0 0 (HEX : D0)

### 指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	-----	1	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。	-----
6	ダイレクト FAX 時、IP 中継時の発信元の付けかたの指定	0	原稿外	-----
		1	原稿内	
5	受信文書転送時に発信元情報を付ける・付けないの指定	0	付加しない	p. 10-56
		1	付加する	
4	受信文書転送時の発信元の付けかたの指定	0	原稿外	-----
		1	原稿内	

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
3, 2, 1, 0	-----	0000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

### ■ ダイレクト FAX/IP 中継の通信結果の記載を指定する（モード 368）

ダイレクト FAX、IP 中継の結果を受信管理レポートに記載するかどうかを指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	1 1 0 0 0 0 1 0 (HEX : C2)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	-----	1	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。	-----
6	管理者パスワードの有効範囲を指定する ※本機ではこのビットの設定に関係なく、常に、本機でも PageScope Web Connection でも管理者パスワードを必要とする	1	本機でも PageScope Web Connection でも管理者パスワードを必要とする	-----
5, 4, 3, 2	-----	0000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----
1	スキャナ送信の結果を送信管理レポートに記載する・しないの指定	0	記載しない	-----
		1	記載する	

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
0	ダイレクト FAX、IP 中継の 結果を受信管理 レポートに記載 する・しないの 指定	0	記載しない	p. 12-5
		1	記載する	

## ■ 自動給紙部を使用したコピー終了時の設定に関する指定をする（モード 429）

自動給紙部を使用したコピー終了時に、オートリセットをするかどうかを指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0 (HEX : 00)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7, 6	-----	00	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----
5	自動給紙部を使用したコピー終了時に、基本画面の内容をオートリセットする・しないの指定	0	オートリセットしない	-----
		1	オートリセットする	
4, 3, 2, 1, 0	-----	00000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

## ■ 通信モードの使用制限をする－1（モード475）

通信モードを個別に、使用を許可するか禁止するかを指定します。通信モード選択画面に表示される通信モードは、禁止されると画面に表示されなくなります。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 (HEX : 00)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	TCP/IP の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
6	LPD の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
5	RAW Port の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
4	SLP の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
3	Scan to FTP の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
2	FTP Server の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
1	SNMP の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
0	-----	0	※本機能の設定では、このビットは変更しないでください。	-----

### ひとこと

- 登録済みのワンタッチは、禁止された通信モードが設定されていてもそのまま通信できます。
- すべての通信モードを禁止する（モード 475 ~ 477）と、送信を設定する画面などが正常に表示されないことがあります。

## ■ 通信モードの使用制限をする－2（モード476）

通信モードを個別に、使用を許可するか禁止するかを指定します。通信モード選択画面に表示される通信モードは、禁止されると画面に表示されなくなります。

### 購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0 (HEX : 00)

### 指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	Scan to SMB の 使用を禁止す る・しないの指 定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
6	SMB プリントの 使用を禁止す る・しないの指 定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
5	G3 ファクスの 使用を禁止す る・しないの指 定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
4	Scan to HDD の 使用を禁止す る・しないの指 定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
3	Scan to E-mail の使用を禁止す る・しないの指 定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
2	インターネット ファクスの使 用を禁止する・し ないの指定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
1	IP 中継の使 用を禁止する・し ないの指定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
0	IP アドレス FAX の使用を禁止す る・しないの指 定	0	許可する	-----
		1	禁止する	

### ひとこと

- 登録済みのワンタッチは、禁止された通信モードが設定されていてもそのまま通信できます。
- すべての通信モードを禁止する（モード475～477）と、送信を設定する画面などが正常に表示されないことがあります。

## ■ 通信モードの使用制限をする – 3 / ファクス登録 / レポート出力の設定権限およびワンタッチ表示の有無を指定する（モード 477）

通信モードを個別に、使用を許可するか禁止するかを指定します。通信モード選択画面に表示される通信モードは、禁止されると画面に表示されなくなります。

また、ファクス登録、レポート出力をユーザモードで設定するかどうかを指定し、画面およびレポートでワンタッチ情報を表示するかどうかを指定します。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0 (HEX : 00)

指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。右端の数字は、各機能の説明のあるページです。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	PC (スキャナ) の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
6	ファクス登録、レポート出力の条件設定をユーザも設定可・管理者のみが設定可の指定	0	ユーザも設定可能	p. 10-51
		1	管理者モードでのみ設定可能	
5	ワンタッチを押したときおよびレポート / ジョブリストに相手先名だけを表示し、ファクス番号 / アドレスを表示しない（※1）（※2）	0	表示する	-----
		1	表示しない	
4	SIP ファクスの使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	-----
		1	禁止する	
3	TCPSocket の使用を禁止する・しないの指定	0	許可する	-----
		1	禁止する	

### ひとこと

- 登録済みのワンタッチは、禁止された通信モードが設定されていてもそのまま通信できます。
- すべての通信モードを禁止する（モード 475 ~ 477）と、送信を設定する画面などが正常に表示されないことがあります。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
2,1,0	-----	000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

(※1) ビット6が「1」に設定されているときは、ビット5で「1（表示しない）」を設定しても機能しません。相手先のファクス番号／アドレスを表示たくない場合は、ビット6も「1（管理者モードでのみ設定可能）」を指定してください。

(※2) 「アドレス入力」で直接相手先を指定した場合は「1（表示しない）」に設定していても相手先が表示されます。

## ■ 文字入力画面の【削除】キーの削除方式を指定する（モード478）

文字入力画面の【削除】キーの削除方法を指定します。

カーソルを合わせている文字を削除する方法と、カーソルの前の文字を削除する方法の2つおりから選択できます。

### 購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0 (HEX : 00)

### 指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7	文字入力画面の【削除】キーの削除方式の指定	0	カーソルを合わせている文字を削除	p. 13-3
		1	カーソルの前の文字を削除	
6,5,4, 3,2,1, 0	-----	0000000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----

## ■ ユーザ認証をスキャン機能のみに限定する (モード 479)

ユーザ認証を【ファクス / スキャン】、【拡張スキャン】を押したときのみに限定できます。

購入時の状態

ビット	7 6 5 4 3 2 1 0
状態	0 0 0 0 0 0 0 0 (HEX : 00)

### 指定のしかた

薄いグレーの部分は、購入時の状態です。

ビット	内容	状態	説明	参照ページ
7,6,5	-----	000	※本機能の設定では、これらのビットは変更しないでください。	-----
4,3,2,1, 0	ファクス、ス キャン機能に認 証を限定する	11001	限定する	-----
		00000	限定しない	



スキャン機能に限定したユーザ認証を行う場合、管理者保守の「部門 / 認証」で認証形態を「外部サーバ」に指定してください。外部サーバ認証設定について詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。



モード 479 については、「指定のしかた」に記述されている以外の状態には指定しないでください。

# 第 11 章

## PageScope Web Connection を 使って設定する

デバイス管理ユーティリティの PageScope Web Connection へアクセスする方法と、本機の設定変更を説明します。

11.1 PageScope Web Connection で設定できる項目 .....	11-2
11.2 PageScope Web Connection の使い方 .....	11-4
11.3 ワンタッチ登録（ユーザモード） .....	11-10
11.4 ファクスプログラム登録（ユーザモード） .....	11-16
11.5 システム設定（管理者モード） .....	11-20
11.6 エクスポート／インポート（管理者モード） .....	11-21
11.7 回線の設定（管理者モード） .....	11-25
11.8 発信元登録 .....	11-26
11.9 送信設定（管理者モード） .....	11-27
11.10 受信設定（管理者モード） .....	11-30
11.11 ファクス設定（管理者モード） .....	11-32
11.12 文書管理（管理者モード） .....	11-37
11.13 レポート出力設定（管理者モード） .....	11-46
11.14 共通設定（管理者モード） .....	11-47
11.15 メール／インターネットファクス（管理者モード） .....	11-50

## 11.1 PageScope Web Connection で設定できる項目

PageScope Web Connection は、デバイスに内蔵されている HTTP サーバが提供するデバイス管理ユーティリティです。ネットワークに接続しているパソコンで Web ブラウザを起動し、PageScope Web Connection へアクセスして本機の設定を変更できます。

設定を変更するのに本機まで行かなくても、手元のパソコン上から手軽に操作できる上、漢字の入力などもスムーズなので便利です。

ファクス機能に関して設定できる項目は以下のとおりです。

PageScope Web Connection には誰でもアクセスできるユーザモードと管理者番号の入力が必要な管理者モードがあります。それぞれのモードで設定できる項目が異なります。

### ■ ファクス / スキャナ登録（ユーザモード）

項目	説明
ワンタッチ登録	ワンタッチにファクスの宛先を登録します。登録したデータの変更、削除もできます。また、インデックス名称の変更ができます。
ファクスピログラム登録	ワンタッチにファクスピログラムを登録します。宛先のみを登録するワンタッチと違い、送信条件を登録したり複数の宛先を登録することができます。登録したデータの変更、削除もできます。

### ■ システム（管理者モード）

項目	説明
ユーザチョイス 5	受信したファクスの出力トレイを設定できます。
ユーザチョイス 6	優先画面を設定できます。

## ■ ファクス / スキャナ登録（管理者モード）

項目	説明
ワンタッチ登録	エクスポート 本機のワンタッチに登録していたワンタッチのデータをまとめてエクスポートし、ファイルとして保存します。
	インポート コンピュータ上に保存されているエクスポートデータからワンタッチのデータをまとめてインポートします。
初期設定	本機に接続している回線の情報を設定します。
発信元登録	相手先で出力する用紙の先端にこちらの名前やファクス番号、アドレスなど入力した文字をプリントします。 この発信元の名称を登録します。
送信設定	送信時の各種初期値を設定します。
受信設定	ファクスを受信したとき、プリントを行う時刻や曜日などを指定します。
ファクス設定	回線種別やダイアルインなどのサービス機能を設定します。
送信文書	管理者転送先を設定します。
受信文書	受信した文書の処理や転送について設定します。
レポート出力設定	結果レポートや通信管理レポートの出力条件を設定します。

## ■ ネットワーク（管理者モード）

項目	説明
共通設定	TCP/IP 本機をネットワーク上で使用するために必要な設定を行います。
メール／インターネットファクス	その他 その他送信に関する設定を行います。
IP 中継設定	IP 中継送信を行うための設定を行います。

## 11.2 PageScope Web Connection の使い方

### ■ 動作環境

ネットワーク	Ethernet (TCP/IP)
パソコン側のアプリケーション	Windows98SE/Me/NT4.0 の場合： Microsoft Internet Explorer 4 以降、 Netscape Navigator 4.73 もしくは 7.0 Windows2000 の場合： Microsoft Internet Explorer 5 以降、 Netscape Navigator7.0 WindowsXP の場合： Microsoft Internet Explorer 6 以降、 Netscape Navigator7.0 *Microsoft Internet Explorer 5.5 ではワンタッチのエクスポート機能が正常に動作しないことがあります。Microsoft Internet Explorer 5.5ServicePack1 以降を使用してください。



PageScope Web Connection は、デバイスに内蔵されている HTTP サーバが提供する、デバイス管理用ユーティリティです。ネットワーク上のパソコンで Web ブラウザを起動し、PageScope Web Connection へアクセスして、本機の設定を変更できます。



PageScope Web Connection でアクセスするときは、プロキシサーバを使用しないでください。

### ひとこと

本機の設定で TCP/IP の使用を禁止している場合は、PageScope Web Connection は使用できません。

### ■ アクセス方法

PageScope Web Connection へは、Web ブラウザを使用して直接アクセスできます。

1

Web ブラウザを起動します。

2

URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力して [Enter] キーを押します。

○ http:// <本機の IP アドレス> /

(例) 本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合  
http://192.168.1.20/

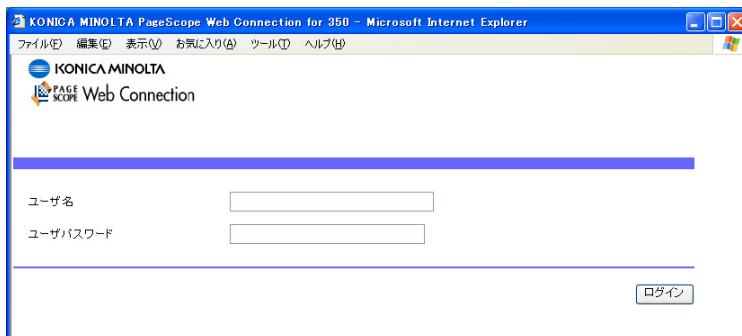


SSL/TLS を有効に設定したあとの URL は、  
https://<本機の IP アドレス>/になります。「http://」と入力しても自動的に「https://」へ転送されます。  
(セキュリティ強化モードが設定されている場合は、SSL は強制的に有効になります。)

## ■ ユーザ認証を行っているときは

ユーザ認証または外部サーバ認証を行っているときは、以下の画面が表示されます。

ユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックしてください。



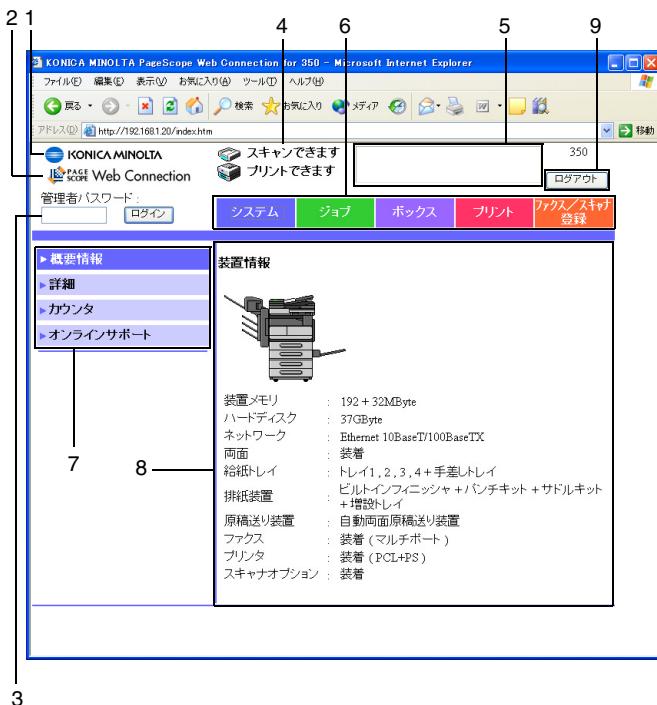
### ひとこと

- ユーザ認証について詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
- ユーザ名とパスワードはネットワーク管理者に問い合わせてください。
- セキュリティ強化モードまたはソフトウェア DIPSW でアクセスロックが設定されている場合は、パスワード入力を 3 回失敗すると、本機がロックされ、操作できなくなります。操作できなくなつた場合は、本機管理者に連絡してください。セキュリティ強化モードまたはソフトウェア DIPSW のアクセスロック設定について詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

## ■ 画面の構成

PageScope Web Connection へのアクセス直後に表示される画面は「ユーザモード」と呼ばれる画面で、誰でも閲覧できます。

PageScope Web Connection の画面は、以下のように構成されています。



「管理者パスワード」にパスワードを入力することで「管理者モード」と呼ばれる画面に入ることができます。詳しくは、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7)をごらんください。

### ひとこと

- 「ボックス」タブは、オプションの HDD が装着されている場合のみ表示されます。
- 「ファックス / スキャナ登録」タブは、オプションの FAX キットが装着されている場合の表示です。FAX キットが装着されていない状態では「スキャナ登録」となります。

No.	項目	説明
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、以下のサイト (KONICA MINOLTA のサイト) ヘジャンプします。 <a href="http://konicaminolta.com">http://konicaminolta.com</a>
2	PageScope Web Connection ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、バージョンが表示されます。
3	管理者モードへのログイン	管理者モードにログインできます。
4	ステータス表示	本機プリンタ部分と本機スキャナ部分の状態が、アイコンで表示されます。
5	メッセージ表示	本機にエラーが発生している場合に、トラブル／エラーの状態とエラーの内容が表示されます。

No.	項目	説明
6	タブ	表示する項目のカテゴリを選択します。ユーザモードでは、以下のタブが表示されます。 ・システム ・ジョブ ・ボックス ・プリント ・ファックス / スキャナ登録
7	メニュー	選択されたタブにおける情報および設定が表示されます。タブの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。
8	情報、設定の表示	メニューで選択されている項目の内容が表示されます。
9	ユーザ認証のログアウト	ユーザ認証をログアウトできます。

## ■ 管理者モードへのログイン方法

ユーザモードと管理者モードの切換えを行います。システム設定やネットワーク設定などを行うには、管理者モードに入る必要があります。

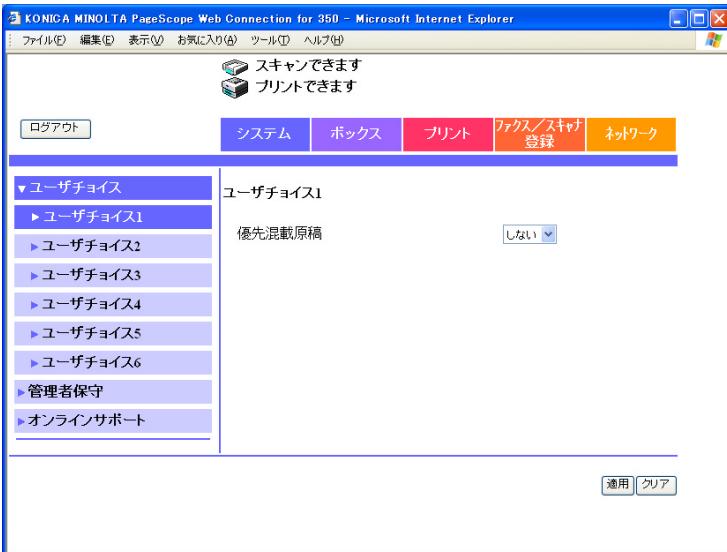
1

本機の管理者パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。



11

管理者モードの画面に切り換わります。



ユーザモードにもどる場合は、[ログアウト] をクリックします。

### 原則

管理者モードにログインしているときは、本機の操作パネルがロックされ、操作できなくなります。

本機の状態によっては、管理者モードにログインできない場合があります。

管理者モードにログインした状態で、操作が 10 分間行われないと、自動的にタイムアウトとなり、管理者モードでの操作ができなくなります。

## ■ Web ブラウザのキャッシュ機能について

Web ブラウザにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起る場合があります。

PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザでキャッシュ機能を無効にしてください。

### 原則

キャッシュ機能を有効にしたまま使用すると、管理者モードでタイムアウトになったあと、再度アクセスしてもタイムアウト表示になることがあります。この場合でも、本機の操作パネルがロックされ操作できなくなるため、電源の再投入が必要になります。このような問題を避けるために、キャッシュ機能を無効にしてください。

Internet Explorer の場合

- 1** 「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選択します。
- 2** 「全般」タブで「インターネット一時ファイル」の「[設定]」をクリックします。
- 3** 「ページを表示するごとに確認する」を選択し、[OK] をクリックします。

Netscape の場合

- 1** 「編集」メニューから「設定」を選択します。
- 2** 左側の「カテゴリ」で「詳細」 - 「キャッシュ」を選択します。
- 3** 「キャッシュにあるページとネットワーク上のページの比較 :」で「ページにアクセスするたび」を選択します。

### ひとこと

Web ブラウザのバージョンによっては、メニュー名や項目名が異なる場合があります。詳しくは Web ブラウザのヘルプをごらんください。

## 11.3 ワンタッチ登録（ユーザモード）

ファクスの送信先をワンタッチに登録します。ワンタッチには、メイン宛先と、送れなかつたための予備アドレスであるサブ宛先の2つを設定できます。

インデックスに名称を付けることもできます。

### ■ 原則

本機には36個のインデックスがあり、それぞれのインデックスには15個までのワンタッチおよびファクスプログラムを登録できます。

### ■ インデックスに名前を付ける

1

[ファクス / スキャナ登録] タブをクリックします。

2

[ワンタッチ登録] をクリックします。

3

「インデックス」から名前を付けるインデックス（枠の中央部分）をクリックします。

選択したインデックスに保存されているワンタッチが画面下半分に表示されます。

4

- インデックス名を入力し、[適用] をクリックします。  
インデックス名が画面上半分のインデックス一覧に表示されます。



### ひとこと

入力できる文字数は、半角8文字（全角4文字）以内です。

## ■ ワンタッチに登録する

1

[ファクス / スキャナ登録] タブをクリックします。

2

[ワンタッチ登録] をクリックします。

3

「インデックス」からワンタッチを登録するインデックス名をクリックします。

選択したインデックスに保存されているワンタッチが画面下半分に表示されます。

11

## 11.3 ワンタッチ登録（ユーザモード）

4

登録されていないワンタッチをクリックします。

The screenshot shows the 'One Touch Registration' screen. The left sidebar has tabs for 'One Touch Registration', 'Fax Program Registration', and 'Registration Text String'. The main area has a table for 'Index 1' with columns for 'Index 1' and 'Index 2'. Several entries are listed, including 'FAX(G3-1)' which is highlighted with a red border.

### ひとこと

- 登録されていないワンタッチは「---」と表示されています。
- ワンタッチの内容を変更するときは、変更するワンタッチをクリックします。
- ワンタッチを削除するときは、削除するワンタッチをクリックしてから「削除」をクリックします。
- ファックスプログラムはクリックしても選択できません。

5

ファックス（G3-1）送信、またはファックス（G3-2）送信を選択します。

The screenshot shows the 'Communication Mode' selection screen. The left sidebar has tabs for 'One Touch Registration', 'Fax Program Registration', and 'Registration Text String'. The main area lists various communication modes with radio buttons. The 'Fax (G3-1) Send' option is selected and highlighted with a green circle.



オプションの回線拡張キットをご利用のときは、一般加入電話回線を2回線ご利用できます。ファックス（G3-1）、ファックス（G3-2）のどちらかのポートを選択してください。

### ひとこと

本機の設定により、特定の通信モードが選択できない場合があります。詳しくは本機管理者に確認してください。

6

それぞれの項目を設定します。

### ひとこと

すでに設定されている F コードパスワードを変更する場合、[パスワード変更] を押します。

項目	説明
相手先名	ワンタッチに表示される相手先の名称を入力します。入力できる文字数は半角 12 文字(全角 6 文字)以内で、全角と半角を混在して入力することができます。 例：東京 br
読み仮名	相手先の読み仮名を半角 12 文字以内で入力します。入力しない場合は操作パネルでのワンタッチ検索ができません。
相手先番号	相手先のファックス番号を入力します。入力できる文字数は半角 64 文字以内です。
海外通信	海外に送信するときに「する」を選択します。
速度	通信速度を設定します。
F コード (SUB) F コード (SEP)	F コードを利用するとき、F コードを入力します。
F コードパスワード (SID/PWD) F コードパスワード (SID/PWD) 再入力	F コードのパスワードを入力します。

7

[適用] をクリックします。

ワンタッチが登録されます。

11

## ■ サブ相手先を登録する

ワンタッチの相手先には、万一送信できなかったときの送信先として「サブ相手先」を設定できます。

1

ワンタッチの設定内容を入力する画面で【サブ相手先登録】をクリックします。

管理者パスワード：  
[ ] ログイン

システム ジョブ ボックス プリント ファクス/スキャナ 登録

▶ワンタッチ登録  
▶ファクスプログラム登録  
▶登録文字列登録

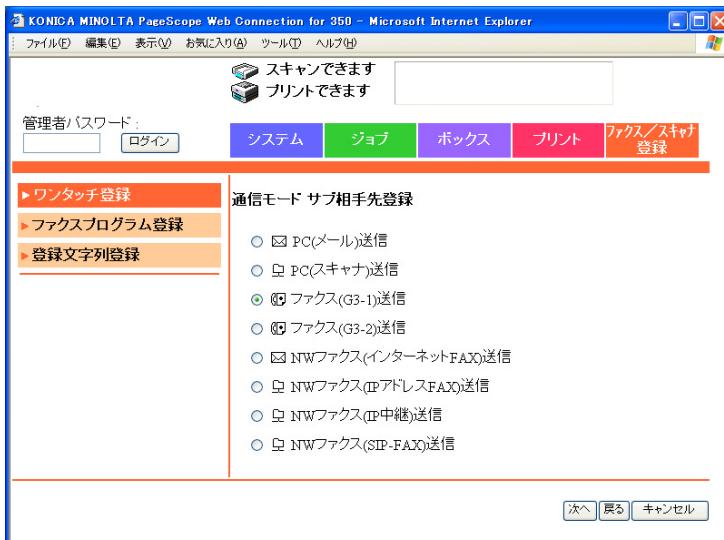
ファクス(G3-1)送信

相手先名 大阪営業  
読み仮名 オオサカイギョウ (半角入力)  
相手先番号 0123456  
海外通信 しない  
速度 33.6Kbps  
Fコード(SUB)  
Fコード(SEP)  
Fコードパスワード(SID/PWD) \*\*\*\*  
Fコードパスワード(SID/PWD) 再入力 \*\*\*\*

通用 戻る サブ相手先登録 キャンセル クリア

2

サブ相手先の通信モードを選択し、[次へ] をクリックします。



### ひとこと

本機の設定により、特定の通信モードが選択できない場合があります。詳しくは本機管理者に確認してください。

3

それぞれの項目を入力し、[適用] をクリックします。  
○ 項目の説明は「ワンタッチに登録する」(p. 11-11)をごらんください。



### ひとこと

- 相手名はメイン相手と同じ内容が表示されます。その他の項目を設定してください。
- すでに設定されている F コードパスワードを変更する場合、「[パスワード変更]」を押します。

11

## 11.4 ファクスプログラム登録（ユーザモード）

ワンタッチにファクスプログラムを登録します。宛先のみを登録するワンタッチと違い、送信条件を登録したり複数の宛先を登録することができます。登録したデータの変更、削除もできます。

### 原則

本機には30個までのファクスプログラムを登録できます。ワンタッチとファクスプログラムの合計数が540個を超えないようにしてください。

### ■ ファクスプログラムを登録する

- 1 [ファクス / スキャナ登録] タブをクリックします。
- 2 [ファクスプログラム登録] をクリックします。
- 3 「インデックス」からファクスプログラムを登録するインデックス名をクリックします。  
選択したインデックスに保存されているワンタッチが画面下半分に表示されます。
- 4 登録されていないワンタッチをクリックします。

The screenshot shows the 'Fax Program Registration' screen in the Konica Minolta PageScope Web Connection. The top navigation bar includes links for 'Scan', 'Print', 'System', 'Job', 'Box', 'Print', 'Fax/Sync', and 'Registration'. The left sidebar has three menu items: 'One-Touch Registration' (highlighted in orange), 'Fax Program Registration' (highlighted in red), and 'Registration Text List Registration'. The main content area displays an index table for 'Index 1' with two columns: 'Index 1' and 'Index 2'. Below this is a detailed table for 'Index 1' containing several entries:

Index 1	Index 2			
④ #000 FAX(G3-1)	④ #001 FAX(G3-2)	④ #002 FTP 1	④ #003 FTP 2	---
④ #005 SMB 1	---	④ #007 user01	④ #008 PG-1	---
④ #010 2	---	---	---	---

A 'Delete' button is located at the bottom right of the table.

### ひとこと

- 登録されていないワンタッチは「---」と表示されています。
- プログラムの内容を変更するときは、変更するワンタッチをクリックします。
- プログラムを削除するときは、削除するワンタッチをクリックしてから「削除」をクリックします。
- ファクスプログラム以外のワンタッチはクリックしても選択できません。

5

それぞれの項目を入力します。

KONICA MINOLTA PageScope Web Connection for 350 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(?) 編集(?) 表示(?) お気に入り(?) ツール(?) ヘルプ(?)

スキャンできます  
プリントできます

管理者パスワード： ログイン

システム ジョブ ボックス プリント ファクス/スキャナ  
**登録**

**ワンタッチ登録**  
**ファクスプログラム登録**  
**登録文字列登録**

**ファクスプログラム登録**

プログラム名： 営業日報  
読み仮名： エイギョウニボウ  
プログラム種別： 送信

相手先：  
  
相手先選択

画質  
画質： フайн  
濃度： ふつう  
倍率： 自動倍率  
原稿サイズ指定： 自動検出

メニュー1  
発信元： 発信元1, 東京支社営業部  
宛名差込み： 機能OFF  
結果レポート： 装置設定  
2in1： 機能OFF  
両面送信： 機能OFF  
原稿とじ代： 自動  
原稿セット方向： 自動  
回転送信： 機能ON  
優先送信： 機能OFF  
送信時刻： 14 : 49  
時刻：  
スタンプ： 押さない  
クイック送信： 機能OFF  
パスワード送信： 機能OFF  
リモートコピー： 機能OFF  
部数： 2 部 (2-99)

メニュー2  
タイトル選択： 機能OFF  
Reply変更：  
E-Mail通知先：  
E-Mail通知先選択  
ファイル名変更：  
通用 キャンセル クリア

11

項目	説明
プログラム名	ワンタッチに表示されるプログラムの名称を入力します。入力できる文字数は半角 12 文字（全角 6 文字）以内で、全角と半角を混在して入力することができます。 例：東京 br
読み仮名	プログラム名の読み仮名を半角 12 文字以内で入力します。入力しない場合は操作パネルでのワンタッチ検索ができません。
プログラム種別	「送信」を選択します。
相手先	プログラムの相手先を指定します。[相手先選択] をクリックして登録済みのワンタッチにチェックマークを付けて選択し、[適用] をクリックします。
画質	
画質	解像度を選択します。
濃度	濃度を選択します。
倍率	倍率設定を選択します。 自動倍率：相手先の用紙に合わせて自動的に拡大、縮小します。 縮小禁止：スキャンした原寸の倍率で送信します。
原稿サイズ指定	スキャン時の原稿サイズを指定します。
メニュー 1	
発信元	出力する用紙の先端にこちらの名前やファクス番号、アドレスなど入力した文字をプリントします。
宛名差込み	用紙の先端に宛先名をプリントするかどうかを選択します。
結果レポート	送信結果のレポートをどの条件で出力するかを選択します。 装置設定：管理者保守で設定した内容で出力します。 出力する：送信結果に関係なく出力します。 不達のとき：不達のときだけ出力します。 出力しない：送信結果に関係なく出力しません。
2in1	2in1 機能（2 ページを縮小して 1 ページにまとめる）を使用して送信するかどうかを選択します。
両面送信	両面送信を行うかどうかを選択します。 機能 ON：両面送信を行います。このとき、とじ代および原稿セット方向を設定します。 機能 OFF：両面送信を行いません。
回転送信	受信する機器の用紙方向に合わせて画像を回転させるかどうかを選択します。

**ひとこと**

ファクスプログラムの宛先を指定するには、あらかじめワンタッチで宛先を登録しておいてください。



PageScope Web Connection では、F コードによる親展送信を設定してあるワンタッチをプログラムに登録できません。  
親展送信に設定してあるワンタッチを登録するときは、操作パネルでプログラム登録を行ってください。



発信元登録については、「名前を登録する（発信元名）」(p. 10-24) をご覧ください。

項目	説明
優先送信	他のジョブよりも優先的に送信を行うかどうかを選択します。
送信時刻	送信時刻を指定するかどうかを選択します。「機能 ON」を選択したときは送信時刻を指定します。
スタンプ	送信済みスタンプを押すかどうかを選択します。
クリック送信	原稿を1枚ずつ送信するクリック送信をするかどうかを選択します。
パスワード送信	パスワードが一致したときだけ送信するパスワード送信をするかどうかを選択します。
リモートコピー	部数を指定して送信するリモート送信をするかどうかを選択します。
メニュー2	Scan to E-Mail およびインターネットファックス送信時に使用するタイトル（メールの題名）や Reply 先を選択します。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

6

[適用] をクリックします。

11

## 11.5 システム設定（管理者モード）

システムタブでは、本機のシステム構成に関する設定が変更できます。

ファクス機能に関連する設定は、以下の項目です。

- 「ユーザチョイス 5」の「ピン割当て」
- 「ユーザチョイス 6」の「優先初期画面」と「優先ファクス画面」
- 「管理者設定」の「ワンタッチ変更禁止」と「通信管理データメールアドレス」

1

管理者モードで [システム] タブをクリックします。

2

[ユーザチョイス 5] をクリックします。

3

ファクス出力の用紙トレイを設定します。

4

[ユーザチョイス 6] をクリックします。

5

「優先初期画面」と「優先ファクス画面」を設定します。

6

[適用] をクリックします。

7

[管理者保守] をクリックします。

8

[管理者設定] をクリックします。

9

「ワンタッチ変更禁止」を設定します。

- ユーザ設定でのワンタッチの登録・変更を禁止する場合は、[する] を選択します。
- ユーザ設定でのワンタッチの登録・変更を許可する場合は、[しない] を選択します。

10

「通信管理データメールアドレス」を設定します。

- コンピュータのメールアドレスを設定します。CSV ファイル形式の通信管理レポートが設定されたメールアドレスに送信されます。

11

[適用] をクリックします。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7) をごらんください。

# 11.6 エクスポート／インポート（管理者モード）

## ■ エクスポートする

本機のワンタッチに登録されているデータをファイルとしてエクスポート（書き出し）します。

エクスポートには以下の4つのモードがあります。

項目	説明
モード1	相手先情報を編集するときに選択します。ファクスプログラムのデータを含むフルフォーマットでデータを書き出します。
モード2	相手先情報を編集するときに選択します。ファクスプログラムのデータを含まない簡易フォーマットでデータを書き出します。
モード3	相手先情報をバックアップするときに選択します。ファクスプログラムのデータを含むフルフォーマットでデータを書き出します。
モード4	相手先情報をバックアップするときに選択します。ファクスプログラムのデータを含まない簡易フォーマットでデータを書き出します。

1

管理者モードで【ファクス／スキャナ登録】タブをクリックします。

2

【ワンタッチ登録】の【エクスポート】をクリックします。

3

エクスポートするフォーマットを選択し、【実行】をクリックします。



エクスポートしたデータはUTF-8の文字コードで書き出されます。編集する場合はUTF-8で行ってください。

### ひとこと

モード3、モード4で書き出したときはデータの構造を変更しないでください。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7)をごらんください。

11

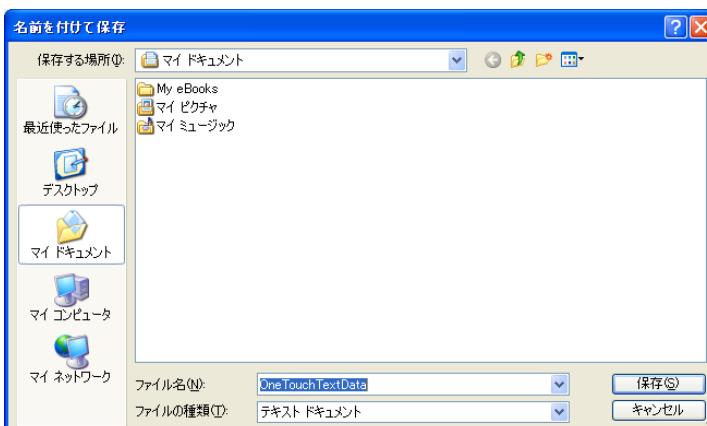
4

[保存] をクリックします。



5

保存先のディレクトリを設定します。ファイル名を変更することもできます。



6

[保存] をクリックします。

指定したディレクトリにエクスポートしたデータが保存されます。

## ■ インポートする

コンピュータ上のファイルから、ワンタッチのデータを本機に書き込みます。

1

管理者モードで [ファックス / スキャナ登録] タブをクリックします。

### ひとこと

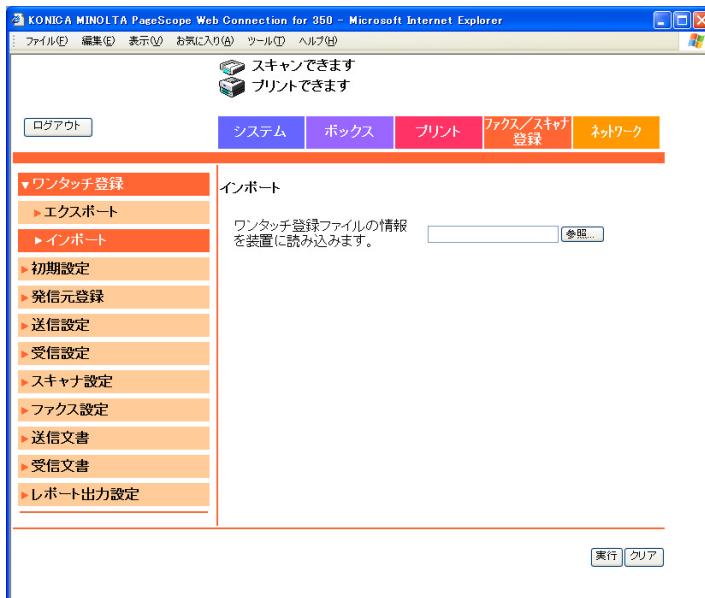
管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7)をごらんください。

2

[ワンタッチ登録] の [インポート] をクリックします。

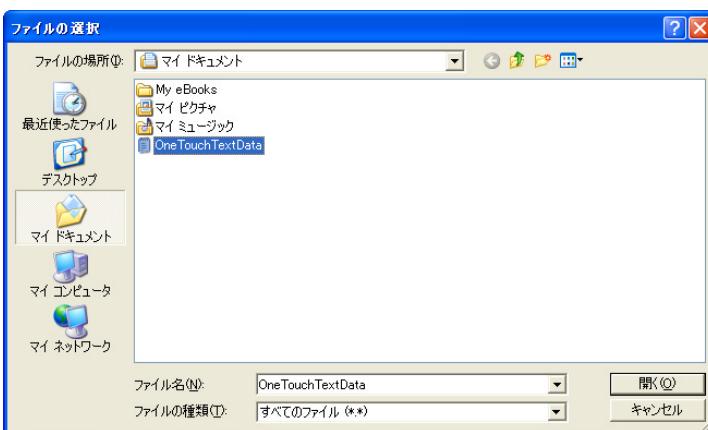
3

[参照] をクリックします。



4

インポートするファイルを選択し、[開く] をクリックします。



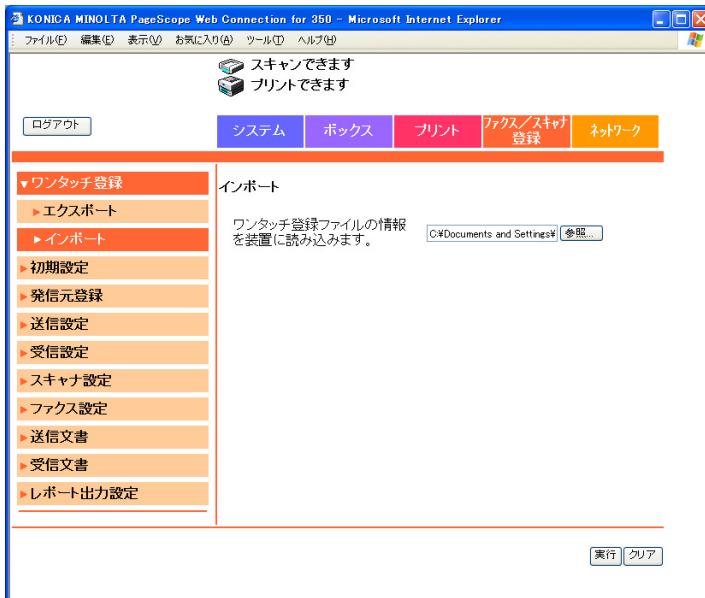
11

## 11.6 エクスポート／インポート（管理者モード）

5

[実行] をクリックします。

ワンタッチのデータがインポートされます。



## 11.7 回線の設定（管理者モード）

本機に接続している回線の情報を設定できます。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
自局 ID	相手先ファクスの管理レポートやパネルに表示される文字を入力します。受信側でどこから送信されたファクスであるか確認しやすくなります。
自局電話番号情報	こちらの電話番号、構内交換機の有無、回線種別など、ファクス通信に必要な情報を登録します。

1

管理者モードで【ファクス／スキャナ登録】タブをクリックします。

2

【初期設定】をクリックします。

3

それぞれの項目を設定し、【適用】をクリックします。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7)をごらんください。



11

# 11.8 発信元登録

ファクス送信時に出力する用紙の先端にこちらの名前やファクス番号、アドレスなど入力した文字をプリントします。

この発信元の名称を登録します。複数の発信元を登録できるので、相手先や部門ごとに名前を使い分けることができます。登録した発信元名は登録と同じ手順で変更することができます。

## 原則

- 登録できる発信元名は最大 8 個です。
- 入力できる文字数は半角 40 文字（全角 20 文字）以内です。
- 入力文字の半角と全角は混在させることはできません。すべて半角、またはすべて全角で入力してください。

1

管理者モードで [ファクス / スキャナ登録] タブをクリックします。

2

[発信元登録] をクリックします。

3

入力文字の種類を [半角] または [全角] から選択します。

4

発信元名を入力し、[適用] をクリックします。



5

[OK] をクリックします。

## ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7) をご覧ください。

## 11.9 送信設定（管理者モード）

### ■ 送信設定

送信に関する初期値を設定します。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
画質 / モード	
優先画質	操作終了後に戻る画質の初期値を設定します。
優先濃度	操作終了後に戻る濃度の初期値を設定します。
通信モード	操作終了後に戻る通信モードの初期値を設定します。
通信メニュー	
送信	送信方法を選択します。 メモリ送信：原稿をすべて読み込んでから送信します。 クイック送信：原稿を1枚ずつ送信します。
発信元	発信元名の付けかたを選択します。 付けない：発信元名を付けません。 原稿内：原稿内に発信元名をプリントします。 原稿外：原稿外に発信元名をプリントします。
発信元選択	発信元名を選択します。
回転送信	操作終了後に回転送信をする/しないどちらに戻すかを設定します。
両面送信	操作終了後に両面送信をする/しないどちらに戻すかを設定します。
原稿とじ代	両面送信するときの、原稿のとじ代を設定します。
リダイアル	
オートリダイアル回数	相手先が話し中のとき、何回リトライするかを入力します。
オートリダイアル間隔	相手先が話し中のとき、何分おきにリトライするかを入力します。

1

管理者モードで [ファクス / スキャナ登録] タブをクリックします。

2

[送信設定] をクリックします。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7) をごらんください。

## 11.9 送信設定（管理者モード）

3

それぞれの項目を設定し、[適用] をクリックします。



## ■ 通信モード

通信モードを個別に、有効にするか無効にするかを指定します。無効に指定された通信モードは、本機操作パネルや PageScope Web Connection の画面に表示されなくなります。

1

管理者モードで [ファクス / スキャナ登録] タブをクリックします。

2

[送信設定] の [通信モード] をクリックします。

3

それぞれの通信モードを [有効] または [無効] に設定し、[適用] をクリックします。

### ひとこと

登録済みのワンタッチは、無効の通信モードが設定されてもそのまま通信できます。



## 11.10受信設定（管理者モード）

ファクスを受信するとき、オフモード（受信してもすぐにプリントしない設定）にして、プリントを行う時刻や曜日などを個別に指定します。

プリントを行う時刻を規制することで、深夜に受信したファクスなどを安全に受け取ることができます。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
時刻指定	受信したファクスをすぐにプリントせず、時刻を指定してプリントするかどうかを選択します。 する：指定した曜日や時間帯に受信したファクスをまとめてプリントします。曜日、開始時刻、終了時刻を設定してください。 しない：ファクスを受信するとすぐにプリントします。
開始時刻	受信したファクスをプリントする開始時刻を入力します。
終了時刻	受信したファクスをプリントする終了時刻を入力します。
曜日	指定した時刻でプリントを行う曜日を選択します。
プリント制御パスワード	指定した時刻以外に受信したファクスをプリントするときに使用するパスワードを4桁の数字で設定します。パスワードを変更する場合は、[パスワード変更]を押して設定します。

### ひとこと

パスワードを入力してファクスをプリントする方法について、詳しくは「手動でプリントをする」(p. 10-38)をごらんください。

1

管理者モードで [ファクス / スキャナ登録] タブをクリックします。

2

[受信設定] をクリックします。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7)をごらんください。

3

それぞれの項目を設定し、[適用] をクリックします。



11

## 11.11 ファクス設定（管理者モード）

回線種別やダイアルインなどのサービス機能を設定します。

### ■ ナンバディスプレイ

ナンバディスプレイは NTT 東日本・NTT 西日本が提供するサービスで、発信時に電話番号を相手先に通知する機能です。このサービスを利用し、相手先から通知される電話番号ごとに着信を拒否したりすることができます。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
ナンバディスプレイ機能	ポートごとにナンバディスプレイ機能を「利用する」または「利用しない」で設定します。
ナンバディスプレイ番号表示	ナンバディスプレイで通知された着信番号を、表示「する」または「しない」で設定します。
着信拒否登録	ナンバディスプレイ機能を利用して、特定の電話番号からの着信や公衆電話からの着信などを拒否することができます。着信拒否する相手先は最大 5 箇所まで登録できます。

1

管理者モードで [ファクス / スキャナ登録] タブをクリックします。

2

[ファクス設定] の [ナンバディスプレイ] をクリックします。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7) をご覧ください。

3

それぞれの項目を設定し、[適用] をクリックします。

KONICA MINOLTA PageScope Web Connection for 350 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 儲集(I) 表示(V) お問い合わせ(T) ツール(U) ヘルプ(H)

スキャンできます  
プリントできます

ログアウト システム ボックス プリント ファクス／スキャナ登録 ネットワーク

ワンタッチ登録  
初期設定  
発信元登録  
送信設定  
受信設定  
スキャナ設定  
▼ファクス設定  
▶ナンバディスプレイ  
ダイアルイン  
受信機能  
パスワード通信  
受信文書  
レポート出力設定

ナンバディスプレイ

ナンバディスプレイ機能(ポート1) 利用する  
ナンバディスプレイ機能(ポート2) 利用しない  
ナンバディスプレイ番号表示 する  
着信拒否登録1  
着信拒否区分 公衆電話  
着信拒否番号  
着信拒否登録2  
着信拒否区分 非通知  
着信拒否番号  
着信拒否登録3  
着信拒否区分 番号  
着信拒否番号  
着信拒否登録4  
着信拒否区分 番号  
着信拒否番号  
着信拒否登録5  
着信拒否区分 番号  
着信拒否番号

[適用] [クリア]

### ひとこと

「ポート2」は、オプションの回線拡張キットをご利用のときのみ表示されます。

11

## ■ ダイアルイン

ダイアルインは NTT 東日本・NTT 西日本 が提供するサービスで、一つの回線で複数の電話番号を使用することができます。ここでは、ダイアルインを利用するための設定を変更します。設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
ダイアルイン機能	ポートごとにダイアルイン機能を「利用する」または「利用しない」で設定します。
ダイアルイン番号	ダイアルイン番号を入力します。

1

管理者モードで [ファクス / スキャナ登録] タブをクリックします。

2

[ファクス設定] の [ダイアルイン] をクリックします。

3

それぞれの項目を設定し、[適用] をクリックします。



### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7) をご覧ください。

### ひとこと

「ポート2」は、オプションの回線拡張キットをご利用のときのみ表示されます。

## ■ 受信機能

ファクスの着信のしかたと自動着信するまでの呼出音の回数を設定します。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
着信方式	設定する着信方式を「自動」または「手動」で選びます。 [自動]：自動着信に設定するときに押します。 [手動]：手動受信に設定するときに押します。
着信回数設定	自動着信するまでの呼出回数を入力します。 呼出回数は、1～20回の範囲で設定できます。

1

管理者モードで「ファクス／スキャナ登録」タブをクリックします。

2

「ファクス設定」の「受信機能」をクリックします。

3

それぞれの項目を設定し、「適用」をクリックします。



### ひとこと

- 着信回数を10回以上に設定すると、送信側の装置によっては、着信できなくなることがあります。
- オプションのハンドセットをご利用の場合は、「自動 - FAX優先」、「自動 - 電話優先」、「手動 - 電話専用」、「手動 - 留守電接続」が選択できます。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7)をごらんください。

## ■ パスワード通信

送信側と受信側であらかじめ登録しておいたパスワードが一致したときだけ、ファクスの送信や受信を行う機能をパスワード通信（パスワード送信とパスワード受信）といいます。ここでは、パスワード通信をするために必要となる、通信パスワードの設定のしかたを説明します。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
現在のパスワード	現在の通信パスワードを2桁の数字で入力します。
新しいパスワード	変更後の通信パスワードを2桁の数字で入力します。
新しいパスワード再入力	変更後のパスワード確認するために再入力します。

- 1 管理者モードで【ファクス / スキャナ登録】タブをクリックします。
- 2 【ファクス設定】の【パスワード通信】をクリックします。
- 3 それぞれの項目を設定し、【適用】をクリックします。



### 参照

通信パスワードは、パスワード送信するときやパスワード受信するときに使います。詳しくは「パスワードを付けて送信する（パスワード送信）」(p. 6-21)、「パスワードで受信する（パスワード受信）」(p. 7-2)をごらんください。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7)をごらんください。

## 11.12文書管理（管理者モード）

文書を受信したときの処理の方法を設定します。

### ■ F コード

F コードごとに文書を受信するように設定できます。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
F コード	文書の処理を行う F コードを入力します。
F コードパスワード	文書の処理を行う F コードのパスワードを入力します。
F コードパスワード 再入力	F コードパスワードを再入力します。
リモート入力チェック	F コードパスワードによる閲覧制限をするときに「する」を設定します。
受信文書の扱い	指定した F コードの受信文書をどのように処理するかを選択します。 プリント：プリントします。 転送：指定した宛先にデータを転送します。 プリントと転送：プリントを行い、同時に指定した宛先にデータを転送します。
転送先	受信文書の扱いで「転送」を選択した場合に設定します。

1

管理者モードで [ファクス / スキャナ登録] タブをクリックします。

2

[受信文書] の [F コード] をクリックします。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7) をご覧ください。

11

3

Fコードの欄をクリックします。

- 登録されていないFコードは「---」と表示されています。



4

それぞれの項目を設定し、[適用] をクリックします。



ひとこと

すでに設定されている F  
コードパスワードを変更す  
る場合、[パスワード変更]  
を押します。

## ■ ナンバディスプレイ

ナンバディスプレイを設定している場合、相手先の番号ごとに文書を受信するように設定できます。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
ナンバディスプレイ	文書の処理を行う相手先番号を入力します。
受信文書の扱い	指定した相手先番号をどのように処理するかを選択します。 プリント：プリントします。 転送：指定した宛先にデータを転送します。 プリントと転送：プリントを行い、同時に指定した宛先にデータを転送します。
転送先	受信文書の扱いで「転送」を選択した場合に設定します。

1

管理者モードで [ファクス / スキャナ登録] タブをクリックします。

2

[受信文書] の [ナンバディスプレイ] をクリックします。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7) をご覧ください。

## 11.12 文書管理（管理者モード）

3

ナンバディスプレイ番号の欄をクリックします。

- 登録されていないナンバディスプレイは「---」と表示されています。

ナンバディスプレイ番号	転送	プリント
---		
---		
---		
---		
---		
---		
---		
---		
---		

4

それぞれの項目を設定し、[適用] をクリックします。

ナンバディスプレイ

ナンバディスプレイ番号:

受信文書の扱い:

転送先:

通用 キャンセル クリア

## ■ ダイアルイン

ダイアルインを設定している場合、ダイアルイン番号ごとに文書を受信するように設定できます。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
ダイアルイン番号	文書の処理を行うダイアルイン番号を入力します。
受信文書の扱い	指定したダイアルイン番号をどのように処理するかを選択します。 プリント：プリントします。 転送：指定した宛先にデータを転送します。 プリントと転送：プリントを行い、同時に指定した宛先にデータを転送します。
転送先	受信文書の扱いで「転送」を選択した場合に設定します。

1

管理者モードで [ファクス / スキャナ登録] タブをクリックします。

2

[受信文書] の [ダイアルイン] をクリックします。

### ひとこと

ソフトウェア DIPSW で指定以外の相手先からの受信を拒否している場合、ダイアルイン番号での文書受信設定はできません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をご覧ください。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7) をご覧ください。

## 11.12 文書管理（管理者モード）

3

ダイアルイン番号の欄をクリックします。

- 登録されていないダイアルインは「---」と表示されています。

The screenshot shows a Microsoft Internet Explorer window titled 'KONICA MINOLTA PageScope Web Connection for 350 - Microsoft Internet Explorer'. The main content area displays a table titled 'ダイアルイン 1/10' (Dial-in 1/10) with 10 rows. The columns are labeled 'ダイアルイン番号' (Dial-in number), '転送' (Forwarding), and 'プリント' (Print). All entries in the 'ダイアルイン番号' column are currently显示为 '---'. At the bottom right of the table is a blue '削除' (Delete) button. Below the table is a small blue '次へ' (Next) button.

4

それぞれの項目を設定し、[適用] をクリックします。

The screenshot shows the same Microsoft Internet Explorer window as the previous screenshot, but the table has been replaced by a configuration form for a single dial-in entry. The left sidebar remains the same. The main area now contains fields for 'ダイアルイン番号' (Dial-in number) with a text input field, '受信文書の扱い' (Handling of incoming documents) with a dropdown menu set to 'プリント' (Print), and '転送先' (Forwarding destination) with a list box containing several entries. A blue '転送先選択' (Select forwarding destination) button is located to the right of the list box. At the bottom of the form are three buttons: '適用' (Apply), 'キャンセル' (Cancel), and 'クリア' (Clear).

## ■ 回線ごとに受信した文書の処理を設定する

本機では、文書を受信したときの回線ごとに、受信した文書のプリントや転送などの処理を設定することができます。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
振り分け条件	選択した回線の文書の処理を行うかどうかを選択します。 指定する：受信した文書の保存先や転送先を設定します。 指定しない：受信した文書の処理を行いません。
受信文書の扱い	振り分け条件で「指定する」を選択した場合、受信文書をどのように処理するかを選択します。 転送：指定した宛先にデータを転送します。 プリント：プリントします。 プリントと転送：プリントを行い、同時に指定した宛先にデータを転送します。
転送先	受信文書の扱いで「転送」を選択した場合に設定します。【転送先選択】をクリックし、転送先のアドレスを選択して、【適用】をクリックします。

1

管理者モードで【ファクス / スキャナ登録】タブをクリックします。

2

【受信文書】の【ポート】をクリックします。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7) をご覧ください。

3

ポート名（G3）をクリックします。

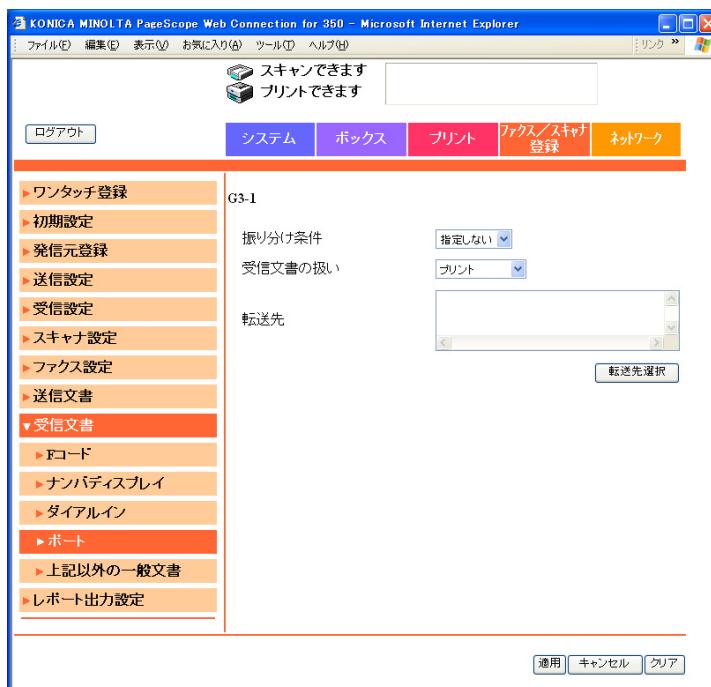


## ひとこと

- オプションの回線拡張キットをご利用のときは、一般加入電話回線を2回線ご利用できます。[G3-1]（ポート1）、[G3-2]（ポート2）のポートごとに設定してください。
- ネットワーク経由（インターネットファクスなど）で受信した文書について設定する場合は、「ネットワーク」を選択してください。
- ソフトウェアDIPSWで指定以外の相手先からの受信を拒否している場合、[ネットワーク]のみ設定が可能です。ソフトウェアDIPSWについて詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェアDIPSW）」(p. 10-77)をごらんください。

4

それぞれの項目を設定し、[適用]をクリックします。



## ■ その他受信した文書の処理を設定する

ポート以外の回線から受信した文書の処理方法を設定します。  
設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
受信文書の扱い	振り分け条件で「指定する」を選択した場合、受信文書をどのように処理するかを選択します。 強制メモリ受信：強制的にメモリ受信します。 転送：指定した宛先にデータを転送します。 プリント：プリントします。 プリントと転送：プリントを行い、同時に指定した宛先にデータを転送します。
転送先	受信文書の扱いで「転送」を選択した場合に設定します。「転送先選択」をクリックし、転送先のアドレスを選択して、「適用」をクリックします。

1

管理者モードで【ファクス / スキャナ登録】タブをクリックします。

2

【受信文書】の【上記以外の一般文書】をクリックします。

3

それぞれの項目を設定し、【適用】をクリックします。

### ひとこと

ソフトウェア DIPSW で指定以外の相手先からの受信を拒否している場合、ポート以外の回線からの文書受信設定はできません。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をご覧ください。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7) をご覧ください。



11

## 11.13 レポート出力設定（管理者モード）

送信結果レポートおよび通信管理レポートの出力条件を設定します。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
結果レポート (宛先 1ヶ所のとき)	1箇所の相手先に送付した結果レポートの出力について選択します。 出力する：結果に関係なく出力します。 不達のとき：送信できなかったときだけ出力します。 出力しない：結果に関係なく出力しません。
結果レポート (宛先 2ヶ所以上のとき)	複数の相手先に送付した結果レポートの出力について選択します。 出力する：結果に関係なく出力します。 不達のとき：送信できなかったときだけ出力します。 出力しない：結果に関係なく出力しません。
通信管理レポート	50 通信ごとに出力される通信管理レポートについて選択します。



- 通信管理レポートを「出力する」に設定している場合、通信管理レポート出力時にレポートの内容を CSV 形式で出力し、管理者にメール送信できます。通信管理レポートの内容をデータで管理したい場合は管理者のメールアドレスを設定してください。
- 管理者のメールアドレスの設定について詳しくは、「システム設定（管理者モード）」(p. 11-20) をご覧ください。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7) をご覧ください。

1

管理者モードで [ファクス / スキャナ登録] タブをクリックします。

2

[レポート出力設定] をクリックします。

3

それぞれの項目を設定し、[適用] をクリックします。

KONICA MINOLTA PageScope Web Connection for 350 - Microsoft Internet Explorer

スキャンできます  
プリントできます

ログアウト システム ボックス プリント ファクス／スキャナ 登録 ネットワーク

ワンタッチ登録 初期設定 発信元登録 送信設定 受信設定 スキャナ設定 ファクス設定 送信文書 受信文書 レポート出力設定

レポート出力設定

結果レポート(相手先1ヶ所のとき)  
不達のとき

結果レポート(相手先2ヶ所以上)のとき  
不達のとき

通信管理レポート  
出力する

適用 クリア

## 11.14 共通設定（管理者モード）

TCP/IP など、本機をネットワーク上で使用する上で必要な設定を行います。

### ■ TCP/IP

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
TCP/IP 設定 (*)	TCP/IP 機能の有効 / 無効を設定します。
DHCP 設定 (*)	DHCP サーバの有効（自動的に IP アドレスを取得）または無効（固定の IP アドレスを指定する）を設定します。
IP アドレス (*)	本機の IP アドレスを設定します。[DHCP 設定] で「無効」を選択した場合に設定します。
サブネットマスク (*)	接続するネットワークのサブネットマスクを入力します。[DHCP 設定] で「無効」を選択した場合に設定します。
デフォルトゲートウェイ (*)	接続するネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。[DHCP 設定] で「無効」を選択した場合に設定します。
RAW ポート (*)	RAW プリント時のポート番号を使用するかどうかを設定します。
RAW ポート番号	RAW ポート番号を設定します。ポート番号を 1 ~ 65535 の範囲で入力します。
自装置ドメイン名 (*)	本機のドメイン名を設定します。メールサーバを経由して、ダイレクトアクセス送信を行う場合に設定してください。
ポート番号 (*)	自装置ドメインのポート番号を 1 ~ 65535 の範囲で入力します。
DNS 設定	DNS (Domain Name System) を「使う／使わない」を設定します。 ネットワーク内に DNS サーバを使用している場合は「使う」に、使用していない場合は「使わない」に設定します。 ネットワークの環境については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
ホスト名	本機のホスト名を設定します。 入力内容はネットワーク管理者に問い合わせてください。DNS 設定で「使う」を選択した場合に設定します。
ドメイン名	DNS サーバのドメイン名を設定します。 入力内容はネットワーク管理者に問い合わせてください。DNS 設定で「使う」を選択した場合に設定します。
DNS サーバアドレス 1 ~ 3	DNS サーバの IP アドレスを設定します。 入力内容はネットワーク管理者に問い合わせてください。DNS 設定で「使う」を選択した場合に設定します。

### ひとこと

IP アドレスおよび DNS サーバアドレスは、先頭の桁が「0.」「127.」「224 以上の数字」で始まる IP アドレスは指定できません。

11



(\*) 印の設定を変更した場合は、本機の主電源スイッチを OFF/ON してください。

主電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON してください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

項目	説明
DNS 問合せタイムアウト	DNS サーバへの問合せのタイムアウト時間を選択します。20/40/80/160/320/640 秒から選択できます。
SLP 設定 (*)	SLP (Service Location Protocol) 機能の有効 / 無効を設定します。
LPD 設定 (*)	LPD (Line Printer Daemon) 機能の有効 / 無効を設定します。

**1**

管理者モードで [ネットワーク] タブをクリックします。

**2**

[共通設定] の [TCP/IP] をクリックします。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7) をごらんください。

3

それぞれの項目を設定し、[適用] をクリックします。

KONICA MINOLTA PageScope Web Connection for 250 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 優先表示(W) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

スキャンできます  
プリントできます

ログアウト システム ポックス プリント ファクス/スキャナ登録 ネットワーク

**共通設定**

- ▶ TCP/IP
- ▶ IPフィルタリング
- ▶ IPP
- ▶ NetWare
- ▶ NetWareステータス
- ▶ Windows
- ▶ AppleTalk
- ▶ LDAP
- ▶ LDAPサーバ設定
- ▶ メール/インターネットファクス
- ▶ FTP設定
- ▶ SNMP設定
- ▶ SSL/TLS
- ▶ IP中継設定
- ▶ SIPファクス設定

**TCP/IP設定**

TCP/IP設定 [\*] 有効  
DHCP設定 [\*] 有効  
IPアドレス [\*] 150.16.154.56  
サブネットマスク [\*] 255.255.255.0  
デフォルトゲートウェイ [\*] 150.16.154.1  
RAWポート [\*] 有効  
RAWポート番号 9100 (1-65535)  
自装置ドメイン名 [\*]  
ポート番号 [\*] 25 (1-65535)

---

**DNS設定**

使わない  
ホスト名 KMKT31F68E  
ドメイン名  
DNSサーバアドレス1 150.16.154.2  
DNSサーバアドレス2 150.16.154.4  
DNSサーバアドレス3  
DNS問い合わせタイムアウト 160 秒

---

**SLP設定** [\*] 有効  
**LPD設定** [\*] 有効

[\*]印の設定を変更した場合は、本機の主電源スイッチのOFF/ONが必要となります。

適用 クリア

4

(\*) 印の項目を変更した場合は、本機の主電源スイッチを OFF/ON します。

11



主電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON してください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

## 11.15メール／インターネットファクス（管理者モード）

Scan to E-Mail およびインターネットファクスを送受信するための設定を行います。

ここでは、以下の内容を設定できます。

項目	説明
POP3	インターネットファクスを受信するための、POP3 サーバの設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
SMTP	Scan to E-Mail を送信するための SMTP サーバの設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
タイトル／テキスト	Scan to E-Mail およびインターネットファクス送信時に使用するタイトル（メールの題名）および任意テキストの設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
その他	その他送受信に関連する設定を行います。

### ■ その他

以下の内容を設定できます。

項目	説明
結果通知	受信結果を相手先に通知する／しないを設定します。
受信文書ヘッダ印刷	インターネットファクスの受信文書をプリントしたとき、受信文書の1ページ目に E-Mail のヘッダをプリントする／しないを選択します。
送信文書テキスト挿入	Scan to E-Mail の本文やインターネットファクスにテキストを挿入することができます。 しない：テキストを挿入しません。Scan to E-Mail の場合は「しない」を選択しても固定テキストが本文に挿入されます。 固定：あらかじめ本機に保存されている固定テキストを挿入します。 任意：自由に設定できるテキストを挿入します。
ゲートウェイ送信	ゲートウェイ送信の許可／禁止を設定します。ダイレクトファクスまたは IP 中継で本機を中継機として使用するときに、ゲートウェイ送信を許可にします。



IP 中継については、「ユーザーズガイド 拡張スキャナ機能編」をごらんください。

1

管理者モードで [ネットワーク] タブをクリックします。

2

[メール／インターネットファクス] の [その他] をクリックします。

3

それぞれの項目を設定し、[適用] をクリックします。

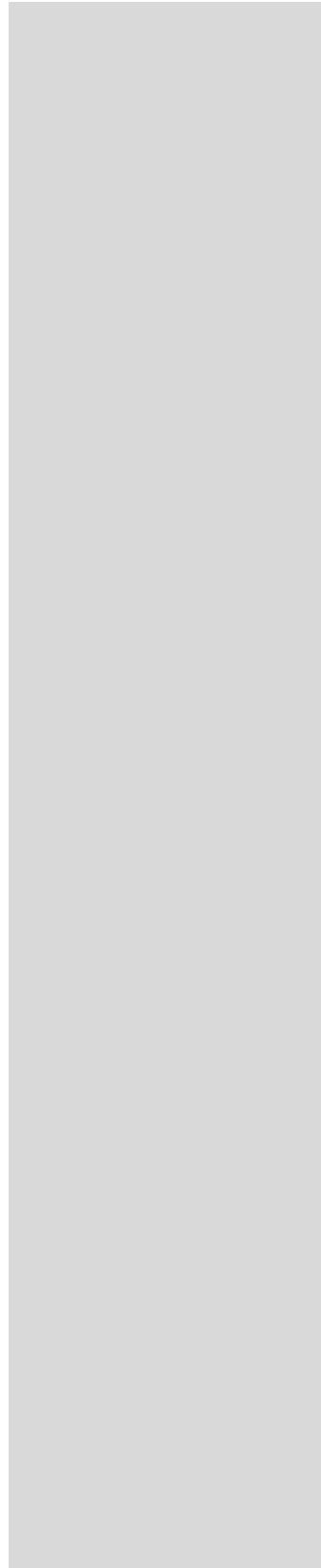


4

[OK] をクリックします。

### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は、「管理者モードへのログイン方法」(p. 11-7) をごらんください。





# 第12章 レポートとリスト

---

通信結果や設定状況を確認するリストやレポートの出力方法と、その内容について説明します。

12.1 送信の状況を確認する（送信管理レポート） .....	12-2
12.2 受信の状況を確認する（受信管理レポート） .....	12-5
12.3 ワンタッチの登録内容を確認する（ワンタッチリスト） .....	12-8
12.4 プログラム一覧を出力する（プログラム一覧） .....	12-10
12.5 掲示板の文書を確認する（掲示板一覧） .....	12-12
12.6 親展ボックスの登録内容を確認する（親展リスト） .....	12-13
12.7 機能の設定状況を確認する（設定リスト） .....	12-14

## 12.1 送信の状況を確認する（送信管理レポート）

送信管理レポートは、ファクスの文書番号、送信開始日時、所要時間、相手先、モード、送信済枚数、通信結果、送信容量などを確認できます。お買い上げいただいたときの状態では、50通信ごとに自動的に出力するように設定されています。ここでは手動でレポートを出力する方法について説明します。

### ■ 送信管理レポートを出力する

1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。



2

【リストプリント】を押します。



#### ひとこと

レポートに関する設定を変更するときは「ユーザーズガイド コピー機能編」、「PageScope Web Connection の使い方」(p. 11-4) をご覧ください。

3

[送信管理レポート] を押します。

送信管理レポートが出力されます。



## ■ レポートの内容

送信管理レポート							
2005年 4月23日(土) 11時32分 東京支社							
文書番号	送信開始日時	所要時間	相手先	モード	送信済枚数	通信結果	ユーザ部門 容量
7214316-763	4月22日20時32分	49秒	大阪営業	G3	1 2	EA1004	SALES1 0
7214316-764	4月22日21時00分	28秒	茨城支社	G3	2 1	TOKYO	30
7214316-765	4月23日 9時18分	26秒	PC	PCメール	1	良好	SALES1 20
7214316-766	4月23日 9時55分	48秒	山梨支社	G3	1 2	良好	SALES2 43
7214316-767	4月23日10時03分	50秒	A社営業部	P	1 2	良好	SALES2 530
7214316-768	4月23日14時00分	25秒	三重支社	G3	2 1	良好	TOKYO 50

No.	項目	説明
1	発信元	発信元の名称と番号がプリントされます。
2	レポート出力日時	レポートを出力した日時がプリントされます。
3	モード	通信に使用したモードがプリントされます。表示される内容は以下のとおりです。 同報 : 同報送信時 ECM : ECM モード G3 : G3 モード
4	送信機能	送信機能が記号でプリントされます。 C : 親展通信 B : ポスト送信 P : ポーリング通信 I : 個別ログイン F : 転送時 空白 : 一般送信（上記以外の送信）

## 12.1 送信の状況を確認する（送信管理レポート）

No.	項目	説明
5	使用ポート	通信を行ったポートがプリントされます。 1：ポート1 使用時 2：ポート2 使用時 空白：シングルポート
6	送信済枚数	送信を完了した原稿の枚数がプリントされます。
7	通信結果	通信結果を表示します。内容は以下のとおりです。 良好：正常に送信されたとき 相手先話中：相手先が話し中、回線が混み合っている 相手先無応答：相手先が受信できない状態になっている、相手先が電話に出ない 中断：中断されたとき メモリオーバ：メモリオーバになったとき 不達：全相手先不達のとき 一部不達：一部の相手先不達のとき
8	ユーザ / 部門	本体認証のユーザ名または部門名がプリントされます。

## 12.2 受信の状況を確認する（受信管理レポート）

受信管理レポートは、文書番号、受信開始日時、所要時間、相手先、モード、記録済枚数、通信結果などを確認できます。

### ■ 受信管理レポートを出力する

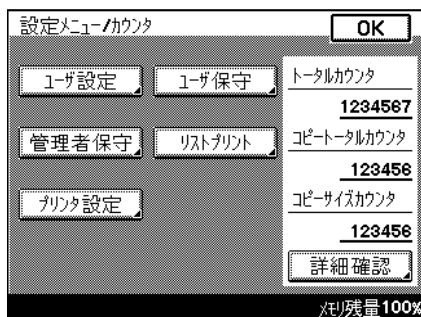
1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。



2

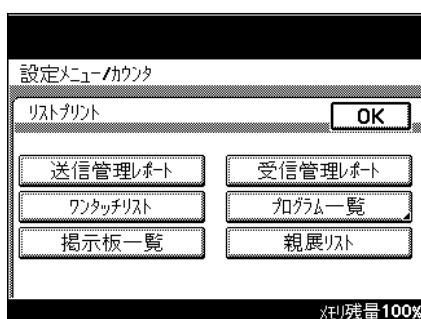
【リストプリント】を押します。



3

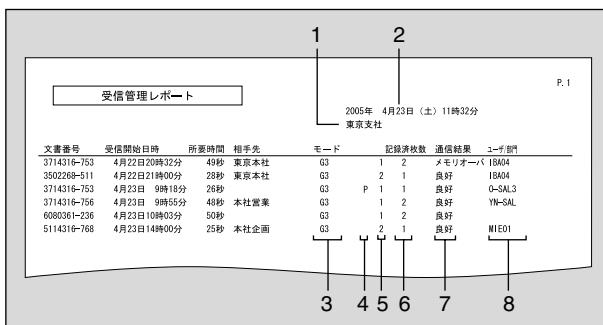
【受信管理レポート】を押します。

受信管理レポートが出力されます。



12

## ■ レポートの内容



No.	項目	説明
1	発信元	発信元の名称とアドレスがプリントされます。
2	レポート出力日時	レポートを出力した日時がプリントされます。
3	モード	通信に使用したモードがプリントされます。表示される内容は以下のとおりです。 ECM : ECM モード G3 : G3 モード
4	受信機能	受信機能が記号でプリントされます。 C : 親機通信 P : ポーリング通信 F : 転送時 空白 : 一般受信（上記以外の受信）
5	使用ポート	通信を行ったポートがプリントされます。 1 : ポート 1 使用時 2 : ポート 2 使用時 空白 : シングルポート
6	記録済枚数	プリントした枚数です。

No.	項目	説明
7	通信結果	<p>通信結果を表示します。内容は以下のとおりです。</p> <p>良好：正常に受信されたとき          相手先話中：相手先が話し中、回線が混み合っている          相手先無応答：相手先が応答できない状態になっている、相手先が電話に出ない          中断：中断されたとき          メモリオーバ：メモリオーバになったとき          不達：通信が不達のとき          画質不良：通信画質が不良で受信が途中で終わったとき          通信中：ポーリング受信中のとき          プリント待ち：プリント中のとき</p>
8	ユーザ / 部門	本体認証のユーザ名または部門名がプリントされます。

## 12.3 ワンタッチの登録内容を確認する（ワンタッチリスト）

ワンタッチに登録した相手先をプリントし、確認できます。

### ■ ワンタッチリストを出力する

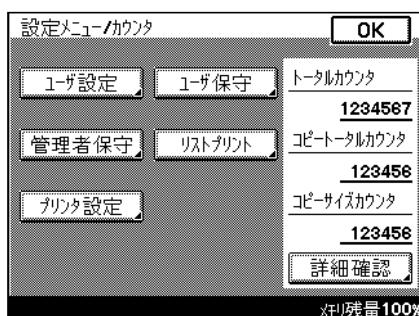
1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。



2

【リストプリント】を押します。



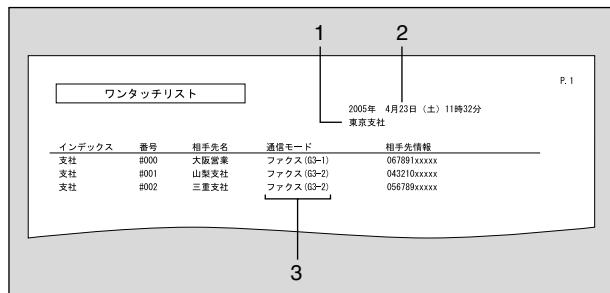
3

【ワンタッチリスト】を押します。

ワンタッチリストが出力されます。



## ■ リストの内容



No.	項目	説明
1	発信元	発信元の名称と番号がプリントされます。
2	レポート出力日時	レポートを出力した日時がプリントされます。
3	通信モード	登録した通信モードがプリントされます。表示される内容は以下のとおりです。 ファックス (G3) : G3 ファクスへ送信するとき ファックス (G3-1) : ポート 1 から G3 ファクスへ送信するとき (オプション) ファックス (G3-2) : ポート 2 から G3 ファクスへ送信するとき (オプション)

## 12.4 プログラム一覧を出力する（プログラム一覧）

ワンタッチに登録されたプログラムの内容を出力します。

### ■ プログラム一覧を出力する

1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。



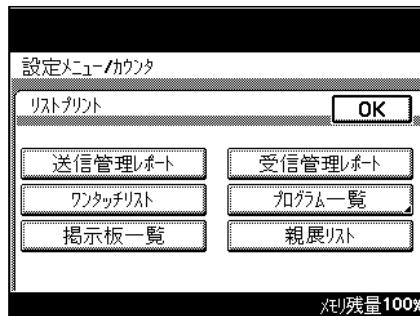
2

【リストプリント】を押します。



3

【プログラム一覧】を押します。



4

出力したいプログラムのキーを押します。

プログラム一覧が出力されます。

## ■ リストの内容

プログラムの登録内容が確認できます。

プログラム登録リスト				P. 1				
2005年 4月23日（土）11時32分								
東京支社								
プログラム名：支社問報 インデックス：支社 プログラム種別：送信								
発信元：I (東京支社) タイトル：指定しない Reply：指定しない ファイル名：指定しない 回観：標準 倍率：自動倍率 回転送信：しない 優先送信：しない パスワード送信：しない ポスト時刻：一 両面送信：しない				E-Mail通知先：指定しない 濃度：□□□□□ 2in1：しない 時刻指定：しない 宛名差込み：しない クイック送信：しない ボスト開閉：—	スタンプ：押さない 原稿サイズ設定：自動検出 選択結果レポート：装置設定		リモートコピー：しない	
番号		相手先名		番号		相手先名		
#000	茨城支社	#001	山梨支社	#002	三重支社	#003	群馬支社	
#004	神奈川支社	#005	長野支社	#006	埼玉支社	#007	静岡支社	
#008	石川支社	#009	千葉支社	#010	愛知支社			

## 12.5 掲示板の文書を確認する（掲示板一覧）

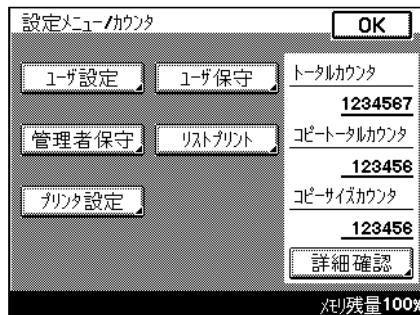
掲示板に登録された文書の一覧をレポート出力できます。

1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2

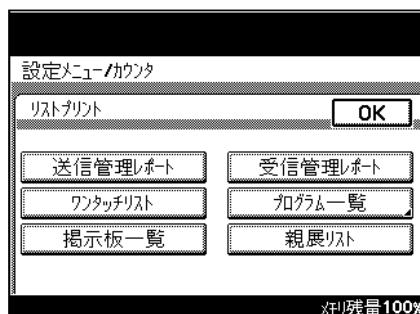
【リストプリント】を押します。



3

【掲示板一覧】を押します。

掲示板一覧が表示されます。



掲示板については、「掲示板に文書を登録する」(p. 6-28)、「掲示板の文書を取出す（リモート取り出し）」(p. 7-3)、「掲示板を設定する」(p. 9-26)をごらんください。

掲示板リスト						
番号	コード	タイプ	受付日時	枚数	ユーザ部門	リモート入力チェック /リモート出力チェック
1	0001	グループA				する / しない
2	1234	営業部	4月23日10時 40分	2		する / しない
3	0012	企画会議				する / しない
4						
5						
6						
7						
8						
9						

## 12.6 親展ボックスの登録内容を確認する（親展リスト）

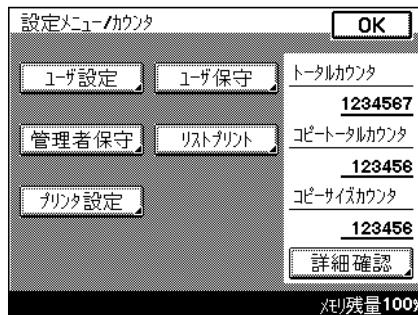
親展ボックスの登録内容をレポート出力できます。

1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2

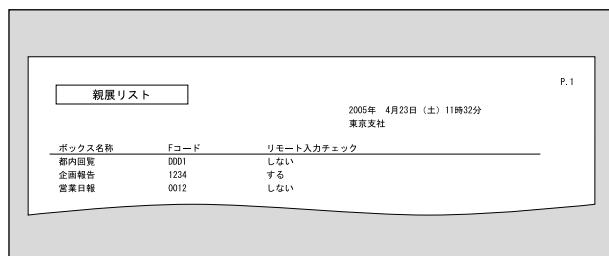
【リストプリント】を押します。



3

【親展リスト】を押します。

親展リストが出力されます。



掲示板については、「掲示板に文書を登録する」(p. 6-28)、「掲示板の文書を取出す（リモート出し）」(p. 7-3)、「掲示板を設定する」(p. 9-26)をごらんください。

## 12.7 機能の設定状況を確認する（設定リスト）

本機の各設定内容を出力します。設定リストは管理者のみが出力できます。

### ■ 設定リストを出力する

1

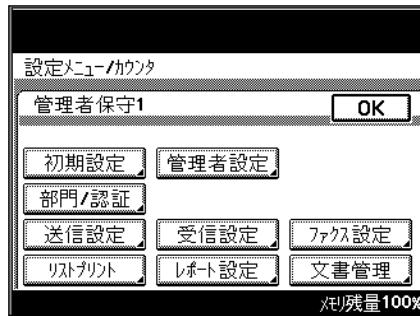
【設定メニュー / カウンタ】を押し、管理者モードにログインします。

2

[管理者保守 1] を押します。

3

[リストプリント] を押します。

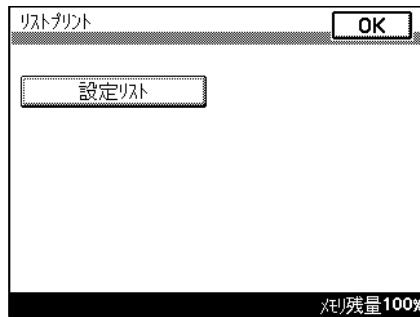


#### ひとこと

管理者モードへのログイン方法は「管理者保守画面を表示させるには（管理者保守）」(p. 10-15)をごらんください。

4

[設定リスト] を押します。

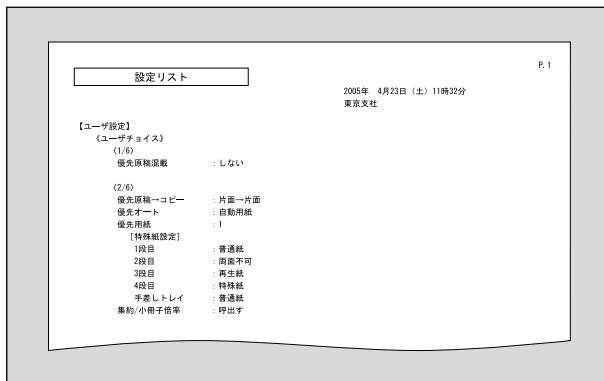


設定リストが出力されます。

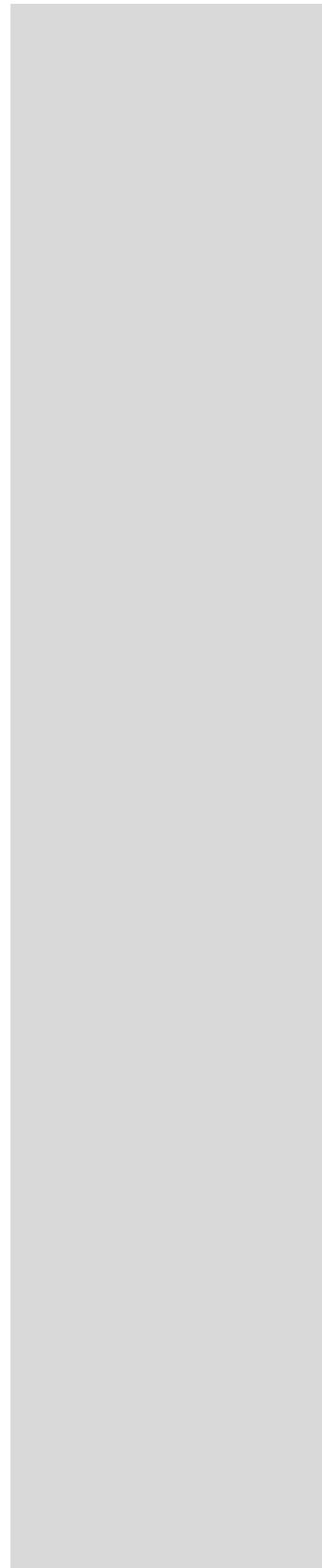
## ■ リストの内容

設定内容が確認できます。

パスワードは「\*\*\*\*\*」で表示されます。



## 12.7 機能の設定状況を確認する（設定リスト）





# 第 13 章

## 付録

---

スタンプの交換方法と用語集を記載しています。

13.1 文字を入力するには .....	13-2
13.2 スタンプを交換する .....	13-8
13.3 用語集 .....	13-10
13.4 使用別索引 .....	13-14
13.5 項目別索引 .....	13-17

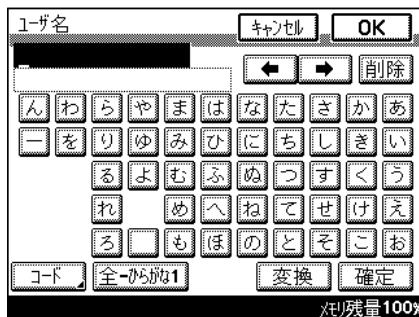
## 13.1 文字を入力するには

ワンタッチ登録やパスワードの入力などで文字を入力するときに表示される、文字入力画面の操作について説明します。数字を入力するときはテンキーから直接入力します。

ここでは文字入力画面で入力モードを切換える手順を、本体認証登録のユーザ名画面で説明します。

1

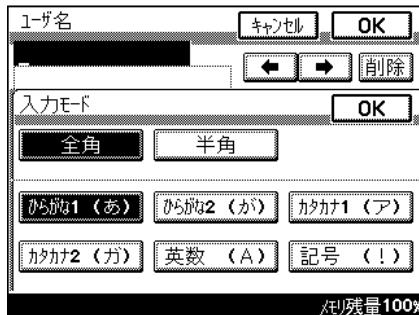
文字入力画面で入力モード切替キーを押します。



入力モード画面が表示されます。

2

[全角] または [半角] を押し、入力モードを選択します。



### ひとこと

- 入力モード切替キーには選択されている入力モード名（「全ーひらがな 1」など）が表示されます。
- 文字入力画面によっては入力モード画面または入力モード切替キーが表示されません。



[半角] が選択されている場合は、「ひらがな 1」および「ひらがな 2」は表示されません。

3

[OK] を押します。

入力モードが選択されます。

## ■ 英数字を入力する

1

入力モード画面で [英数] を押し、[OK] を押します。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 数字はテンキーで入力します。



入力モード画面の表示方法については、「文字を入力するには」(p. 13-2)をごらんください。



詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、[◀]、[▶] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 文字の削除のしかたをソフトウェア DIPSW で変更できます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をごらんください。
- 入力した文字をすべてクリアする場合は、【クリア】を押します。
- 大文字を入力する場合は、[Caps] を押します。
- 大文字入力を解除するときは再度 [Caps] を押します。
- 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置き換えられます。

### ひとこと

設定を取り消すには、[キャンセル] を押します。



入力モード画面の表示方法については、「文字を入力するには」(p. 13-2)をごらんください。

13

## ■ ひらがなを入力する

1

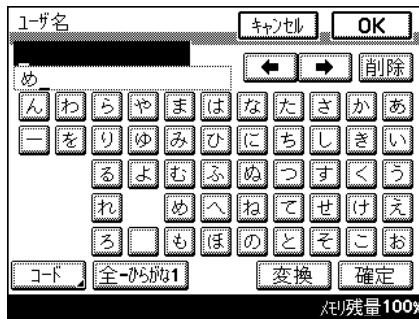
入力モード画面で [ひらがな 1] を押し、[OK] を押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）、半濁音（「ぱぴふぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、[ひらがな 2] を押します。

2

表示されている 50 音表から、入力する文字のキーを押します。

- 続けて濁音（「がぎぐげご」など）、半濁音（「ぱぴふぺぼ」）、拗音（「きやきゅきょ」など）を入力したいときは、[ひらがな 1] を押し入力モードを [ひらがな 2] に設定します。



3

[確定] を押します。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。



- 入力した文字や数字を修正する場合は、[◀]、[▶] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 文字の削除のしかたをソフトウェア DIPSW で変更できます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をご覧ください。
- 入力した文字をすべてクリアする場合は、【クリア】を押します。
- 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置き換えられます。

### ひとこと

設定を取り消すには、[キャンセル] を押します。

## ■ カタカナを入力する

1

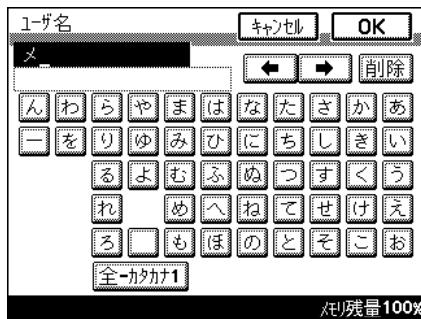
入力モード画面で [カタカナ 1] を押し、[OK] を押します。

- 濁音（「ガギグゲゴ」など）、半濁音（「パピップペボ」）、拗音（「キャキュキヨ」など）を入力したいときは、[カタカナ 2] を押します。

2

表示されている 50 音表から、入力する文字のキーを押します。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。



入力モード画面の表示方法については、「文字を入力するには」(p. 13-2) をご覧ください。



詳しく述べます

- 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 文字の削除のしかたをソフトウェア DIPSW で変更できます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をご覧ください。
- 入力した文字をすべてクリアする場合は、【クリア】を押します。
- 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置き換えられます。

### ひとこと

設定を取り消すには、[キャンセル] を押します。



入力モード画面の表示方法については、「文字を入力するには」(p. 13-2) をご覧ください。

## ■ 漢字を入力する

1

入力モード画面で [ひらがな 1] を押し、[OK] を押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）、半濁音（「ぱぴふぺぼ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、[ひらがな 2] を押します。

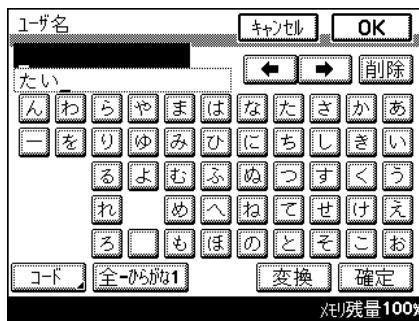
13

### 13.1 文字を入力するには

2

表示されている 50 音表から、入力する文字のキーを押します。

- 続けて濁音（「がぎぐげご」など）、半濁音（「ぱぴふぺぼ」）、拗音（「きやきゅきょ」など）を入力したいときは、[ひらがな 1] を押し入力モードを [ひらがな 2] に設定します。



3

[変換] を押します。

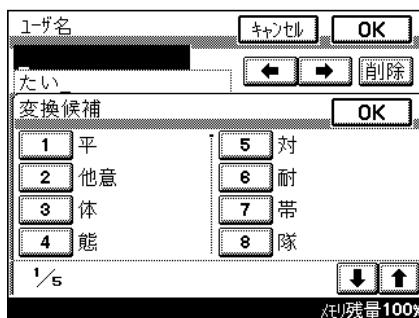
変換候補画面が表示されます。



- 熟語単位で変換できます。
- 入力した文字が、変換の対象になります。

4

表示された候補の中から入力したい漢字のキーを押します。



- 候補が 9 個以上ある場合に、  
[↑]、[↓] のキーが現れます。
- [↑] を押すと前候補が表示されます。
  - [↓] を押すと次候補が表示されます。

5

[OK] を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。



- 入力した文字や数字を修正する場合は、[◀]、[▶] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 文字の削除のしかたをソフトウェア DIPSW で変更できます。ソフトウェア DIPSW について詳しくは、「機能の状態を設定する（ソフトウェア DIPSW）」(p. 10-77) をご覧ください。
- 入力した文字をすべてクリアする場合は、【クリア】を押します。
- 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置き換えられます。

### ひとこと

設定を取り消すには、【キャンセル】を押します。

## ■ 入力文字一覧

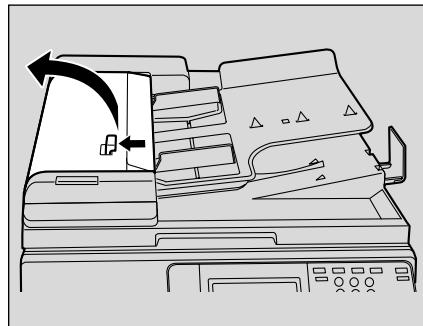
ひらがな	あいうえおかきくけさしすせそたちつてとなにぬのはひふへほまみむめもやゆよりるれろわをんかぎくげござじずせそだぢづでどばひぶべぼはびふべぼゑ
カタカナ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンガギグケゴザジズゼソダチツデバビブベボバビブベボヰヱ
英数字／記号	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz!#\$%&'()-./:;<=>?[@]_`{ }`*0123456789

## 13.2 スタンプを交換する

済みスタンプが薄くなったら、以下の手順で交換用スタンプに交換してください。

1

原稿給紙カバーのつまみを引き、原稿給紙カバーを開きます。

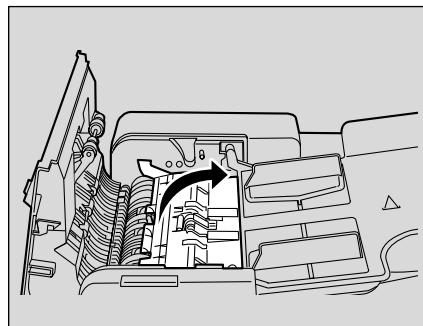


### ひとこと

- 済みスタンプ機能を利用するには、オプションのファックス済みスタンプユニットが必要です。
- 交換用スタンプは消耗品です。ご購入の際は本機をお買い求めいただいた販売店またはサービス実施店でお買い求めください。

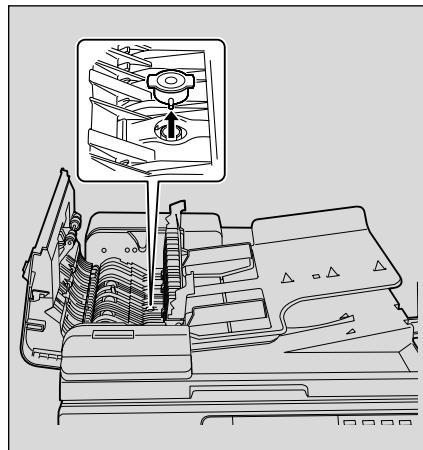
2

原稿ガイドを開きます。



3

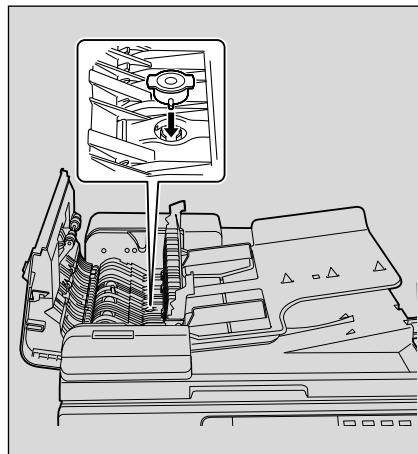
スタンプを取り出します。



**4**

新しいスタンプをセットします。

スタンプの丸い突起を装置側の溝に合わせてセットします。

**5**

原稿ガイドと原稿給紙カバーを元にもどします。

## 13.3 用語集

ファクス通信で一般に使われる用語について説明します。

本機で搭載されていない機能の用語についても説明されている場合があります。

	用語	説明
アルファベット	2in1	2枚の原稿を1枚の用紙に集約し、見開きの状態にして送信する機能のことです。
	bps	bit per second の略です。 データ伝送の単位で、1秒間に送るデータ量を表します。
	Fコード	ITU-T（国際電気通信連合）で標準化された T.30 * のサブアドレスの使い方について、日本通信機工業会が定めた通信手順のことです。Fコード機能をもつファクス間の通信では、メーカーが異なる場合も、Fコードを使用したいいろいろな機能を利用することができます。本機では、掲示板、中継依頼、親展通信、パスワード送信で Fコードを使っています。 (* 通信の規格のことです)
	G3	ITU-T（国際電気通信連合）が標準化したファクスの通信モードのひとつです。通信モードには、G3、G4 があります。G3 は、現在最も多く使われているモードです。
	PB	プッシュ回線のことです。
あ行	一括送信	宛先、送信時刻、メモリ送信や解像度などの送信条件が同じ文書がメモリに蓄積されると、指定した時刻に一つの文書として自動的に送信されることです。
か行	海外通信	国外の相手と通信することです。海外通信モードに設定すると、ゆっくりとしたスピードで通信します。国内でも、通信状態の悪いところへ通信するときは、海外通信モードに設定しておくと、確実に通信することができます。
	解像度	原稿を読み取る細かさのことです。解像度の数値が大きいほど、画質は細くなり、送信にかかる時間（電送時間）が長くかかります。必要に応じた解像度を選択してください。
	加入回線	日本電信電話株式会社（NTT）グループが提供している公衆電話回線のことです。
	クイック送信	原稿を1ページ読み取ると同時にファクス送信を始める方法のことです。原稿の枚数が多い場合にもメモリオーバーすることなく送信する機能のことです。
	掲示板	閲覧したい文書を掲示したり、ポーリング送信したい文書を蓄積しておく機能のことです。
	原稿枚数	原稿の総ページ数を付けて送信することで、クイックメモリ送信の場合に使います。原稿が正しく届いたかを確認するのに便利です（メモリ送信の場合は、自動的に総ページ数が付けられます）。

	用語	説明
さ 行	主走査	原稿を読み取るときの横方向のことです。
	初期値	工場出荷時に、あらかじめ設定されている値のことをいいます。初期値のいくつかは、設定メニューで変更することができます。お使いの状況に合わせ、よく使う値を初期値に設定しておくと便利です。
	親展通信	特定の人にだけ見せたい原稿を送受信する機能です。親展送信した原稿は、受信側の親展ボックスに蓄積され、受信時には印刷されません。親展ボックスの暗証番号を入力するなどの操作をすると、受信した文書が印刷されます。
	手動送信	相手側の状態を確認しながら送信する場合の操作です。
	送信予約	送信中やプリント中に、次の送信を予約する機能のことです。
た 行	ダイアル方式	PB（プッシュ式回線）、10PPS（ダイアル式回線 /10PPS）、20PPS（ダイアル式回線 /20PPS）の3種類があります。
	代行蓄積文書	用紙切れなどで、受信文書をプリントできない状態のとき、自動的に受信文書をメモリに蓄積する機能です。用紙補給などの処置をすると、代行蓄積文書が印刷されます。
	タイマー通信	指定した時刻に通信する機能のことです。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。
	着信	ファクスに電話がかかってきた状態をさします。
	着信拒否番号	着信拒否したい相手の電話番号を予め登録し、迷惑ファクスを受信しないようにする機能のことです。登録されている電話番号と着信電話番号が一致した場合受信されません。
	中継配信局	中継指示局からの中継依頼を受けて、中継配信先に同報をするファクスのことです。本機には、中継配信の機能はありません。
	中継指示局	中継同報の指示をするファクスのことです。
	中継同報	他のファクス（中継配信局と呼びます）を経由して、同報送信をする機能のことです。同報先が遠隔地に複数ある場合、同報先のひとつを中継局に設定し、中継局から同報送信することで、全体の通信料金を削減することができます。
	長尺原稿	A3サイズ(420 mm)より長い、長尺サイズの原稿を送信する機能のことです。長い原稿を送信したい場合は、長尺原稿を指定することにより送信することができます。
	電送時間	ファクスを送る時間のことです。解像度が高く、用紙サイズが大きいほど、電送時間が長くかかります。ファクスではモードムの伝送速度のことを行います。
	伝送速度	本機では、33,600bpsなどの高速な伝送速度で通信できます。海外通信モードに設定しておくと、7200bpsや4800bpsのノイズに強い伝送速度で通信します。
	同報	ひとつの原稿を1回の操作で複数の相手に送信することです。

用語	説明
は行	パスワード送信 パスワードを付けて送信する機能のことです。相手機が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。
	発信 電話をかけることをさします。ファクスでは、原稿を送信したり、ポーリングをするためにダイアルすることです。
	発信元名 漢字、英数カナで表す自局の名称のことです。受信側で、送信原稿の先端に発信元印字の一部として記録されます。
	発信元記録 ファクス送信をしたときに、受信側の記録紙の先端に印刷される、送信日時、名前、電話番号、ページ番号などのことです。
	ファクス ID ファクス通信をするときに、お互いを確認するための識別コードのことです。通常は、ファクスの電話番号を登録します。
	副走査 原稿を読み取るときの縦方向のことです。
	プログラム 頻繁に送受信する宛先のファクス番号や、定型で使う送信の操作手順などを登録しておく機能のことです。プログラム選択のプログラムキーを押すだけで、宛先を指定したり、自動的に機能を設定して通信することができます。
	ポーズ 間隔をあけてダイアルすることです。本機ではポーズを1回押すと、1秒の間隔をあけることができます。
	ポーリング 相手側にセットされているか、またはメモリに蓄積されている原稿を、受信側からの操作で送信させる機能です。
ま行	メモリ データをいったん蓄積しておく場所です。通信の指示をするときや、代行文書を蓄積するときに使われます。
	メモリオーバーフロー 読み込んだ原稿や代行文書を蓄積しているときに、ファクス画像メモリが一杯になった状態をいいます。
	メモリ送信 原稿を読み取り、メモリに蓄積してからファクス送信を始める方法のことです。メモリ送信を使用すると、発信元記録のページ数に自動的に総ページ数が付けられ、送信結果レポートに送信文書の1ページ目の画像が記載されます。ただし、原稿のページ数が多い場合や、原稿の画質が細密なために情報量が多い場合はメモリオーバーことがあります。
や行	読み込み 原稿を光学的に走査して、画像データに変換して取り込むことです。
	読み込みサイズ 原稿を読み込むサイズを指定して送信する機能のことです。受信側の用紙幅が送信原稿より小さい場合、通常は縮小して記録されます。縮小したくない場合に、原稿サイズを受信側の用紙サイズに指定すると、原寸で送信することができます。

	用語	説明
ら行	リダイアル	相手機が、話中のときなどに、時間をあけて再びダイアルをすることです。 手動でリダイアルする方法と、自動的にリダイアルされる自動リダイアルがあります。
	両面とじ方向	ADF を使って両面原稿を送信する場合に原稿の綴じ位置を設定する機能です。両面原稿の綴じ位置には、原稿の上側（または下側）に綴じ位置がある上下綴じと、原稿の左（または右側）に綴じ位置がある左右綴じがあり、原稿の裏面の上下関係が異なります。
	リモート受信	外付け電話からリモート受信番号を使って受信の指示をする機能のことです。
わ行	ワンタッチ	頻繁に送信する宛先のファクス番号を登録しておく機能のひとつです。短縮 / アドレスを登録するときに、相手先名と検索文字を登録しておくと、短縮選択の検索文字を利用して宛先を指定することもできます。

## 13.4 使用別索引

### ■ か行

#### 確認する

相手先を確認してから送信する .....	2-26, 10-99
設定状態を確認する .....	2-12
送信結果をレポートで確認する（結果レポート） .....	6-9
送信先を確認／削除する .....	2-25
通信結果を確認する（ジョブリスト） .....	2-33

#### 掲示板

掲示板に文書を登録する .....	6-28
掲示板の文書を取出す（リモート取出し） .....	7-3
掲示板を設定する .....	9-26
他のファックスから掲示板に文書を登録する .....	6-31

#### 原稿に合わせて送る

原寸で送信 .....	2-11
用紙サイズに合わせて送信 .....	2-11

#### 原稿をセットする

ADFを使用する .....	2-4
原稿ガラス上に原稿をセットする .....	2-5
原稿をセットする .....	2-4

### ■ さ行

#### サービス

Fコード通信 .....	6-24
ダイアルインを利用する .....	10-45
ナンバーディスプレイを利用する .....	10-42
ファクシミリ通信網を使う .....	6-32

#### 親展通信

親展ボックスを削除する .....	10-40
親展ボックスを設定する .....	9-30
親展ボックスを使う（親展受信） .....	7-6
親展ボックスを使う（親展送信） .....	6-26

#### 設定しておく

機能を使ってファックス送信をする .....	6-2
設定を変更、管理する .....	10-1
送信条件を設定する .....	2-9
送信に関する初期値を設定 .....	10-28

#### 送信先を指定する

送信先を指定する .....	2-15
複数の宛先を指定する（順次同報送信） .....	2-22

---

## ■ た行

### 着信拒否

着信拒否登録 ..... 10-43

### 中止する

送信を中止する ..... 2-32

### できない

受信時のトラブル ..... 4-3

受信できないとき ..... 3-6

送信時のトラブル ..... 4-2

送信できないときは ..... 2-31

### 電話

電話を受ける ..... 3-7

電話をとってからファクスを受信 ..... 3-2

### 動作

原稿読み込み中の動作 ..... 2-30

---

## ■ な行

### 名前とはたらきを確認する

各部の名称とはたらき ..... 1-3

操作パネルの使いかた ..... 1-6

ファクス機能で表示される画面 ..... 1-11

### 入力する

文字を入力するには ..... 13-2

---

## ■ は行

### ファクスを受ける

いろいろな受信 ..... 3-2

受信拒否 ..... 10-102

受信する ..... 3-5

### ファクスを送る

ADFで読み込んで送信する ..... 2-2

相手先を確認してから送信する ..... 2-26, 10-99

送ってみよう ..... 10

原稿ガラスで原稿を送る ..... 2-7

通話後に送信する（手動送信） ..... 2-28

### プログラム

送信プログラムを登録する ..... 9-17

プログラムキーを登録する ..... 9-17

## 13.4 使用別索引

プログラムを使う .....	2-18
プログラムを変更する／削除する .....	9-25
ポーリング受信プログラムを登録する .....	9-23
ポストプログラムを登録する .....	9-20

### ■ ポーリング

受信側からの指示で送信させる（ポーリング受信） .....	8-4
ポーリング原稿を準備する（ポーリング送信） .....	8-2
ポーリング受信プログラムを登録する .....	9-23

### ■ ま行

#### メモリ

画像メモリ容量 .....	5-2
ポーリング送信 .....	8-2
メモリオーバー .....	2-30
メモリ送信 .....	10-28

### ■ や行

#### 予約する

指定時刻に送信する（送信時刻） .....	6-16
-----------------------	------

### ■ ら行

#### リスト

機能の設定状況を確認する（設定リスト） .....	12-14
掲示板の文書を確認する（掲示板一覧） .....	12-12
親展ボックスの登録内容を確認する（親展リスト） .....	12-13
プログラム一覧を出力する（プログラム一覧） .....	12-10
ワンタッチの登録内容を確認する（ワンタッチリスト） .....	12-8

#### レポート

結果レポートの設定 .....	10-51
受信の状況を確認する（受信管理レポート） .....	12-5
送信の結果をレポートにして出力する .....	6-9
送信の状況を確認する（送信管理レポート） .....	12-2
通信管理レポートの設定 .....	10-52
レポート出力に関する設定をする（レポート設定） .....	10-51

### ■ わ行

#### ワンタッチ

ワンタッチキーをコピーする .....	9-11
ワンタッチを使う .....	2-17
ワンタッチを登録する .....	9-3
ワンタッチを変更禁止にする .....	10-27
ワンタッチを変更する／削除する .....	9-10

# 13.5 項目別索引

## 数字・記号

2in1 ..... 6-11

## アルファベット

ADF ..... 2-4  
FAX キット ..... 1-3  
F コード ..... 6-24, 9-7  
HEX ..... 10-77  
PageScope Web Connection ..... 11-2  
TCP/IP ..... 11-47

## あ行

相手先確認 ..... 2-26, 10-99  
アクセス方法 ..... 11-4  
インターネットファクス ..... 11-50  
インデックス ..... 9-14, 10-12, 11-10  
インポート ..... 11-22  
エクスポート ..... 11-21  
エラーメッセージ ..... 4-4  
オートリダイアル回数 ..... 10-28, 10-34  
オートリダイアル間隔 ..... 10-28, 10-34  
オフモード時の出力設定 ..... 10-35  
おまかせ画面 ..... 1-12  
オンフック ..... 1-11

## か行

海外 ..... 2-16, 9-6  
外線 ..... 10-21  
回線モニタ音 ..... 10-14  
回転送信 ..... 6-14, 10-28, 10-32  
画質 ..... 2-10  
画質 / 倍率 ..... 2-9  
画質 / モード ..... 10-28  
管理者転送 ..... 10-54, 10-98  
管理者番号 ..... 10-15  
管理者保守 ..... 10-15  
管理者保守 1 ..... 10-16, 10-17  
管理者保守 2 ..... 10-16, 10-18  
管理者モード ..... 11-7  
完了音 ..... 10-14  
クイック送信 ..... 6-20, 10-28, 10-31  
掲示板 ..... 6-24, 6-28, 9-26, 10-12  
掲示板一覧 ..... 12-12  
ゲートウェイ送信 ..... 10-18, 10-75, 11-50

結果レポート ..... 6-9, 10-51  
原稿ガラス ..... 2-5  
言語設定 ..... 10-19  
言語選択（通信用） ..... 10-17  
検索 ..... 2-20

## さ行

自局 ID ..... 10-17, 10-26, 11-25  
自局電話番号 ..... 10-20, 11-25  
自局電話番号情報 ..... 10-17  
自装置ドメイン ..... 10-73  
自装置ドメイン名 ..... 10-18  
自動受信 ..... 3-2  
受信管理レポート ..... 12-5  
受信拒否 ..... 10-102  
受信ジョブ ..... 2-35  
受信設定 ..... 10-17, 10-35, 11-30  
受信文書の扱い ..... 10-56  
手動受信 ..... 3-2  
手動送信 ..... 2-28  
順次同報送信 ..... 2-22  
仕様 ..... 5-2  
ジョブリスト ..... 2-33  
親展受信 ..... 6-26, 7-6  
親展送信 ..... 6-26  
親展通信 ..... 6-24  
親展ボックス ..... 9-30, 10-12, 10-40  
親展リスト ..... 12-13  
スタートキー ..... 1-7  
スタンプ ..... 6-18, 13-8  
スタンプユニット ..... 1-4  
ストップ ..... 2-32  
ストップキー ..... 1-7  
設定メニュー ..... 10-2  
設定リスト ..... 12-14  
操作パネル ..... 1-6  
送信 ..... 10-28  
送信管理レポート ..... 12-2  
送信先 ..... 2-15  
送信時刻 ..... 6-16  
送信条件 ..... 2-9  
送信ジョブ ..... 2-34  
送信設定 ..... 10-17, 10-28, 11-27  
外付け電話機 ..... 2-28  
ソフトウェア DIPSW ..... 10-18, 10-77

**た行**

- ダイアルイン ..... 10-45  
 ダイアル入力 ..... 1-11, 2-15  
 ダイアル方式 ..... 10-22  
 ダイレクトファクス ..... 6-33  
 タッチパネル ..... 1-6  
 チェーンダイアル ..... 2-29  
 着信回数 ..... 10-48  
 着信拒否登録 ..... 10-43  
 着信方式 ..... 10-47, 10-48  
 通信管理レポート ..... 10-51, 10-52  
 通信規格 ..... 5-2  
 通信速度 ..... 9-9  
 通信パスワード ..... 10-49  
 通信メニュー ..... 6-2  
 通信モード ..... 10-28, 10-30  
 通話 ..... 3-5  
 転送 ..... 10-54  
 転送先 ..... 10-56  
 電話専用 ..... 3-2  
 電話優先 ..... 3-2  
 動作環境 ..... 11-4  
 登録・設定項目一覧表 ..... 10-2  
 トーン ..... 2-16, 9-6  
 特殊文字 ..... 2-26, 10-99  
 トラブル ..... 4-1

**な行**

- 内線 ..... 10-21  
 ナンバーディスプレイ ..... 10-42  
 濃度 ..... 2-10

**は行**

- 倍率 / 範囲 ..... 2-11  
 パスワード受信 ..... 7-2, 10-49  
 パスワード送信 ..... 10-49  
 発信元 ..... 10-28  
 発信元情報 ..... 6-6  
 発信元情報記録 ..... 10-31  
 発信元選択 ..... 10-32  
 発信元登録 ..... 10-17, 11-26  
 発信元名 ..... 10-24  
 番号表示 ..... 10-43  
 ハンドセット ..... 1-5, 2-28  
 ビット ..... 10-77

- ビン割当て ..... 10-10  
 ファクシミリ通信網 ..... 6-32  
 ファクス / スキャンキー ..... 1-6  
 ファクス画面 ..... 1-11  
 ファクス情報サービス ..... 3-8  
 ファクス設定 ..... 10-17, 11-32  
 ファクス登録 ..... 9-2, 10-12  
 ファクスプログラム ..... 10-12  
 ファクス優先 ..... 3-2  
 複数の宛先 ..... 2-22  
 部門管理 ..... 1-14  
 プリント開始 ..... 10-39  
 プリント処理 ..... 10-14, 10-38  
 プリント制御パスワード ..... 10-35, 10-36  
 プリント停止 ..... 10-39  
 プログラム ..... 2-18, 9-17, 11-16  
 プログラム一覧 ..... 12-10  
 文書管理 ..... 10-17, 10-56, 11-37  
 ポーズ ..... 2-16, 9-6  
 ポート 1 ..... 1-3  
 ポート 2 ..... 1-3  
 ポーリング受信 ..... 8-4  
 ポーリング送信 ..... 8-2  
 ポーリング送信ボックス ..... 8-2

**ま行**

- メール ..... 11-50  
 メモリクリアレポート ..... 10-82  
 メモリ送信 ..... 10-28, 10-31  
 メモリ代行受信 ..... 3-6  
 モード ..... 10-77

**や行**

- ユーザチョイス ..... 10-9  
 ユーザ認証 ..... 1-14, 11-5  
 ユーザ保守 ..... 10-13  
 優先画質 ..... 10-28, 10-29  
 優先画面 ..... 10-11  
 優先送信 ..... 6-15  
 優先濃度 ..... 10-28, 10-29  
 呼出し回数 ..... 10-47

**ら行**

- リストプリント ..... 10-17, 12-2, 12-14  
 リダイアル ..... 10-28, 10-33

- リモートコピー ..... 6-22, 6-24
- リモート取出し ..... 7-3
- 両面送信 ..... 6-12, 10-28, 10-32
- 留守電接続 ..... 3-2
- 留守番電話 ..... 3-2
- レポート出力設定 ..... 11-46
- レポート設定 ..... 10-17, 10-51
- ログイン ..... 11-7

## わ行

- ワンタッチ ..... 1-11, 2-17, 9-3, 10-12, 11-11
- ワンタッチ変更禁止 ..... 10-17
- ワンタッチリスト ..... 12-8

---

# MEMO

# お問い合わせは

## ■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

担当部門 \_\_\_\_\_

担当者 \_\_\_\_\_

## ■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL \_\_\_\_\_

---

**コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社**

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。  
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-510010 (受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00)

● 本文には古紙配合率100%の再生紙を使用しています。



● 本書は大豆油インキで印刷しています。



KONICA MINOLTA

国内総販売元

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元

コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング